

大学番号 公立10

注3

設置年度 平成 30年度
計画の区分：大学の設置
注1

認可

公立小松大学 生産システム科学部 生産システム科学科
注2

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

公立大学法人公立小松大学
令和3年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名	総務課
職名・氏名	カカリインカミバヤシ 係員・上林 あい
電話番号	0761-23-6600
（夜間）	0761-23-6600
e-mail	soumu@komatsu-u.ac.jp

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
- 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。
例) 〇〇大学 △△学部 □□学科
(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。
例)
・大学の設置の場合：「〇〇大学」
・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
- 3 大学番号の欄については、調査対象大学等に対して別途発出する、事務連絡「令和3年度の履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

生産システム科学部

＜生産システム科学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	18
4. 既設大学等の状況	19
5. 教員組織の状況	20
6. 附帯事項等に対する履行状況等	33
7. その他全般的事項	35

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

公立大学法人公立小松大学

(2) 大学名

公立小松大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒923-0921

石川県小松市土居原町10-10

〒923-8511

石川県小松市四丁町又1-3

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(イシダ ヒロト) 石田 寛人 (現職就任30年4月)		
学長	(ヤマモト ヒロシ) 山本 博 (現職就任30年4月)		
学部長	(キムラ シゲオ) 木村 繁男 (現職就任30年4月)		
学科長等	(キムラ シゲオ) 木村 繁男 (現職就任30年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 令和2年度に報告済の内容 → (2)
令和3年度に報告する内容 → (3)
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載してください。その場合別ファイルを作成し提出してください。
- ・ 様式は、平成29年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和2年度までの5年間）ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
生産システム科学部 生産システム科学科 学士（工学）	工学関係	4年	80人	— 年次	320人		

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1）」）の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	—	—	80人	—	80人	—	80人	—	80人	—	1.01倍	—	
	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()			
	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]			
志願者数	—	—	400	—	422	—	369	—	725	—			
	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()			
	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]			
受験者数	—	—	305	—	240	—	183	—	457	—			
	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()			
	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]			
合格者数	—	—	193	—	113	—	112	—	119	—			
	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()			
	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]			
B 入学者数	—	—	80	—	83	—	80	—	83	—			
	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()			
	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]			
入学定員超過率 B/A			1		1.03		1		1.03				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ () 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度（令和3年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「—」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	— [—] (—)	— [—] (—)	79 [—] (—)	— [—] (—)	83 [—] (—)	— [—] (—)	80 [—] (—)	— [—] (—)	83 [—] (—)	— [—] (—)	
2年次	/		— [—] (—)	— [—] (—)	79 [—] (—)	— [—] (—)	82 [—] (—)	— [—] (—)	80 [—] (—)	— [—] (—)	
3年次	/		/		— [—] (—)	— [—] (—)	79 [—] (—)	— [—] (—)	82 [—] (—)	— [—] (—)	
4年次	/		/		/		— [—] (—)	— [—] (—)	79 [—] (—)	— [—] (—)	
計	— [—] (—)	— [—] (—)	79 [—] (—)	— [—] (—)	162 [—] (—)	— [—] (—)	241 [—] (—)	— [—] (—)	324 [—] (—)	— [—] (—)	

・ 令和3年5月1日 公表

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成29年度	人	人	平成29年度	— 人	— 人	
平成30年度	80 人	1 人	平成29年度	— 人	— 人	一身上の都合(1人)
			平成30年度	1 人	0 人	
令和元年度	162 人	0 人	平成29年度	— 人	— 人	
			平成30年度	— 人	— 人	
			令和元年度	— 人	— 人	
令和2年度	242 人	1 人	平成29年度	— 人	— 人	
			平成30年度	0 人	0 人	
			令和元年度	1 人	1 人	就学意欲の低下(1人)
			令和2年度	0 人	0 人	
令和3年度	324 人	0 人	平成29年度	— 人	— 人	
			平成30年度	0 人	0 人	
			令和元年度	0 人	0 人	
			令和2年度	0 人	0 人	
			令和3年度	0 人	0 人	
合計		2 人		2 人	2 人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{1}{80} = \boxed{1.25} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{162} = \boxed{0} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{1}{242} = \boxed{0.41} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{324} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<生産システム科学部 生産システム科学科>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼担		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教			
導入科目	キャリアデザイン・チーム論Ⅰ	1前	1			1					14	
	アカデミック・スキルズ	1前	1									
	テーマ別基礎ゼミ	1後	2			13	4		2			
	情報処理基礎	1前	2			2	3					1
	南加賀の歴史と文化	1後	2									1
	小計(5科目)	-	8	0	0	13	4	0	2	0		16
一般科目(人間力)	哲学	1前		2							1	
	心理学	1前		2							1	
	人間の発達と心	1前		2							1	
	日本の伝統芸能	1前		2							1	
	人文地理学	1後		2							1	
	文化人類学	1後		2							1	
	医療と文化	1後		2							1	
	文章表現法	1後		2							1	
	言葉と文化	1後		2							2	
	小計(9科目)	-	0	18	0	0	0	0	0	0	8	
一般科目(社会力)	日本産業史	1前		2		4						
	自然資源と環境問題	1前		2							1	
	経済学	1前		2							2	
	政治学	1後		2							2	
	社会学	1後		2							1	
	公共政策論	1後		2							1	
	社会福祉論	1後		2							1	
	日本国憲法	1前		2							1	
小計(8科目)	-	0	16	0	4	0	0	0	0	9		
一般科目(科学力)	データ科学と社会	1前		2		3						
	情報処理応用A	1後		2		2						
	情報処理応用B	1後		2							1	
	クリティカルシンキング	1後		2							1	
	統計学	1前		2		1					1	
	現代科学技術論	1前		2		5						
小計(6科目)	-	0	12	0	7	2	0	0	0	3		
一般科目(健康と体力)	健康と体の科学	1前		2							2	
	スポーツ演習(バレーボール)	1前・後		1							1	
	スポーツ演習(硬式テニス)	1前		1							1	
	スポーツ演習(フットサル)	1前・後		1							1	
	スポーツ演習(卓球)	1後		1							1	
	スポーツ演習(バドミントン)	1前・後		1							1	
	小計(6科目)	-	0	7	0	0	0	0	0	0	3	
英語科目	英語Ⅰa	1前		2							5	
	英語Ⅰb	1前		2							3	
	英語Ⅱa	1後		2							3	
	英語Ⅱb	1後		2							4	
	英語Ⅲ	1後		2							1	
	英会話Ⅰ	1後		2							1	
	英会話Ⅱ	1後		2							1	

【令和3年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼担		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教			
導入科目	キャリアデザイン・チーム論Ⅰ	1前	1			1					14	
	アカデミック・スキルズ	1前	1									
	テーマ別基礎ゼミ	1後	2				12	5		1		
	情報処理基礎	1前	2				1	4		1		
	南加賀の歴史と文化	1後	2									1
	小計(5科目)	-	8	0	0	12	5	0	1	0		16
一般科目(人間力)	哲学	1前		2							1	
	心理学	1前		2							1	
	人間の発達と心	1前		2							1	
	日本の伝統芸能	1前		2							1	
	人文地理学	1後		2							1	
	文化人類学	1後		2							1	
	医療と文化	1後		2							1	
	文章表現法	1後		2							1	
	言葉と文化	1後		2							2	
	小計(9科目)	-	0	18	0	0	0	0	0	0	8	
一般科目(社会力)	日本産業史	1前		2		4						
	自然資源と環境問題	1前		2							1	
	経済学	1前		2							2	
	政治学	1後		2							2	
	社会学	1後		2							1	
	公共政策論	1後		2							1	
	社会福祉論	1後		2							1	
	日本国憲法	1後		2							1	
小計(8科目)	-	0	16	0	4	0	0	0	0	9		
一般科目(科学力)	データ科学と社会	1後		2		2						
	情報処理応用A	1後		2			1					
	情報処理応用B	1後		2							1	
	クリティカルシンキング	1後		2							1	
	統計学	1後		2		1					1	
	現代科学技術論	1前		2		5						
小計(6科目)	-	0	12	0	6	1	0	0	0	3		
一般科目(健康と体力)	健康と体の科学	1前		2							2	
	スポーツ演習(バレーボール)	1前・後		1							1	
	スポーツ演習(硬式テニス)	1前		1							1	
	スポーツ演習(フットサル)	1前・後		1							1	
	スポーツ演習(卓球)	1後		1							1	
	スポーツ演習(バドミントン)	1前・後		1							1	
	小計(6科目)	-	0	7	0	0	0	0	0	0	3	
英語科目	英語Ⅰa	1前		2							6	
	英語Ⅰb	1前		2							2	
	英語Ⅱa	1後		2							4	
	英語Ⅱb	1後		2							4	
	英語Ⅲ	1後		2							1	
	英会話Ⅰ	1後		2							1	
	英会話Ⅱ	1後		2							1	

科目区分	授業科目の名称	記当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通教育科目	英語科目	実用英語Ⅰ	1前・後		2							1
		実用英語Ⅱ	1前・後		2							1
		実用英語Ⅲ	1前・後		2							1
		実用英語Ⅳ	1前・後		2							1
		小計(11科目)	-	8	6	8	0	0	0	0	0	11
	その他外国語科目	中国語Ⅰ	1前		2							1
		中国語Ⅱ	1後		2							1
		フランス語Ⅰ	1前		2							1
		フランス語Ⅱ	1後		2							1
		ドイツ語Ⅰ	1前		2							1
		ドイツ語Ⅱ	1後		2							1
		ロシア語Ⅰ	1前		2							1
		ロシア語Ⅱ	1後		2							1
		スペイン語Ⅰ	1前		2							1
スペイン語Ⅱ		1後		2							1	
小計(10科目)	-	0	20	0	0	0	0	0	0	5		
専門基礎科目	応用数学Ⅰ	1前	2			1						
	工業数学	1前	2			1						
	応用物理学	1前	2			1						
	工業力学	1後	2			1						
	プログラミングⅠ	1後	2			1	1					
	材料力学及び演習	2前	2			1						
	工業熱力学及び演習	2前	2			1						
	流れ学及び演習	2前	2			1						
	電気回路及び演習	2前	2			1						
	振動工学及び演習	2後	2			1						
	小計(10科目)	-	20	0	0	8	2	0	0	0	0	
専門共通科目	数値解析	2後	2			1						
	技術英語Ⅰ	2後	2								1	
	技術者倫理	2後	2			2						
	機械設計製図Ⅰ	2後	2			2	1		1			
	生産工学	3前	2			1						
	ロボット機構学	3前	2			1	1					
	技術英語Ⅱ	3前	2								1	
	機械設計製図Ⅱ	3前	2			2			2			
	機械工作実習	3前	1			3	1		2			
	機械電気工学実験Ⅰ	3前	1			5	2		2			
	生産技術	3後	2			1						
	課題探求プロジェクト	3後	1			13	4		2			
	技術英語演習Ⅰ	3後	1								1	
	機械電気工学実験Ⅱ	3後	1			4	3		1			
	学外技術体験実習A	3前・後		1		1						
	学外技術体験実習B	3前・後		2		1						
	課題研究ゼミナール	4前	1			13	4		2			
	技術英語演習Ⅲ	4前	1								1	
	卒業研究	4通	8			13	4		2			
小計(19科目)	-	33	3	0	13	4	0	2	0	1		

科目区分	授業科目の名称	記当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通教育科目	英語科目	実用英語Ⅰ	1前・後		2							1
		実用英語Ⅱ	1前・後		2							1
		実用英語Ⅲ	1前・後		2							1
		実用英語Ⅳ	1前・後		2							1
		小計(11科目)	-	8	6	8	0	0	0	0	0	10
	その他外国語科目	中国語Ⅰ	1前		2							1
		中国語Ⅱ	1後		2							1
		フランス語Ⅰ	1前		2							1
		フランス語Ⅱ	1後		2							1
		ドイツ語Ⅰ	1前		2							1
		ドイツ語Ⅱ	1後		2							1
		ロシア語Ⅰ	1前		2							1
		ロシア語Ⅱ	1後		2							1
		スペイン語Ⅰ	1前		2							1
スペイン語Ⅱ		1後		2							1	
小計(10科目)	-	0	20	0	0	0	0	0	0	5		
専門基礎科目	応用数学Ⅰ	1前	2			1						
	工業数学	1前	2			1						
	応用物理学	1前	2			1						
	工業力学	1後	2			1						
	プログラミングⅠ	1後	2					1			2	
	材料力学及び演習	2前	2			1						
	工業熱力学及び演習	2前	2			1						
	流れ学及び演習	2前	2			1						
	電気回路及び演習	2前	2			1						
	振動工学及び演習	2後	2			1						
	小計(10科目)	-	20	0	0	7	1	0	1	0	2	
専門共通科目	数値解析	2後	2			1						
	技術英語Ⅰ	2後	2								1	
	技術者倫理	2後	2			2						
	機械設計製図Ⅰ	2後	2			2	1		2			
	生産工学	3前	2			1						
	ロボット機構学	3前	2			1	1					
	技術英語Ⅱ	3前	2								1	
	機械設計製図Ⅱ	3前	2			2			2	1		
	機械工作実習	3前	1			3	3		3	1		
	機械電気工学実験Ⅰ	3前	1			5	4		4	1		
	生産技術	3後	2			1						
	課題探求プロジェクト	3後	1			13	4		5	1		
	技術英語演習Ⅰ	3後	1								1	
	機械電気工学実験Ⅱ	3後	1			4	4		4	1		
	学外技術体験実習A	3前・後		1		1						
	学外技術体験実習B	3前・後		2		1						
	課題研究ゼミナール	4前	1			13	4		5	1		
	技術英語演習Ⅲ	4前	1								1	
	卒業研究	4通	8			13	4		5	1		
小計(19科目)	-	33	3	0	12	5	0	1	0	1		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	応用数学Ⅱ	1後	2		1						1
	複素解析	1後	2		1						
	化学入門	1後	2								
	統計・確率論	2前	2		1						
	エレクトロニクス概論	2前	2		1						
	プログラミングⅡ	2前	2		1						
	機械加工学	2後	2		1						
	電気制御学	2後	2		1						
	機械材料学	2後	2		1						
	機械要素設計	2後	2		1						
	エネルギー資源と開発	2後	2		1						
	アルゴリズム論	2後	2		1						
	応用電磁気学	2後	2		1						
	環境適合技術論	3前	2		1						
	制御工学	3前	2			1					
	電子回路	3前	2			1					
	情報科学概論	3前	2		1						
	データベース論	3前	2		1						
	資源有効利用学	3後	2		1						
	人工知能	3後	2		1						
	電気機器工学	3後	2			1					
	画像認識論	3後	2			1					
	データマイニング	3後	2		1						
	地球環境と環境流体	4前	2		1						
	センサと通信	4前	2		1						
	インテリジェント生産システム	4前	2		1						
小計(26科目)	-	0	52	0	11	3	0	0	0	1	
合計(110科目)	-	69	134	8	13	4	0	2	0	45	
卒業要件及び履修方法											
1 共通教育科目(計38単位以上) (1)導入科目 必修8単位 (2)一般科目 人間力6単位以上、社会力6単位以上、科学力4単位以上、健康と体力1単位以上 (3)英語科目 必修8単位 (4)(1)~(3)で履修した科目以外から5単位以上											
2 専門科目(計86単位以上) (1)専門基礎科目 必修20単位 (2)専門共通科目 必修33単位、選択必修1単位以上 (3)専門科目(コース別) 専門分野別に生産機械コース、知能機械コースの2つを設け、コース必修科目8単位及び選択科目24単位以上の計32単位以上 【生産機械コース選択者】 ・コース必修科目8単位 「機械加工学」「電気制御学」「資源有効利用論」「地球環境と環境流体」 ・選択科目から24単位以上を選択 【知能機械コース選択者】 ・コース必修科目8単位 「アルゴリズム論」「制御工学」「人工知能」「センサと通信」 ・選択科目から24単位以上を選択 以上、共通教育38単位以上、専門科目86単位以上、合計124単位以上											
3 履修単位の登録の上限 48単位(年間)											

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	応用数学Ⅱ	1後	2		1						1
	複素解析	1後	2		1						
	化学入門	1後	2								
	統計・確率論	2前	2		1						
	エレクトロニクス概論	2前	2		1						
	プログラミングⅡ	2前	2		1	1				1	
	機械加工学	2後	2		1						
	電気制御学	2後	2		1						
	機械材料学	2後	2		1						
	機械要素設計	2後	2		1						
	エネルギー資源と開発	2後	2		1						
	アルゴリズム論	2後	2		1						
	応用電磁気学	2後	2		1						
	環境適合技術論	3前	2		1						
	制御工学	3前	2				1				
	電子回路	3前	2				1				
	情報科学概論	3前	2		1						
	データベース論	3前	2		1						
	資源有効利用学	3後	2		1						
	人工知能	3後	2		1						
	電気機器工学	3後	2			1					
	画像認識論	3後	2			1					
	データマイニング	3後	2		1						
	地球環境と環境流体	4前	2		1						
	センサと通信	4前	2		1						
	インテリジェント生産システム	4前	2		1						
小計(26科目)	-	0	52	0	11	3	0	0	0	2	
合計(110科目)	-	69	134	8	12	5	0	2	0	44	
卒業要件及び履修方法											
1 共通教育科目(計38単位以上) (1)導入科目 必修8単位 (2)一般科目 人間力6単位以上、社会力6単位以上、科学力4単位以上、健康と体力1単位以上 (3)英語科目 必修8単位 (4)(1)~(3)で履修した科目以外から5単位以上											
2 専門科目(計86単位以上) (1)専門基礎科目 必修20単位 (2)専門共通科目 必修33単位、選択必修1単位以上 (3)専門科目(コース別) 専門分野別に生産機械コース、知能機械コースの2つを設け、コース必修科目8単位及び選択科目24単位以上の計32単位以上 【生産機械コース選択者】 ・コース必修科目8単位 「機械加工学」「電気制御学」「資源有効利用論」「地球環境と環境流体」 ・選択科目から24単位以上を選択 【知能機械コース選択者】 ・コース必修科目8単位 「アルゴリズム論」「制御工学」「人工知能」「センサと通信」 ・選択科目から24単位以上を選択 以上、共通教育38単位以上、専門科目86単位以上、合計124単位以上											
3 履修単位の登録の上限 48単位(年間)											

【令和元年度】

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通教育科目	導入科目	キャリアデザイン・チーム論Ⅰ	1前	1		1						14
		アカデミック・スキルズ	1前	1								
		テーマ別基礎ゼミ	1後	2		13	4		2			
		情報処理基礎	1前	2		2	3		2		1	
		南加賀の歴史と文化	1後	2							1	
		小計(5科目)	-	8	0	0	13	4	0	2	0	
	一般科目(人間力)	哲学	1前		2							1
		心理学	1前		2							1
		人間の発達と心	1前		2							1
		日本の伝統芸能	1前		2							1
		人文地理学	1後		2							1
		文化人類学	1後		2							1
		医療と文化	1後		2							1
		文章表現法	1後		2							1
		言葉と文化	1後		2							2
		小計(9科目)	-	0	18	0	0	0	0	0	0	8
	一般科目(社会力)	日本産業史	1前		2		4					
		自然資源と環境問題	1前		2							1
		経済学	1前		2							2
政治学		1後		2							2	
社会学		1後		2							1	
公共政策論		1後		2							1	
社会福祉論		1後		2							1	
日本国憲法		1後		2							1	
小計(8科目)	-	0	16	0	4	0	0	0	0	9		
一般科目(科学力)	データ科学と社会	1後		2		3						
	情報処理応用A	1後		2			2					
	情報処理応用B	1後		2							1	
	クリティカルシンキング	1後		2							1	
	統計学	1後		2		1					1	
	現代科学技術論	1前		2		5						
小計(6科目)	-	0	12	0	7	2	0	0	0	3		
一般科目(健康と体力)	健康と体の科学	1前		2							2	
	スポーツ演習(バレーボール)	1前・後		1							1	
	スポーツ演習(硬式テニス)	1前		1							1	
	スポーツ演習(フットサル)	1前・後		1							1	
	スポーツ演習(卓球)	1後		1							1	
	スポーツ演習(バドミントン)	1前・後		1							1	
小計(6科目)	-	0	7	0	0	0	0	0	0	3		
英語科目	英語Ⅰa	1前	2								6	
	英語Ⅰb	1前	2								3	
	英語Ⅱa	1後	2								3	
	英語Ⅱb	1後	2								4	
	英語Ⅲ	1後		2							1	
	英会話Ⅰ	1後		2							1	
	英会話Ⅱ	1後		2							1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通教育科目	導入科目	キャリアデザイン・チーム論Ⅰ	1前	1			1					14
		アカデミック・スキルズ	1前	1								
		テーマ別基礎ゼミ	1後	2			13	4		2		
		情報処理基礎	1前	2			2	3		2		
		南加賀の歴史と文化	1後	2								
		小計(5科目)	-	8	0	0	13	4	0	2	0	
	一般科目(人間力)	哲学	1前		2							1
		心理学	1前		2							1
		人間の発達と心	1前		2							1
		日本の伝統芸能	1前		2							1
		人文地理学	1後		2							1
		文化人類学	1後		2							1
		医療と文化	1後		2							1
		文章表現法	1後		2							1
		言葉と文化	1後		2							2
		小計(9科目)	-	0	18	0	0	0	0	0	0	8
	一般科目(社会力)	日本産業史	1前		2		4					
		自然資源と環境問題	1前		2							1
		経済学	1前		2							2
政治学		1後		2							2	
社会学		1後		2							1	
公共政策論		1後		2							1	
社会福祉論		1後		2							1	
日本国憲法		1後		2							1	
小計(8科目)	-	0	16	0	4	0	0	0	0	9		
一般科目(科学力)	データ科学と社会	1後		2		3						
	情報処理応用A	1後		2			2					
	情報処理応用B	1後		2							1	
	クリティカルシンキング	1後		2							1	
	統計学	1後		2		1					1	
	現代科学技術論	1前		2		5						
小計(6科目)	-	0	12	0	7	2	0	0	0	3		
一般科目(健康と体力)	健康と体の科学	1前		2							2	
	スポーツ演習(バレーボール)	1前・後		1							1	
	スポーツ演習(硬式テニス)	1前		1							1	
	スポーツ演習(フットサル)	1前・後		1							1	
	スポーツ演習(卓球)	1後		1							1	
	スポーツ演習(バドミントン)	1前・後		1							1	
小計(6科目)	-	0	7	0	0	0	0	0	0	3		
英語科目	英語Ⅰa	1前	2								5	
	英語Ⅰb	1前	2								2	
	英語Ⅱa	1後	2								4	
	英語Ⅱb	1後	2								5	
	英語Ⅲ	1後		2							1	
	英会話Ⅰ	1後		2							1	
	英会話Ⅱ	1後		2							1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通教育科目	英語科目	1前・1後・1前・1後・1前・1後			2							1
	実用英語 I				2							1
	実用英語 II				2							1
	実用英語 III				2							1
	実用英語 IV				2							1
	小計(11科目)	-	8	6	8	0	0	0	0	0		12
	その他外国語科目											
	中国語 I	1前		2								1
	中国語 II	1後		2								1
	フランス語 I	1前		2								1
	フランス語 II	1後		2								1
	ドイツ語 I	1前		2								1
	ドイツ語 II	1後		2								1
	ロシア語 I	1前		2								1
	ロシア語 II	1後		2								1
スペイン語 I	1前		2								1	
スペイン語 II	1後		2								1	
小計(10科目)	-	0	20	0	0	0	0	0	0		5	
専門基礎科目	応用数学 I	1前	2			1						
	工業数学	1前	2			1						
	応用物理学	1前	2			1						
	工業力学	1後	2			1						
	プログラミング I	1後	2			1	2					
	材料力学及び演習	2前	2			1						
	工業熱力学及び演習	2前	2			1						
	流れ学及び演習	2前	2			1						
	電気回路及び演習	2前	2			1						
	振動工学及び演習	2後	2			1						
	小計(10科目)	-	20	0	0	8	2	0	0	0		0
専門共通科目	数値解析	2後	2			1						
	技術英語 I	2後	2								1	
	技術者倫理	2後	2			2						
	機械設計製図 I	2後	2			2	1		1			
	生産工学	3前	2			1						
	ロボット機構学	3前	2			1	1					
	技術英語 II	3前	2								1	
	機械設計製図 II	3前	2			2			2			
	機械工作実習	3前	1			3	1		2			
	機械電気工学実験	3前	1			5	2		2			
	生産技術	3後	2			1						
	課題探求プロジェクト	3後	1			13	4		2			
	技術英語演習 I	3後	1								1	
	機械電気工学実験 II	3後	1			4	3		1			
	学外技術体験実習A	3前・後		1		1						
	学外技術体験実習B	3前・後		2		1						
	課題研究ゼミナール	4前	1			13	4		2			
	技術英語演習 III	4前	1								1	
	卒業研究	4通	8			13	4		2			
小計(19科目)	-	33	3	0	13	4	0	2	0		1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通教育科目	英語科目	1前・1後・1前・1後・1前・1後			2							1
	実用英語 I				2							1
	実用英語 II				2							1
	実用英語 III				2							1
	実用英語 IV				2							1
	小計(11科目)	-	8	6	8	0	0	0	0	0		10
	その他外国語科目											
	中国語 I	1前		2								1
	中国語 II	1後		2								1
	フランス語 I	1前		2								1
	フランス語 II	1後		2								1
	ドイツ語 I	1前		2								1
	ドイツ語 II	1後		2								1
	ロシア語 I	1前		2								1
	ロシア語 II	1後		2								1
スペイン語 I	1前		2								1	
スペイン語 II	1後		2								1	
小計(10科目)	-	0	20	0	0	0	0	0	0		5	
専門基礎科目	応用数学 I	1前	2			1						
	工業数学	1前	2			1						
	応用物理学	1前	2			1						
	工業力学	1後	2			1						
	プログラミング I	1後	2			1	2					
	材料力学及び演習	2前	2			1						
	工業熱力学及び演習	2前	2			1						
	流れ学及び演習	2前	2			1						
	電気回路及び演習	2前	2			1						
	振動工学及び演習	2後	2			1						
	小計(10科目)	-	20	0	0	8	2	0	0	0		0
専門共通科目	数値解析	2後	2			1						
	技術英語 I	2後	2								1	
	技術者倫理	2後	2			2			2			
	機械設計製図 I	2後	2			2	1		1			
	生産工学	3前	2			1						
	ロボット機構学	3前	2			1	1		1			
	技術英語 II	3前	2								1	
	機械設計製図 II	3前	2			2			2			
	機械工作実習	3前	1			3	1		2			
	機械電気工学実験	3前	1			5	2		2			
	生産技術	3後	2			1						
	課題探求プロジェクト	3後	1			13	4		2			
	技術英語演習 I	3後	1								1	
	機械電気工学実験 II	3後	1			4	3		1			
	学外技術体験実習A	3前・後		1		1						
	学外技術体験実習B	3前・後		2		1						
	課題研究ゼミナール	4前	1			13	4		2			
	技術英語演習 III	4前	1								1	
	卒業研究	4通	8			13	4		2			
小計(19科目)	-	33	3	0	13	4	0	2	0		1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	応用数学Ⅱ	1後	2		1						1
	複素解析	1後	2		1						
	化学入門	1前	2								
	統計・確率論	2前	2		1						
	エレクトロニクス概論	2前	2		1						
	プログラミングⅡ	2前	2		1	1					
	機械加工学	2後	2		1						
	電気制御学	2後	2		1						
	機械材料学	2後	2		1						
	機械要素設計	2後	2		1						
	エネルギー資源と開発	2後	2		1						
	アルゴリズム論	2後	2		1						
	応用電磁気学	2後	2		1						
	環境適合技術論	3前	2		1						
	制御工学	3前	2			1					
	電子回路	3前	2			1					
	情報科学概論	3前	2		1						
	データベース論	3前	2		1						
	資源有効利用学	3後	2		1						
	人工知能	3後	2		1						
電気機器工学	3後	2			1						
画像認識論	3後	2			1						
データマイニング	3後	2		1							
地球環境と環境流体	4前	2		1							
センサと通信	4前	2		1							
インテリジェント生産システム	4前	2		1							
小計(26科目)	-	0	52	0	11	3	0	0	0	1	
合計(110科目)	-	69	134	8	13	4	0	2	0	46	
卒業要件及び履修方法											
1 共通教育科目(計38単位以上) (1)導入科目 必修8単位 (2)一般科目 人間力6単位以上、社会力6単位以上、科学力4単位以上、健康と体力1単位以上 (3)英語科目 必修8単位 (4)(1)~(3)で履修した科目以外から5単位以上											
2 専門科目(計86単位以上) (1)専門基礎科目 必修20単位 (2)専門共通科目 必修33単位、選択必修1単位以上 (3)専門科目(コース別) 専門分野別に生産機械コース、知能機械コースの2つを設け、 コース必修科目8単位及び選択科目24単位以上の計32単位以上											
【生産機械コース選択者】 ・コース必修科目8単位 「機械加工学」「電気制御学」「資源有効利用論」「地球環境と環境流体」 ・選択科目から24単位以上を選択											
【知能機械コース選択者】 ・コース必修科目8単位 「アルゴリズム論」「制御工学」「人工知能」「センサと通信」 ・選択科目から24単位以上を選択											
以上、共通教育38単位以上、専門科目86単位以上、合計124単位以上											
3 履修単位の登録の上限 48単位(年間)											

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	応用数学Ⅱ	1後	2		1						1
	複素解析	1後	2		1						
	化学入門	1前	2								
	統計・確率論	2前	2		1						
	エレクトロニクス概論	2前	2		1						
	プログラミングⅡ	2前	2		1	1					
	機械加工学	2後	2		1						
	電気制御学	2後	2		1						
	機械材料学	2後	2		1						
	機械要素設計	2後	2		1						
	エネルギー資源と開発	2後	2		1						
	アルゴリズム論	2後	2		1						
	応用電磁気学	2後	2		1						
	環境適合技術論	3前	2		1						
	制御工学	3前	2			1					
	電子回路	3前	2			1					
	情報科学概論	3前	2		1						
	データベース論	3前	2		1						
	資源有効利用学	3後	2		1						
	人工知能	3後	2		1						
電気機器工学	3後	2			1						
画像認識論	3後	2			1						
データマイニング	3後	2		1							
地球環境と環境流体	4前	2		1							
センサと通信	4前	2		1							
インテリジェント生産システム	4前	2		1							
小計(22科目)	-	0	52	0	11	3	0	0	0	1	
合計(106科目)	-	69	134	8	13	4	0	2	0	45	
卒業要件及び履修方法											
1 共通教育科目(計38単位以上) (1)導入科目 必修8単位 (2)一般科目 人間力6単位以上、社会力6単位以上、科学力4単位以上、健康と体力1単位以上 (3)英語科目 必修8単位 (4)(1)~(3)で履修した科目以外から5単位以上											
2 専門科目(計86単位以上) (1)専門基礎科目 必修20単位 (2)専門共通科目 必修33単位、選択必修1単位以上 (3)専門科目(コース別) 専門分野別に生産機械コース、知能機械コースの2つを設け、 コース必修科目8単位及び選択科目24単位以上の計32単位以上											
【生産機械コース選択者】 ・コース必修科目8単位 「機械加工学」「電気制御学」「資源有効利用論」「地球環境と環境流体」 ・選択科目から24単位以上を選択											
【知能機械コース選択者】 ・コース必修科目8単位 「アルゴリズム論」「制御工学」「人工知能」「センサと通信」 ・選択科目から24単位以上を選択											
以上、共通教育38単位以上、専門科目86単位以上、合計124単位以上											
3 履修単位の登録の上限 48単位(年間)											

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担			
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手				
共通教育科目	導入科目	キャリアデザイン・チーム論Ⅰ	1前	1			1						14	
		アカデミック・スキルズ	1前	1										
		テーマ別基礎ゼミ	1後	2			13	4		2				
		情報処理基礎	1前	2			2	3						1
		南加賀の歴史と文化	1後	2										1
		小計(5科目)	-	8	0	0	13	4	0	2	0	0		16
	一般科目(人間力)	哲学	1前		2								1	
		心理学	1前		2								1	
		人間の発達と心	1前		2								1	
		日本の伝統芸能	1前		2								1	
		人文地理学	1後		2								1	
		文化人類学	1後		2								1	
		医療と文化	1後		2								1	
		文章表現法	1後		2								1	
		言葉と文化	1後		2								2	
		小計(9科目)	-	0	18	0	0	0	0	0	0	0	8	
	一般科目(社会力)	日本産業史	1前		2		4						1	
		自然資源と環境問題	1前		2								2	
		経済学	1前		2								2	
		政治学	1後		2								1	
		社会学	1後		2								1	
		公共政策論	1後		2								1	
		社会福祉論	1後		2								1	
		日本国憲法	1後		2								1	
小計(8科目)		-	0	16	0	4	0	0	0	0	0	9		
一般科目(科学力)	データ科学と社会	1後		2		3						1		
	情報処理応用A	1後		2			2					1		
	情報処理応用B	1後		2								1		
	クリティカルシンキング	1後		2								1		
	統計学	1後		2		1						1		
	現代科学技術論	1前		2		5						1		
	小計(6科目)	-	0	12	0	7	2	0	0	0	0	3		
一般科目(健康と体力)	健康と体の科学	1前		2								2		
	スポーツ演習(バレーボール)	1前・後		1								1		
	スポーツ演習(硬式テニス)	1前		1								1		
	スポーツ演習(フットサル)	1前・後		1								1		
	スポーツ演習(卓球)	1後		1								1		
	スポーツ演習(バドミントン)	1前・後		1								1		
	小計(6科目)	-	0	7	0	0	0	0	0	0	0	3		
英語科目	英語Ⅰa	1前	2									5		
	英語Ⅰb	1前	2									3		
	英語Ⅱa	1後	2									3		
	英語Ⅱb	1後	2									4		
	英語Ⅲ	1後	2									1		
	英会話Ⅰ	1後	2									1		
	英会話Ⅱ	1後	2									1		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
共通教育科目	英語科目	1前・ 1後											
	実用英語Ⅰ	1前										1	
	実用英語Ⅱ	1後										1	
	実用英語Ⅲ(未開講)	1前・ 1後			2								
	実用英語Ⅳ(未開講)	1前・ 1後			2								
	小計(11科目)	-	8	6	8	0	0	0	0	0	0	11	
	その他外国語科目	中国語Ⅰ	1前		2								1
		中国語Ⅱ	1後		2								1
		フランス語Ⅰ	1前		2								1
		フランス語Ⅱ	1後		2								1
		ドイツ語Ⅰ	1前		2								1
		ドイツ語Ⅱ	1後		2								1
		ロシア語Ⅰ	1前		2								1
		ロシア語Ⅱ	1後		2								1
		スペイン語Ⅰ	1前		2								1
スペイン語Ⅱ		1後		2								1	
小計(10科目)	-	0	20	0	0	0	0	0	0	0	5		
専門基礎科目	応用数学Ⅰ	1前	2			1							
	工業数学	1前	2			1							
	応用物理学	1前	2			1							
	工業力学	1後	2			1							
	プログラミングⅠ	1後	2			1	1						
	材料力学及び 演習	2前	2			1							
	工業熱力学及び 演習	2前	2			1							
	流れ学及び演習	2前	2			1							
	電気回路及び演習	2前	2			1							
	振動工学及び演習	2後	2			1							
	小計(10科目)	-	20	0	0	8	2	0	0	0	0	0	
専門共通科目	数値解析	2後	2			1							
	技術英語Ⅰ	2後	2									1	
	技術者倫理	2後	2			2							
	機械設計製図Ⅰ	2後	2			2	1		1				
	生産工学	3前	2			1							
	ロボット機構学	3前	2			1	1						
	技術英語Ⅱ	3前	2									1	
	機械設計製図Ⅱ	3前	2			2			2				
	機械工作実習	3前	1			3	1		2				
	機械電気工学実験	3前	1			5	2		2				
	生産技術	3後	2			1							
	課題探求 プロジェクト	3後	1			13	4		2				
	技術英語演習Ⅰ	3後	1									1	
	機械電気工学 実験Ⅱ	3後	1			4	3		1				
	学外技術体験 実習A	3前・ 3後	1	1		1							
	学外技術体験 実習B	3前・ 3後	2	2		1							
	課題研究 ゼミナール	4前	1			13	4		2				
	技術英語演習Ⅲ	4前	1									1	
	卒業研究	4通	8			13	4		2				
小計(19科目)	-	33	3	0	13	4	0	2	0	1			

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	応用数学Ⅱ	1後		2		1						1
	複素解析	1後		2		1						
	化学入門	1前		2								
	統計・確率論	2前		2		1						
	エレクトロニクス概論	2前		2		1						
	プログラミングⅡ	2前		2		1						
	機械加工学	2後		2		1						
	電気制御学	2後		2		1						
	機械材料学	2後		2		1						
	機械要素設計	2後		2		1						
	エネルギー資源と開発	2後		2		1						
	アルゴリズム論	2後		2		1						
	応用電磁気学	2後		2		1						
	環境適合技術論	3前		2		1						
	制御工学	3前		2			1					
	電子回路	3前		2			1					
	情報科学概論	3前		2		1						
	データベース論	3前		2		1						
	資源有効利用学	3後		2		1						
	人工知能	3後		2		1						
	電気機器工学	3後		2			1					
	画像認識論	3後		2			1					
データマイニング	3後		2		1							
地球環境と環境流体	4前		2		1							
センサと通信	4前		2		1							
インテリジェント生産システム	4前		2		1							
小計(22科目)	-	0	52	0	11	3	0	0	0	1		
合計(110科目)	-	69	134	8	13	4	0	2	0	45		
卒業要件及び履修方法												
<p>1 共通教育科目(計38単位以上)</p> <p>(1)導入科目 必修8単位</p> <p>(2)一般科目</p> <p>人間力6単位以上、社会力6単位以上、科学力4単位以上、健康と体力1単位以上</p> <p>(3)英語科目 必修8単位</p> <p>(4)(1)～(3)で履修した科目以外から5単位以上</p> <p>2 専門科目(計86単位以上)</p> <p>(1)専門基礎科目 必修20単位</p> <p>(2)専門共通科目 必修33単位、選択必修1単位以上</p> <p>(3)専門科目(コース別)</p> <p>専門分野別に生産機械コース、知能機械コースの2つを設け、</p> <p>コース必修科目8単位及び選択科目24単位以上の計32単位以上</p> <p>【生産機械コース選択者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コース必修科目8単位 「機械加工学」「電気制御学」「資源有効利用論」「地球環境と環境流体」 ・選択科目から24単位以上を選択 <p>【知能機械コース選択者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コース必修科目8単位 「アルゴリズム論」「制御工学」「人工知能」「センサと通信」 ・選択科目から24単位以上を選択 <p>以上、共通教育38単位以上、専門科目86単位以上、合計124単位以上</p> <p>3 履修単位の登録の上限</p> <p>48単位(年間)</p>												

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和元年度開設であれば平成30年度)の表は適宜削除してください。
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成30年度】

- ・教育内容の向上を図るため、「医療と文化」の担当教員を「兼任教員」から「兼任教員」に変更（授業科目表上は変更なし）。
- ・兼任教員の本業の予定と合わない理由により、「日本国憲法」の開講時期を「1前」から「1後」に変更。
- ・兼任教員の本業の予定と合わない理由により、「データ科学と社会」の開講時期を「1前」から「1後」に変更。
（30年度において、翌年度より専任教員となる新田雅道教授が兼任教員として授業を担当）
- ・兼任教員の本業の予定と合わない理由により、「統計学」の開講時期を「1前」から「1後」に変更。
- ・兼任教員の本業の予定と合わない理由により、「化学入門」の開講時期を「1後」から「1前」に変更。

【令和元年度】

- ・専門科目「プログラミングⅠ」「プログラミングⅡ」の担当教員として、専任教員の梶原 祐輔准教授を追加。
- ・共通教育科目「英語Ⅰa」の担当教員として、兼任教員の横川善正教授を追加。
- ・共通教育科目「情報処理基礎」の担当教員として、専任教員の史 金星助教を追加。
- ・共通教育科目「情報処理基礎」の担当教員として、専任教員の朴 亨原助教を追加。

【令和2年度】

- ・兼任教員の川島 嘉美講師の本務先の事情により共通教育科目「英語Ⅰa」の担当が困難になったため担当教員表から削除。

【令和3年度】

- ・専任教員の 新田 雅道教授退任、石若 裕子准教授の就任辞退と、上野 祐亮助教の就任、史 金星准教授の昇任および朴 亨原准教授の昇任に伴い、専門科目「情報処理基礎」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」、「准教授3」から「准教授4」、「助教2」から「助教1」に変更。
- ・専任教員の 新田 雅道教授退任、石若 裕子准教授の就任辞退と、上野 祐亮助教の就任、史 金星准教授の昇任および朴 亨原准教授の昇任に伴い、専門科目「卒業研究」の専任教員等の配置を「教授13」から「教授12」、「准教授4」から「准教授5」、「助教2」から「助教1」に変更。
- ・専任教員の 新田 雅道教授の退任に伴い、共通教育科目「データ科学と社会」の専任教員等の配置を「教授3」から「教授2」に変更。
- ・専任教員の 石若 裕子准教授の就任辞退に伴い、共通教育科目「情報処理応用A」の専任教員等の配置を「准教授2」から「准教授1」に変更。
- ・兼任教員のVANCE Timothy John教授の退職に伴い、共通教育科目「英語Ⅰb」の専任教員等の配置を「兼任3」から「兼任2」に変更。
- ・共通教育科目「英語Ⅱa」の担当教員として、兼任のABE DAVID講師を追加。共通教育科目「英語Ⅱa」の専任教員等の配置を「兼任4」から「兼任5」に変更。
- ・兼任教員のVANCE Timothy John教授の退職に伴い、共通教育科目「英語Ⅱb」の専任教員等の配置を「兼任5」から「兼任4」に変更。
- ・専任教員の 新田 雅道教授退任に伴い、専門科目「プログラミングⅠ」の担当に兼任教員の坂本 一磨助教を追加し「教授1」から「教授0」に、「兼任1」から「兼任2」に変更。
- ・専任教員の 上野 祐亮助教の就任に伴い、専門科目「機械設計製図Ⅰ」の専任教員等の配置を「助教1」から「助教2」に変更。
- ・専任教員の 上野 祐亮助教の就任、史 金星准教授の昇任および朴 亨原准教授の昇任に伴い、専門科目「機械設計製図Ⅱ」の専任教員等の配置を「助教2」から「助教1」、「准教授0」から「准教授2」に変更。
- ・専任教員の 上野 祐亮助教の就任、史 金星准教授の昇任および朴 亨原准教授の昇任に伴い、専門科目「機械工作実習」の専任教員等の配置を「助教2」から「助教1」、「准教授1」から「准教授3」に変更。
- ・専任教員の 上野 祐亮助教の就任、史 金星准教授の昇任および朴 亨原准教授の昇任に伴い、専門科目「機械電気工学実験Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授2」から「准教授4」、「助教2」から「助教1」に変更。
- ・専任教員の 新田 雅道教授退任、石若 裕子准教授の就任辞退と、上野 祐亮助教の就任、史 金星准教授の昇任および朴 亨原准教授の昇任に伴い、専門科目「課題研究プロジェクト」の専任教員等の配置を「教授13」から「教授12」、「准教授4」から「准教授5」、「助教2」から「助教1」に変更。
- ・専任教員の 上野 祐亮助教の就任、朴 亨原准教授の昇任に伴い、専門科目「機械電気工学実験Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授3」から「准教授4」に変更。
- ・専任教員の 新田 雅道教授退任、石若 裕子准教授の就任辞退と、上野 祐亮助教の就任、史 金星准教授の昇任および朴 亨原准教授の昇任に伴い、専門科目「課題研究ゼミナール」の専任教員等の配置を「教授13」から「教授12」、「准教授4」から「准教授5」、「助教2」から「助教1」に変更。
- ・専任教員の 新田 雅道教授退任、石若 裕子准教授の就任辞退と、上野 祐亮助教の就任、史 金星准教授の昇任および朴 亨原准教授の昇任に伴い、専門科目「卒業研究」の専任教員等の配置を「教授13」から「教授12」、「准教授4」から「准教授5」、「助教2」から「助教1」に変更。
- ・専任教員の 新田 雅道教授退任に伴い、専門科目「プログラミングⅡ」の専任担当教員等に専任教員の木村 春彦教授と兼任教員の坂本 一磨講師を追加し「助教0」から「助教1」に変更。

- (注) ・ 2(1)① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度（平成30年度開設であれば平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
36 科目	70 科目	4 科目	110 科目	36 科目 []	70 科目 []	4 科目 []	110 科目 []	

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。 (記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{110} = \boxed{} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	末広キャンパス 借用面積：3,676 m ² 借用期間：25年			
	校舎敷地	18,962.05 m ²	m ²	m ²	18,962.05 m ²				
	運動場用地	14,271.00 m ²	m ²	m ²	14,271.00 m ²				
	小 計	33,233.05 m ²	m ²	m ²	33,233.05 m ²				
	そ の 他	8,251.28 m ²	m ²	m ²	8,251.28 m ²				
	合 計	41,484.33 m ²	m ²	m ²	41,484.33 m ²				
(2) 校 舎	専 用	16,305.47	16,395.39m ²	0m ²	16,305.47	16,395.39m ²	中央キャンパス賃貸借部分増加（1階）に伴う校舎面積の増加(2) 末広キャンパス 借用面積：930m ² 借用期間：25年 中央キャンパス 借用面積：4,107m ² 借用期間：25年		
	(4,555.95 m ²)	(3,644.67 m ²)	(4,926.47 m ²)	(13,127.09m ²)					
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体			
	23室	12室	18室	(補助職員 人)	(補助職員 人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数			共同研究室を学生研究室としたため(3)			
	生産システム科学部 生産システム科学科		18 20 室						
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書	学術雑誌		視聴覚資料	機械・器具	標 本		
		[うち外国書]	[うち外国書]	電子ジャーナル					
	冊	種	[うち外国書]	点	点	点			
	生産システム科学部	13,558 [524]	46 [29]	29 [29]	156	96	0		
生産システム科学科	(16,387 [623])	(816 [807])	(805 [805])	163	82	0			
計	13,558 [524]	46 [29]	29 [29]	156	96	0			
	(16,387 [623])	(816 [807])	(805 [805])	163	82	0			
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体 末広キャンパス建築に伴う図書館面積の減少(2)		
	909.83m ² 876.41m ²		118席		80,000冊				
(7) 体 育 館	面 積		体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要				大学全体		
	960.0m ²								
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	共通教育用の図書については、国際文化交流学部の図書として算定を行っている(30) 設備の位置をについてリースにて対応することとしたため(30) 設備購入費は大学全体
		教員1人当り研究費等	600千円	600千円	図書購入費	13,491千円 3,658千円	13,491千円	7,594千円	
		共同研究費等	6,000千円	6,000千円	設備購入費	130,000千円 111,156千円	98,000千円	3,000千円	
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
	市内学生918千円 その他1,059千円	636千円	636千円	636千円	— 千円	— 千円			
学生納付金以外の維持方法の概要		大学運営費交付金、資産運用収入、雑収入 等							

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和3年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(2)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学 の 名 称	公立小松大学						学生募集停止学科数	0	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	0	備 考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和3年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
生産システム科学部	4	80	-	320	-	1.03	1.01	-	平成30	-	
生産システム科学科	4	80	-	320	学士(工学)	1.03	1.01	-	平成30	石川県小松市土居原町10-10 石川県小松市西丁町ヌ1番地3	
保健医療学部	4	80	-	320	-	1.04	1.06	-	平成30	-	
看護学科	4	50	-	200	学士(看護学)	1.01	1.03	-	平成30	石川県小松市土居原町10-10 石川県小松市向本折町へ14番地1	
臨床工学科	4	30	-	120	学士(臨床工学)	1.08	1.10	-	平成30	同上	
国際文化交流学部	4	80	-	320	-	1.01	1.00	-	平成30	-	
国際文化交流学科	4	80	-	320	学士(国際文化学)	1.01	1.00	-	平成30	石川県小松市土居原町10-10	
大学全体	4	240	-	960	-	1.02	1.03	-	平成30	-	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。
 (専攻科及び別科を除く)。なお、調査対象の学科等が設置されている大学から順に記載してください
 ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 ・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和3年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	教授	中山 謙二 (72) <平成31年4月> 工学博士	アカデミック・スキルズ 統計学
兼任	教授	井関 尚一 (66) <平成30年4月> 医学博士	アカデミック・スキルズ
兼任	教授	八賀 正司 (64) <平成30年4月> 学術博士	アカデミック・スキルズ
兼任	准教授	辻村 真一 (39) <平成30年4月> 博士(工学)	情報処理応用B
兼任	講師	井澤 純子 (48) <平成30年4月> 博士(情報科学)	情報処理基礎
兼任	教授	岩田 礼 (65) <平成30年4月> 文学修士	アカデミック・スキルズ 言葉と文化 ※
兼任	教授	宮崎 猛 (67) <平成30年4月> 農学博士	アカデミック・スキルズ 自然資源と環境問題
兼任	教授	VANCE, Timothy John (66) <平成30年4月> Ph. D., Linguistics (米國)	言葉と文化 ※ 英語 I b 英語 II b
兼任	教授	盛田 清秀 (65) <平成30年4月> 博士(農学)	経済学 ※
兼任	教授	西村 聡 (65) <令和2年4月> 博士(文学)	南加賀の歴史と文化 日本の伝統芸能 文章表現法
兼任	教授	岡村 徹 (56) <平成30年4月> 博士(比較社会文化)	アカデミック・スキルズ 英語 I a 英語 II a 英語 II b
兼任	教授	杓谷 茂樹 (55) <平成30年4月> 修士(文学)	文化人類学 スペイン語 I スペイン語 II

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	教授	中山 謙二 (71) <平成31年4月> 工学博士	アカデミック・スキルズ 統計学
兼任	教授	井関 尚一 (66) <平成30年4月> 医学博士	アカデミック・スキルズ
兼任	教授	八賀 正司 (64) <平成30年4月> 学術博士	アカデミック・スキルズ
兼任	准教授	藤田 一寿 (39) <平成30年7月> 博士(工学)	情報処理応用B
兼任	講師	井澤 純子 (48) <平成30年4月> 博士(情報科学)	情報処理基礎
兼任	教授	岩田 礼 (65) <平成30年4月> 文学修士	アカデミック・スキルズ 言葉と文化 ※
兼任	教授	宮崎 猛 (67) <平成30年4月> 農学博士	アカデミック・スキルズ 自然資源と環境問題
兼任	教授	VANCE, Timothy John (66) <平成30年4月> Ph. D., Linguistics (米國)	言葉と文化 ※ 英語 I b 英語 II b
兼任	教授	盛田 清秀 (65) <平成30年4月> 博士(農学)	経済学 ※
兼任	教授	西村 聡 (63) <令和2年4月> 博士(文学)	南加賀の歴史と文化 日本の伝統芸能 文章表現法
兼任	教授	岡村 徹 (56) <平成30年4月> 博士(比較社会文化)	アカデミック・スキルズ 英語 I a 英語 II a 英語 II b
兼任	教授	杓谷 茂樹 (55) <平成30年4月> 修士(文学)	文化人類学 スペイン語 I スペイン語 II

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	教授	中山 謙二 (72) <平成31年4月> 工学博士	アカデミック・スキルズ 統計学
兼任	教授	井関 尚一 (67) <平成30年4月> 医学博士	アカデミック・スキルズ
兼任	教授	八賀 正司 (65) <平成30年4月> 学術博士	アカデミック・スキルズ
兼任	准教授	藤田 一寿 (40) <平成30年7月> 博士(工学)	情報処理応用B
兼任	講師	井澤 純子 (49) <平成30年4月> 博士(情報科学)	情報処理基礎
兼任	教授	岩田 礼 (66) <平成30年4月> 文学修士	アカデミック・スキルズ 言葉と文化 ※
兼任	教授	宮崎 猛 (68) <平成30年4月> 農学博士	アカデミック・スキルズ 自然資源と環境問題
兼任	教授	VANCE, Timothy John (67) <平成30年4月> Ph. D., Linguistics (米國)	言葉と文化 ※ 英語 I b 英語 II b
兼任	教授	盛田 清秀 (66) <平成30年4月> 博士(農学)	経済学 ※
兼任	教授	西村 聡 (64) <令和2年4月> 博士(文学)	南加賀の歴史と文化 日本の伝統芸能 文章表現法
兼任	教授	岡村 徹 (57) <平成30年4月> 博士(比較社会文化)	アカデミック・スキルズ 英語 I a 英語 II a 英語 II b
兼任	教授	杓谷 茂樹 (56) <平成30年4月> 修士(文学)	文化人類学 スペイン語 I スペイン語 II

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	教授	中山 謙二 (73) <平成31年4月> 工学博士	アカデミック・スキルズ 統計学
兼任	教授	井関 尚一 (68) <平成30年4月> 医学博士	アカデミック・スキルズ
兼任	教授	八賀 正司 (66) <平成30年4月> 学術博士	アカデミック・スキルズ
兼任	准教授	藤田 一寿 (41) <平成30年7月> 博士(工学)	情報処理応用B
兼任	講師	井澤 純子 (50) <平成30年4月> 博士(情報科学)	情報処理基礎
兼任	教授	岩田 礼 (67) <平成30年4月> 文学修士	アカデミック・スキルズ 言葉と文化 ※
兼任	教授	宮崎 猛 (69) <平成30年4月> 農学博士	アカデミック・スキルズ 自然資源と環境問題
兼任	教授	VANCE, Timothy John (68) <平成30年4月> Ph. D., Linguistics (米國)	言葉と文化 ※ 英語 I b 英語 II b
兼任	教授	盛田 清秀 (67) <平成30年4月> 博士(農学)	経済学 ※
兼任	教授	西村 聡 (65) <令和2年4月> 博士(文学)	南加賀の歴史と文化 日本の伝統芸能 文章表現法
兼任	教授	岡村 徹 (58) <平成30年4月> 博士(比較社会文化)	アカデミック・スキルズ 英語 I a 英語 II a 英語 II b
兼任	教授	杓谷 茂樹 (57) <平成30年4月> 修士(文学)	文化人類学 スペイン語 I スペイン語 II

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	教授	中山 謙二 (74) <平成31年4月> 工学博士	アカデミック・スキルズ 統計学
兼任	教授	井関 尚一 (69) <平成30年4月> 医学博士	アカデミック・スキルズ
兼任	教授	八賀 正司 (67) <平成30年4月> 学術博士	アカデミック・スキルズ
兼任	准教授	藤田 一寿 (42) <平成30年7月> 博士(工学)	情報処理応用B
兼任	講師	井澤 純子 (51) <平成30年4月> 博士(情報科学)	情報処理基礎
兼任	教授	岩田 礼 (68) <平成30年4月> 文学修士	アカデミック・スキルズ 言葉と文化 ※
兼任	教授	宮崎 猛 (68) <平成30年4月> 農学博士	アカデミック・スキルズ 自然資源と環境問題
兼任	教授	VANCE, Timothy John (68) <平成30年4月> Ph. D., Linguistics (米國)	言葉と文化 ※ 英語 I b 英語 II b
兼任	教授	盛田 清秀 (68) <平成30年4月> 博士(農学)	経済学 ※
兼任	教授	西村 聡 (66) <令和2年4月> 博士(文学)	南加賀の歴史と文化 日本の伝統芸能 文章表現法
兼任	教授	岡村 徹 (59) <平成30年4月> 博士(比較社会文化)	アカデミック・スキルズ 英語 I a 英語 II a 英語 II b
兼任	教授	杓谷 茂樹 (58) <平成30年4月> 修士(文学)	文化人類学 スペイン語 I スペイン語 II

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	教授	刘 通华 (55) <平成30年4月> 文学 硕士(中国)	中国語 I 中国語 II
兼任	准教授	塩谷 サルフィ マクスダ (63) <平成30年4月> Doctor of Philosophy (印国)	英語 I a 英語 II a 英語 II b
兼任	准教授	中子(佐藤) 富貴子 (50) <平成30年4月> 博士(創造都市)	アカデミック・スキルズ
兼任	准教授	小原 文衛 (49) <平成30年4月> 文学修士	英語 I a 英語 II a
兼任	准教授	一ノ瀬 忠之 (43) <平成30年4月> 博士(商学)	経済学 ※ ロシア語 I ロシア語 II
兼任	准教授	木村 誠 (38) <平成31年4月> 博士(学術)	アカデミック・スキルズ 心理学 人間の発達と心
兼任	准教授	木場 紗綾 (37) <平成30年4月> 博士(政治学)	アカデミック・スキルズ 政治学 ※
兼任	准教授	千葉 悠志 (32) <平成30年4月> 博士(地域研究)	アカデミック・スキルズ 政治学 ※
兼任	助教	長辻 幸 (35) <平成30年4月> 修士(文学)	英語 I a 英語 II a

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	教授	刘 通华 (55) <平成30年4月> 文学 硕士(中国)	中国語 I 中国語 II
兼任	准教授	塩谷 サルフィ マクスダ (63) <平成30年4月> Doctor of Philosophy (印国)	英語 I a 英語 II a 英語 II b
兼任	准教授	中子(佐藤) 富貴子 (50) <平成30年4月> 博士(創造都市)	アカデミック・スキルズ
兼任	准教授	小原 文衛 (49) <平成30年4月> 文学修士	英語 I a 英語 II a
兼任	准教授	一ノ瀬 忠之 (43) <平成30年4月> 博士(商学)	経済学 ※ ロシア語 I ロシア語 II
兼任	准教授	木村 誠 (38) <平成31年4月> 博士(学術)	アカデミック・スキルズ 心理学 人間の発達と心
兼任	准教授	木場 紗綾 (37) <平成30年4月> 博士(政治学)	アカデミック・スキルズ 政治学 ※
兼任	准教授	千葉 悠志 (32) <平成30年4月> 博士(地域研究)	アカデミック・スキルズ 政治学 ※
兼任	助教	長辻 幸 (35) <平成30年4月> 修士(文学)	英語 I a 英語 II a
兼任	教授	横川 善正 (69) <平成30年7月> 文学修士	医療と文化

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	教授	刘 通华 (56) <平成30年4月> 文学 硕士(中国)	中国語 I 中国語 II
兼任	准教授	塩谷 サルフィ マクスダ (64) <平成30年4月> Doctor of Philosophy (印国)	英語 I a 英語 II a 英語 II b
兼任	准教授	中子(佐藤) 富貴子 (51) <平成30年4月> 博士(創造都市)	アカデミック・スキルズ
兼任	准教授	小原 文衛 (50) <平成30年4月> 文学修士	英語 I a 英語 II a
兼任	准教授	一ノ瀬 忠之 (44) <平成30年4月> 博士(商学)	経済学 ※ ロシア語 I ロシア語 II
兼任	准教授	木村 誠 (39) <平成31年4月> 博士(学術)	アカデミック・スキルズ 心理学 人間の発達と心
兼任	准教授	木場 紗綾 (38) <平成30年4月> 博士(政治学)	アカデミック・スキルズ 政治学 ※
兼任	准教授	千葉 悠志 (33) <平成30年4月> 博士(地域研究)	アカデミック・スキルズ 政治学 ※
兼任	助教	長辻 幸 (36) <平成30年4月> 修士(文学)	英語 I a 英語 II a
兼任	教授	横川 善正 (70) <平成30年7月> 文学修士	医療と文化 英語 I a

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	教授	刘 通华 (57) <平成30年4月> 文学 硕士(中国)	中国語 I 中国語 II
兼任	准教授	塩谷 サルフィ マクスダ (65) <平成30年4月> Doctor of Philosophy (印国)	英語 I a 英語 II a 英語 II b
兼任	准教授	中子(佐藤) 富貴子 (52) <平成30年4月> 博士(創造都市)	アカデミック・スキルズ
兼任	准教授	小原 文衛 (51) <平成30年4月> 博士(文学)	英語 I a 英語 II a
兼任	准教授	一ノ瀬 忠之 (45) <平成30年4月> 博士(商学)	経済学 ※ ロシア語 I ロシア語 II
兼任	准教授	木村 誠 (40) <平成31年4月> 博士(学術)	アカデミック・スキルズ 心理学 人間の発達と心
兼任	准教授	木場 紗綾 (39) <平成30年4月> 博士(政治学)	アカデミック・スキルズ 政治学 ※
兼任	准教授	千葉 悠志 (34) <平成30年4月> 博士(地域研究)	アカデミック・スキルズ 政治学 ※
兼任	助教	長辻 幸 (37) <平成30年4月> 修士(文学)	英語 I a 英語 II a
兼任	准教授	高内 俊彦 (50) <令和2年4月> 博士(学術)	英語 III 英会話 I 英会話 II 実用英語 I 実用英語 II 実用英語 III 実用英語 IV 技術英語 I 技術英語 II 技術英語演習 I 技術英語演習 II
兼任	教授	横川 善正 (71) <平成30年7月> 文学修士	医療と文化 英語 I a

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	教授	刘 通华 (58) <平成30年4月> 文学 硕士(中国)	中国語 I 中国語 II
兼任	准教授	塩谷 サルフィ マクスダ (66) <平成30年4月> Doctor of Philosophy (印国)	英語 I a 英語 II a 英語 II b
兼任	准教授	中子(佐藤) 富貴子 (53) <平成30年4月> 博士(創造都市)	アカデミック・スキルズ
兼任	教授	小原 文衛 (52) <平成30年4月> 博士(文学)	英語 I a 英語 II a
兼任	准教授	一ノ瀬 忠之 (46) <平成30年4月> 博士(商学)	経済学 ※ ロシア語 I ロシア語 II
兼任	准教授	木村 誠 (41) <平成31年4月> 博士(学術)	アカデミック・スキルズ 心理学 人間の発達と心
兼任	准教授	木場 紗綾 (40) <平成30年4月> 博士(政治学)	アカデミック・スキルズ 政治学 ※
兼任	准教授	千葉 悠志 (35) <平成30年4月> 博士(地域研究)	アカデミック・スキルズ 政治学 ※
兼任	助教	長辻 幸 (38) <平成30年4月> 修士(文学)	英語 I a 英語 II a
兼任	教授	高内 俊彦 (51) <令和2年4月> 博士(学術)	英語 III 英会話 I 英会話 II 実用英語 I 実用英語 II 実用英語 III 実用英語 IV 技術英語 I 技術英語 II 技術英語演習 I 技術英語演習 II
兼任	教授	横川 善正 (72) <平成30年7月> 文学修士	医療と文化 英語 I a

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	
兼任	講師	田村 博志 (64) <平成30年4月> 理学博士	現代科学技術論 ※ 応用数学 I 工業数学 応用数学 II 複素解析	兼任	講師	田村 博志 (64) <平成30年4月> 理学博士										
兼任	講師	新田 雅道 (59) <平成30年4月> 博士(工学)	テーマ別基礎ゼミ 情報処理基礎 データ科学と社会 ※ プログラミング I	兼任	講師	新田 雅道 (59) <平成30年4月> 博士(工学)										
兼任	講師	岩田 佳雄 (64) <平成30年4月> 工学博士	日本産業史 ※	兼任	講師	岩田 佳雄 (64) <平成30年4月> 工学博士										
兼任	准教授	木村 誠 (37) <平成30年4月> 博士(学術)	アカデミック・スキルズ 心理学 人間の発達と心	兼任	准教授	木村 誠 (37) <平成30年4月> 博士(学術)										
兼任	講師	西村 聡 (63) <平成30年4月>	南加賀の歴史と文化 日本の伝統芸能 文章表現法	兼任	講師	西村 聡 (63) <平成30年4月>		兼任	講師	西村 聡 (64) <平成30年4月>	南加賀の歴史と文化 日本の伝統芸能 文章表現法					
兼任	講師	三浦 要 (59) <平成30年4月> 博士(文学)	哲学 クリティカルシンキング	兼任	講師	三浦 要 (59) <平成30年4月> 博士(文学)		兼任	講師	三浦 要 (60) <平成30年4月> 博士(文学)	哲学 クリティカルシンキング		兼任	講師	三浦 要 (61) <平成30年4月> 博士(文学)	哲学 クリティカルシンキング
兼任	講師	中山 謙二 (71) <平成30年4月> 工学博士	アカデミック・スキルズ 統計学	兼任	講師	中山 謙二 (71) <平成30年4月> 工学博士										
兼任	講師	宇根 義己 (38) <平成30年4月> 博士(文学)	人文地理学	兼任	講師	宇根 義己 (38) <平成30年4月> 博士(文学)		兼任	講師	宇根 義己 (40) <平成30年4月> 博士(文学)	人文地理学		兼任	講師	宇根 義己 (41) <平成30年4月> 博士(文学)	人文地理学
兼任	講師	院 隼子 (41) <平成30年4月> 博士(学術)	医療と文化													
兼任	講師	清部 明男 (68) <平成30年4月> 文学修士	社会学	兼任	講師	清部 明男 (68) <平成30年4月> 文学修士		兼任	講師	清部 明男 (69) <平成30年4月> 文学修士	社会学		兼任	講師	清部 明男 (71) <平成30年4月> 文学修士	社会学
兼任	講師	木村 高宏 (43) <平成30年4月> 博士(政策科学)	公共政策論	兼任	講師	木村 高宏 (43) <平成30年4月> 博士(政策科学)		兼任	講師	木村 高宏 (44) <平成30年4月> 博士(政策科学)	公共政策論		兼任	講師	木村 高宏 (45) <平成30年4月> 博士(政策科学)	公共政策論
兼任	講師	井上 英夫 (70) <平成30年4月> 法学修士	社会福祉論	兼任	講師	井上 英夫 (70) <平成30年4月> 法学修士		兼任	講師	井上 英夫 (71) <平成30年4月> 法学修士	社会福祉論		兼任	講師	井上 英夫 (72) <平成30年4月> 法学修士	社会福祉論
兼任	講師	山崎 友也 (45) <平成30年4月> 修士(法学)	日本国憲法	兼任	講師	山崎 友也 (45) <平成30年4月> 修士(法学)		兼任	講師	山崎 友也 (46) <平成30年4月> 修士(法学)	日本国憲法		兼任	講師	山崎 友也 (47) <平成30年4月> 修士(法学)	日本国憲法
兼任	講師	柳原 千秋 (56) <平成30年4月> 博士(保健学)	健康と体の科学 ※	兼任	講師	柳原 千秋 (56) <平成30年4月> 博士(保健学)		兼任	講師	柳原 千秋 (57) <平成30年4月> 博士(保健学)	健康と体の科学 ※		兼任	講師	柳原 千秋 (58) <平成30年4月> 博士(保健学)	健康と体の科学 ※
兼任	講師	柳原 千秋 (59) <平成30年4月> 博士(保健学)	健康と体の科学 ※	兼任	講師	柳原 千秋 (59) <平成30年4月> 博士(保健学)		兼任	講師	柳原 千秋 (59) <平成30年4月> 博士(保健学)	健康と体の科学 ※		兼任	講師	柳原 千秋 (59) <平成30年4月> 博士(保健学)	健康と体の科学 ※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	松下 裕子 (58) <平成30年4月> 体育学士	スポーツ演習 (バレーボール) スポーツ演習 (硬式テニス) スポーツ演習 (フットサル) スポーツ演習 (卓球) スポーツ演習 (バドミントン)
兼任	講師	川島 嘉美 (49) <令和2年4月> 修士 (文学)	英語 I a
兼任	講師	ABE DAVID KIYOSHI (55) <令和2年4月> 博士 (学術)	英語 I a
兼任	講師	Raker Vincent ERIC (49) <平成30年4月> B. A. (Psychology) (米国)	英語 I b 英語 II b
兼任	講師	ERTL JOHN JOSEF (43) <平成30年4月> PhD Cultural Anthropology (米国)	英語 I b
兼任	講師	FOX SENAN JAMES (42) <平成30年4月> PhD in International Relations (英国)	英語 II b
兼任	講師	島内 俊彦 (48) <平成30年4月> 学士 (外国研究)	英語 III 英会話 I 英会話 II 実用英語 I 実用英語 II 実用英語 III 実用英語 IV 技術英語 I 技術英語 II 技術英語演習 I 技術英語演習 II
兼任	講師	岩津 航 (42) <平成30年4月> Doctorat (Littérature comparée) (仏国)	フランス語 I フランス語 II
兼任	講師	名執 純子 (49) <平成30年4月> 修士 (文学)	ドイツ語 I ドイツ語 II
兼任	講師	南俣 英孝 (46) <平成30年4月> 博士 (工学)	情報処理基礎 プログラミング I
兼任	講師	田村 和弘 (61) <平成30年4月> 工学博士	化学入門

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	松下 裕子 (58) <平成30年4月> 体育学士	スポーツ演習 (バレーボール) スポーツ演習 (硬式テニス) スポーツ演習 (フットサル) スポーツ演習 (卓球) スポーツ演習 (バドミントン)
兼任	講師	川島 嘉美 (49) <令和2年4月> 修士 (文学)	英語 I a
兼任	講師	ABE DAVID KIYOSHI (53) <令和2年4月> 博士 (学術)	英語 I a
兼任	講師	Raker Vincent ERIC (49) <平成30年4月> B. A. (Psychology) (米国)	英語 I b 英語 II b
兼任	講師	FOX SENAN JAMES (42) <平成30年4月> PhD in International Relations (英国)	英語 II b
兼任	講師	島内 俊彦 (48) <平成30年4月> 学士 (外国研究)	英語 III 英会話 I 英会話 II 実用英語 I 実用英語 II 実用英語 III 実用英語 IV 技術英語 I 技術英語 II 技術英語演習 I 技術英語演習 II
兼任	講師	岩津 航 (42) <平成30年4月> Doctorat (Littérature comparée) (仏国)	フランス語 I フランス語 II
兼任	講師	名執 純子 (49) <平成30年4月> 修士 (文学)	ドイツ語 I ドイツ語 II
兼任	講師	南俣 英孝 (46) <平成30年4月> 博士 (工学)	情報処理基礎 プログラミング I
兼任	講師	田村 和弘 (61) <平成30年4月> 工学博士	化学入門

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	松下 裕子 (59) <平成30年4月> 体育学士	スポーツ演習 (バレーボール) スポーツ演習 (硬式テニス) スポーツ演習 (フットサル) スポーツ演習 (卓球) スポーツ演習 (バドミントン)
兼任	講師	川島 嘉美 (50) <令和2年4月> 修士 (文学)	英語 I a
兼任	講師	ABE DAVID KIYOSHI (54) <令和2年4月> 博士 (学術)	英語 I a
兼任	講師	Raker Vincent ERIC (50) <平成30年4月> B. A. (Psychology) (米国)	英語 I b 英語 II b
兼任	講師	FOX SENAN JAMES (43) <平成30年4月> PhD in International Relations (英国)	英語 I b 英語 II b
兼任	講師	島内 俊彦 (49) <平成30年4月> 学士 (外国研究)	英語 III 英会話 I 英会話 II 実用英語 I 実用英語 II 実用英語 III 実用英語 IV 技術英語 I 技術英語 II 技術英語演習 I 技術英語演習 II
兼任	講師	岩津 航 (44) <平成30年4月> Doctorat (Littérature comparée) (仏国)	フランス語 I フランス語 II
兼任	講師	名執 純子 (50) <平成30年4月> 修士 (文学)	ドイツ語 I ドイツ語 II
兼任	講師	南俣 英孝 (47) <平成30年4月> 博士 (工学)	情報処理基礎 プログラミング I
兼任	講師	田村 和弘 (62) <平成30年4月> 工学博士	化学入門

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	松下 裕子 (60) <平成30年4月> 体育学士	スポーツ演習 (バレーボール) スポーツ演習 (硬式テニス) スポーツ演習 (フットサル) スポーツ演習 (卓球) スポーツ演習 (バドミントン)
兼任	講師	川島 嘉美 (51) <令和2年4月> 修士 (学術)	英語 I a
兼任	講師	ABE DAVID KIYOSHI (55) <令和2年4月> 博士 (学術)	英語 I a
兼任	講師	Raker Vincent ERIC (51) <平成30年4月> B. A. (Psychology) (米国)	英語 I b 英語 II b
兼任	講師	FOX SENAN JAMES (44) <平成30年4月> PhD in International Relations (英国)	英語 I b 英語 II b
兼任	講師	岩津 航 (45) <平成30年4月> Doctorat (Littérature comparée) (仏国)	フランス語 I フランス語 II
兼任	講師	名執 純子 (51) <平成30年4月> 修士 (文学)	ドイツ語 I ドイツ語 II
兼任	講師	南俣 英孝 (48) <平成30年4月> 博士 (工学)	情報処理基礎 プログラミング I
兼任	講師	田村 和弘 (63) <平成30年4月> 工学博士	化学入門

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	松下 裕子 (61) <平成30年4月> 体育学士	スポーツ演習 (バレーボール) スポーツ演習 (硬式テニス) スポーツ演習 (フットサル) スポーツ演習 (卓球) スポーツ演習 (バドミントン)
兼任	講師	川島 嘉美 (52) <令和2年4月> 修士 (学術)	英語 I a 英語 II a
兼任	講師	ABE DAVID KIYOSHI (56) <令和2年4月> 博士 (学術)	英語 I a 英語 II a
兼任	講師	Raker Vincent ERIC (52) <平成30年4月> B. A. (Psychology) (米国)	英語 I b 英語 II b
兼任	講師	FOX SENAN JAMES (45) <平成30年4月> PhD in International Relations (英国)	英語 I b 英語 II b
兼任	講師	岩津 航 (45) <平成30年4月> Doctorat (Littérature comparée) (仏国)	フランス語 I フランス語 II
兼任	講師	名執 純子 (52) <平成30年4月> 修士 (文学)	ドイツ語 I ドイツ語 II
兼任	講師	南俣 英孝 (49) <平成30年4月> 博士 (工学)	情報処理基礎 プログラミング I
兼任	講師	田村 和弘 (64) <平成30年4月> 工学博士	化学入門
兼任	講師	加藤 和夫 (68) <令和3年4月>	言葉と文化

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【平成30年度】

- ・立野大地助教就任辞退。初年度前期に担当科目がないことから、朴亨原を科目を担当しない助教として採用し、平成30年度第1回AC教員審査に提出（平成30年4月教員審査済）。
- ・共通教育科目「医療と文化」の担当教員を、兼任教員から兼任教員である横川善正教授に変更。国際文化交流学部専任教員として平成30年度第1回AC教員審査に提出（平成30年4月教員審査済）。
- ・辻村真一准教授就任辞退。代わりに兼任教員の藤田 一寿准教授を共通教育科目「情報処理応用B」の担当とする。

【令和元年度】

- ・専門科目「プログラミングⅠ」「プログラミングⅡ」の担当教員として、専任教員の梶原 祐輔准教授を追加。平成31年度第1回AC教員審査に提出（平成31年4月教員審査済）。
- ・共通教育科目「情報処理基礎」の担当教員として、専任教員の史 金星助教を追加。平成31年度第1回AC教員審査に提出（平成31年4月教員審査済）。
- ・共通教育科目「情報処理基礎」の担当教員として、専任教員の朴 亨原助教を追加。平成31年度第1回AC教員審査に提出（平成31年4月教員審査済）。
- ・共通教育科目「英語Ⅰa」の担当教員として、兼任教員の横川善正教授を追加（平成31年1月教員審査済）。
- ・共通教育科目「英語Ⅰb」の担当教員を、兼任教員のERTL JOHN JOSEF講師から兼任教員のFOX SENAN JAMES講師に変更。
- ・共通教育科目「フランス語Ⅰ」「フランス語Ⅱ」の担当教員を、兼任教員の岩津 航講師から兼任教員の大竹口 麻里講師に変更。

【令和2年度】

- ・共通教育科目「フランス語Ⅰ」「フランス語Ⅱ」の担当教員を、兼任教員の岩津 航講師から兼任教員の岩津 航講師に変更
- ・兼任教員の川島 嘉美講師の本務先の事情により共通教育科目「英語Ⅰa」の担当が困難になったため担当教員表から削除。
- ・兼任教員の島内 俊彦准教授の新規採用にともない、兼任教員から兼任教員に変更。保有学位を学士（外国研究）から博士（学術）に変更。
- ・兼任教員の小原 文衛准教授の保有学位を文学修士から博士（文学）に変更。

【令和3年度】

- ・専門科目「プログラミングⅡ」の担当教員として、専任教員の木村春彦教授を追加。令和3年度第1回AC教員審査に提出（令和3年5月現在教員審査中）。
- ・専任教員の石若 裕子准教授就任辞退
- ・専任教員の史金星助教の職位を准教授に変更。
- ・専任教員の朴亨原助教の職位を准教授に変更。
- ・新田 雅道教授退任。代わりに専任教員として上野 祐亮助教を採用し、共通教育科目「テーマ別基礎ゼミ」「情報処理基礎」専門科目「機械設計製図Ⅰ」「機械設計製図Ⅱ」「機械工作実習」「機械電気工学実験Ⅰ」「機械電気工学実験Ⅱ」「課題探求プロジェクト」「課題研究ゼミナール」「卒業研究」の担当教員として追加。令和2年度第4回AC教員審査に提出（令和3年1月教員審査済）。
- ・専門科目「プログラミングⅠ」「プログラミングⅡ」の担当教員として兼任教員の坂本 一磨講師を追加。
- ・兼任教員の小原 文衛准教授の職位を教授に変更。
- ・兼任教員の長辻 幸助教の職位を准教授に変更。
- ・宮崎 猛教授退任にともない共通教育科目「自然資源と環境問題」の担当教員として兼任教員の朝倉 由希講師を追加。
- ・共通教育科目「英語Ⅱa」の担当教員として、兼任教員のABE DAVID KIYOSHI講師を追加。
- ・共通教育科目「言葉と文化」の担当教員として、兼任教員の加藤 和夫講師を追加。

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（令和元年度開設であれば平成30年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
14	7
名	名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一により算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')
13	4	0	2	19	0	12	5	0	2	19	0
9	3	0	2	14	0						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')
13	4	0	2	19	0	13	4	0	2	19	0
[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「**現在（報告時）の完成年度時の状況**」には、「**現在（報告時）の状況**」に記入した数字に、**教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入**するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65	8	8
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{19}{19} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{8}{19} = \boxed{42.1} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由						
1	助教	立野 大地	H29.10	必修	テーマ別基礎ゼミ	①	H29.10 他大学の教員着任のため就任辞退（29）						
				必修	機械設計製図Ⅱ	①							
				必修	機械工作実習	①							
				必修	機械電気工学実験Ⅰ	①							
				必修	機械電気工学実験Ⅱ	①							
				必修	課題探求プロジェクト	①							
				必修	課題研究ゼミナール	①							
				必修	卒業研究	①							
2	准教授	石若 裕子	R2.12	必修	テーマ別基礎ゼミ	①	R2.12 現在の勤務先に引き続き勤務することにしたため就任辞退（3）						
				必修	情報処理基礎	①							
				選択	情報処理応用A	①							
				必修	プログラミングⅠ	①							
				必修	課題探求プロジェクト	①							
				必修	課題研究ゼミナール	①							
				必修	卒業研究	①							
合計（D）					後任補充状況の集計（E）								
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）						
2	人	必修	14	科目	必修	14	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	1	科目	選択	1	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	15	科目	計	15	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由						
1	教授	新田 雅道	R3.3	必修	テーマ別基礎ゼミ	①	R3.3.31付け自己都合のため辞職（3）						
				必修	情報処理基礎	①							
				選択	データ科学と社会	①							
				必修	プログラミングⅠ	①							
				必修	課題探求プロジェクト	①							
				必修	課題研究ゼミナール	①							
				選択	プログラミングⅡ	①							
				必修	卒業研究	①							
合計（F）					後任補充状況の集計（G）								
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）						
1	人	必修	6	科目	必修	6	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	2	科目	選択	2	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	8	科目	計	8	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(3) -③ 上記(3) -① ・ (3) -② の合計

合計(D) + (F)			後任補充状況の集計(E) + (G)					
辞任等した教員数	担当科目数の合計(a) + (b) + (c)		①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)	
3 人	必修	20 科目	必修	20 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
	選択	3 科目	選択	3 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	23 科目	計	23 科目	計	0 科目	計	0 科目

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計(D)+(F)}}{(2) - ② \text{設置時の計画(A)}} = \frac{3}{19} = \boxed{15.78} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) -⑤ 令和2年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

人

- (注) ・ (3) -①、(3) -②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。

(3) -⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
		該当なし							
合計			後任補充状況の集計						
辞任した教員数		担当科目数の合計(a) + (b) + (c)		①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)	
0 人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	
	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	
	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	
	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

専任教員辞任による科目担当者変更については、授業担当能力を満たしている専任教員で対応出来ており、学生の履修等への影響は無いものとする。学生への周知については時間割および学科オリエンテーションによって行った。今後専任教員の交代があった場合についても、授業担当能力のある教員を配置して学生の履修への影響の無いように徹底したい。

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の 実 施 計 画
<p>認 可 時 (平成29年)</p>	<p>・設置の趣旨・目的等が生かされるよう、設置計画を確実に履行すること。また、開設時から4年制大学にふさわしい教育研究活動を行うことはもとより、その水準を一層向上させるよう努めること。</p> <p style="text-align: center;">留意事項</p>	<p>・理事長・学長のトップマネジメントのもとに、設置計画を確実に履行し、的確な大学運営を行っている。</p> <p>・教育研究活動水準の向上に向け、全学委員会及び学部教授会の両体制から取り組みを行うことを予定している。 (平成30年度)</p> <p>・設置計画の的確な履行に向け、各種審議会や全学委員会を組織し、理事長・学長のトップマネジメントのもとに大学を組織的に運営するための体制を構築した。</p> <p>・授業評価アンケートに基づく授業改善活動や学部内でのプロジェクト型研究の始動など、教育研究活動の水準向上のための活動を実施している。</p> <p>・中期計画及び年度計画に基づき、一つひとつの事項を計画的に推進するとともに、定期的な進捗管理を行う体制を構築した。 (令和元年度)</p> <p>・引き続き中期計画及び年度計画に基づき、一つひとつの事項を計画的に推進するとともに、各種委員会において定期的な進捗管理を行った。 (令和2年度)</p> <p>・設置計画を的確に履行するとともに、教育研究活動のさらなる向上のため、授業評価アンケートや学部内でのプロジェクト型研究を実施した。</p> <p>・中期計画および年度計画の進捗状況確認のため、年2回自己点検・評価委員会を実施した。 (令和3年度)</p> <p style="text-align: center;">履行中</p>	<p>・5月に6年間の計画である中期計画(6年間の計画)を策定し、その後、年度計画を策定する。</p> <p>・年度計画を踏まえ、全学委員会である「教育企画委員会」、「研究・地域連携委員会」が具体的な活動計画を策定し、個々の活動は学部教授会のもとに行っていく。 (平成30年度)</p> <p>・大学の各組織が行う活動が設置の趣旨・目的を踏まえた取組となっているのかを、理事長・学長のトップマネジメントもとに行う進捗管理の中で確認し、計画が適切に履行されているのかを検証していく。 (令和元年度)</p> <p>・理事長・学長のトップマネジメントのもと、各種審議会や全学委員会において、計画が適切に履行されているか引き続き検証していく。</p> <p>・自己点検・評価委員会を定期的に開催し、各組織の課題と進捗状況について情報共有するとともに、組織間の連携を図る。 (令和2年度)</p> <p>・引き続き、自己点検・評価委員会を定期的に開催し、各組織の課題と進捗状況について情報共有するとともに、組織間の連携を図る。 (令和3年度)</p>

<p>認可時 (平成29年)</p>	<p>・完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について着実に実施すること。</p>	<p>留意事項</p>	<p>・豊富な経験と業績を持つ教授と若手教員が連携して活動を行い、後継者の育成を行っている。 ・中長期的な観点から、教員採用・育成のための計画を策定し、それに沿って教員人事の適正な運用を行う予定である。 (平成30年度)</p> <p>・引き続き豊富な経験と業績を持つ教授と若手教員が連携して活動を行うことで、後継者の育成を行っている。 ・教員組織の在り方について、学部学科ごとに検討を行っている。また、今後の教員採用にあたっての基準づくりを行っている。 (令和元年度)</p>	<p>履行中</p>	<p>・今年度中に、完成年度までの教員採用・育成計画を策定に着手する。策定後は、計画のもとに、教員の公募・育成等を行うとともに、適宜AC教員審査に諮っていく。 (平成30年度)</p> <p>・教員採用・育成のための計画づくりを推進するとともに、学部学科間のバランスや経営状況を踏まえた全学的な視点での検討も行う。 (令和元年度)</p>
<p>設置計画履行状況調査時 (令和元年)</p>	<p>・定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。</p>	<p>指摘事項 (改善)</p>	<p>・引き続き豊富な経験と業績を持つ教授と若手教員が連携して活動を行うことで、後継者の育成を行っている。 ・引き続き教員組織の在り方について検討を行っている。 ・教員採用計画に基づき、教員の公募を開始している。 (令和2年度)</p>	<p>履行中</p>	<p>・今年度中に、教員採用・育成計画のもとに、教員の公募・育成を行い、適宜AC教員審査に諮っていく。 (令和2年度)</p>
<p>設置計画履行状況調査時 (令和2年)</p>	<p>・定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。</p>	<p>指摘事項 (改善)</p>	<p>・引き続き豊富な経験と業績を持つ教授と若手教員が連携して活動を行うことで、後継者の育成を行っている。 ・引き続き教員組織の在り方について検討を行っている。 ・引き続き教員採用計画に基づき、教員の公募を行っている。 (令和3年度)</p>	<p>履行中</p>	<p>・昨年度から引き続き、教員採用・育成計画のもとに、教員の公募・育成を行い、適宜AC教員審査に諮っていく。 (令和3年度)</p>

- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
- ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<生産システム科学部 生産システム科学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 公立小松大学FD・SD推進委員会規則を制定（30年4月）</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） 平成31年3月 開催</p> <p>c 委員会の審議事項等 FD・SDの推進計画の策定、実施に関すること</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 財務システム研修会 ・ 公立大学の役割を学ぶ研修会 ・ 入試の全国的な動向や高校生の傾向を学ぶ研修会 ・ 労働安全衛生に係る研修会 ・ 競争的研究資金獲得に向けた研修会 ・ 研究倫理研修会（e-ラーニング） ・ 新任事務職員のための研修会 ・ 授業方法に係る研修会 ・ 研究計画調書の作成に係る研修会 ・ 救命講習会 ・ 大学コンソーシアム主催 オンライン研修会 ・ 公立大学協会配信オンライン研修 ・ 公立大学職員セミナー ・ 公立大学法人会計セミナー <p>b 実施方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 開学後早急にFD・SD活動を開始するため、理事長・学長の指導のもと、各委員会等が研修会を企画した。全学における実施結果は、公立小松大学FD・SD推進委員会がとりまとめ総括した。
--

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・ 財務システム研修会（30年4月、31年4月） 教員・事務職員対象 全員受講
- ・ 公立大学の役割を学ぶ研修会（30年7月、元年7月） 教員・事務職員対象 88人参加
- ・ 入試の全国的な動向や高校生の傾向を学ぶ研修会（30年8月、元年8月）
教員・入試関連事務職員対象 62人参加
- ・ 労働安全衛生に係る研修会（31年2月） 教員・事務職員対象 66人参加
- ・ 競争的研究資金獲得に向けた研修会（31年3月） 教員・研究関連事務職員対象 32人参加
- ・ 研究倫理研修会（e-ラーニング） 教員対象 3月までに全教員の受講完了を確認
- ・ 新任事務職員のための研修会（30年4月～10月、31年4月～10月） 新任事務職員対象 11人参加
- ・ 授業評価アンケートの結果を受け、学長から学部長・学科長に対し指導を指示
学科ごとに対応を実施（30年12月）
- ・ 授業方法に係る研修会（元年7月） 教員対象 74人参加
- ・ 研究計画調書の作成に係る研修会（元年9月） 教員対象 60人参加
- ・ 救命講習会（元年9月） 教員・事務職員対象 全員受講
- ・ 大学コンソーシアム主催 オンライン研修会（令和2年9月） 教員・事務職員対象 62人参加
- ・ 公立大学協会配信オンライン研修 事務・医療職員 5人参加
- ・ 公立大学職員セミナー 事務職員 11人参加
- ・ 公立大学法人会計セミナー 事務職員 5人参加

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・ 授業評価アンケートに基づき、学部学科単位で改善を実施
- ・ プレゼンテーション能力やアクティブラーニング等の研修実施に向けた準備を実施中

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

前期・後期のそれぞれの終了時に授業科目ごとに実施

b 教員や学生への公開状況、方法等

- ・ 授業評価アンケートの結果を受け、学長から学部長・学科長に対し指導を指示
学科ごとに対応を実施（30年12月、元年12月、令和2年7～8月、1～2月）
- ・ アンケート結果を受けての大学としての対応について、学長メッセージとして掲示板に掲示し周知している
（前期・後期終了後）

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

地方独立行政法人法の規定も踏まえ、自己点検・評価委員会を設置し、理事長・学長のトップマネジメントによる法人・大学の運営が行われる仕組みを構築した。大学の各組織は、年に2度理事長・学長によるヒアリングを受けることとなっており、目標や方針の確認及び進捗状況の点検確認を行っている。

職員の資質や意識の更なる向上を図りつつ、設置の趣旨・目的に達成に向け組織全体が一丸となって取り組んでいく環境を引き続き整えていきたい。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・令和3年6月 公表予定

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開予定（令和3年6月末を予定）

③ 認証評価を受ける計画

・学内で検討を行っている。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和3年度）

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

≪ aで「有」の場合 ≫

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他（ ）]

≪ aで公表「無」の場合 ≫

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、
設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

大学番号 公立10

注3

設置年度 平成 30年度

計画の区分： 大学の設置

注1

認可

公立小松大学 保健医療学部 看護学科

注2

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

公立大学法人公立小松大学
令和3年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名

総務課

職名・氏名

カカリインカミバヤシ
係員・上林 あい

電話番号

0761-23-6600

（夜間）

0761-23-6600

e-mail

soumu@komatsu-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・大学の設置の場合：「〇〇大学」
- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、調査対象大学等に対して別途発出する、事務連絡「令和3年度の履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

保健医療学部

<看護学科>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	19
4. 既設大学等の状況	20
5. 教員組織の状況	21
6. 附帯事項等に対する履行状況等	36
7. その他全般的事項	39

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

公立大学法人公立小松大学

(2) 大学名

公立小松大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒923-0921

石川県小松市土居原町10-10

〒923-0961

石川県小松市向本折町へ14-1

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(イシダ ヒロト) 石田 寛人 (現職就任30年4月)		
学長	(ヤマモト ヒロシ) 山本 博 (現職就任30年4月)		
学部長	(キタオカ カズヨ) 北岡 和代 (現職就任30年4月)		
学科長等	(キタオカ カズヨ) 北岡 和代 (現職就任30年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 令和2年度に報告済の内容 → (2)

令和3年度に報告する内容 → (3)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載してください。その場合別ファイルを作成し提出してください。
- ・ 様式は、平成29年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和2年度までの5年間）ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
保健医療学部 看護学科 学士（看護学）	保健衛生学関係（看護学関係及びリハビリテーション関係を除く。）	4年	50人	— 年次	200人		

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1）」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	—	—	50人	—	50人	—	50人	—	50人	—	1.03	—	
志願者数	(—) [—]	(—) [—]	562	—	395	—	323	—	376	—			
受験者数	(—) [—]	(—) [—]	448	—	223	—	185	—	233	—			
合格者数	(—) [—]	(—) [—]	129	—	56	—	65	—	69	—			
B 入学者数	(—) [—]	(—) [—]	53	—	50	—	51	—	52	—			
入学定員超過率 B/A	—	—	1.06	—	1	—	1.02	—	1.04	—			

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ （ ）内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、（（ ）書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度（令和3年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「—」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	— [—] (—)	— [—] (—)	53 [—] (—)	— [—] (—)	50 [—] (—)	— [—] (—)	51 [—] (—)	— [—] (—)	52 [—] (—)	— [—] (—)	
2年次	/		— [—] (—)	— [—] (—)	53 [—] (—)	— [—] (—)	50 [—] (—)	— [—] (—)	51 [—] (—)	— [—] (—)	
3年次			/		/		— [—] (—)	— [—] (—)	52 [—] (—)	— [—] (—)	50 [—] (—)
4年次	/						/		/		— [—] (—)
計			— [—] (—)	53 [—] (—)	103 [—] (—)	153 [—] (—)					205 [—] (—)

・ 令和3年5月1日 公表

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成29年度	— 人	— 人	平成29年度	— 人	— 人	
平成30年度	53 人	0 人	平成29年度	— 人	— 人	
			平成30年度	0 人	0 人	
令和元年度	103 人	0 人	平成29年度	— 人	— 人	
			平成30年度	0 人	0 人	
			令和元年度	0 人	0 人	
令和2年度	154 人	1 人	平成29年度	— 人	— 人	
			平成30年度	1 人	0 人	学習意欲の低下(1人)
			令和元年度	0 人	0 人	
			令和2年度	0 人	0 人	
令和3年度	205 人	0 人	平成29年度	— 人	— 人	
			平成30年度	0 人	0 人	
			令和元年度	0 人	0 人	
			令和2年度	0 人	0 人	
			令和3年度	0 人	0 人	
合 計		1 人		1 人	0 人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{—}{—} = \boxed{\#VALUE!} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{53} = \boxed{0} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{103} = \boxed{0} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{1}{154} = \boxed{0.64} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{205} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<保健医療学部 看護学科>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通教育科目	導入科目	キャリアデザイン・チーム論Ⅱ	1前	1			1		1	1		3
		アカデミック・スキルズ	1前	1								11
		テーマ別基礎ゼミ	1後	2			3	1	1			5
		情報処理基礎	1前	2								6
		南加賀の歴史と文化	1後	2								1
	小計(5科目)	-	8	0	0	4	1	2	1	0	24	
	一般科目(人間力)	哲学	1前		2							1
		心理学	1前		2							1
		人間の発達と心	1前		2							1
		日本の伝統芸能	1前		2							1
		人文地理学	1後		2							1
		文化人類学	1後		2							1
		医療と文化	1後		2							1
		文章表現法	1後		2							1
		言葉と文化	1後		2							2
	小計(9科目)	-	0	18	0	0	0	0	0	0	8	
	一般科目(社会力)	日本産業史	1前		2							4
		自然資源と環境問題	1前		2							1
		経済学	1前		2							2
		政治学	1後		2							2
		社会学	1後		2							1
		公共政策論	1後		2							1
		社会福祉論	1後		2							1
		日本国憲法	1前		2							1
小計(8科目)	-	0	16	0	0	0	0	0	0	13		
一般科目(科学力)	データ科学と社会	1前		2							3	
	情報処理応用A	1後		2							2	
	情報処理応用B	1後		2							1	
	クリティカルシンキング	1後		2							1	
	統計学	1前		2							2	
	教養としての物理	1前		2							2	
	教養としての数学	1後		2							2	
現代科学技術論	1前		2							5		
小計(8科目)	-	0	16	0	0	0	0	0	0	14		
一般科目(健康と体力)	健康と体の科学	1前		2		1					1	
	スポーツ演習(バレーボール)	1前・後		1							1	
	スポーツ演習(硬式テニス)	1前		1							1	
	スポーツ演習(フットサル)	1前・後		1							1	
	スポーツ演習(卓球)	1後		1							1	
	スポーツ演習(バドミントン)	1前・後		1							1	
	小計(6科目)	-	0	7	0	1	0	0	0	0	2	

【令和3年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通教育科目	導入科目	キャリアデザイン・チーム論Ⅱ	1前	1			1		1	1		3
		アカデミック・スキルズ	1前	1								9
		テーマ別基礎ゼミ	1後	2			3	1	2			5
		情報処理基礎	1前	2								8
		南加賀の歴史と文化	1後	2								1
	小計(5科目)	-	8	0	0	4	1	3	1	0	25	
	一般科目(人間力)	哲学	1前		2							1
		心理学	1前		2							1
		人間の発達と心	1前		2							1
		日本の伝統芸能	1前		2							1
		人文地理学	1後		2							1
		文化人類学	1後		2							1
		医療と文化	1後		2							1
		文章表現法	1後		2							1
		言葉と文化	1後		2							2
	小計(9科目)	-	0	18	0	0	0	0	0	0	8	
	一般科目(社会力)	日本産業史	1前		2							4
		自然資源と環境問題	1前		2							1
		経済学	1前		2							2
		政治学	1後		2							2
		社会学	1後		2							1
		公共政策論	1後		2							1
		社会福祉論	1後		2							1
		日本国憲法	1後		2							1
小計(8科目)	-	0	16	0	0	0	0	0	0	13		
一般科目(科学力)	データ科学と社会	1後		2							2	
	情報処理応用A	1後		2							1	
	情報処理応用B	1後		2							1	
	クリティカルシンキング	1後		2							1	
	統計学	1後		2							2	
	教養としての物理	1前		2							2	
	教養としての数学	1前		2							2	
現代科学技術論	1前		2							6		
小計(8科目)	-	0	16	0	0	0	0	0	0	13		
一般科目(健康と体力)	健康と体の科学	1前		2		1					1	
	スポーツ演習(バレーボール)	1前・後		1							1	
	スポーツ演習(硬式テニス)	1前		1							1	
	スポーツ演習(フットサル)	1前・後		1							1	
	スポーツ演習(卓球)	1後		1							1	
	スポーツ演習(バドミントン)	1前・後		1							1	
	小計(6科目)	-	0	7	0	1	0	0	0	0	2	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
												修
共通教育科目	英語科目	英語 I a	1前	2								5
		英語 I b	1前	2								3
		英語 II a	1後	2								3
		英語 II b	1後	2								4
		英語 III	1後		2							1
		英会話 I	1後		2							1
		英会話 II	1後		2							1
		実用英語 I	1前・後			2						1
		実用英語 II	1前・後			2						1
		実用英語 III	1前・後			2						1
		実用英語 IV	1前・後			2						1
	小計(11科目)	—	8	6	8	0	0	0	0	0	11	
	その他外国語科目	中国語 I	1前	2								1
		中国語 II	1後	2								1
		フランス語 I	1前	2								1
		フランス語 II	1後	2								1
		ドイツ語 I	1前	2								1
		ドイツ語 II	1後	2								1
		ロシア語 I	1前	2								1
ロシア語 II		1後	2								1	
スペイン語 I		1前	2								1	
スペイン語 II		1後	2								1	
小計(10科目)	—	0	20	0	0	0	0	0	0	5		
専門基礎科目	人の身体と心を知るステージ	解剖学	1前	2								1
		生理学	1前	2								1
		病理学	1前	2								1
		心の健康とストレスマネジメント	1前	1		2						
		感染免疫学	1後	2								1
		栄養・生化学	1後	2								2
		薬理学	1後	2								1
		小計(7科目)	—	13	0	0	2	0	0	0	0	5
	人の健康問題を考えるステージ	認知症ケア論	1後	1			1					
		老年疾病・治療論	2前	1								1
		公衆衛生学	2前	1								1
		急性疾患論	2前	1								1
		母子疾病・治療論	2前	2								1
		生活習慣病論	2後	2								1
		保健医療福祉法制度論	2後	2								1
疫学・保健統計学		2後	2			1						
小計(8科目)	—	12	0	0	2	0	0	0	0	6		
看護とは何かを理解するステージ	市民健康論	1前	1			3						
	看護学概論	1後	1			2						
	基礎看護実習 I	1後	1			2			3			
	看護の技基礎コース I (療養上の世話)	2前	2			2						
	看護の技基礎コース II (フィジカルアセスメント)	2前	1			2						
	看護の技基礎コース III (診療の補助)	2後	2			2						
	看護ケア提供論: 看護理論と看護過程	2前	1			1						
	小計(8科目)	—	12	0	0	2	0	0	0	0	6	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
												修
共通教育科目	英語科目	英語 I a	1前	2								6
		英語 I b	1前	2								2
		英語 II a	1後	2								5
		英語 II b	1後	2								4
		英語 III	1後		2							1
		英会話 I	1後		2							1
		英会話 II	1後		2							1
		実用英語 I	1前・後			2						1
		実用英語 II	1前・後			2						1
		実用英語 III	1前・後			2						1
		実用英語 IV	1前・後			2						1
	小計(11科目)	—	8	6	8	0	0	0	0	0	9	
	その他外国語科目	中国語 I	1前	2								1
		中国語 II	1後	2								1
		フランス語 I	1前	2								1
		フランス語 II	1後	2								1
		ドイツ語 I	1前	2								1
		ドイツ語 II	1後	2								1
		ロシア語 I	1前	2								1
ロシア語 II		1後	2								1	
スペイン語 I		1前	2								1	
スペイン語 II		1後	2								1	
小計(10科目)	—	0	20	0	0	0	0	0	0	5		
専門基礎科目	人の身体と心を知るステージ	解剖学	1前	2								1
		生理学	1前	2								1
		病理学	1後	2								1
		心の健康とストレスマネジメント	1前	1		2						
		感染免疫学	1後	2								1
		栄養・生化学	1後	2								2
		薬理学	1後	2								1
		小計(7科目)	—	13	0	0	2	0	0	0	0	5
	人の健康問題を考えるステージ	認知症ケア論	1後	1			1					
		老年疾病・治療論	2前	1								2
		公衆衛生学	2前	1								1
		急性疾患論	2前	1								1
		母子疾病・治療論	2前	2								1
		生活習慣病論	2後	2								1
		保健医療福祉法制度論	2後	2								1
疫学・保健統計学		2後	2			1						
小計(8科目)	—	12	0	0	2	0	0	0	0	7		
看護とは何かを理解するステージ	市民健康論	1前	1			3						
	看護学概論	1後	1			2						
	基礎看護実習 I	1後	1			2			3			
	看護の技基礎コース I (療養上の世話)	2前	2			2						
	看護の技基礎コース II (フィジカルアセスメント)	2前	1			2						
	看護の技基礎コース III (診療の補助)	2後	2			2						
	看護ケア提供論: 看護理論と看護過程	2前	1			1						
	小計(8科目)	—	12	0	0	2	0	0	0	0	7	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
看護とは何かを理解するステージ	看護の品格育成論	2前	1			2						
	看護倫理	2前	1			1						
	基礎看護実習Ⅱ	2後	2			2			3			
	精神保健看護学概論	2前	1			1						
	精神保健看護ケア提供論	2前	2			1						
	精神保健看護演習	2後	1			1						
	精神保健看護実習Ⅰ	2後	1			1			2			
	精神保健看護実習Ⅱ	3通	1			1			2			
	小計(15科目)	—	19	0	0	7	0	0	5	0	0	
	看護ケア能力を育てるステージ	老年看護学概論	2前	1			1					
老年看護ケア提供論		2前	1			1						
老年看護演習		2後	2			1	1					
老年看護実習Ⅰ		3通	2			1	1	1				
老年看護実習Ⅱ		3通	2			1	1	1	1			
成人看護学概論		2前	1			1						
成人看護ケア提供論		2前	2			1	1					
成人看護演習		3前	3			1	1					
成人看護実習Ⅰ(急性)		3通	2			1	1	1	1			
成人看護実習Ⅱ(慢性)		3通	2			1	1	1	1			
成人看護実習Ⅲ(回復・維持)		3通	2			1	1	1	1			
母性看護学概論		2前	1			1						
母性看護ケア提供論		2前	1			1						
母性看護演習		3前	2			1						
母性看護実習		3通	2			1				2		
小児看護学概論		2前	1			1						
小児看護ケア提供論		2前	1			1						
小児看護実習	3前	2			1							
小児看護実習Ⅰ	2後	1			1							
小児看護実習Ⅱ	3通	1			1				2			
小計(20科目)	—	32	0	0	4	1	2	3	3	0		
看護ケア能力を拡げるステージ	在宅看護学概論	2後	1			1						
	在宅看護ケア提供論	2後	1			1						
	在宅看護演習	3前	2			1						
	在宅看護実習	3通	2			1	1			1		
	看護統合実習	4前	2			8	1	3	8	4		
	公衆衛生看護学概論	2後	1			1						
	健康教育論	2後	1			1			1			
	公衆衛生看護方法論Ⅰ(対象別)	3後	1			1						
	公衆衛生看護方法論Ⅱ(公衆衛生看護技術)	3後	1			1						
	公衆衛生看護方法論Ⅲ(学校・産業・災害)	4前	2			1	1					
	公衆衛生看護方法論Ⅳ(地域看護診断)	4前	1			1	1					
公衆衛生看護方法論Ⅴ(健康診査・家庭訪問・健康教育)	4前	2			1	1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
看護とは何かを理解するステージ	看護の品格育成論	2前	1			2						
	看護倫理	2前	1			1						
	基礎看護実習Ⅱ	2後	2			2			3			
	精神保健看護学概論	2前	1			1						
	精神保健看護ケア提供論	2前	2			1						
	精神保健看護演習	2後	1			1						
	精神保健看護実習Ⅰ	2後	1			1			1	1		
	精神保健看護実習Ⅱ	3通	1			1			1	1		
	小計(15科目)	—	19	0	0	7	0	0	5	4	0	0
	看護ケア能力を育てるステージ	老年看護学概論	2前	1			1					
老年看護ケア提供論		2前	1			1						
老年看護演習		3前	2			1	1					
老年看護実習Ⅰ		3通	2			1	1	1	1			
老年看護実習Ⅱ		3通	2			1	1	1	1	1		
成人看護学概論		2前	1			1						
成人看護ケア提供論		2前	2			1	1					
成人看護演習		2後	3			1	1					
成人看護実習Ⅰ(急性)		3通	2			1	1	1	1			
成人看護実習Ⅱ(慢性)		3通	2			1	1	1	1			
成人看護実習Ⅲ(回復・維持)		3通	2			1	1	1	1			
母性看護学概論		2前	1			1						
母性看護ケア提供論		2前	1			1						
母性看護演習		3前	2			1						
母性看護実習		3通	2			1			1		2	
小児看護学概論		2前	1			1						
小児看護ケア提供論		2前	1			1						
小児看護実習	3前	2			1							
小児看護実習Ⅰ	2後	1			1							
小児看護実習Ⅱ	3通	1			1					2		
小計(20科目)	—	32	0	0	4	1	3	3	3	3	0	
看護ケア能力を拡げるステージ	在宅看護学概論	2後	1			1						
	在宅看護ケア提供論	2後	1			1						
	在宅看護演習	3前	2			1						
	在宅看護実習	3通	2			1	1			1		
	看護統合実習	4前	2			8	1	5	7	4		
	公衆衛生看護学概論	2後	1			1						
	健康教育論	2後	1			1				1		
	公衆衛生看護方法論Ⅰ(対象別)	3後	1			1			1			
	公衆衛生看護方法論Ⅱ(公衆衛生看護技術)	3後	1			1			1			
	公衆衛生看護方法論Ⅲ(学校・産業・災害)	4前	2			1	1					
	公衆衛生看護方法論Ⅳ(地域看護診断)	4前	1			1	1			1		
公衆衛生看護方法論Ⅴ(健康診査・家庭訪問・健康教育)	4前	2			1	1			1	1		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	公衆衛生看護管理論	4前	1		1							
	疫学・保健統計学演習	3後	2		1							
	公衆衛生看護実習	4通	5		1	1		1				
	小計(15科目)	—	10	15	0	10	2	4	9	4	0	
専門科目	看護熟練の技 看護の未来を共創するステージ	安全・安楽なポジショニングの技	4前	1		1						
		排便ケア	4前	1		1						
		看護リーダー	4前	1		1						
		食と看護	4後	1		1						
		タッチケア・スキル	4後	1		1						
		ノンテクニカル・スキル	4後	1		1						
		MMPI心理検査と看護ケア	4後	1		1						
		グローバル感染対策	4前	1		1					1	
		看護技術の科学的検証	4前	1		1						
		地域の健康課題と多職種連携	4前	1		1						
	統合医療	4後	1		1		1					
	地域包括ケア	4後	1		1							
	チーム医療論	4前	2								2	
	看護と異文化理解	4通	2			1						
研究方法論	4前	2			1							
卒業研究	4通	4			10	2						
小計(16科目)	—	6	16	0	10	2	0	0	0	3		
合計(138科目)			—	108	114	8	10	2	4	9	4	68
卒業要件及び履修方法												
1 共通教育科目(計31単位以上) (1)導入科目 必修8単位 (2)一般科目 人間力6単位以上、社会力4単位以上、科学力4単位以上、健康と体力1単位以上 (3)英語科目 必修8単位												
2 専門基礎科目(計25単位) (1)人の健康を知るステージ 必修13単位 (2)人の健康問題を考えるステージ 必修12単位												
3 専門科目(計71単位以上) (1)看護とは何かを理解するステージ 必修19単位 (2)看護ケア能力を育てるステージ 必修32単位 (3)看護ケア能力を広げるステージ 必修10単位 ※保健師選択者は、更に必修15単位 (4)看護の未来を共創するステージ 必修 6単位、選択必修4単位以上												
以上、共通教育31単位以上、専門基礎科目25単位、専門科目71単位以上、合計127単位以上 ※保健師選択者は、専門科目86単位以上 合計142単位以上												
4 履修科目の登録の上限 48単位(年間)												

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	公衆衛生看護管理論	4前	1		1							
	疫学・保健統計学演習	3後	2		1							
	公衆衛生看護実習	4通	5		1	1	1	1				
	小計(15科目)	—	10	15	0	10	2	5	9	4	0	
専門科目	看護熟練の技 看護の未来を共創するステージ	安全・安楽なポジショニングの技	4前	1		1						
		排便ケア	4前	1		1						
		看護リーダー	4前	1		1						
		食と看護	4後	1		1						
		タッチケア・スキル	4後	1		1						
		ノンテクニカル・スキル	4後	1		1						
		MMPI心理検査と看護ケア	4後	1		1						
		グローバル感染対策	4前	1		1					1	
		看護技術の科学的検証	4前	1		1						
		地域の健康課題と多職種連携	4前	1		1						
	統合医療	4後	1		1		1					
	地域包括ケア	4後	1		1							
	チーム医療論	4前	2								2	
	看護と異文化理解	4通	2			1						
研究方法論	4前	2			1							
卒業研究	4通	4			10	2						
小計(16科目)	—	6	16	0	10	2	0	0	0	3		
合計(138科目)			—	108	114	8	10	2	5	8	4	68
卒業要件及び履修方法												
1 共通教育科目(計31単位以上) (1)導入科目 必修8単位 (2)一般科目 人間力6単位以上、社会力4単位以上、科学力4単位以上、健康と体力1単位以上 (3)英語科目 必修8単位												
2 専門基礎科目(計25単位) (1)人の健康を知るステージ 必修13単位 (2)人の健康問題を考えるステージ 必修12単位												
3 専門科目(計71単位以上) (1)看護とは何かを理解するステージ 必修19単位 (2)看護ケア能力を育てるステージ 必修32単位 (3)看護ケア能力を広げるステージ 必修10単位 ※保健師選択者は、更に必修15単位 (4)看護の未来を共創するステージ 必修 6単位、選択必修4単位以上												
以上、共通教育31単位以上、専門基礎科目25単位、専門科目71単位以上、合計127単位以上 ※保健師選択者は、専門科目86単位以上 合計142単位以上												
4 履修科目の登録の上限 48単位(年間)												

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
導入科目	キャリアデザイン・チーム論Ⅱ	1前	1			1		1	1		3
	アカデミック・スキルズ	1前	1								11
	テーマ別基礎ゼミ	1後	2			3	1	1			5
	情報処理基礎	1前	2								6
	南加賀の歴史と文化	1後	2								1
小計(5科目)	—	8	0	0	4	1	2	1	0	24	
一般科目(人間力)	哲学	1前		2							1
	心理学	1前		2							1
	人間の発達と心	1前		2							1
	日本の伝統芸能	1前		2							1
	人文地理学	1後		2							1
	文化人類学	1後		2							1
	医療と文化	1後		2							1
	文章表現法	1後		2							1
	言葉と文化	1後		2							2
	小計(9科目)	—	0	18	0	0	0	0	0	0	8
一般科目(社会力)	日本産業史	1前		2							4
	自然資源と環境問題	1前		2							1
	経済学	1前		2							2
	政治学	1後		2							2
	社会学	1後		2							1
	公共政策論	1後		2							1
	社会福祉論	1後		2							1
	日本国憲法	1後		2							1
	小計(8科目)	—	0	16	0	0	0	0	0	0	13
一般科目(科学力)	データ科学と社会	1後		2							3
	情報処理応用A	1後		2							2
	情報処理応用B	1後		2							1
	クリティカルシンキング	1後		2							1
	統計学	1後		2							2
	教養としての物理	1前		2							2
	教養としての数学	1前		2							2
	現代科学技術論	1前		2							5
小計(8科目)	—	0	16	0	0	0	0	0	0	14	
一般科目(健康と体力)	健康と体の科学	1前		2		1					1
	スポーツ演習(バレーボール)	1前・後		1							1
	スポーツ演習(硬式テニス)	1前		1							1
	スポーツ演習(フットサル)	1前・後		1							1
	スポーツ演習(卓球)	1後		1							1
	スポーツ演習(バドミントン)	1前・後		1							1
	小計(6科目)	—	0	7	0	1	0	0	0	0	2
英語科目	英語Ⅰa	1前	2								5
	英語Ⅰb	1前	2								3
	英語Ⅱa	1後	2								3
	英語Ⅱb	1後	2								4
	英語Ⅲ	1後		2							1
	英会話Ⅰ	1後		2							1
	英会話Ⅱ	1後		2							1
	実用英語Ⅰ	1前・後			2						1
	実用英語Ⅱ	1前・後			2						1
	実用英語Ⅲ	1前・後			2						1
	実用英語Ⅳ	1前・後			2						1
小計(11科目)	—	8	6	8	0	0	0	0	0	11	

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
導入科目	キャリアデザイン・チーム論Ⅱ	1前	1			1		1	1		3
	アカデミック・スキルズ	1前	1								11
	テーマ別基礎ゼミ	1後	2			3		1			5
	情報処理基礎	1前	2								8
	南加賀の歴史と文化	1後	2								1
小計(5科目)	—	8	0	0	4	1	2	1	0	26	
一般科目(人間力)	哲学	1前		2							1
	心理学	1前		2							1
	人間の発達と心	1前		2							1
	日本の伝統芸能	1前		2							1
	人文地理学	1後		2							1
	文化人類学	1後		2							1
	医療と文化	1後		2							1
	文章表現法	1後		2							1
	言葉と文化	1後		2							2
	小計(9科目)	—	0	18	0	0	0	0	0	0	8
一般科目(社会力)	日本産業史	1前		2							4
	自然資源と環境問題	1前		2							1
	経済学	1前		2							2
	政治学	1後		2							2
	社会学	1後		2							1
	公共政策論	1後		2							1
	社会福祉論	1後		2							1
	日本国憲法	1後		2							1
	小計(8科目)	—	0	16	0	0	0	0	0	0	13
一般科目(科学力)	データ科学と社会	1後		2							3
	情報処理応用A	1後		2							2
	情報処理応用B	1後		2							1
	クリティカルシンキング	1後		2							1
	統計学	1後		2							2
	教養としての物理	1前		2							2
	教養としての数学	1前		2							2
	現代科学技術論	1前		2							5
小計(8科目)	—	0	16	0	0	0	0	0	0	14	
一般科目(健康と体力)	健康と体の科学	1前		2		1					1
	スポーツ演習(バレーボール)	1前・後		1							1
	スポーツ演習(硬式テニス)	1前		1							1
	スポーツ演習(フットサル)	1前・後		1							1
	スポーツ演習(卓球)	1後		1							1
	スポーツ演習(バドミントン)	1前・後		1							1
	小計(6科目)	—	0	7	0	1	0	0	0	0	2
英語科目	英語Ⅰa	1前	2								6
	英語Ⅰb	1前	2								3
	英語Ⅱa	1後	2								3
	英語Ⅱb	1後	2								4
	英語Ⅲ	1後		2							1
	英会話Ⅰ	1後		2							1
	英会話Ⅱ	1後		2							1
	実用英語Ⅰ	1前・後			2						1
	実用英語Ⅱ	1前・後			2						1
	実用英語Ⅲ	1前・後			2						1
	実用英語Ⅳ	1前・後			2						1
小計(11科目)	—	8	6	8	0	0	0	0	0	12	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
共通教育科目	その他外国語科目	中国語Ⅰ	1前	2							1
		中国語Ⅱ	1後	2							1
		フランス語Ⅰ	1前	2							1
		フランス語Ⅱ	1後	2							1
		ドイツ語Ⅰ	1前	2							1
		ドイツ語Ⅱ	1後	2							1
		ロシア語Ⅰ	1前	2							1
		ロシア語Ⅱ	1後	2							1
		スペイン語Ⅰ	1前	2							1
		スペイン語Ⅱ	1後	2							1
		小計(10科目)	—	0	20	0	0	0	0	0	0
専門基礎科目	人の身体と心を知るステージ	解剖学	1前	2							1
		生理学	1前	2							1
		病理学	1後	2							1
		心の健康とストレスマネジメント論	1前	1		2					
		感染免疫学	1後	2							1
		栄養・生化学	1後	2							2
		薬理学	1後	2							1
	小計(7科目)	—	13	0	0	2	0	0	0	0	5
	人の健康問題を考えるステージ	認知症ケア論	1後	1			1				
		老年疾病・治療論	2前	1							1
		公衆衛生学	2前	1							1
急性疾患論		2前	1							1	
母子疾病・治療論		2前	2							1	
生活習慣病論		2後	2							1	
保健医療福祉法制度論		2後	2							1	
小計(8科目)	—	12	0	0	2	0	0	0	0	6	
専門科目	看護とは何かを理解するステージ	市民健康論	1前	1			3				
		看護学概論	1後	1			2				
		基礎看護実習Ⅰ	1後	1			2		3		
		看護の技基礎コースⅠ(療養上の世話)	2前	2			2				
		看護の技基礎コースⅡ(フィジカルアセスメント)	2前	1			2				
		看護の技基礎コースⅢ(診療の補助)	2後	2			2				
		看護ケア提供論:看護理論と看護過程	2前	1			1				
		看護の品格育成論	2前	1			2				
		看護倫理	2前	1			1				
		基礎看護実習Ⅱ	2後	2			2		3		
		精神保健看護学概論	2前	1			1				
		精神保健看護ケア提供論	2前	2			1				
		精神保健看護演習	2後	1			1				
		精神保健看護実習Ⅰ	2後	1			1			2	
		精神保健看護実習Ⅱ	3通	1			1				2
小計(15科目)	—	19	0	0	7	0	0	5	0	0	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
共通教育科目	その他外国語科目	中国語Ⅰ	1前	2							1
		中国語Ⅱ	1後	2							1
		フランス語Ⅰ	1前	2							1
		フランス語Ⅱ	1後	2							1
		ドイツ語Ⅰ	1前	2							1
		ドイツ語Ⅱ	1後	2							1
		ロシア語Ⅰ	1前	2							1
		ロシア語Ⅱ	1後	2							1
		スペイン語Ⅰ	1前	2							1
		スペイン語Ⅱ	1後	2							1
		小計(10科目)	—	0	20	0	0	0	0	0	0
専門基礎科目	人の身体と心を知るステージ	解剖学	1前	2							1
		生理学	1前	2							1
		病理学	1後	2							1
		心の健康とストレスマネジメント論	1前	1		2					
		感染免疫学	1後	2							1
		栄養・生化学	1後	2							2
		薬理学	1後	2							1
	小計(7科目)	—	13	0	0	2	0	0	0	0	5
	人の健康問題を考えるステージ	認知症ケア論	1後	1			1				
		老年疾病・治療論	2前	1							2
		公衆衛生学	2前	1							1
急性疾患論		2前	1							1	
母子疾病・治療論		2前	2							1	
生活習慣病論		2後	2							1	
保健医療福祉法制度論		2後	2							1	
小計(8科目)	—	12	0	0	2	0	0	0	0	7	
専門科目	看護とは何かを理解するステージ	市民健康論	1前	1			3				
		看護学概論	1後	1			2				
		基礎看護実習Ⅰ	1後	1			2		3		
		看護の技基礎コースⅠ(療養上の世話)	2前	2			2				
		看護の技基礎コースⅡ(フィジカルアセスメント)	2前	1			2				
		看護の技基礎コースⅢ(診療の補助)	2後	2			2				
		看護ケア提供論:看護理論と看護過程	2前	1			1				
		看護の品格育成論	2前	1			2				
		看護倫理	2前	1			1				
		基礎看護実習Ⅱ	2後	2			2		3		
		精神保健看護学概論	2前	1			1				
		精神保健看護ケア提供論	2前	2			1				
		精神保健看護演習	2後	1			1				
		精神保健看護実習Ⅰ	2後	1			1			2	
		精神保健看護実習Ⅱ	3通	1			1				2
小計(15科目)	—	19	0	0	7	0	0	5	0	0	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	看護ケア能力を育てるステージ	老年看護学概論	2前	1			1					
		老年看護ケア提供論	2前	1			1					
		老年看護演習	2後	2			1		1			
		老年看護実習Ⅰ	3通	2			1		1	1		
		老年看護実習Ⅱ	3通	2			1		1	1	1	
		成人看護学概論	2前	1			1					
		成人看護ケア提供論	2前	2			1	1				
		成人看護演習	3前	3			1	1				
		成人看護実習Ⅰ(急性)	3通	2			1	1	1	1		
		成人看護実習Ⅱ(慢性)	3通	2			1	1	1	1		
		成人看護実習Ⅲ(回復・維持)	3通	2			1	1	1	1		
		母性看護学概論	2前	1			1					
		母性看護ケア提供論	2前	1			1					
		母性看護演習	3前	2			1					
		母性看護実習	3通	2			1				2	
	小児看護学概論	2前	1			1						
	小児看護ケア提供論	2前	1			1						
	小児看護実習	3前	2			1						
	小児看護実習Ⅰ	2後	1			1						
	小児看護実習Ⅱ	3通	1			1				2		
小計(20科目)	—	32	0	0	4	1	2	3	3	0		
看護ケア能力を拡げるステージ	在宅看護学概論	2後	1			1						
	在宅看護ケア提供論	2後	1			1						
	在宅看護演習	3前	2			1						
	在宅看護実習	3通	2			1	1			1		
	看護統合実習	4前	2			8	1	3	8	4		
	公衆衛生看護学概論	2後	1			1						
	健康教育論	2後	1			1			1			
	公衆衛生看護方法論Ⅰ(対象別)	3後		1		1						
	公衆衛生看護方法論Ⅱ(公衆衛生看護技術)	3後		1		1						
	公衆衛生看護方法論Ⅲ(学校・産業・災害)	4前		2		1	1					
	公衆衛生看護方法論Ⅳ(地域看護診断)	4前		1		1	1					
	公衆衛生看護方法論Ⅴ(健康診査・家庭訪問・健康教育)	4前		2		1	1					
	公衆衛生看護管理論	4前		1		1						
	疫学・保健統計学演習	3後		2		1						
	公衆衛生看護実習	4通		5		1	1		1			
小計(15科目)	—	10	15	0	10	2	3	9	4	0		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	看護ケア能力を育てるステージ	老年看護学概論	2前	1			1					
		老年看護ケア提供論	2前	1			1					
		老年看護演習	3前	2			1		1			
		老年看護実習Ⅰ	3通	2			1		1	1		
		老年看護実習Ⅱ	3通	2			1		1	1	1	
		成人看護学概論	2前	1			1					
		成人看護ケア提供論	2前	2			1	1				
		成人看護演習	2後	3			1	1				
		成人看護実習Ⅰ(急性)	3通	2			1	1	1	1		
		成人看護実習Ⅱ(慢性)	3通	2			1	1	1	1		
		成人看護実習Ⅲ(回復・維持)	3通	2			1	1	1	1		
		母性看護学概論	2前	1			1					
		母性看護ケア提供論	2前	1			1					
		母性看護演習	3前	2			1					
		母性看護実習	3通	2			1					2
	小児看護学概論	2前	1			1						
	小児看護ケア提供論	2前	1			1						
	小児看護実習	3前	2			1						
	小児看護実習Ⅰ	2後	1			1						
	小児看護実習Ⅱ	3通	1			1				2		
小計(20科目)	—	32	0	0	4	1	2	3	3	0		
看護ケア能力を拡げるステージ	在宅看護学概論	2後	1			1						
	在宅看護ケア提供論	2後	1			1						
	在宅看護演習	3前	2			1						
	在宅看護実習	3通	2			1	1			1		
	看護統合実習	4前	2			8	1	3	8	4		
	公衆衛生看護学概論	2後	1			1						
	健康教育論	2後	1			1			1			
	公衆衛生看護方法論Ⅰ(対象別)	3後		1		1						
	公衆衛生看護方法論Ⅱ(公衆衛生看護技術)	3後		1		1						
	公衆衛生看護方法論Ⅲ(学校・産業・災害)	4前		2		1	1					
	公衆衛生看護方法論Ⅳ(地域看護診断)	4前		1		1	1		1			
	公衆衛生看護方法論Ⅴ(健康診査・家庭訪問・健康教育)	4前		2		1	1		1			
	公衆衛生看護管理論	4前		1		1						
	疫学・保健統計学演習	3後		2		1						
	公衆衛生看護実習	4通		5		1	1		1			
小計(15科目)	—	10	15	0	10	2	4	9	4	0		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	看護熟練の技	安全・安楽なポジションングの技	4前	1		1						
		排便ケア	4前	1		1						
		看護リーダー	4前	1		1						
		食と看護	4後	1		1						
		タッチケア・スキル	4後	1		1						
		ノンテクニカル・スキル	4後	1		1						
	看護未来創出	MMPI心理検査と看護ケア	4後	1		1						
		グローバル感染対策	4前	1		1						1
		看護技術の科学的検証	4前	1		1						
		地域の健康課題と多職種連携	4前	1		1						
		統合医療	4後	1			1					
	地域包括ケア	4後	1		1							
	チーム医療論	チーム医療論	4前	2								2
		看護と異文化理解	4通	2		1						
研究方法論		4前	2		1							
卒業研究		4通	4		10	2						
小計(4科目)		—	6	16	0	10	2	0	0	0	3	
合計(138科目)			—	108	114	8	10	2	3	9	4	68
卒業要件及び履修方法												
1 共通教育科目(計31単位以上) (1)導入科目 必修8単位 (2)一般科目 人間力6単位以上、社会力4単位以上、科学力4単位以上、健康と体力1単位以上 (3)英語科目 必修8単位 2 専門基礎科目(計25単位) (1)人の健康を知るステージ 必修13単位 (2)人の健康問題を考えるステージ 必修12単位 3 専門科目(計71単位以上) (1)看護とは何かを理解するステージ 必修19単位 (2)看護ケア能力を育てるステージ 必修32単位 (3)看護ケア能力を広げるステージ 必修10単位 ※保健師選択者は、更に必修15単位 (4)看護の未来を共創するステージ 必修 6単位、選択必修4単位以上 以上、共通教育31単位以上、専門基礎科目25単位、専門科目71単位以上、合計127単位以上 ※保健師選択者は、専門科目86単位以上 合計142単位以上 4 履修科目の登録の上限 48単位(年間)												

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	看護熟練の技	安全・安楽なポジションングの技	4前	1		1						
		排便ケア	4前	1		1						
		看護リーダー	4前	1		1						
		食と看護	4後	1		1						
		タッチケア・スキル	4後	1		1						
		ノンテクニカル・スキル	4後	1		1						
	看護未来創出	MMPI心理検査と看護ケア	4後	1		1						
		グローバル感染対策	4前	1		1						1
		看護技術の科学的検証	4前	1		1						
		地域の健康課題と多職種連携	4前	1		1						
		統合医療	4後	1			1					
	地域包括ケア	4後	1		1							
	チーム医療論	チーム医療論	4前	2								2
		看護と異文化理解	4通	2		1						
研究方法論		4前	2		1							
卒業研究		4通	4		10	2						
小計(4科目)		—	6	16	0	10	2	0	0	0	3	
合計(138科目)			—	108	114	8	10	2	4	9	4	72
卒業要件及び履修方法												
1 共通教育科目(計31単位以上) (1)導入科目 必修8単位 (2)一般科目 人間力6単位以上、社会力4単位以上、科学力4単位以上、健康と体力1単位以上 (3)英語科目 必修8単位 2 専門基礎科目(計25単位) (1)人の健康を知るステージ 必修13単位 (2)人の健康問題を考えるステージ 必修12単位 3 専門科目(計71単位以上) (1)看護とは何かを理解するステージ 必修19単位 (2)看護ケア能力を育てるステージ 必修32単位 (3)看護ケア能力を広げるステージ 必修10単位 ※保健師選択者は、更に必修15単位 (4)看護の未来を共創するステージ 必修 6単位、選択必修4単位以上 以上、共通教育31単位以上、専門基礎科目25単位、専門科目71単位以上、合計127単位以上 ※保健師選択者は、専門科目86単位以上 合計142単位以上 4 履修科目の登録の上限 48単位(年間)												

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通教育科目	導入科目	キャリアデザイン・チーム論Ⅱ	1前	1			1		1	1		3
		アカデミック・スキルズ	1前	1								11
		テーマ別基礎ゼミ	1後	2			3		2			5
		情報処理基礎	1前	2								8
		南加賀の歴史と文化	1後	2								1
		小計(5科目)	—	8	0	0	4	0	3	1	0	26
	一般科目(人間力)	哲学	1前		2							1
		心理学	1前		2							1
		人間の発達と心	1前		2							1
		日本の伝統芸能	1前		2							1
		人文地理学	1後		2							1
		文化人類学	1後		2							1
		医療と文化	1後		2							1
		文章表現法	1後		2							1
		言葉と文化	1後		2							2
		小計(9科目)	—	0	18	0	0	0	0	0	0	8
	一般科目(社会力)	日本産業史	1前		2							4
		自然資源と環境問題	1前		2							1
		経済学	1前		2							2
		政治学	1後		2							2
社会学		1後		2							1	
公共政策論		1後		2							1	
社会福祉論		1後		2							1	
日本国憲法		1後		2							1	
小計(8科目)		—	0	16	0	0	0	0	0	0	13	
一般科目(科学力)	データ科学と社会	1後		2							3	
	情報処理応用A	1後		2							2	
	情報処理応用B	1後		2							1	
	クリティカルシンキング	1後		2							1	
	統計学	1後		2							2	
	教養としての物理	1前		2							2	
	教養としての数学	1前		2							2	
	現代科学技術論	1前		2							5	
小計(8科目)	—	0	16	0	0	0	0	0	0	14		
一般科目(健康と体力)	健康と体の科学	1前		2		1					1	
	スポーツ演習(バレーボール)	1前・後		1							1	
	スポーツ演習(硬式テニス)	1前		1							1	
	スポーツ演習(フットサル)	1前・後		1							1	
	スポーツ演習(卓球)	1後		1							1	
	スポーツ演習(バドミントン)	1前・後		1							1	
	小計(6科目)	—	0	7	0	1	0	0	0	0	2	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼担		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手	
共通教育科目	英語科目	英語 I a	1前	2							6	
		英語 I b	1前	2							3	
		英語 II a	1後	2							4	
		英語 II b	1後	2							5	
		英語 III	1後		2						1	
		英会話 I	1後		2						1	
		英会話 II	1後		2						1	
		実用英語 I	1前・後			2					1	
		実用英語 II	1前・後			2					1	
		実用英語 III	1前・後			2					1	
			1前・後			2					1	
	小計(11科目)	—	8	6	8	0	0	0	0	0	10	
	その他外国語科目	中国語 I	1前		2						1	
		中国語 II	1後		2						1	
		フランス語 I	1前		2						1	
		フランス語 II	1後		2						1	
		ドイツ語 I	1前		2						1	
		ドイツ語 II	1後		2						1	
		ロシア語 I	1前		2						1	
		ロシア語 II	1後		2						1	
スペイン語 I		1前		2						1		
スペイン語 II		1後		2						1		
小計(10科目)	—	0	20	0	0	0	0	0	0	5		
専門基礎科目	人の身体と心を知るステージ	解剖学	1前	2							1	
		生理学	1前	2							1	
		病理学	1後	2							1	
		心の健康とストレスマネジメント	1前	1		2					1	
		感染免疫学	1後	2							1	
		栄養・生化学	1後	2							2	
		薬理学	1後	2							1	
		小計(7科目)	—	13	0	0	2	0	0	0	0	5
	人の健康問題を考えるステージ	認知症ケア論	1後	1			1					
		老年疾病・治療論	2前	1							2	
		公衆衛生学	2前	1							1	
		急性疾患論	2前	1							1	
		母子疾病・治療論	2前	2							1	
		生活習慣病論	2後	2							1	
		保健医療福祉法制度論	2後	2							1	
		疫学・保健統計学	2後	2			1					
		小計(8科目)	—	12	0	0	2	0	0	0	0	7
		専門科目	看護とは何かを理解するステージ	市民健康論	1前	1			3			
看護学概論	1後			1			2					
基礎看護実習 I	1後			1			2		3			
看護の技基礎コース I (療養上の世話)	2前			2			2					
看護の技基礎コース II (フィジカルアセスメント)	2前			1			2					
看護の技基礎コース III (診療の補助)	2後			2			2					
看護ケア提供論：看護理論と看護過程	2前			1			1					

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	看護とは何かを理解するステージ	看護の品格育成論	2前	1			2					
		看護倫理	2前	1			1					
		基礎看護実習Ⅱ	2後	2			2		3			
		精神保健看護学概論	2前	1			1					
		精神保健看護ケア提供論	2前	2			1					
		精神保健看護演習	2後	1			1					
		精神保健看護実習Ⅰ	2後	1			1			2		
		精神保健看護実習Ⅱ	3通	1			1			2		
		小計(15科目)	—	19	0	0	7	0	0	5	0	0
	看護ケア能力を育てるステージ	老年看護学概論	2前	1			1					
		老年看護ケア提供論	2前	1			1					
		老年看護演習	3前	2			1	1				
		老年看護実習Ⅰ	3通	2			1	1	1			
		老年看護実習Ⅱ	3通	2			1	1	1	1		
		成人看護学概論	2前	1			1					
		成人看護ケア提供論	2前	2			1	1				
		成人看護演習	2後	3			1	1				
		成人看護実習Ⅰ(急性)	3通	2			1	1	1	1		
		成人看護実習Ⅱ(慢性)	3通	2			1	1	1	1		
成人看護実習Ⅲ(回復・維持)		3通	2			1	1	1	1			
母性看護学概論		2前	1			1						
母性看護ケア提供論		2前	1			1						
母性看護演習		3前	2			1						
母性看護実習		3通	2			1	1		2			
小児看護学概論		2前	1			1						
小児看護ケア提供論	2前	1			1							
小児看護実習	3前	2			1							
小児看護実習Ⅰ	2後	1			1							
小児看護実習Ⅱ	3通	1			1				2			
小計(20科目)	—	32	0	0	4	1	3	3	3	0		
看護ケア能力を拡げるステージ	在宅看護学概論	2後	1			1						
	在宅看護ケア提供論	2後	1			1						
	在宅看護演習	3前	2			1						
	在宅看護実習	3通	2			1				1		
	看護統合実習	4前	2			8	1	4	8	4		
	公衆衛生看護学概論	2後	1			1						
	健康教育論	2後	1			1		1				
	公衆衛生看護方法論Ⅰ(対象別)	3後	1	1		1						
	公衆衛生看護方法論Ⅱ(公衆衛生看護技術)	3後	1	1		1						
	公衆衛生看護方法論Ⅲ(学校・産業・災害)	4前	2	2		1						
	公衆衛生看護方法論Ⅳ(地域看護診断)	4前	1	1		1	1					
	公衆衛生看護方法論Ⅴ(健康診査・家庭訪問・健康教育)	4前	2	2		1	1					

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手	
	公衆衛生看護管理論	4前		1		1						
	疫学・保健統計学演習	3後		2		1						
	公衆衛生看護実習	4通		5		1		1				
	小計(15科目)	—	10	15	0	10	1	5	9	4	0	
専門科目	看護の未来を共創するステージ	看護熟練の技	安全・安楽なポジショニングの技	4前	1		1					
			排便ケア	4前	1		1					
			看護リーダー	4前	1		1					
			食と看護	4後	1		1					
			タッチケア・スキル	4後	1		1					
			ノンテクニカル・スキル	4後	1		1					
			MMPI心理検査と看護ケア	4後	1		1					
			小計(8科目)	—	8		8					
	看護の未来を共創するステージ	看護未来創出	グローバル感染対策	4前	1		1					
			看護技術の科学的検証	4前	1		1					1
			地域の健康課題と多職種連携	4前	1		1					
			統合医療	4後	1			1				
			地域包括ケア	4後	1		1					
小計(5科目)	—	5		5	1							
看護の未来を共創するステージ	チーム医療論	チーム医療論	4前	2							2	
		看護と異文化理解	4通	2		1						
		研究方法論	4前	2		1						
		卒業研究	4通	4		10	1					
小計(4科目)	—	8		11	1							
合計(138科目)			—	108	114	8	10	1	5	9	4	71

卒業要件及び履修方法

- 共通教育科目(計31単位以上)
 - 導入科目 必修8単位
 - 一般科目
人間力6単位以上、社会力4単位以上、科学力4単位以上、健康と体力1単位以上
 - 英語科目 必修8単位
- 専門基礎科目(計25単位)
 - 人の健康を知るステージ 必修13単位
 - 人の健康問題を考えるステージ 必修12単位
- 専門科目(計71単位以上)
 - 看護とは何かを理解するステージ 必修19単位
 - 看護ケア能力を育てるステージ 必修32単位
 - 看護ケア能力を広げるステージ 必修10単位
※保健師選択者は、更に必修15単位
 - 看護の未来を共創するステージ 必修 6単位、選択必修4単位以上

以上、共通教育31単位以上、専門基礎科目25単位、専門科目71単位以上、合計127単位以上
※保健師選択者は、専門科目86単位以上 合計142単位以上
- 履修科目の登録の上限
48単位(年間)

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和元年度開設であれば平成30年度)の表は適宜削除してください。
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) ①-②授業科目表に関する変更内容

【平成30年度】

・教育内容の向上を図るため、「医療と文化」の担当教員を「兼任教員」から「兼任教員」に変更（授業科目表上は変更なし）。
 ・兼任教員の本業の予定と合わない理由により、「日本国憲法」の開講時期を「1前」から「1後」に変更。
 ・兼任教員の本業の予定と合わない理由により、「データ科学と社会」の開講時期を「1前」から「1後」に変更。
 （30年度において、翌年度より専任教員となる新田雅道教授が兼任教員として授業を担当）
 ・兼任教員の本業の予定と合わない理由により、「統計学」の開講時期を「1前」から「1後」に変更。
 ・兼任教員に係る時間割調整に伴う共通教育科目（一般科目（科学力））における学生の授業履修の調整を行うため、「教養としての数学」の開講時期を「1後」から「1前」に変更。
 ・1年を通じて人体の構造と機能に関する知識の修得を図るため、「病理学」の開講時期を「1前」から「1後」に変更。
 （当初1年前期に解剖学、生理学、病理学を開講する予定であったが、1年前期に解剖学、生理学を学び、その理解のもとで病理学を学ぶことで、より効果的な教育を実施していくため1年後期に病理学を配置変更した。）

【令和元年度】

・教育効果の向上を図るため、「老年看護演習」の開講時期を「2後」から「3前」に変更し、「成人看護演習」の開講時期を「3前」から「2後」に変更（「成人看護演習」を先に学ぶことにより、「老年看護演習」のより効果的な教育を実施できるため）。
 ・共通教育科目「情報処理基礎」の担当教員として、兼任教員の史 金星助教を追加
 ・共通教育科目「情報処理基礎」の担当教員として、兼任教員の朴 亨原助教を追加
 ・共通教育科目「英語1a」の担当教員として、兼任教員の横川善正教授を追加
 ・兼任教員の亀田 正二講師の担当科目から専門科目「急性疾病論」を削除し、専門科目「老年疾病・治療論」を追加
 ・専門科目「急性疾患論」の担当教員に、兼任教員の吉田 豊講師を追加
 ・伊藤 尚子講師を看護学科の専任教員として新規採用し、専門科目「公衆衛生看護方法論Ⅳ（地域看護診断）」「公衆衛生看護方法論Ⅴ（健康診査・家庭訪問・健康教育）」「公衆衛生看護実習」の担当教員に追加。

【令和2年度】

・専任教員の日下 純子准教授の退職にともない、専門科目「テーマ別基礎ゼミ」「在宅看護実習」「公衆衛生看護方法論Ⅲ（学校・産業・災害）」「公衆衛生看護方法論Ⅳ（地域看護診断）」「公衆衛生看護方法論Ⅴ（健康診査・家庭訪問・健康教育）」「公衆衛生看護実習」「卒業研究」の担当教員から削除。
 ・兼任教員の川島 嘉美講師の本務先の事情により共通教育科目「英語Ⅰa」の担当が困難になったため担当教員から削除。
 ・山田 貴代講師を看護学科の専任教員として新規採用し、専門科目「テーマ別基礎ゼミ」「母性看護実習」「看護統合実習」の担当教員に追加。令和2年度第1回AC教員審査に提出（5月1日時点で審査中）。

【令和3年度】

・兼任教員の新田 雅道教授と宮崎 猛教授の退任に伴い、共通教育科目「アカデミックスキルズ」の兼任・兼任教員の配置を「11」から「9」に変更。
 ・中田 明恵准教授を看護学科の専任教員として新規採用し、共通教育科目「テーマ別基礎ゼミ」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に変更。
 ・兼任教員の新田 雅道教授と宮崎 猛教授の退任に伴い、共通教育科目「アカデミックスキルズ」の兼任・兼任教員の配置を「11」から「9」に変更。
 ・兼任教員の新田 雅道教授の退任に伴い、共通教育科目「データ科学と社会」の兼任・兼任教員の配置を「3」から「2」に変更。
 ・兼任教員の石若 裕子准教授の就任辞退に伴い、共通教育科目「情報処理応用A」の兼任・兼任教員の配置を「2」から「1」に変更。
 ・兼任教員のVANCE Timothy John教授の退職に伴い、共通教育科目「英語Ⅰb」の兼任・兼任教員の配置を「3」から「2」に変更。
 ・共通教育科目「英語Ⅱa」の担当教員として、兼任のABE DAVID講師を追加。共通教育科目「英語Ⅱa」の兼任・兼任教員の配置を「4」から「5」に変更。
 ・兼任教員のVANCE Timothy John教授の退職に伴い、共通教育科目「英語Ⅱb」の兼任・兼任教員の配置を「5」から「4」に変更。
 ・片山 美穂講師の昇任に伴い、専門科目「精神保健看護実習Ⅰ」の専任教員等の配置を「助教2」から「助教1」「講師0」から「講師1」に変更。
 ・片山 美穂講師の昇任に伴い、専門科目「精神保健看護実習Ⅱ」の専任教員等の配置を「助教2」から「助教1」「講師0」から「講師1」に変更。
 ・中田 明恵准教授を看護学科の専任教員として新規採用し、「在宅看護実習」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に変更。
 ・片山 美穂講師の昇任に伴い、専門科目「看護統合実習」の専任教員等の配置を「助教8」から「助教7」「講師1」から「講師2」に変更。
 ・中田 明恵准教授を看護学科の専任教員として新規採用し、専門科目「公衆衛生看護方法論Ⅰ（対象別）」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に変更。
 ・中田 明恵准教授を看護学科の専任教員として新規採用し、専門科目「公衆衛生看護方法論Ⅱ（公衆衛生看護技術）」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に変更。
 ・中田 明恵准教授を看護学科の専任教員として新規採用し、専門科目「公衆衛生看護方法論Ⅴ（健康診査・家庭訪問・健康教育）」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に変更。
 ・中田 明恵准教授を看護学科の専任教員として新規採用し、専門科目「公衆衛生看護実習」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に変更。
 ・中田 明恵准教授を看護学科の専任教員として新規採用し、専門科目「卒業研究」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授2」に変更。

(注) ・ 2(1) ①-② 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 ・ 不要な年度（平成30年度開設であれば平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
68 科目	66 科目	4 科目	138 科目	68 科目 []	66 科目 []	4 科目 []	138 科目 []	

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{138} = \boxed{} 0\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	末広キャンパス 借用面積：3,676 m ² 借用期間：25年			
	校舎敷地	18,962.05 m ²	m ²	m ²	18,962.05 m ²				
	運動場用地	14,271.00 m ²	m ²	m ²	14,271.00 m ²				
	小 計	33,233.05 m ²	m ²	m ²	33,233.05 m ²				
	そ の 他	8,251.28 m ²	m ²	m ²	8,251.28 m ²				
	合 計	41,484.33 m ²	m ²	m ²	41,484.33 m ²				
(2) 校 舎	専 用	16,305.47	16,395.39m ²	0m ²	0m ²	中央キャンパス賃貸借部分増加(1階)に伴う校舎面積の増加(2) 末広キャンパス 借用面積：930m ² 借用期間：25年 中央キャンパス 借用面積：4,107m ² 借用期間：25年			
	(4,555.95 m ²)	(3,644.67 m ²)	(4,926.47 m ²)	(13,127.09m ²)					
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体			
	23室	12室	18室	(補助職員 人)	(補助職員 人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数					
	保健医療学部 看護学科			16 室					
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書	学術雑誌		視聴覚資料	機 械・器 具	標 本		
		〔うち外国書〕	〔うち外国書〕	電子ジャーナル					
	冊	種	〔うち外国書〕	点	点	点			
	保健医療学部看護学科	9,818 [111] (11,924 [144])	36 [3] (898 [875])	3 [3] (875 [875])	867 976	103 95	93 85		
計	9,818 [111] (11,924 [144])	36 [3] (898 [875])	3 [3] (875 [875])	867 976	103 95	93 85			
(6) 図 書 館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体 末広キャンパス建築に伴う図書館面積の減少(2)		
	909.83m ²	876.41m ²	118席		80,000冊				
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要						
	960m ²								
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	共通教育用の図書については、国際文化交流学部の図書として算定を行っている(30)設備の位置についてリースにて対応することとしたため(30)設備購入費は大学全体
		教員1人当り研究費等	400千円	400千円	図書購入費	5,211千円 4,147千円	5,211千円	2,933千円	
		共同研究費等	3,000千円	3,000千円	設備購入費	130,000千円 111,156千円	98,000千円	3,000千円	
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
	市内学生918千円 その他1,059千円	636千円	636千円	636千円	千円	千円			
学生納付金以外の維持方法の概要		大学運営費交付金、資産運用収入、雑収入 等							

(注)・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和3年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(2)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	公立小松大学						学生募集停止学科数	0	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	0	備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和3年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
生産システム科学部	4	80	-	320	-	1.03	1.01	-	平成30	-	
生産システム科学科	4	80	-	320	学士(工学)	1.03	1.01	-	平成30	石川県小松市土居原町10-10 石川県小松市西丁町ヌ1番地3	
保健医療学部	4	80	-	320	-	1.04	1.06	-	平成30	-	
看護学科	4	50	-	200	学士(看護学)	1.01	1.03	-	平成30	石川県小松市土居原町10-10 石川県小松市向本折町へ14番地1	
臨床工学科	4	30	-	120	学士(臨床工学)	1.08	1.10	-	平成30	同上	
国際文化交流学部	4	80	-	320	-	1.01	1.00	-	平成30	-	
国際文化交流学科	4	80	-	320	学士(国際文化学)	1.01	1.00	-	平成30	石川県小松市土居原町10-10	
大学全体	4	240	-	960	-	1.02	1.03	-	平成30	-	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。
 (専攻科及び別科を除く)。なお、調査対象の学科等が設置されている大学から順に記載してください
 ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 ・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和3年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名												
専	教授	徳田 真由美 (52) <平成30年4月> 博士(看護学)	市民健康論 ※ 在宅看護学概論 在宅看護ケア提供論 在宅看護演習 在宅看護実習 看護統合実習 卒業研究 連携ケア 地域包括ケア	専	教授	徳田 真由美 (52) <平成30年4月> 博士(看護学)	市民健康論 ※ 在宅看護学概論 在宅看護ケア提供論 在宅看護演習 在宅看護実習 看護統合実習 卒業研究 連携ケア 地域包括ケア	専	教授	徳田 真由美 (53) <平成30年4月> 博士(看護学)	市民健康論 ※ 在宅看護学概論 在宅看護ケア提供論 在宅看護演習 在宅看護実習 看護統合実習 卒業研究 連携ケア 地域包括ケア	専	教授	徳田 真由美 (54) <平成30年4月> 博士(看護学)	市民健康論 ※ 在宅看護学概論 在宅看護ケア提供論 在宅看護演習 在宅看護実習 看護統合実習 卒業研究 連携ケア 地域包括ケア
専	教授	坂本 めぐみ (53) <平成31年4月> 博士(保健学)	母性看護学概論 母性看護ケア提供論 母性看護演習 母性看護実習 看護統合実習 卒業研究 食と看護 地域の健康課題と多職種連携	専	教授	坂本 めぐみ (52) <平成31年4月> 博士(保健学)	母性看護学概論 母性看護ケア提供論 母性看護演習 母性看護実習 看護統合実習 卒業研究 食と看護 地域の健康課題と多職種連携	専	教授	坂本 めぐみ (53) <平成31年4月> 博士(保健学)	母性看護学概論 母性看護ケア提供論 母性看護演習 母性看護実習 看護統合実習 卒業研究 食と看護 地域の健康課題と多職種連携	専	教授	坂本 めぐみ (54) <平成31年4月> 博士(保健学)	母性看護学概論 母性看護ケア提供論 母性看護演習 母性看護実習 看護統合実習 卒業研究 食と看護 地域の健康課題と多職種連携
専	教授	山崎 松美 (42) <平成30年4月> 博士(保健学)	キャリアデザイン・チーム論Ⅱ 看護の品格育成論 成人看護学概論 成人看護ケア提供論 ※ 成人看護演習 成人看護実習Ⅰ(急性) 成人看護実習Ⅱ(慢性) 成人看護実習Ⅲ(回復・維持) 看護統合実習 卒業研究	専	教授	山崎 松美 (42) <平成30年4月> 博士(保健学)	キャリアデザイン・チーム論Ⅱ 看護の品格育成論 成人看護学概論 成人看護ケア提供論 ※ 成人看護演習 成人看護実習Ⅰ(急性) 成人看護実習Ⅱ(慢性) 成人看護実習Ⅲ(回復・維持) 看護統合実習 卒業研究	専	教授	山崎 松美 (43) <平成30年4月> 博士(保健学)	キャリアデザイン・チーム論Ⅱ 看護の品格育成論 成人看護学概論 成人看護ケア提供論 ※ 成人看護演習 成人看護実習Ⅰ(急性) 成人看護実習Ⅱ(慢性) 成人看護実習Ⅲ(回復・維持) 看護統合実習 卒業研究	専	教授	山崎 松美 (44) <平成30年4月> 博士(保健学)	キャリアデザイン・チーム論Ⅱ 看護の品格育成論 成人看護学概論 成人看護ケア提供論 ※ 成人看護演習 成人看護実習Ⅰ(急性) 成人看護実習Ⅱ(慢性) 成人看護実習Ⅲ(回復・維持) 看護統合実習 卒業研究
専	准教授	日下 純子 (64) <平成30年4月> 修士(社会福祉学) 修士(看護学)	テーマ別基礎ゼミ 在宅看護実習 公衆衛生看護方法論Ⅲ (学校・産業・災害) ※ 公衆衛生看護方法論Ⅳ (地域看護診断) 公衆衛生看護方法論Ⅴ (健康診査・家庭訪問・健康教育) 公衆衛生看護実習 卒業研究	専	准教授	日下 純子 (64) <平成30年4月> 修士(社会福祉学) 修士(看護学)	テーマ別基礎ゼミ 在宅看護実習 公衆衛生看護方法論Ⅲ (学校・産業・災害) ※ 公衆衛生看護方法論Ⅳ (地域看護診断) 公衆衛生看護方法論Ⅴ (健康診査・家庭訪問・健康教育) 公衆衛生看護実習 卒業研究	専	准教授	日下 純子 (65) <平成30年4月> 修士(社会福祉学) 修士(看護学)	テーマ別基礎ゼミ 在宅看護実習 公衆衛生看護方法論Ⅲ (学校・産業・災害) ※ 公衆衛生看護方法論Ⅳ (地域看護診断) 公衆衛生看護方法論Ⅴ (健康診査・家庭訪問・健康教育) 公衆衛生看護実習 卒業研究	専	准教授	日下 純子 (66) <平成30年4月> 修士(社会福祉学) 修士(看護学)	テーマ別基礎ゼミ 在宅看護実習 公衆衛生看護方法論Ⅲ (学校・産業・災害) ※ 公衆衛生看護方法論Ⅳ (地域看護診断) 公衆衛生看護方法論Ⅴ (健康診査・家庭訪問・健康教育) 公衆衛生看護実習 卒業研究
専	准教授	佐藤 大介 (38) <平成30年4月> 博士(看護学)	成人看護ケア提供論 ※ 成人看護演習 成人看護実習Ⅰ(急性) 成人看護実習Ⅱ(慢性) 成人看護実習Ⅲ(回復・維持) 看護統合実習 卒業研究 統合医療	専	准教授	佐藤 大介 (38) <平成30年4月> 博士(看護学)	成人看護ケア提供論 ※ 成人看護演習 成人看護実習Ⅰ(急性) 成人看護実習Ⅱ(慢性) 成人看護実習Ⅲ(回復・維持) 看護統合実習 卒業研究 統合医療	専	准教授	佐藤 大介 (39) <平成30年4月> 博士(看護学)	成人看護ケア提供論 ※ 成人看護演習 成人看護実習Ⅰ(急性) 成人看護実習Ⅱ(慢性) 成人看護実習Ⅲ(回復・維持) 看護統合実習 卒業研究 統合医療	専	准教授	佐藤 大介 (40) <平成30年4月> 博士(看護学)	成人看護ケア提供論 ※ 成人看護演習 成人看護実習Ⅰ(急性) 成人看護実習Ⅱ(慢性) 成人看護実習Ⅲ(回復・維持) 看護統合実習 卒業研究 統合医療
専	講師	油野 規代 (60) <平成30年4月> 修士(保健学)	老年看護演習 老年看護実習Ⅰ 老年看護実習Ⅱ 看護統合実習	専	講師	油野 規代 (60) <平成30年4月> 修士(保健学)	老年看護演習 老年看護実習Ⅰ 老年看護実習Ⅱ 看護統合実習	専	講師	油野 規代 (61) <平成30年4月> 修士(保健学)	老年看護演習 老年看護実習Ⅰ 老年看護実習Ⅱ 看護統合実習	専	講師	油野 規代 (62) <平成30年4月> 修士(保健学)	老年看護演習 老年看護実習Ⅰ 老年看護実習Ⅱ 看護統合実習
専	講師	松村 愛都 (60) <平成30年4月> 修士(看護学)	テーマ別基礎ゼミ 成人看護実習Ⅰ(急性) 成人看護実習Ⅱ(慢性) 成人看護実習Ⅲ(回復・維持) 看護統合実習	専	講師	松村 愛都 (60) <平成30年4月> 修士(看護学)	テーマ別基礎ゼミ 成人看護実習Ⅰ(急性) 成人看護実習Ⅱ(慢性) 成人看護実習Ⅲ(回復・維持) 看護統合実習	専	講師	松村 愛都 (61) <平成30年4月> 修士(看護学)	テーマ別基礎ゼミ 成人看護実習Ⅰ(急性) 成人看護実習Ⅱ(慢性) 成人看護実習Ⅲ(回復・維持) 看護統合実習	専	講師	松村 愛都 (62) <平成30年4月> 修士(看護学)	テーマ別基礎ゼミ 成人看護実習Ⅰ(急性) 成人看護実習Ⅱ(慢性) 成人看護実習Ⅲ(回復・維持) 看護統合実習
専	講師	清水 由加里 (50) <平成30年4月> 修士(看護学)	キャリアデザイン・チーム論Ⅱ 看護統合実習	専	講師	清水 由加里 (50) <平成30年4月> 修士(看護学)	キャリアデザイン・チーム論Ⅱ 看護統合実習	専	講師	清水 由加里 (51) <平成30年4月> 修士(看護学)	キャリアデザイン・チーム論Ⅱ 看護統合実習	専	講師	清水 由加里 (52) <平成30年4月> 修士(看護学)	キャリアデザイン・チーム論Ⅱ 看護統合実習
専	助教	池田 美智子 (58) <平成30年4月> 修士(保健学)	健康教育論 公衆衛生看護実習	専	助教	池田 美智子 (58) <平成30年4月> 修士(保健学)	健康教育論 公衆衛生看護実習	専	助教	池田 美智子 (59) <平成30年4月> 修士(保健学)	健康教育論 公衆衛生看護実習	専	助教	池田 美智子 (60) <平成30年4月> 修士(保健学)	健康教育論 公衆衛生看護実習
専	助教	片山 美穂 (54) <令和2年4月> 修士(保健学)	精神保健看護実習Ⅰ 精神保健看護実習Ⅱ 看護統合実習	専	助教	片山 美穂 (52) <令和2年4月> 博士(保健学)	精神保健看護実習Ⅰ 精神保健看護実習Ⅱ 看護統合実習	専	助教	片山 美穂 (53) <令和2年4月> 博士(保健学)	精神保健看護実習Ⅰ 精神保健看護実習Ⅱ 看護統合実習	専	助教	片山 美穂 (54) <令和2年4月> 博士(保健学)	精神保健看護実習Ⅰ 精神保健看護実習Ⅱ 看護統合実習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
専 助教		小田 梓 (36) <平成31年4月> 修士(保健学)	小児看護実習Ⅰ 小児看護実習Ⅱ 看護統合実習	専 助教	小田 梓 (35) <平成31年4月> 修士(保健学)	小児看護実習Ⅰ 小児看護実習Ⅱ 看護統合実習		専 助教	小田 梓 (37) <平成31年4月> 博士(保健学)	小児看護実習Ⅰ 小児看護実習Ⅱ 看護統合実習		専 助教	小田 梓 (38) <平成31年4月> 博士(保健学)	小児看護実習Ⅰ 小児看護実習Ⅱ 看護統合実習	
専 助教		上田 映美 (34) <平成30年4月> 博士(保健学)	基礎看護実習Ⅰ 基礎看護実習Ⅱ 看護統合実習	専 助教	上田 映美 (34) <平成30年4月> 博士(保健学)	基礎看護実習Ⅰ 基礎看護実習Ⅱ 看護統合実習		専 助教	上田 映美 (36) <平成30年4月> 博士(保健学)	基礎看護実習Ⅰ 基礎看護実習Ⅱ 看護統合実習		専 助教	上田 映美 (37) <平成30年4月> 博士(保健学)	基礎看護実習Ⅰ 基礎看護実習Ⅱ 看護統合実習	
専 助教		鈴木 由依子 (36) <令和2年4月> 修士(看護学)	成人看護実習Ⅰ(急性) 成人看護実習Ⅱ(慢性) 成人看護実習Ⅲ(回復・維持) 看護統合実習	専 助教	鈴木 由依子 (34) <令和2年4月> 修士(看護学)	成人看護実習Ⅰ(急性) 成人看護実習Ⅱ(慢性) 成人看護実習Ⅲ(回復・維持) 看護統合実習		専 助教	鈴木 由依子 (35) <令和2年4月> 修士(看護学)	成人看護実習Ⅰ(急性) 成人看護実習Ⅱ(慢性) 成人看護実習Ⅲ(回復・維持) 看護統合実習		専 助教	鈴木 由依子 (37) <令和2年4月> 修士(看護学)	成人看護実習Ⅰ(急性) 成人看護実習Ⅱ(慢性) 成人看護実習Ⅲ(回復・維持) 看護統合実習	
専 助教		藤田 結香里 (30) <平成30年4月> 修士(保健学)	キャリアデザイン・チーム論Ⅱ 基礎看護実習Ⅰ 基礎看護実習Ⅱ 看護統合実習	専 助教	藤田 結香里 (30) <平成30年4月> 修士(保健学)	キャリアデザイン・チーム論Ⅱ 基礎看護実習Ⅰ 基礎看護実習Ⅱ 看護統合実習		専 助教	藤田 結香里 (31) <平成30年4月> 博士(保健学)	キャリアデザイン・チーム論Ⅱ 基礎看護実習Ⅰ 基礎看護実習Ⅱ 看護統合実習		専 助教	藤田 結香里 (33) <平成30年4月> 博士(保健学)	キャリアデザイン・チーム論Ⅱ 基礎看護実習Ⅰ 基礎看護実習Ⅱ 看護統合実習	
専 助教		菅田 恵理 (29) <平成30年4月> 修士(保健学)	老年看護実習Ⅰ 老年看護実習Ⅱ 看護統合実習	専 助教	菅田 恵理 (29) <平成30年4月> 修士(保健学)	老年看護実習Ⅰ 老年看護実習Ⅱ 看護統合実習		専 助教	菅田 恵理 (30) <平成30年4月> 博士(保健学)	老年看護実習Ⅰ 老年看護実習Ⅱ 看護統合実習		専 助教	菅田 恵理 (32) <平成30年4月> 博士(保健学)	老年看護実習Ⅰ 老年看護実習Ⅱ 看護統合実習	
専 助教		相上 律子 (28) <平成31年4月> 修士(保健学)	精神保健看護実習Ⅰ 精神保健看護実習Ⅱ 看護統合実習	専 助教	相上 律子 (27) <平成31年4月> 修士(保健学)	精神保健看護実習Ⅰ 精神保健看護実習Ⅱ 看護統合実習		専 助教	相上 律子 (28) <平成31年4月> 修士(保健学)	精神保健看護実習Ⅰ 精神保健看護実習Ⅱ 看護統合実習		専 助教	相上 律子 (30) <平成31年4月> 修士(保健学)	精神保健看護実習Ⅰ 精神保健看護実習Ⅱ 看護統合実習	
								専 講師	山田 貴代 (55) <令和2年4月> 博士(保健学)	テーマ別基礎ゼミ 母性看護実習 看護統合実習		専 講師	山田 貴代 (56) <令和2年4月> 博士(保健学)	テーマ別基礎ゼミ 母性看護実習 看護統合実習	
								専 講師	伊藤 尚子 (47) <平成31年4月> 修士(学術)	公衆衛生看護方法論Ⅳ(地域看護学) 公衆衛生看護方法論Ⅴ(健康診査・家庭訪問・健康教育) 公衆衛生看護実習		専 講師	伊藤 尚子 (49) <平成31年4月> 修士(学術)	公衆衛生看護方法論Ⅳ(地域看護学) 公衆衛生看護方法論Ⅴ(健康診査・家庭訪問・健康教育) 公衆衛生看護実習	
専 助教		加藤 千夏 (47) <平成30年4月> 修士(保健学)	基礎看護実習Ⅰ 基礎看護実習Ⅱ 看護統合実習	専 助教	加藤 千夏 (47) <平成30年4月> 修士(保健学)	基礎看護実習Ⅰ 基礎看護実習Ⅱ 看護統合実習		専 助教	加藤 千夏 (48) <平成30年4月> 修士(保健学)	基礎看護実習Ⅰ 基礎看護実習Ⅱ 看護統合実習		専 助教	加藤 千夏 (50) <平成30年4月> 博士(保健学)	基礎看護実習Ⅰ 基礎看護実習Ⅱ 看護統合実習	
												専 准教授	中田 明恵 (40) <令和元年1月> 博士(保健学)	テーマ別基礎ゼミ 在宅看護実習 公衆衛生看護方法論Ⅰ(対象別) 公衆衛生看護方法論Ⅱ(公衆衛生看護概論) 公衆衛生看護方法論Ⅴ(健康診査・家庭訪問・健康教育) 公衆衛生看護実習 卒業研究	
				兼任 教授	横川 善正 (69) <平成30年7月> 文学修士	医療と文化 英語Ⅰa		兼任 教授	横川 善正 (70) <平成30年7月> 文学修士	医療と文化 英語Ⅰa		兼任 教授	横川 善正 (72) <平成30年7月> 文学修士	医療と文化 英語Ⅰa	
兼任 教授		木村 繁男 (67) <平成30年4月> Doctor of Philosophy, Mechanical Engineering (米国)	現代科学技術論 ※	兼任 教授	木村 繁男 (67) <平成30年4月> Doctor of Philosophy, Mechanical Engineering (米国)	現代科学技術論 ※		兼任 教授	木村 繁男 (68) <平成30年4月> Doctor of Philosophy, Mechanical Engineering (米国)	現代科学技術論 ※		兼任 教授	木村 繁男 (69) <平成30年4月> Doctor of Philosophy, Mechanical Engineering (米国)	現代科学技術論 ※	
兼任 教授		山田 外史 (68) <平成30年4月> 工学博士	日本産業史 ※	兼任 教授	山田 外史 (69) <平成30年4月> 工学博士	日本産業史 ※		兼任 教授	山田 外史 (70) <平成30年4月> 工学博士	日本産業史 ※		兼任 教授	山田 外史 (71) <平成30年4月> 工学博士	日本産業史 ※	
								兼任 准教授	佐藤 宣伯 (56) <令和2年4月> 修士(保健科学)	看護技術の科学的検証		兼任 准教授	佐藤 宣伯 (57) <令和2年4月> 修士(保健科学)	看護技術の科学的検証	

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	教授	真田 茂 (66) <平成30年4月> 博士(工学) 博士(医学)	キャリアデザイン・チーム論Ⅱ チーム医療論	兼任	教授	真田 茂 (66) <平成30年4月> 博士(工学) 博士(医学)	キャリアデザイン・チーム論Ⅱ チーム医療論	兼任	教授	真田 茂 (68) <平成30年4月> 博士(工学) 博士(医学)	キャリアデザイン・チーム論Ⅱ チーム医療論	兼任	教授	真田 茂 (69) <平成30年4月> 博士(工学) 博士(医学)	キャリアデザイン・チーム論Ⅱ チーム医療論
兼任	教授	中山 謙二 (72) <平成31年4月> 工学博士	統計学	兼任	教授	中山 謙二 (71) <平成31年4月> 工学博士	統計学	兼任	教授	中山 謙二 (72) <平成31年4月> 工学博士	統計学	兼任	教授	中山 謙二 (73) <平成31年4月> 工学博士	統計学
兼任	教授	井関 尚一 (65) <平成30年4月> 医学博士	解剖学 生理学 病理学	兼任	教授	井関 尚一 (65) <平成30年4月> 医学博士	解剖学 生理学 病理学	兼任	教授	井関 尚一 (67) <平成30年4月> 医学博士	解剖学 生理学 病理学	兼任	教授	井関 尚一 (69) <平成30年4月> 医学博士	解剖学 生理学 病理学
兼任	講師	深澤 伸慈 (66) <令和2年4月> 専門学校卒	キャリアデザイン・チーム論Ⅱ チーム医療論	兼任	講師	深澤 伸慈 (64) <令和2年4月> 専門学校卒	キャリアデザイン・チーム論Ⅱ チーム医療論	兼任	講師	深澤 伸慈 (65) <令和2年4月> 専門学校卒	キャリアデザイン・チーム論Ⅱ チーム医療論	兼任	講師	深澤 伸慈 (67) <令和2年4月> 専門学校卒	キャリアデザイン・チーム論Ⅱ チーム医療論
兼任	教授	平山 順 (42) <平成30年4月> 博士 (人間・環境学)	テーマ別基礎ゼミ	兼任	教授	平山 順 (43) <平成30年4月> 博士 (人間・環境学)	テーマ別基礎ゼミ	兼任	教授	平山 順 (44) <平成30年4月> 博士 (人間・環境学)	テーマ別基礎ゼミ	兼任	教授	平山 順 (45) <平成30年4月> 博士 (人間・環境学)	テーマ別基礎ゼミ
兼任	准教授	野川 雅道 (46) <平成30年4月> 修士(工学)	テーマ別基礎ゼミ	兼任	准教授	野川 雅道 (46) <平成30年4月> 修士(工学)	テーマ別基礎ゼミ	兼任	准教授	野川 雅道 (47) <平成30年4月> 修士(工学)	テーマ別基礎ゼミ	兼任	准教授	野川 雅道 (49) <平成30年4月> 修士(工学)	テーマ別基礎ゼミ
兼任	准教授	李 鐘昊 (44) <平成30年4月> 博士(学術)	テーマ別基礎ゼミ 教養としての物理	兼任	准教授	李 鐘昊 (44) <平成30年4月> 博士(学術)	テーマ別基礎ゼミ 教養としての物理	兼任	准教授	李 鐘昊 (45) <平成30年4月> 博士(学術)	テーマ別基礎ゼミ 教養としての物理	兼任	准教授	李 鐘昊 (47) <平成30年4月> 博士(学術)	テーマ別基礎ゼミ 教養としての物理
兼任	准教授	辻村 真一 (39) <平成30年4月> 博士(工学)	テーマ別基礎ゼミ 情報処理応用B												
				兼任	准教授	藤田 一寿 (39) <平成30年7月>	テーマ別基礎ゼミ 情報処理応用B	兼任	准教授	藤田 一寿 (40) <平成30年7月>	テーマ別基礎ゼミ 情報処理応用B	兼任	准教授	藤田 一寿 (41) <平成30年7月>	テーマ別基礎ゼミ 情報処理応用B
兼任	講師	坂元 英雄 (50) <平成30年4月> 修士(工学)	キャリアデザイン・チーム論Ⅱ	兼任	講師	坂元 英雄 (50) <平成30年4月> 修士(工学)	キャリアデザイン・チーム論Ⅱ	兼任	講師	坂元 英雄 (51) <平成30年4月> 修士(工学)	キャリアデザイン・チーム論Ⅱ	兼任	講師	坂元 英雄 (52) <平成30年4月> 修士(工学)	キャリアデザイン・チーム論Ⅱ
兼任	講師	井澤 純子 (48) <平成30年4月> 博士 (情報科学)	テーマ別基礎ゼミ 情報処理基礎 教養としての数学	兼任	講師	井澤 純子 (48) <平成30年4月> 博士 (情報科学)	テーマ別基礎ゼミ 情報処理基礎 教養としての数学	兼任	講師	井澤 純子 (49) <平成30年4月> 博士 (情報科学)	テーマ別基礎ゼミ 情報処理基礎 教養としての数学	兼任	講師	井澤 純子 (51) <平成30年4月> 博士 (情報科学)	テーマ別基礎ゼミ 情報処理基礎 教養としての数学
兼任	教授	岩田 礼 (65) <平成30年4月> 文学修士	アカデミック・スキルズ 言葉と文化 ※	兼任	教授	岩田 礼 (65) <平成30年4月> 文学修士	アカデミック・スキルズ 言葉と文化 ※	兼任	教授	岩田 礼 (66) <平成30年4月> 文学修士	アカデミック・スキルズ 言葉と文化 ※	兼任	教授	岩田 礼 (68) <平成30年4月> 文学修士	アカデミック・スキルズ 言葉と文化 ※
兼任	教授	宮崎 猛 (67) <平成30年4年> 農学博士	アカデミック・スキルズ 自然資源と環境問題	兼任	教授	宮崎 猛 (67) <平成30年4年> 農学博士	アカデミック・スキルズ 自然資源と環境問題	兼任	教授	宮崎 猛 (68) <平成30年4年> 農学博士	アカデミック・スキルズ 自然資源と環境問題	兼任	教授	宮崎 猛 (69) <平成30年4年> 農学博士	アカデミック・スキルズ 自然資源と環境問題

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名												
兼任	教授	VANCE. Timothy John (65) <平成30年4月> Ph. D. linguistics (米国)	VANCE. Timothy John (65) <平成30年4月> Ph. D. linguistics (米国)	兼任	教授	VANCE. Timothy John (65) <平成30年4月> Ph. D. linguistics (米国)	VANCE. Timothy John (65) <平成30年4月> Ph. D. linguistics (米国)	兼任	教授	VANCE. Timothy John (65) <平成30年4月> Ph. D. linguistics (米国)	VANCE. Timothy John (65) <平成30年4月> Ph. D. linguistics (米国)	兼任	教授	VANCE. Timothy John (65) <平成30年4月> Ph. D. linguistics (米国)	VANCE. Timothy John (65) <平成30年4月> Ph. D. linguistics (米国)
			言語と文化 ※ 英語 I b 英語 II b				言語と文化 ※ 英語 I b 英語 II b				言語と文化 ※ 英語 I b 英語 II b				言語と文化 ※ 英語 I b 英語 II b
兼任	教授	盛田 清秀 (65) <平成30年4月> 博士(農学)	盛田 清秀 (65) <平成30年4月> 博士(農学)	兼任	教授	盛田 清秀 (66) <平成30年4月> 博士(農学)	盛田 清秀 (66) <平成30年4月> 博士(農学)	兼任	教授	盛田 清秀 (67) <平成30年4月> 博士(農学)	盛田 清秀 (67) <平成30年4月> 博士(農学)	兼任	教授	盛田 清秀 (68) <平成30年4月> 博士(農学)	盛田 清秀 (68) <平成30年4月> 博士(農学)
			経済学 ※												
兼任	教授	西村 聡 (65) <令和2年4月> 博士(文学)	西村 聡 (63) <令和2年4月> 博士(文学)	兼任	教授	西村 聡 (64) <令和2年4月> 博士(文学)	西村 聡 (64) <令和2年4月> 博士(文学)	兼任	教授	西村 聡 (65) <令和2年4月> 博士(文学)	西村 聡 (65) <令和2年4月> 博士(文学)	兼任	教授	西村 聡 (66) <令和2年4月> 博士(文学)	西村 聡 (66) <令和2年4月> 博士(文学)
			南加賀の歴史と文化 日本の伝統芸能 文章表現法												
兼任	教授	岡村 徹 (56) <平成30年4月> 博士 (比較社会文化)	岡村 徹 (56) <平成30年4月> 博士 (比較社会文化)	兼任	教授	岡村 徹 (57) <平成30年4月> 博士 (比較社会文化)	岡村 徹 (57) <平成30年4月> 博士 (比較社会文化)	兼任	教授	岡村 徹 (58) <平成30年4月> 博士 (比較社会文化)	岡村 徹 (58) <平成30年4月> 博士 (比較社会文化)	兼任	教授	岡村 徹 (59) <平成30年4月> 博士 (比較社会文化)	岡村 徹 (59) <平成30年4月> 博士 (比較社会文化)
			アカデミック・スキルズ 英語 I a 英語 II a 英語 II b				アカデミック・スキルズ 英語 I a 英語 II a 英語 II b				アカデミック・スキルズ 英語 I a 英語 II a 英語 II b				アカデミック・スキルズ 英語 I a 英語 II a 英語 II b
兼任	教授	約谷 茂樹 (58) <平成30年4月> 修士(文学)	約谷 茂樹 (58) <平成30年4月> 修士(文学)	兼任	教授	約谷 茂樹 (59) <平成30年4月> 修士(文学)	約谷 茂樹 (59) <平成30年4月> 修士(文学)	兼任	教授	約谷 茂樹 (60) <平成30年4月> 修士(文学)	約谷 茂樹 (60) <平成30年4月> 修士(文学)	兼任	教授	約谷 茂樹 (61) <平成30年4月> 修士(文学)	約谷 茂樹 (61) <平成30年4月> 修士(文学)
			文化人類学 スペイン語 I スペイン語 II												
兼任	教授	劉 適華 (55) <平成30年4月> 文学修士 (中国)	劉 適華 (55) <平成30年4月> 文学修士 (中国)	兼任	教授	劉 適華 (56) <平成30年4月> 文学修士 (中国)	劉 適華 (56) <平成30年4月> 文学修士 (中国)	兼任	教授	劉 適華 (57) <平成30年4月> 文学修士 (中国)	劉 適華 (57) <平成30年4月> 文学修士 (中国)	兼任	教授	劉 適華 (58) <平成30年4月> 文学修士 (中国)	劉 適華 (58) <平成30年4月> 文学修士 (中国)
			中国語 I 中国語 II												
兼任	准教授	塩谷 サルフィ マクスーダ (63) <平成30年4月> Doctor of Philosophy (印国)	塩谷 サルフィ マクスーダ (63) <平成30年4月> Doctor of Philosophy (印国)	兼任	准教授	塩谷 サルフィ マクスーダ (64) <平成30年4月> Doctor of Philosophy (印国)	塩谷 サルフィ マクスーダ (64) <平成30年4月> Doctor of Philosophy (印国)	兼任	准教授	塩谷 サルフィ マクスーダ (65) <平成30年4月> Doctor of Philosophy (印国)	塩谷 サルフィ マクスーダ (65) <平成30年4月> Doctor of Philosophy (印国)	兼任	准教授	塩谷 サルフィ マクスーダ (66) <平成30年4月> Doctor of Philosophy (印国)	塩谷 サルフィ マクスーダ (66) <平成30年4月> Doctor of Philosophy (印国)
			英語 I a 英語 II a 英語 II b				英語 I a 英語 II a 英語 II b				英語 I a 英語 II a 英語 II b				英語 I a 英語 II a 英語 II b
兼任	准教授	中子(佐藤) 富貴子 (50) <平成30年4月> 博士(創造都市)	中子(佐藤) 富貴子 (50) <平成30年4月> 博士(創造都市)	兼任	准教授	中子(佐藤) 富貴子 (51) <平成30年4月> 博士(創造都市)	中子(佐藤) 富貴子 (51) <平成30年4月> 博士(創造都市)	兼任	准教授	中子(佐藤) 富貴子 (52) <平成30年4月> 博士(創造都市)	中子(佐藤) 富貴子 (52) <平成30年4月> 博士(創造都市)	兼任	准教授	中子(佐藤) 富貴子 (53) <平成30年4月> 博士(創造都市)	中子(佐藤) 富貴子 (53) <平成30年4月> 博士(創造都市)
			アカデミック・スキルズ												
兼任	准教授	小原 文衛 (49) <平成30年4月> 文学修士	小原 文衛 (49) <平成30年4月> 文学修士	兼任	准教授	小原 文衛 (50) <平成30年4月> 文学修士	小原 文衛 (50) <平成30年4月> 文学修士	兼任	准教授	小原 文衛 (51) <平成30年4月> 文学修士	小原 文衛 (51) <平成30年4月> 文学修士	兼任	准教授	小原 文衛 (52) <平成30年4月> 文学修士	小原 文衛 (52) <平成30年4月> 文学修士
			英語 I a 英語 II a				英語 I a 英語 II a				英語 I a 英語 II a				英語 I a 英語 II a
兼任	准教授	一ノ瀬 忠之 (43) <平成30年4月> 博士(商学)	一ノ瀬 忠之 (43) <平成30年4月> 博士(商学)	兼任	准教授	一ノ瀬 忠之 (44) <平成30年4月> 博士(商学)	一ノ瀬 忠之 (44) <平成30年4月> 博士(商学)	兼任	准教授	一ノ瀬 忠之 (45) <平成30年4月> 博士(商学)	一ノ瀬 忠之 (45) <平成30年4月> 博士(商学)	兼任	准教授	一ノ瀬 忠之 (46) <平成30年4月> 博士(商学)	一ノ瀬 忠之 (46) <平成30年4月> 博士(商学)
			経済学 ※ ロシア語 I ロシア語 II												
兼任	准教授	木村 誠 (38) <平成31年4月> 博士(学術)	木村 誠 (38) <平成31年4月> 博士(学術)	兼任	准教授	木村 誠 (39) <平成31年4月> 博士(学術)	木村 誠 (39) <平成31年4月> 博士(学術)	兼任	准教授	木村 誠 (40) <平成31年4月> 博士(学術)	木村 誠 (40) <平成31年4月> 博士(学術)	兼任	准教授	木村 誠 (41) <平成31年4月> 博士(学術)	木村 誠 (41) <平成31年4月> 博士(学術)
			アカデミック・スキルズ 心理学 人間の発達と心												
兼任	准教授	木場 紗綾 (37) <平成30年4月> 博士(政治学)	木場 紗綾 (37) <平成30年4月> 博士(政治学)	兼任	准教授	木場 紗綾 (38) <平成30年4月> 博士(政治学)	木場 紗綾 (38) <平成30年4月> 博士(政治学)	兼任	准教授	木場 紗綾 (39) <平成30年4月> 博士(政治学)	木場 紗綾 (39) <平成30年4月> 博士(政治学)	兼任	准教授	木場 紗綾 (40) <平成30年4月> 博士(政治学)	木場 紗綾 (40) <平成30年4月> 博士(政治学)
			アカデミック・スキルズ 政治学 ※												
兼任	准教授	千葉 悠志 (32) <平成30年4月> 博士(地域研究)	千葉 悠志 (32) <平成30年4月> 博士(地域研究)	兼任	准教授	千葉 悠志 (33) <平成30年4月> 博士(地域研究)	千葉 悠志 (33) <平成30年4月> 博士(地域研究)	兼任	准教授	千葉 悠志 (34) <平成30年4月> 博士(地域研究)	千葉 悠志 (34) <平成30年4月> 博士(地域研究)	兼任	准教授	千葉 悠志 (35) <平成30年4月> 博士(地域研究)	千葉 悠志 (35) <平成30年4月> 博士(地域研究)
			アカデミック・スキルズ 政治学 ※												

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名												
兼任 講師		磯 陽子 (4) <平成30年4月> 博士(学術)	医療と文化												
兼任 講師		溝部 明男 (68) <平成30年4月> 文学修士	社会学	兼任 講師		溝部 明男 (68) <平成30年4月> 文学修士	社会学	兼任 講師		溝部 明男 (70) <平成30年4月> 文学修士	社会学	兼任 講師		溝部 明男 (71) <平成30年4月> 文学修士	社会学
兼任 講師		木村 高宏 (43) <平成30年4月> 博士(政策科学)	公共政策論	兼任 講師		木村 高宏 (44) <平成30年4月> 博士(政策科学)	公共政策論	兼任 講師		木村 高宏 (45) <平成30年4月> 博士(政策科学)	公共政策論	兼任 講師		木村 高宏 (46) <平成30年4月> 博士(政策科学)	公共政策論
兼任 講師		榊原 千秋 (56) <平成30年4月> 博士(保健学)	健康と体の科学 ※	兼任 講師		榊原 千秋 (56) <平成30年4月> 博士(保健学)	健康と体の科学 ※	兼任 講師		榊原 千秋 (58) <平成30年4月> 博士(保健学)	健康と体の科学 ※	兼任 講師		榊原 千秋 (59) <平成30年4月> 博士(保健学)	健康と体の科学 ※
兼任 講師		井上 英夫 (70) <平成30年4月> 法学修士	社会福祉論 保健医療福祉法制度論	兼任 講師		井上 英夫 (71) <平成30年4月> 法学修士	社会福祉論 保健医療福祉法制度論	兼任 講師		井上 英夫 (72) <平成30年4月> 法学修士	社会福祉論 保健医療福祉法制度論	兼任 講師		井上 英夫 (73) <平成30年4月> 法学修士	社会福祉論 保健医療福祉法制度論
兼任 講師		山崎 友也 (45) <平成30年4月> 修士(法学)	日本国憲法	兼任 講師		山崎 友也 (45) <平成30年4月> 修士(法学)	日本国憲法	兼任 講師		山崎 友也 (47) <平成30年4月> 修士(法学)	日本国憲法	兼任 講師		山崎 友也 (48) <平成30年4月> 修士(法学)	日本国憲法
兼任 講師		松下 裕子 (58) <平成30年4月> 体育学士	スポーツ演習(バレーボール) スポーツ演習(硬式テニス) スポーツ演習(フットサル) スポーツ演習(卓球) スポーツ演習(バドミントン)	兼任 講師		松下 裕子 (58) <平成30年4月> 体育学士	スポーツ演習(バレーボール) スポーツ演習(硬式テニス) スポーツ演習(フットサル) スポーツ演習(卓球) スポーツ演習(バドミントン)	兼任 講師		松下 裕子 (60) <平成30年4月> 体育学士	スポーツ演習(バレーボール) スポーツ演習(硬式テニス) スポーツ演習(フットサル) スポーツ演習(卓球) スポーツ演習(バドミントン)	兼任 講師		松下 裕子 (61) <平成30年4月> 体育学士	スポーツ演習(バレーボール) スポーツ演習(硬式テニス) スポーツ演習(フットサル) スポーツ演習(卓球) スポーツ演習(バドミントン)
兼任 講師		川島 嘉美 (49) <令和2年4月> 修士(文学)	英語 I a	兼任 講師		川島 嘉美 (49) <令和2年4月> 修士(文学)	英語 I a	兼任 講師		川島 嘉美 (50) <令和2年4月> 修士(文学)	英語 I a	兼任 講師		川島 嘉美 (51) <令和2年4月> 修士(文学)	英語 I a
兼任 講師		ABE DAVID KIYOSHI (53) <令和2年4月> 博士(学術)	英語 I a	兼任 講師		ABE DAVID KIYOSHI (53) <令和2年4月> 博士(学術)	英語 I a	兼任 講師		ABE DAVID KIYOSHI (54) <令和2年4月> 博士(学術)	英語 I a	兼任 講師		ABE DAVID KIYOSHI (55) <令和2年4月> 博士(学術)	英語 I a 英語 II a
兼任 講師		Raker Vincent ERIC (49) <平成30年4月> B. A. (Psychology) (米国)	英語 I b 英語 II b	兼任 講師		Raker Vincent ERIC (49) <平成30年4月> B. A. (Psychology) (米国)	英語 I b 英語 II b	兼任 講師		Raker Vincent ERIC (50) <平成30年4月> B. A. (Psychology) (米国)	英語 I b 英語 II b	兼任 講師		Raker Vincent ERIC (51) <平成30年4月> B. A. (Psychology) (米国)	英語 I b 英語 II b
兼任 講師		ERTL JOHN JOSEF (43) <平成30年4月> PhD Cultural Anthropology (米国)	英語 I b	兼任 講師		ERTL JOHN JOSEF (43) <平成30年4月> PhD Cultural Anthropology (米国)	英語 I b	兼任 講師		ERTL JOHN JOSEF (44) <平成30年4月> PhD Cultural Anthropology (米国)	英語 I b	兼任 講師		ERTL JOHN JOSEF (45) <平成30年4月> PhD Cultural Anthropology (米国)	英語 I b
兼任 講師		FOX SENAN JAMES (42) <平成30年4月> PhD in International Relations (英国)	英語 II b	兼任 講師		FOX SENAN JAMES (42) <平成30年4月> PhD in International Relations (英国)	英語 II b	兼任 講師		FOX SENAN JAMES (43) <平成30年4月> PhD in International Relations (英国)	英語 I b 英語 II b	兼任 講師		FOX SENAN JAMES (44) <平成30年4月> PhD in International Relations (英国)	英語 I b 英語 II b
兼任 講師		島内 俊彦 (48) <平成30年4月> 学士 (外国研究)	英語 III 英会話 I 英会話 II 実用英語 I 実用英語 II 実用英語 III 実用英語 IV	兼任 講師		島内 俊彦 (48) <平成30年4月> 学士 (外国研究)	英語 III 英会話 I 英会話 II 実用英語 I 実用英語 II 実用英語 III 実用英語 IV	兼任 講師		島内 俊彦 (49) <平成30年4月> 学士 (外国研究)	英語 III 英会話 I 英会話 II 実用英語 I 実用英語 II 実用英語 III 実用英語 IV	兼任 講師		島内 俊彦 (49) <平成30年4月> 学士 (外国研究)	英語 III 英会話 I 英会話 II 実用英語 I 実用英語 II 実用英語 III 実用英語 IV

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
	担当授業科目名					
兼任	講師	岩津 航 (42) <平成30年4月> Doctorat (Littérature comparée) (仏国)	岩津 航 (42) <平成30年4月> Doctorat (Littérature comparée) (仏国)	岩津 航 (44) <平成30年4月> Doctorat (Littérature comparée) (仏国)	岩津 航 (45) <平成30年4月> Doctorat (Littérature comparée) (仏国)	岩津 航 (55) <平成30年4月> Doctorat (Littérature comparée) (仏国)
		フランス語 I フランス語 II				
兼任	講師	名執 純子 (49) <平成30年4月> 修士(文学)	名執 純子 (49) <平成30年4月> 修士(文学)	名執 純子 (50) <平成30年4月> 修士(文学)	名執 純子 (52) <平成30年4月> 修士(文学)	名執 純子 (52) <平成30年4月> 修士(文学)
		ドイツ語 I ドイツ語 II				
兼任	講師	南保 英孝 (46) <平成30年4月> 博士(工学)	南保 英孝 (46) <平成30年4月> 博士(工学)	南保 英孝 (47) <平成30年4月> 博士(工学)	南保 英孝 (48) <平成30年4月> 博士(工学)	南保 英孝 (49) <平成30年4月> 博士(工学)
		情報処理基礎	情報処理基礎	情報処理基礎	情報処理基礎	情報処理基礎
兼任	講師	岡本 成史 (52) <平成30年4月> 博士(歯学)	岡本 成史 (52) <平成30年4月> 博士(歯学)	岡本 成史 (53) <平成30年4月> 博士(歯学)	岡本 成史 (54) <平成30年4月> 博士(歯学)	岡本 成史 (55) <平成30年4月> 博士(歯学)
		感染免疫学	感染免疫学	感染免疫学	感染免疫学	感染免疫学
兼任	講師	水野 洋子 (67) <平成30年4月> 短期大学卒	水野 洋子 (67) <平成30年4月> 短期大学卒	水野 洋子 (68) <平成30年4月> 短期大学卒	水野 洋子 (70) <平成30年4月> 短期大学卒	水野 洋子 (70) <平成30年4月> 短期大学卒
		栄養・生化学 ※				
兼任	講師	千葉 賢三 (69) <平成30年4月> 医学博士	千葉 賢三 (69) <平成30年4月> 医学博士	千葉 賢三 (70) <平成30年4月> 医学博士	千葉 賢三 (71) <平成30年4月> 医学博士	千葉 賢三 (72) <平成30年4月> 医学博士
		栄養・生化学 ※				
兼任	講師	川井 恵一 (59) <平成30年4月> 薬学博士	川井 恵一 (59) <平成30年4月> 薬学博士	川井 恵一 (60) <平成30年4月> 薬学博士	川井 恵一 (61) <平成30年4月> 薬学博士	川井 恵一 (62) <平成30年4月> 薬学博士
		薬理学	薬理学	薬理学	薬理学	薬理学
兼任	講師	荒谷 穂治 (65) <平成31年4月> 医学博士	荒谷 穂治 (64) <平成31年4月> 医学博士	荒谷 穂治 (65) <平成31年4月> 医学博士	荒谷 穂治 (66) <平成31年4月> 医学博士	荒谷 穂治 (67) <平成31年4月> 医学博士
		老年疾病・治療論	老年疾病・治療論	老年疾病・治療論	老年疾病・治療論	老年疾病・治療論
兼任	講師	櫻井 勝 (47) <平成31年4月> 博士(医学)	櫻井 勝 (46) <平成31年4月> 博士(医学)	櫻井 勝 (47) <平成31年4月> 博士(医学)	櫻井 勝 (48) <平成31年4月> 博士(医学)	櫻井 勝 (49) <平成31年4月> 博士(医学)
		公衆衛生学	公衆衛生学	公衆衛生学	公衆衛生学	公衆衛生学
兼任	講師	亀田 正二 (72) <平成31年4月> 医学士	亀田 正二 (71) <平成31年4月> 医学士	亀田 正二 (72) <平成31年4月> 医学士	亀田 正二 (73) <平成31年4月> 医学士	亀田 正二 (74) <平成31年4月> 医学士
		急性疾病論	急性疾病論	老年疾病・治療論	老年疾病・治療論	老年疾病・治療論
兼任	講師	村上 弘一 (61) <平成31年4月> 医学博士	村上 弘一 (60) <平成31年4月> 医学博士	村上 弘一 (61) <平成31年4月> 医学博士	村上 弘一 (62) <平成31年4月> 医学博士	村上 弘一 (63) <平成31年4月> 医学博士
		母子疾病・治療論	母子疾病・治療論	母子疾病・治療論	母子疾病・治療論	母子疾病・治療論
兼任	講師	加藤 康洋 (76) <平成31年4月> 医学博士	加藤 康洋 (75) <平成31年4月> 医学博士	加藤 康洋 (76) <平成31年4月> 医学博士	加藤 康洋 (77) <平成31年4月> 医学博士	加藤 康洋 (78) <平成31年4月> 医学博士
		生活習慣病論	生活習慣病論	生活習慣病論	生活習慣病論	生活習慣病論
				吉田 豊 (81) <平成31年4月> 医学博士	吉田 豊 (82) <平成31年4月> 医学博士	吉田 豊 (83) <平成31年4月> 医学博士
				急性疾患論	急性疾患論	急性疾患論

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【平成30年度】

- ・共通教育科目「医療と文化」の担当教員を、兼任教員から兼任教員である横川善正教授に変更。国際文化交流学部専任教員として平成30年度第1回AC教員審査に提出（平成30年4月教員審査済）。
- ・辻村 真一准教授就任辞退。代わりに兼任教員の藤田 一寿准教授を共通教育科目「情報処理応用B」の担当とする。

【令和元年度】

- ・共通教育科目「情報処理基礎」の担当教員として、兼任教員の史 金星助教を追加。
- ・共通教育科目「情報処理基礎」の担当教員として、兼任教員の朴 亨原助教を追加。
- ・共通教育科目「英語1a」の担当教員として、兼任教員の横川善正教授を追加。
- ・共通教育科目「英語1b」の担当教員を、兼任教員のERTL JOHN JOSEF講師から兼任教員のFOX SENAN JAMES講師に変更。
- ・共通教育科目「フランス語Ⅰ」「フランス語Ⅱ」の担当教員を、兼任教員の岩津 航講師から兼任教員の大竹口 麻里講師に変更。
- ・兼任教員の亀田 正二講師の担当科目から専門科目「急性疾病論」を削除し、専門科目「老年疾病・治療論」を追加。
- ・専門科目「急性疾病論」の担当教員に、兼任教員の吉田 豊講師を追加。
- ・伊藤 尚子講師を看護学科の専任教員として新規採用し、専門科目「公衆衛生看護方法論Ⅳ（地域看護診断）」「公衆衛生看護方法論Ⅴ（健康診査・家庭訪問・健康教育）」「公衆衛生看護実習」の担当教員に追加。（平成31年4月教員審査済）。

【令和2年度】

- ・共通教育科目「フランス語Ⅰ」「フランス語Ⅱ」の担当教員を、兼任教員の岩津 航講師から兼任教員の山田 貴代講師に変更。
- ・兼任教員の川島 嘉美講師の本務先の事情により共通教育科目「英語Ⅰa」の担当が困難になったため担当教員表から削除。
- ・兼任教員の島内 俊彦准教授の新規採用にともない、兼任教員から兼任教員に変更。保有学位を学士（外国研究）から博士（学術）に変更。
- ・兼任教員の小原 文衛准教授の保有学位を文学修士から博士（文学）に変更。
- ・専任教員の山下 純子准教授の退職にともない、担当教員表から削除。
- ・山田 貴代講師を看護学科の専任教員として新規採用し、専門科目「テーマ別基礎ゼミ」「母性看護実習」「看護統合実習」の担当教員に追加。令和2年度第1回AC教員審査に提出（5月1日時点で審査中）。

【令和3年度】

- ・中田 明恵准教授を看護学科の専任教員として新規採用し、共通教育科目「テーマ別基礎ゼミ」および専門科目「在宅看護実習」「公衆衛生看護方法論Ⅰ（対象別）」「公衆衛生看護方法論Ⅱ（公衆衛生看護技術）」「公衆衛生看護方法論Ⅴ（健康診査・家庭訪問・健康教育）」「公衆衛生看護実習」「卒業研究」の担当教員に追加。（令和3年1月教員審査済）
- ・専任教員の片山 美穂助教の職位を助教から講師に変更。（令和3年1月教員審査済）
- ・兼任教員の石若 裕子准教授就任辞退
- ・兼任教員の史金星助教の職位を准教授に変更。（令和3年1月教員審査済）
- ・兼任教員の朴亨原助教の職位を准教授に変更。（令和3年1月教員審査済）
- ・新田 雅道教授退任。代わりに兼任教員として上野 祐亮助教を採用し、共通教育科目「情報処理基礎」の担当教員として追加。令和2年度第4回AC教員審査に提出（令和3年1月教員審査済）。
- ・兼任教員の小原 文衛准教授の職位を教授に変更。
- ・兼任教員の長辻 幸助教の職位を准教授に変更。
- ・宮崎 猛教授退任にともない、共通教育科目「自然資源と環境問題」の担当教員として兼任教員の朝倉 由希講師を追加。
- ・共通教育科目「英語Ⅱa」の担当教員として、兼任教員のABE DAVID KIYOSHI講師を追加。
- ・共通教育科目「言葉と文化」の担当教員として、兼任教員の加藤 和夫講師を追加。

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（令和元年度開設であれば平成30年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
12	6
名	名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一により算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')
10	2	3	10	25	0	10	2	6	8	26	4
8	2	3	5	18	0						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')
10	2	3	10	25	0	10	2	3	10	25	0
[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「**現在（報告時）の完成年度時の状況**」には、「**現在（報告時）の状況**」に記入した数字に、**教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入**するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65	4	5
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{25}{25} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{4}{26} = \boxed{15.38} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
		該当なし								
合計 (D)						後任補充状況の集計 (E)				
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
1	准教授	日下 純子	R2.3	必修	テーマ別基礎ゼミ	①	R2.3.31付け他大学就任のため辞職 (2)			
				必修	在宅看護実習	①				
				選択	公衆衛生看護方法論III (学校・産業・災害)	①				
				選択	公衆衛生看護方法論IV (地域看護診断)	①				
				選択	公衆衛生看護方法論V (健康診査・家庭訪問・健康教育)	①				
				選択	公衆衛生看護実習	①				
				必修	卒業研究	①				
合計 (F)						後任補充状況の集計 (G)				
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
1	人	必修	3	科目	必修	3	科目	必修	0	科目
		選択	4	科目	選択	4	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	7	科目	計	7	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -③ 上記(3) -① ・ (3) -② の合計

合計 (D) + (F)			後任補充状況の集計 (E) + (G)					
辞任等した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
1 人	必修	3 科目	必修	3 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
	選択	4 科目	選択	4 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	7 科目	計	7 科目	計	0 科目	計	0 科目

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D)+(F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{1}{25} = \boxed{4} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) -⑤ 令和2年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

人

(注) ・ (3) -①、(3) -②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。

(3) -⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由		
		該当なし						
合計			後任補充状況の集計					
辞任した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0 人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

専任教員辞任による科目担当者変更については、授業担当能力を満たしている専任・兼任・兼任教員で対応出来ており、学生の履修等への影響は無いものとする。学生への周知については時間割および学科オリエンテーションによって行った。今後専任教員の交代があった場合についても、授業担当能力のある教員を配置して学生の履修への影響の無いように徹底したい。

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の 実 施 計 画
<p>認 可 時</p> <p>(平成29年)</p>	<p>・設置の趣旨・目的等が生かされるよう、設置計画を確実に履行すること。また、開設時から4年制大学にふさわしい教育研究活動を行うことはもとより、その水準を一層向上させるよう努めること。</p>	<p>・理事長・学長のトップマネジメントのもとに、設置計画を確実に履行し、的確な大学運営を行っている。</p> <p>・教育研究活動水準の向上に向け、全学委員会及び学部教授会の両体制から取り組みを行うことを予定している。(平成30年度)</p> <p>・設置計画の的確な履行に向け、各種審議会や全学委員会を組織し、理事長・学長のトップマネジメントのもとに大学を組織的に運営するための体制を構築した。</p> <p>・授業評価アンケートに基づく授業改善活動や学部内でのプロジェクト型研究の始動など、教育研究活動の水準向上のための活動を実施している。</p> <p>・中期計画及び年度計画に基づき、一つひとつの事項を計画的に推進するとともに、定期的な進捗管理を行う体制を構築した。(令和元年度)</p> <p>・引き続き中期計画及び年度計画に基づき、一つひとつの事項を計画的に推進するとともに、各種委員会において定期的な進捗管理を行った。(令和2年度)</p> <p>・設置計画を的確に履行するとともに、教育研究活動のさらなる向上のため、授業評価アンケートや学部内でのプロジェクト型研究を実施した。</p> <p>・中期計画および年度計画の進捗状況確認のため、年2回自己点検・評価委員会を実施した。(令和3年度)</p>	<p>・5月に6年間の計画である中期計画(6年間の計画)を策定し、その後、年度計画を策定する。</p> <p>・年度計画を踏まえ、全学委員会である「教育企画委員会」、「研究・地域連携委員会」が具体的な活動計画を策定し、個々の活動は学部教授会のもとに行っていく。(平成30年度)</p> <p>・大学の各組織が行う活動が設置の趣旨・目的を踏まえた取組となっているのかを、理事長・学長のトップマネジメントもとに行う進捗管理の中で確認し、計画が適切に履行されているのかを検証していく。(令和元年度)</p> <p>・理事長・学長のトップマネジメントのもと、各種審議会や全学委員会において、計画が適切に履行されているのか引き続き検証していく。</p> <p>・自己点検・評価委員会を定期的に開催し、各組織の課題と進捗状況について情報共有するとともに、組織間の連携を図る。(令和2年度)</p> <p>・引き続き、自己点検・評価委員会を定期的に開催し、各組織の課題と進捗状況について情報共有するとともに、組織間の連携を図る。(令和3年度)</p>

留意事項

履行中

<p>認可時 (平成29年)</p>	<p>・運動場及び体育館が別地にあることから、教育に支障のないようにすることはもとより、学生の課外活動等に配慮すること。</p>	<p>留意事項</p>	<p>・スポーツ演習科目においては、中央キャンパス近くの体育施設を利用するとともに、シャトルバスの運行により支障が生じないように対応している。</p> <p>・小松市により、中央キャンパスの近傍に課外活動の拠点として利用できる建物が設置され、学生の活動を支える環境が高まっている。(平成30年度)</p> <p>・シャトルバスの追加導入を行い、スポーツ演習だけではなく、課外活動においても利用できるよう運行表を組んでいる。(令和元年度)</p> <p>・引き続きシャトルバスの追加導入を行い、スポーツ演習だけではなく、課外活動においても利用できるよう運行表を組んでいる。(令和2年度)</p> <p>・引き続きシャトルバスを定期的に運行し、授業および課外活動での利用が可能な運行表を組んでいる。(令和3年度)</p>	<p>履行済</p>	<p>・今後も、アンケート等により学生のニーズの把握に努め、地域社会との協力のもとに、教育環境の向上を図っていく。(平成30年度)</p> <p>・学生の動きを把握するとともにそのニーズを捉え、教育活動や課外活動等を行いやすくなるよう環境の改善に引き続き取り組んでいく。(令和元年度)</p> <p>・アンケートを定期的に実施し、課題の共有や授業改善、課外活動に関するニーズを捉えることで、学生の学習意欲を高めるとともに、キャンパスライフを支える環境の向上を図る。(令和2年度)</p> <p>・引き続きアンケートを定期的に実施し、課題の共有や授業改善、課外活動に関するニーズを捉えることで、学生の学習意欲を高めるとともに、キャンパスライフを支える環境の向上を図る。(令和3年度)</p>
<p>認可時 (平成29年)</p>	<p>・完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編製の将来構想について着実に実施すること。</p>	<p>留意事項</p>	<p>・若手教員の育成については、専門分野に留まらず他分野の教授等と連携した教育研究活動を行い、後継者の育成を行っていく。</p> <p>・中長期的な観点から、教員採用・育成のための計画を策定し、それに沿って教員人事の適正な運用を行う予定である。(30年度)</p> <p>・引き続き他分野の教授等と連携した教育研究活動を行い、後継者の育成を行っていく。</p> <p>・教員組織の在り方について検討を行っている。また、今後の教員採用にあたっての全学的な基準づくりを行っている。(令和元年度)</p> <p>・引き続き教員組織の在り方について検討を行っている。</p> <p>・教員採用計画に基づき、教員の公募を開始している。(令和2年度)</p> <p>・引き続き教員採用計画に基づき、教員の公募・採用を行っている。(令和3年度)</p>	<p>履行中</p>	<p>・今年度中に、完成年度までの教員採用・育成計画を策定に着手する。策定後は、計画のもとに、教員の公募・育成等を行うとともに、適宜AC教員審査に諮っていく。(30年度)</p> <p>・教員採用・育成のための計画づくりを推進するとともに、学部学科間のバランスや経営状況を踏まえた全学的な視点での検討も行う。(令和元年度)</p> <p>・今年度中に、教員採用・育成計画のもと、教員の公募・育成を行い、適宜AC教員審査に諮る。(令和2年度)</p> <p>・引き続き教員採用・育成計画のもと、教員の公募・育成を行い、適宜AC教員審査に諮る。(令和3年度)</p>

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<保健医療学部 看護学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 公立小松大学FD・SD推進委員会規則を制定（30年4月）</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） 平成31年3月 開催</p> <p>c 委員会の審議事項等 FD・SDの推進計画の策定、実施に関すること</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 財務システム研修会 ・ 公立大学の役割を学ぶ研修会 ・ 入試の全国的な動向や高校生の傾向を学ぶ研修会 ・ 労働安全衛生に係る研修会 ・ 競争的研究資金獲得に向けた研修会 ・ 研究倫理研修会（e-ラーニング） ・ 新任事務職員のための研修会 ・ 授業方法に係る研修会 ・ 研究計画調書の作成に係る研修会 ・ 救命講習会 ・ 大学コンソーシアム主催 オンライン研修会 ・ 公立大学協会配信オンライン研修 ・ 公立大学職員セミナー ・ 公立大学法人会計セミナー <p>b 実施方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 開学後早急にFD・SD活動を開始するため、理事長・学長の指導のもと、各委員会等が研修会を企画した。全学における実施結果は、公立小松大学FD・SD推進委員会がとりまとめ総括した。
--

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・ 財務システム研修会（30年4月、31年4月） 教員・事務職員対象 全員受講
- ・ 公立大学の役割を学ぶ研修会（30年7月、元年7月） 教員・事務職員対象 88人参加
- ・ 入試の全国的な動向や高校生の傾向を学ぶ研修会（30年8月、元年8月）
教員・入試関連事務職員対象 62人参加
- ・ 労働安全衛生に係る研修会（31年2月） 教員・事務職員対象 66人参加
- ・ 競争的研究資金獲得に向けた研修会（31年3月） 教員・研究関連事務職員対象 32人参加
- ・ 研究倫理研修会（e-ラーニング） 教員対象 3月までに全教員の受講完了を確認
- ・ 新任事務職員のための研修会（30年4月～10月、31年4月～10月） 新任事務職員対象 11人参加
- ・ 授業評価アンケートの結果を受け、学長から学部長・学科長に対し指導を指示
学科ごとに対応を実施（30年12月）
- ・ 授業方法に係る研修会（元年7月） 教員対象 74人参加
- ・ 研究計画調査の作成に係る研修会（元年9月） 教員対象 60人参加
- ・ 救命講習会（元年9月） 教員・事務職員対象 全員受講
- ・ 大学コンソーシアム主催 オンライン研修会（令和2年9月） 教員・事務職員対象 62人参加
- ・ 公立大学協会配信オンライン研修 事務・医療職員 5人参加
- ・ 公立大学職員セミナー 事務職員 11人参加
- ・ 公立大学法人会計セミナー 事務職員 5人参加

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・ 授業評価アンケートに基づき、学部学科単位で改善を実施
- ・ プレゼンテーション能力やアクティブラーニング等の研修実施に向けた準備を実施中

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

前期・後期のそれぞれの終了時に授業科目ごとに実施

b 教員や学生への公開状況、方法等

- ・ 授業評価アンケートの結果を受け、学長から学部長・学科長に対し指導を指示
学科ごとに対応を実施（30年12月、元年12月、令和2年7～8月、1～2月）
- ・ アンケート結果を受けての大学としての対応について、学長メッセージとして掲示板に掲示し周知している
（前期・後期終了後）

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

地方独立行政法人法の規定も踏まえ、自己点検・評価委員会を設置し、理事長・学長のトップマネジメントによる法人・大学の運営が行われる仕組みを構築した。大学の各組織は、年に2度理事長・学長によるヒアリングを受けることになっており、目標や方針の確認及び進捗状況の点検確認を行っている。

職員の資質や意識の更なる向上を図りつつ、設置の趣旨・目的に達成に向け組織全体が一丸となって取り組んでいく環境を引き続き整えていきたい。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・令和3年6月 公表予定

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開予定（令和3年6月末を予定）

③ 認証評価を受ける計画

・学内で検討を行っている。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和3年度）

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

《 a で「有」の場合 》

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ()]

《 a で公表「無」の場合 》

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

大学番号 公立10

注3

設置年度 平成 30年度
計画の区分：大学の設置
注1

認可

公立小松大学 保健医療学部 臨床工学科
注2

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

公立大学法人公立小松大学
令和3年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名	総務課
職名・氏名	カカリインカミバヤシ 係員・上林 あい
電話番号	0761-23-6600
（夜間）	0761-23-6600
e-mail	soumu@komatsu-u.ac.jp

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
- 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。
例) 〇〇大学 △△学部 □□学科
(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。
例)
・大学の設置の場合：「〇〇大学」
・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
- 3 大学番号の欄については、調査対象大学等に対して別途発出する、事務連絡「令和3年度の履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

保健医療学部

<臨床工学科>

ページ

1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	19
4. 既設大学等の状況	20
5. 教員組織の状況	21
6. 附帯事項等に対する履行状況等	34
7. その他全般的事項	37

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

公立大学法人公立小松大学

(2) 大学名

公立小松大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒923-0921

石川県小松市土居原町10-10

〒923-0961

石川県小松市向本折町へ14-1

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(イシダ ヒロト) 石田 寛人 (現職就任30年4月)		
学長	(ヤマモト ヒロシ) 山本 博 (現職就任30年4月)		
学部長	(キタオカ カズヨ) 北岡 和代 (現職就任30年4月)		
学科長等	(サナダ シゲル) 真田 茂 (現職就任30年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 令和2年度に報告済の内容 → (2)
令和3年度に報告する内容 → (3)
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載してください。その場合別ファイルを作成し提出してください。
- ・ 様式は、平成29年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和2年度までの5年間）ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
保健医療学部 臨床工学科 学士（臨床工学）	保健衛生学関係 （看護学関係及び びりハビリテー ション関係を除 く。）	4年	30人	年次 —	120人		

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		平均入学定員 超過率	開設年度から 報告年度までの 平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	— (—) [—]	— (—) [—]	30人 (—) [—]	— (—) [—]	30人 (—) [—]	— (—) [—]	30人 (—) [—]	— (—) [—]	30人 (—) [—]	— (—) [—]	1.08倍	—	
志願者数	(—) [—]	(—) [—]	234 (—) [—]	— (—) [—]	244 (—) [—]	— (—) [—]	211 (—) [—]	— (—) [—]	225 (—) [—]	— (—) [—]			
受験者数	(—) [—]	(—) [—]	157 (—) [—]	— (—) [—]	159 (—) [—]	— (—) [—]	136 (—) [—]	— (—) [—]	153 (—) [—]	— (—) [—]			
合格者数	(—) [—]	(—) [—]	51 (—) [—]	— (—) [—]	45 (—) [—]	— (—) [—]	44 (—) [—]	— (—) [—]	37 (—) [—]	— (—) [—]			
B 入学者数	(—) [—]	(—) [—]	34 (—) [—]	— (—) [—]	32 (—) [—]	— (—) [—]	31 (—) [—]	— (—) [—]	33 (—) [—]	— (—) [—]			
入学定員超過率 B/A	—		1.13		1.06		1.03		1.10				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ （ ）内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、（（ ）書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度（令和3年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「—」を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	— [—] (—)	— [—] (—)	34 [—] (—)	— [—] (—)	32 [—] (—)	— [—] (—)	31 [—] (—)	— [—] (—)	33 [—] (—)	— [—] (—)	
2年次	/		— [—] (—)	— [—] (—)	34 [—] (—)	— [—] (—)	32 [—] (—)	— [—] (—)	31 [—] (—)	— [—] (—)	
3年次	/		/		— [—] (—)	— [—] (—)	34 [—] (—)	— [—] (—)	32 [—] (—)	— [—] (—)	
4年次	/		/		/		— [—] (—)	— [—] (—)	34 [—] (—)	— [—] (—)	
計	— [—] (—)	— [—] (—)	34 [—] (—)	— [—] (—)	66 [—] (—)	— [—] (—)	97 [—] (—)	— [—] (—)	130 [—] (—)	— [—] (—)	

・令和3年5月1日 公表

(注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成29年度	人	人	平成29年度	— 人	— 人	
平成30年度	34 人	0 人	平成29年度	— 人	— 人	
			平成30年度	0 人	0 人	
令和元年度	66 人	0 人	平成29年度	— 人	— 人	
			平成30年度	0 人	0 人	
			令和元年度	0 人	0 人	
令和2年度	97 人	0 人	平成29年度	— 人	— 人	
			平成30年度	0 人	0 人	
			令和元年度	0 人	0 人	
			令和2年度	0 人	0 人	
令和3年度	130 人	0 人	平成29年度	— 人	— 人	
			平成30年度	0 人	0 人	
			令和元年度	0 人	0 人	
			令和2年度	0 人	0 人	
			令和3年度	0 人	0 人	
合 計		0 人		0 人	0 人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{34} = \boxed{0} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{66} = \boxed{0} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{97} = \boxed{0} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{130} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<保健医療学部 臨床工学科>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
導入科目	キャリアデザイン・チーム論Ⅱ	1前	1			2		1				3
	アカデミック・スキルズ	1前	1									11
	テーマ別基礎ゼミ	1後	2			1	3	1				5
	情報処理基礎	1前	2					1				5
	南加賀文化の歴史と文化	1後	2									1
小計(5科目)	-	-	8	0	0	3	3	2	0	0		24
一般科目(人間力)	哲学	1前		2								1
	心理学	1前		2								1
	人間の発達と心	1前		2								1
	日本の伝統芸能	1前		2								1
	人文地理学	1後		2								1
	文化人類学	1後		2								1
	医療と文化	1後		2								1
	文章表現法	1後		2								1
	言葉と文化	1後		2								2
小計(9科目)	-	-	0	18	0	0	0	0	0	0		8
一般科目(社会力)	日本産業史	1前		2								4
	自然資源と環境問題	1前		2								1
	経済学	1前		2								2
	政治学	1後		2								2
	社会学	1後		2								1
	公共政策論	1後		2								1
	社会福祉論	1後		2								1
	日本国憲法	1前		2								1
	小計(8科目)	-	-	0	16	0	0	0	0	0	0	
一般科目(科学力)	データ科学と社会	1前		2								3
	情報処理応用A	1後		2								2
	情報処理応用B	1後		2			1					
	クリティカルシンキング	1後		2								1
	統計学	1前		2		1						1
	教養としての物理	1前		2			1					1
	教養としての数学	1後		2				1				1
	現代科学技術論	1前		2								5
小計(8科目)	-	-	0	16	0	1	2	1	0	0		10
一般科目(健康と体力)	健康と体の科学	1前		2								2
	スポーツ演習(ハレーボール)	1前・後		1								1
	スポーツ演習(硬式テニス)	1前		1								1
	スポーツ演習(フットサル)	1前・後		1								1
	スポーツ演習(卓球)	1後		1								1
	スポーツ演習(バドミントン)	1前・後		1								1
	小計(6科目)	-	-	0	7	0	0	0	0	0	0	
英語科目	英語Ⅰa	1前		2								5
	英語Ⅰb	1前		2								3
	英語Ⅱa	1後		2								3
	英語Ⅱb	1後		2								4

【令和3年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
導入科目	キャリアデザイン・チーム論Ⅱ	1前	1			2		1				3
	アカデミック・スキルズ	1前	1									9
	テーマ別基礎ゼミ	1後	2			1	3	1				4
	情報処理基礎	1前	2					1				6
	南加賀文化の歴史と文化	1後	2									1
小計(5科目)	-	-	8	0	0	3	3	2	0	0		23
一般科目(人間力)	哲学	1前		2								1
	心理学	1前		2								1
	人間の発達と心	1前		2								1
	日本の伝統芸能	1前		2								1
	人文地理学	1後		2								1
	文化人類学	1後		2								1
	医療と文化	1後		2								1
	文章表現法	1後		2								1
	言葉と文化	1後		2								2
小計(9科目)	-	-	0	18	0	0	0	0	0	0		8
一般科目(社会力)	日本産業史	1前		2								4
	自然資源と環境問題	1前		2								1
	経済学	1前		2								2
	政治学	1後		2								2
	社会学	1後		2								1
	公共政策論	1後		2								1
	社会福祉論	1後		2								1
	日本国憲法	1後		2								1
	小計(8科目)	-	-	0	16	0	0	0	0	0	0	
一般科目(科学力)	データ科学と社会	1後		2								2
	情報処理応用A	1後		2								1
	情報処理応用B	1後		2			1					
	クリティカルシンキング	1後		2								1
	統計学	1後		2		1						1
	教養としての物理	1前		2			1			1		1
	教養としての数学	1前		2					1			1
	現代科学技術論	1前		2								5
小計(8科目)	-	-	0	16	0	1	2	1	0	0		8
一般科目(健康と体力)	健康と体の科学	1前		2								2
	スポーツ演習(ハレーボール)	1前・後		1								1
	スポーツ演習(硬式テニス)	1前		1								1
	スポーツ演習(フットサル)	1前・後		1								1
	スポーツ演習(卓球)	1後		1								1
	スポーツ演習(バドミントン)	1前・後		1								1
	小計(6科目)	-	-	0	7	0	0	0	0	0	0	
英語科目	英語Ⅰa	1前		2								6
	英語Ⅰb	1前		2								2
	英語Ⅱa	1後		2								4
	英語Ⅱb	1後		2								4

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
共通教育科目	英語科目	英語Ⅲ	1後	2							1
		英会話Ⅰ	1後	2							1
		英会話Ⅱ	1後	2							1
		実用英語Ⅰ	1前後		2						1
		実用英語Ⅱ	1前後		2						1
		実用英語Ⅲ	1前後		2						1
		実用英語Ⅳ	1前後		2						1
	小計(11科目)	-	8	6	8	0	0	0	0	0	11
	その他外国語科目	中国語Ⅰ	1前	2							1
		中国語Ⅱ	1後	2							1
		フランス語Ⅰ	1前	2							1
		フランス語Ⅱ	1後	2							1
		ドイツ語Ⅰ	1前	2							1
		ドイツ語Ⅱ	1後	2							1
ロシア語Ⅰ		1前	2							1	
ロシア語Ⅱ		1後	2							1	
スペイン語Ⅰ		1前	2							1	
スペイン語Ⅱ		1後	2							1	
小計(10科目)	-	0	20	0	0	0	0	0	0	5	
専門基礎科目	医学的基礎	臨床工学総論	1前	2		2	1	1			
		解剖学	1前	2		1					
		解剖生理学実習	2前	1		1					
		生理学	1前	2		1					
		生化学	1前	2		1					
		看護学概論	1後	2							2
		医療関係法規	1後	2							1
		病理学	1前	2		1					
		薬理学	1後	2							1
		公衆衛生学	2前	1							1
		医学概論	2後	2		1					
		感染免疫学	2後	2							1
	小計(12科目)	-	22	0	0	4	1	1	0	0	6
	理工学的基礎	応用数学	1後	2			1				
		電気工学Ⅰ	1後	2		1					
		電気工学Ⅱ	2前	2		1					
		電気工学演習Ⅰ	1後	1	1	1					
		電気工学演習Ⅱ	2前	1	1	1					
		電気工学実習	2後	2		2					
		電子工学Ⅰ	2前	2		1					
		電子工学Ⅱ	2後	2		1					
		電子工学演習Ⅰ	2前	1	1	1					
電子工学演習Ⅱ		2後	1	1	1						
電子工学実習	3前	2		1	1						
医用機械工学	2後	2			1						
情報処理工学	1後	2			1						
プログラミング演習	2前	1			2	1					
医用信号処理	2後	2		1							
医用通信システム	3前	2		1							

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
共通教育科目	英語科目	英語Ⅲ	1後	2							1
		英会話Ⅰ	1後	2							1
		英会話Ⅱ	1後	2							1
		実用英語Ⅰ	1前後		2						1
		実用英語Ⅱ	1前後		2						1
		実用英語Ⅲ(未開講)	1前後		2						1
		実用英語Ⅳ(未開講)	1前後		2						1
	小計(11科目)	-	8	6	8	0	0	0	0	0	9
	その他外国語科目	中国語Ⅰ	1前	2							1
		中国語Ⅱ	1後	2							1
		フランス語Ⅰ	1前	2							1
		フランス語Ⅱ	1後	2							1
		ドイツ語Ⅰ	1前	2							1
		ドイツ語Ⅱ	1後	2							1
ロシア語Ⅰ		1前	2							1	
ロシア語Ⅱ		1後	2							1	
スペイン語Ⅰ		1前	2							1	
スペイン語Ⅱ		1後	2							1	
小計(10科目)	-	0	20	0	0	0	0	0	0	5	
専門基礎科目	医学的基礎	臨床工学総論	1前	2		2	1	1			
		解剖学	1前	2		1					
		解剖生理学実習	2前	1		1					
		生理学	1前	2		1					
		生化学	1前	2		1					
		看護学概論	1後	2							2
		医療関係法規	1後	2							1
		病理学	1後	2					1		
		薬理学	1後	2							1
		公衆衛生学	2前	1							1
		医学概論	2後	2		1					
		感染免疫学	2後	2							1
小計(12科目)	-	22	0	0	4	1	1	0	0	6	
理工学的基礎	応用数学	1後	2			1					
	電気工学Ⅰ	1後	2		1						
	電気工学Ⅱ	2前	2		1						
	電気工学演習Ⅰ	1後	1	1	1						
	電気工学演習Ⅱ	2前	1	1	1						
	電気工学実習	2後	2		2						
	電子工学Ⅰ	2前	2		1						
	電子工学Ⅱ	2後	2		1						
	電子工学演習Ⅰ	2前	1	1	1						
	電子工学演習Ⅱ	2後	1	1	1						
電子工学実習	3前	2		1	1				1		
医用機械工学	2後	2			1						
情報処理工学	1後	2			1						
プログラミング演習	2前	1			1	1			1		
医用信号処理	2後	2		1							
医用通信システム	3前	2		1							

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	
	医用工学	3前	2			1				
	医用システム工学実習	3後	2			2	1			
	小計(18科目)	-	25	6	0	2	3	1	0	0
医用生体工学	生体物性工学	2前	2			1				
	生体材料工学	2後	2				1			
	生体計測工学	3前	2			1				
	臨床画像工学	3後		2		1				
	小計(4科目)	-	6	2	0	2	1	0	0	0
医用機器学	医用機器学概論	2前	2			1				
	医用治療機器学	2後	2			1				
	医用治療機器学実習	3前	1			1				
	画像診断装置学	3後	2			1				
	生体計測装置学	3前	2				1			
	生体計測装置学実習	3後	1				1			
	小計(6科目)	-	10	0	0	2	1	0	0	0
生体機能代行技術学	呼吸機能代行装置学	2前	2			1				
	呼吸機能代行装置学実習	2後	1			1				
	循環機能代行装置学	2後	2				1			
	循環機能代行装置学実習	3前	1				1			
	代謝機能代行装置学	2後	2						1	
	代謝機能代行装置学実習	3前	1						1	
	臨床医学Ⅰ(呼吸器、循環器)	3前	2			1		1		
	臨床医学Ⅱ(代謝、血液)	3後	2					1		1
	臨床医学Ⅲ(神経系、内分泌系)	3後		2		2				
小計(9科目)	-	13	2	0	3	0	1	0	0	1
医療安全管理学	医用機器安全管理学	3前	2			1		1		
	医用機器安全管理学実習	3後	1			1		1		
	小計(2科目)	-	3	0	0	1	0	1	0	0

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	
	医用工学	3前	2			2				
	医用システム工学実習	3後	2			3	1	1		
	小計(18科目)	-	25	6	0	3	2	1	1	0
医用生体工学	生体物性工学	2前	2			1				
	生体材料工学	2後	2				1			
	生体計測工学	3前	2			1				
	臨床画像工学	3後		2		1				
	小計(4科目)	-	6	2	0	2	1	0	0	0
医用機器学	医用機器学概論	2前	2			1				
	医用治療機器学	2後	2			1				
	医用治療機器学実習	3前	1			1				
	画像診断装置学	3後	2			1				
	生体計測装置学	3前	2				1			
	生体計測装置学実習	3後	1				1			
	小計(6科目)	-	10	0	0	2	1	0	0	0
生体機能代行技術学	呼吸機能代行装置学	2前	2			1				
	呼吸機能代行装置学実習	2後	1			1				
	循環機能代行装置学	2後	2					1		
	循環機能代行装置学実習	3前	1					1		
	代謝機能代行装置学	2後	2					1		
	代謝機能代行装置学実習	3前	1					1		
	臨床医学Ⅰ(呼吸器、循環器)	3前	2			1		1		
	臨床医学Ⅱ(代謝、血液)	3後	2					1		1
	臨床医学Ⅲ(神経系、内分泌系)	3後		2		2				
小計(9科目)	-	13	2	0	3	1	1	0	0	0
医療安全管理学	医用機器安全管理学	3前	2			1		1		
	医用機器安全管理学実習	3後	1			1		1		
	小計(2科目)	-	3	0	0	1	0	1	0	0

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目 総合実践科目	チーム医療論	4前		2		2						
	グローバル感染対策	4前		1								1
	看護技術の科学的検証	4前		1								2
	地域の健康課題と多職種連携	4前		1								1
	地域包括ケア	4後		1								1
	臨床実習	4前	4			2	3	2				1
	卒業研究 I	4前	2			7	3	2				
	卒業研究 II	4後	2			7	3	2				
	小計(8科目)	-	8	6	0	7	3	2	0	0	0	5
合計(115科目)		-	103	99	8	7	3	2	0	0	0	65
卒業要件及び履修方法												
1 共通教育科目(計31単位以上) (1)導入科目 必修8単位 (2)一般科目 人間力6単位以上、社会力4単位以上、科学力4単位以上、健康と体力1単位以上 (3)英語科目 必修8単位												
2 専門科目(計93単位以上) (1)医学的基礎 必修22単位 (2)理工学的基礎 必修25単位 (3)医用生体工学 必修 6単位 (4)医用機器学 必修10単位 (5)生体機能代行技術学 必修13単位 (6)医用安全管理学 必修 3単位 (7)総合実践科目 必修 8単位 選択科目2単位以上 (8)(1)~(8)で履修した科目以外から4単位以上												
以上、共通教育31単位以上、専門科目93単位以上、合計124単位以上												
3 履修科目の登録の上限 48単位(年間)												

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目 総合実践科目	チーム医療論	4前		2		2						
	グローバル感染対策	4前		1								1
	看護技術の科学的検証	4前		1					1			1
	地域の健康課題と多職種連携	4前		1								1
	地域包括ケア	4後		1								1
	臨床実習	4前	4					3	3	2		1
	卒業研究 I	4前	2					8	3	2		
	卒業研究 II	4後	2					8	3	2		
	小計(8科目)	-	8	6	0	8	3	2	0	0	0	5
合計(115科目)		-	103	99	8	8	3	2	1	0	0	64
卒業要件及び履修方法												
1 共通教育科目(計31単位以上) (1)導入科目 必修8単位 (2)一般科目 人間力6単位以上、社会力4単位以上、科学力4単位以上、健康と体力1単位以上 (3)英語科目 必修8単位												
2 専門科目(計93単位以上) (1)医学的基礎 必修22単位 (2)理工学的基礎 必修25単位 (3)医用生体工学 必修 6単位 (4)医用機器学 必修10単位 (5)生体機能代行技術学 必修13単位 (6)医用安全管理学 必修 3単位 (7)総合実践科目 必修 8単位 選択科目2単位以上 (8)(1)~(8)で履修した科目以外から4単位以上												
以上、共通教育31単位以上、専門科目93単位以上、合計124単位以上												
3 履修科目の登録の上限 48単位(年間)												

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
導入科目	キャリアデザイン・チーム論Ⅱ	1前	1			2		1			3
	アカデミック・スキルズ	1前	1								11
	テーマ別基礎ゼミ	1後	2			1	3	1			5
	情報処理基礎	1前	2					1			5
	南加賀文化の歴史と文化	1後	2								1
	小計(5科目)	-	8	0	0	3	3	2	0	0	24
一般科目(人間力)	哲学	1前		2							1
	心理学	1前		2							1
	人間の発達と心	1前		2							1
	日本の伝統芸能	1前		2							1
	人文地理学	1後		2							1
	文化人部	1後		2							1
	医療と文化	1後		2							1
	文章表現法	1後		2							1
	言葉と文化	1後		2							2
	小計(9科目)	-	0	18	0	0	0	0	0	0	8
一般科目(社会力)	日本産業史	1前		2							4
	自然資源と環境問題	1前		2							1
	経済学	1前		2							2
	政治学	1後		2							2
	社会学	1後		2							1
	公共政策論	1後		2							1
	社会福祉論	1後		2							1
	日本国憲法	1後		2							1
	小計(8科目)	-	0	16	0	0	0	0	0	0	13
一般科目(科学力)	データ科学と社会	1後		2							3
	情報処理応用A	1後		2							2
	情報処理応用B	1後		2			1				
	クリティカルシンキング	1後		2							1
	統計学	1後		2			1				1
	教養としての物理	1前		2			1				1
	教養としての数学	1前		2				1			1
	現代科学技術論	1前		2					1		5
小計(8科目)	-	0	16	0	1	2	1	0	0	10	
一般科目(健康と体力)	健康と体の科学	1前		2							2
	スポーツ演習(ハレーボール)	1前・後		1							1
	スポーツ演習(硬式テニス)	1前		1							1
	スポーツ演習(フットサル)	1前・後		1							1
	スポーツ演習(卓球)	1後		1							1
	スポーツ演習(バドミントン)	1前・後		1							1
	小計(6科目)	-	0	7	0	0	0	0	0	0	3

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
導入科目	キャリアデザイン・チーム論Ⅱ	1前	1			2		1			3
	アカデミック・スキルズ	1前	1								11
	テーマ別基礎ゼミ	1後	2			1	3	1			5
	情報処理基礎	1前	2					1			7
	南加賀文化の歴史と文化	1後	2								1
	小計(5科目)	-	8	0	0	3	3	2	0	0	26
一般科目(人間力)	哲学	1前		2							1
	心理学	1前		2							1
	人間の発達と心	1前		2							1
	日本の伝統芸能	1前		2							1
	人文地理学	1後		2							1
	文化人類学	1後		2							1
	医療と文化	1後		2							1
	文章表現法	1後		2							1
	言葉と文化	1後		2							2
	小計(9科目)	-	0	18	0	0	0	0	0	0	8
一般科目(社会力)	日本産業史	1前		2							4
	自然資源と環境問題	1前		2							1
	経済学	1前		2							2
	政治学	1後		2							2
	社会学	1後		2							1
	公共政策論	1後		2							1
	社会福祉論	1後		2							1
	日本国憲法	1後		2							1
	小計(8科目)	-	0	16	0	0	0	0	0	0	13
一般科目(科学力)	データ科学と社会	1後		2							3
	情報処理応用A	1後		2							2
	情報処理応用B	1後		2			1				
	クリティカルシンキング	1後		2							1
	統計学	1後		2			1				1
	教養としての物理	1前		2			1				1
	教養としての数学	1前		2				1			1
	現代科学技術論	1前		2					1		5
小計(8科目)	-	0	16	0	1	2	1	0	0	10	
一般科目(健康と体力)	健康と体の科学	1前		2							2
	スポーツ演習(ハレーボール)	1前・後		1							1
	スポーツ演習(硬式テニス)	1前		1							1
	スポーツ演習(フットサル)	1前・後		1							1
	スポーツ演習(卓球)	1後		1							1
	スポーツ演習(バドミントン)	1前・後		1							1
	小計(6科目)	-	0	7	0	0	0	0	0	0	3

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通教育科目	英語科目	英語 I a	1前	2								5
		英語 I b	1前	2								3
		英語 II a	1後	2								3
		英語 II b	1後	2								4
		英語 III	1後		2							1
		英会話 I	1後		2							1
		英会話 II	1後		2							1
		実用英語 I	1前後			2						1
		実用英語 II	1前後			2						1
		実用英語 III	1前後			2						1
		実用英語 IV	1前後			2						1
	小計(11科目)	-	8	6	8	0	0	0	0	0	0	11
	その他外国語科目	中国語 I	1前		2							1
		中国語 II	1後		2							1
		フランス語 I	1前		2							1
		フランス語 II	1後		2							1
		ドイツ語 I	1前		2							1
		ドイツ語 II	1後		2							1
		ロシア語 I	1前		2							1
ロシア語 II		1後		2							1	
スペイン語 I		1前		2							1	
スペイン語 II		1後		2							1	
小計(10科目)	-	0	20	0	0	0	0	0	0	0	5	
専門基礎科目	医学的基礎	臨床工学総論	1前	2			2	1	1			
		解剖学	1前	2			1					
		解剖生理学実習	2前	1			1					
		生理学	1前	2			1					
		生化学	1前	2			1					
		看護学概論	1後	2								2
		医療関係法規	1後	2								1
		病理学	1前	2			1					
		薬理学	1後	2								1
		公衆衛生学	2前	1								1
		医学概論	2後	2			1					
		感染免疫学	2後	2								1
	小計(12科目)	-	22	0	0	4	1	1	0	0	0	6
	理工学的基礎	応用数学	1後	2				1				
		電気工学 I	1後	2			1					
		電気工学 II	2前	2			1					
		電気工学演習 I	1後		1		1	1				
		電気工学演習 II	2前		1		1	1				
		電気工学実習	2後	2			2					
		電子工学 I	2前	2			1					
		電子工学 II	2後	2			1					
		電子工学演習 I	2前		1		1	1				
		電子工学演習 II	2後		1		1	1				
電子工学実習		3前	2			1	1					
医用機械工学	2後	2				1						
情報処理工学	1後	2				1						
プログラミング演習	2前	1				2	1					
医用信号処理	2後	2			1							
医用通信システム	3前		2		1							

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通教育科目	英語科目	英語 I a	1前	2								6
		英語 I b	1前	2								3
		英語 II a	1後	2								3
		英語 II b	1後	2								4
		英語 III	1後		2							1
		英会話 I	1後		2							1
		英会話 II	1後		2							1
		実用英語 I	1前後			2						1
		実用英語 II	1前後			2						1
		実用英語 III(未開講)	1前後			2						1
		実用英語 IV(未開講)	1前後			2						1
	小計(11科目)	-	8	6	8	0	0	0	0	0	0	12
	その他外国語科目	中国語 I	1前		2							1
		中国語 II	1後		2							1
		フランス語 I	1前		2							1
		フランス語 II	1後		2							1
		ドイツ語 I	1前		2							1
		ドイツ語 II	1後		2							1
		ロシア語 I	1前		2							1
ロシア語 II		1後		2							1	
スペイン語 I		1前		2							1	
スペイン語 II		1後		2							1	
小計(10科目)	-	0	20	0	0	0	0	0	0	0	5	
医学的基礎	臨床工学総論	1前	2			2	1	1				
	解剖学	1前	2			1						
	解剖生理学実習	2前	1			1						
	生理学	1前	2			1						
	生化学	1前	2			1						
	看護学概論	1後	2								2	
	医療関係法規	1後	2								1	
	病理学	1後	2						1			
	薬理学	1後	2								1	
	公衆衛生学	2前	1								1	
	医学概論	2後	2						1			
	感染免疫学	2後	2								1	
小計(12科目)	-	22	0	0	4	1	1	0	0	0	6	
理工学的基礎	応用数学	1後	2				1					
	電気工学 I	1後	2			1						
	電気工学 II	2前	2			1						
	電気工学演習 I	1後		1		1	1					
	電気工学演習 II	2前		1		1	1					
	電気工学実習	2後	2			2						
	電子工学 I	2前	2			1						
	電子工学 II	2後	2			1						
	電子工学演習 I	2前		1		1	1					
	電子工学演習 II	2後		1		1	1					
	電子工学実習	3前	2			1	1					
医用機械工学	2後	2				1						
情報処理工学	1後	2				1						
プログラミング演習	2前	1				2	1					
医用信号処理	2後	2			1							
医用通信システム	3前		2		1							

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門基礎科目	理工学的基礎 医用工学 医用システム 工学実習	3前	2			1					
		3後	2			2	2	1			
		小計(18科目)	-	25	6	0	2	3	1	0	0
医用生体工学	生体物性工学 生体材料工学 生体計測工学 臨床画像工学	2前	2			1					
		2後	2				1				
		3前	2			1					
		3後		2		1					
小計(4科目)	-	6	2	0	2	1	0	0	0	0	
医用機器学	医用機器学概論 医用治療機器学 医用治療機器学 実習 画像診断装置学 生体計測装置学 生体計測装置学 実習	2前	2			1					
		2後	2			1					
		3前	1			1					
		3後	2			1					
		3前	2				1				
		3後	1				1				
		小計(6科目)	-	10	0	0	2	1	0	0	0
生体機能代行技術学	呼吸機能代行装置学 呼吸機能代行装置学 実習 循環機能代行装置学 循環機能代行装置学 実習 代謝機能代行装置学 代謝機能代行装置学 実習 臨床医学Ⅰ(呼吸器、循環器) 臨床医学Ⅱ(代謝、血液) 臨床医学Ⅲ(神経系、内分泌系)	2前	2			1					
		2後	1			1					
		2後	2					1			
		3前	1					1			
		2後	2								1
		3前	1								1
		3前	2			1		1			
		3後	2					1			1
		3後		2		2					
小計(9科目)	-	13	2	0	3	0	1	0	0	1	
医療安全管理学	医用機器安全管理学 医用機器安全管理学 実習	3前	2			1		1			
		3後	1			1		1			
		小計(2科目)	-	3	0	0	1	0	1	0	0
総合実践科目	チーム医療論 グローバル感染対策 看護技術の科学的検証 地域の健康課題と多職種連携 地域包括ケア	4前		2		2					
		4前		1							1
		4前		1							2
		4前		1							1
		4後		1							1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門基礎科目	理工学的基礎 医用工学 医用システム 工学実習	3前	2				1				
		3後	2			2	2	1			
		小計(18科目)	-	25	6	0	2	3	1	0	0
医用生体工学	生体物性工学 生体材料工学 生体計測工学 臨床画像工学	2前	2			1					
		2後	2				1				
		3前	2			1					
		3後		2		1					
小計(4科目)	-	6	2	0	2	1	0	0	0	0	
医用機器学	医用機器学概論 医用治療機器学 医用治療機器学 実習 画像診断装置学 生体計測装置学 生体計測装置学 実習	2前	2			1					
		2後	2			1					
		3前	1			1					
		3後	2			1					
		3前	2				1				
		3後	1				1				
		小計(6科目)	-	10	0	0	2	1	0	0	0
生体機能代行技術学	呼吸機能代行装置学 呼吸機能代行装置学 実習 循環機能代行装置学 循環機能代行装置学 実習 代謝機能代行装置学 代謝機能代行装置学 実習 臨床医学Ⅰ(呼吸器、循環器) 臨床医学Ⅱ(代謝、血液) 臨床医学Ⅲ(神経系、内分泌系)	2前	2			1					
		2後	1			1					
		2後	2					1			
		3前	1					1			
		2後	2								1
		3前	1								1
		3前	2			1		1			
		3後	2					1			1
		3後		2		2					
小計(9科目)	-	13	2	0	3	0	1	0	0	1	
医療安全管理学	医用機器安全管理学 医用機器安全管理学 実習	3前	2			1		1			
		3後	1			1		1			
		小計(2科目)	-	3	0	0	1	0	1	0	0
総合実践科目	チーム医療論 グローバル感染対策 看護技術の科学的検証 地域の健康課題と多職種連携 地域包括ケア	4前		2		2					
		4前		1							1
		4前		1							2
		4前		1							1
		4後		1							1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	総合実践科目	臨床実習	4前	4			2	3	2			1
		卒業研究Ⅰ	4前	2			7	3	2			
		卒業研究Ⅱ	4後	2			7	3	2			
		小計(8科目)	-	8	6	0	7	3	2	0	0	5
合計(115科目)			-	103	99	8	7	3	2	0	0	65
卒業要件及び履修方法												
<p>1 共通教育科目(計31単位以上)</p> <p>(1)導入科目 必修8単位</p> <p>(2)一般科目 人間力6単位以上、社会力4単位以上、科学力4単位以上、健康と体力1単位以上</p> <p>(3)英語科目 必修8単位</p> <p>2 専門科目(計93単位以上)</p> <p>(1)医学的基礎 必修22単位</p> <p>(2)理工学的基礎 必修25単位</p> <p>(3)医用生体工学 必修6単位</p> <p>(4)医用機器学 必修10単位</p> <p>(5)生体機能代行技術学 必修13単位</p> <p>(6)医用安全管理学 必修3単位</p> <p>(7)総合実践科目 必修8単位 選択科目2単位以上</p> <p>(8)(1)～(8)で履修した科目以外から4単位以上</p> <p>以上、共通教育31単位以上、専門科目93単位以上、合計124単位以上</p> <p>3 履修科目の登録の上限 48単位(年間)</p>												

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	総合実践科目	臨床実習	4前	4			2	3	2			
		卒業研究Ⅰ	4前	2			7	3	2			
		卒業研究Ⅱ	4後	2			7	3	2			
		小計(8科目)	-	8	6	0	7	3	2	0	0	5
合計(115科目)			-	103	99	8	7	3	2	0	0	68
卒業要件及び履修方法												
<p>1 共通教育科目(計31単位以上)</p> <p>(1)導入科目 必修8単位</p> <p>(2)一般科目 人間力6単位以上、社会力4単位以上、科学力4単位以上、健康と体力1単位以上</p> <p>(3)英語科目 必修8単位</p> <p>2 専門科目(計93単位以上)</p> <p>(1)医学的基礎 必修22単位</p> <p>(2)理工学的基礎 必修25単位</p> <p>(3)医用生体工学 必修6単位</p> <p>(4)医用機器学 必修10単位</p> <p>(5)生体機能代行技術学 必修13単位</p> <p>(6)医用安全管理学 必修3単位</p> <p>(7)総合実践科目 必修8単位 選択科目2単位以上</p> <p>(8)(1)～(8)で履修した科目以外から4単位以上</p> <p>以上、共通教育31単位以上、専門科目93単位以上、合計124単位以上</p> <p>3 履修科目の登録の上限 48単位(年間)</p>												

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手	
共通教育科目	導入科目	キャリアデザイン・チーム論Ⅱ	1前	1			2		1			3
		アカデミック・スキルズ	1前	1								11
		テーマ別基礎ゼミ	1後	2			1	3	1			4
		情報処理基礎	1前	2					1			7
		南加賀文化の歴史と文化	1後	2								1
	小計(5科目)	-	8	0	0	3	3	2	0	0	25	
	一般科目(人間力)	哲学	1前		2							1
		心理学	1前		2							1
		人間の発達と心	1前		2							1
		日本の伝統芸能	1前		2							1
		人文地理学	1後		2							1
		文化人類学	1後		2							1
		医療と文化	1後		2							1
		文章表現法	1後		2							1
		言葉と文化	1後		2							2
	小計(9科目)	-	0	18	0	0	0	0	0	0	8	
	一般科目(社会力)	日本産業史	1前		2							4
		自然資源と環境問題	1前		2							1
		経済学	1前		2							2
		政治学	1後		2							2
		社会学	1後		2							1
		公共政策論	1後		2							1
		社会福祉論	1後		2							1
		日本国憲法	1後		2							1
	小計(8科目)	-	0	16	0	0	0	0	0	0	13	
一般科目(科学力)	データ科学と社会	1後		2							3	
	情報処理応用A	1後		2							2	
	情報処理応用B	1後		2			1					
	クリティカルシンキング	1後		2							1	
	統計学	1後		2		1					1	
	教養としての物理	1前		2			1				1	
	教養としての数学	1前		2				1			1	
現代科学技術論	1前		2							5		
小計(8科目)	-	0	16	0	1	2	1	0	0	10		
一般科目(健康と体力)	健康と体の科学	1前		2							2	
	スポーツ演習(ハレーボール)	1前・後		1							1	
	スポーツ演習(硬式テニス)	1前		1							1	
	スポーツ演習(フットサル)	1前・後		1							1	
	スポーツ演習(卓球)	1後		1							1	
	スポーツ演習(バドミントン)	1前・後		1							1	
小計(6科目)	-	0	7	0	0	0	0	0	0	3		
英語科目	英語Ⅰa	1前		2							6	
	英語Ⅰb	1前		2							3	
	英語Ⅱa	1後		2							4	
	英語Ⅱb	1後		2							5	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
共通教育科目	英語科目	英語Ⅲ	1後	2							1
		英会話Ⅰ	1後	2							1
		英会話Ⅱ	1後	2							1
		実用英語Ⅰ	1前・後		2						1
		実用英語Ⅱ	1前・後		2						1
		実用英語Ⅲ(未開講)	1前・後		2						1
		実用英語Ⅳ(未開講)	1前・後		2						1
	小計(11科目)	-	8	6	8	0	0	0	0	0	10
	その他外国語科目	中国語Ⅰ	1前	2							1
		中国語Ⅱ	1後	2							1
		フランス語Ⅰ	1前	2							1
		フランス語Ⅱ	1後	2							1
		ドイツ語Ⅰ	1前	2							1
		ドイツ語Ⅱ	1後	2							1
		ロシア語Ⅰ	1前	2							1
		ロシア語Ⅱ	1後	2							1
		スペイン語Ⅰ	1前	2							1
		スペイン語Ⅱ	1後	2							1
	小計(10科目)	-	0	20	0	0	0	0	0	0	5
専門基礎科目	医学的基礎	臨床工学総論	1前	2		2	1	1			
		解剖学	1前	2		1					
		解剖生理学実習	2前	1		1					
		生理学	1前	2		1					
		生化学	1前	2		1					
		看護学概論	1後	2							2
		医療関係法規	1後	2							1
		病理学	1後	2		1					
		薬理学	1後	2							1
		公衆衛生学	2前	1							1
		医学概論	2後	2		1					
		感染免疫学	2後	2							1
	小計(12科目)	-	22	0	0	4	1	1	0	0	6
	理工学的基礎	応用数学	1後	2			1				
		電気工学Ⅰ	1後	2		1					
		電気工学Ⅱ	2前	2		1					
		電気工学演習Ⅰ	1後	1	1	1	1				
		電気工学演習Ⅱ	2前	1	1	1	1				
		電気工学実習	2後	2		2					
		電子工学Ⅰ	2前	2		1					
		電子工学Ⅱ	2後	2		1					
		電子工学演習Ⅰ	2前	1	1	1	1				
		電子工学演習Ⅱ	2後	1	1	1	1				
		電子工学実習	3前	2		1	1		1		
		医用機械工学	2後	2			1				
情報処理工学		1後	2			1					
プログラミング演習	2前	1			2	1					
医用信号処理	2後	2		1							
医用通信システム	3前	2		1							

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
	医用工学	3前	2				1				
	医用システム工学実習	3後	2			2	2	1			
	小計(18科目)	-	25	6	0	2	3	1	1	0	0
医用生体工学	生体物性工学	2前	2			1					
	生体材料工学	2後	2				1				
	生体計測工学	3前	2			1					
	臨床画像工学	3後		2		1					
	小計(4科目)	-	6	2	0	2	1	0	0	0	0
医用機器学	医用機器学概論	2前	2			1					
	医用治療機器学	2後	2			1					
	医用治療機器学実習	3前	1			1					
	画像診断装置学	3後	2			1					
	生体計測装置学	3前	2				1				
	生体計測装置学実習	3後	1				1				
	小計(6科目)	-	10	0	0	2	1	0	0	0	0
生体機能代行技術学	呼吸機能代行装置学	2前	2			1					
	呼吸機能代行装置学実習	2後	1			1					
	循環機能代行装置学	2後	2					1			
	循環機能代行装置学実習	3前	1					1			
	代謝機能代行装置学	2後	2				1				
	代謝機能代行装置学実習	3前	1				1				
	臨床医学Ⅰ(呼吸器、循環器)	3前	2			1		1			
	臨床医学Ⅱ(代謝、血液)	3後	2				1	1			
	臨床医学Ⅲ(神経系、内分泌系)	3後		2		2					
	小計(9科目)	-	13	2	0	3	1	1	0	0	0
医療安全管理学	医用機器安全管理学	3前	2			1		1			
	医用機器安全管理学実習	3後	1			1		1			
	小計(2科目)	-	3	0	0	1	0	1	0	0	0
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
専門科目	チーム医療論	4前		2		2					
	グローバル感染対策	4前		1							1
	看護技術の科学的検証	4前		1			1				1
	地域の健康課題と多職種連携	4前		1							1
	地域包括ケア	4後		1							1
	臨床実習	4前	4			2	4	2			1
	卒業研究Ⅰ	4前	2			7	4	2			
	卒業研究Ⅱ	4後	2			7	4	2			
	小計(8科目)	-	8	6	0	7	4	2	0	0	5
	合計(115科目)	-	103	99	8	7	4	2	1	0	67

卒業要件及び履修方法

- 1 共通教育科目(計31単位以上)
 (1)導入科目 必修8単位
 (2)一般科目
 人間力6単位以上、社会力4単位以上、科学力4単位以上、健康と体力1単位以上
 (3)英語科目 必修8単位
- 2 専門科目(計93単位以上)
 (1)医学的基礎 必修22単位
 (2)理工学的基礎 必修25単位
 (3)医用生体工学 必修 6単位
 (4)医用機器学 必修10単位
 (5)生体機能代行技術学 必修13単位
 (6)医用安全管理学 必修 3単位
 (7)総合実践科目 必修 8単位 選択科目2単位以上
 (8)(1)～(8)で履修した科目以外から4単位以上
- 以上、共通教育31単位以上、専門科目93単位以上、合計124単位以上
- 3 履修科目の登録の上限
 48単位(年間)

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和元年度開設であれば平成30年度)の表は適宜削除してください。
 - ・ (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成30年度】

- ・教育内容の向上を図るため、「医療と文化」の担当教員を「兼任教員」から「兼任教員」に変更（授業科目表上は変更なし）。
- ・兼任教員の本業の予定と合わない理由により、「日本国憲法」の開講時期を「1前」から「1後」に変更。
- ・兼任教員の本業の予定と合わない理由により、「データ科学と社会」の開講時期を「1前」から「1後」に変更。
（30年度において、翌年度より専任教員となる新田雅道教授が兼任教員として授業を担当）
- ・兼任教員の本業の予定と合わない理由により、「統計学」の開講時期を「1前」から「1後」に変更。
- ・兼任教員に係る時間割調整に伴う共通教育科目（一般科目（科学力））における学生の授業履修の調整を行うため、「教養としての数学」の開講時期を「1後」から「1前」に変更。
- ・1年を通じて人体の構造と機能に関する知識の修得を図るため、「病理学」の開講時期を「1前」から「1後」に変更。
（当初1年前期に解剖学、生理学、病理学を開講する予定であったが、1年前期に解剖学、生理学を学び、その理解のもとで病理学を学ぶことで、より効果的な教育を実施していくため1年後期に病理学を配置変更した。）

【令和元年度】

- ・共通教育科目「情報処理基礎」の担当教員として、兼任教員の史 金星助教を追加。
- ・共通教育科目「情報処理基礎」の担当教員として、兼任教員の朴 亨原助教を追加。
- ・共通教育科目「英語1a」の担当教員として、兼任教員の横川善正教授を追加。

【令和2年度】

- ・兼任教員の川島 嘉美講師の本務先の事情により共通教育科目「英語1a」の担当が困難になったため担当教員表から削除。
- ・兼任教員の山下 純子准教授の退職にともない、担当教員表から削除。
- ・佐藤 宜伯准教授を臨床工学科の専任教員として新規採用し、専門科目「代謝機能代行装置学」「代謝機能代行装置学実習」「臨床医学Ⅱ（代謝、血液）」「看護技術の科学的検証」「臨床実習」「卒業研究Ⅰ」「卒業研究Ⅱ」の担当教員に追加。令和2年度第1回AC教員審査に提出（5月1日時点で審査中）。
- ・鈴木 侑斗助教を臨床工学科の専任教員として新規採用し、専門科目「電子工学実習」「医用システム工学実習」「医用治療機器学実習」「生体計測装置実習」「卒業研究Ⅰ」「卒業研究Ⅱ」の担当教員に追加。令和2年度第1回AC教員審査に提出（

【令和3年度】

- ・兼任教員の新田 雅道教授と宮崎 猛教授の退任に伴い、共通教育科目「アカデミックスキルズ」の兼任・兼任教員の配置を「11」から「9」に変更。
- ・専任教員の李 鍾昊教授の昇任に伴い、共通教育科目「テーマ別基礎ゼミ」の専任教員等の配置を「准教授3」から「准教授2」「教授1」から「教授2」に変更。
- ・兼任教員の新田 雅道教授の退任と石若 裕子准教授の就任辞退、上野 祐亮助教の就任に伴い、共通教育科目「情報処理基礎」の兼任・兼任教員の配置を「8」から「7」に変更。
- ・兼任教員の新田 雅道教授の退任に伴い、共通教育科目「データ科学と社会」の兼任・兼任教員の配置を「3」から「2」に変更。
- ・兼任教員の石若 裕子准教授の就任辞退に伴い、共通教育科目「情報処理応用A」の兼任・兼任教員の配置を「2」から「1」に変更。
- ・兼任教員のVANCE Timothy John教授の退職に伴い、共通教育科目「英語1b」の兼任・兼任教員の配置を「3」から「2」に変更。
- ・共通教育科目「英語Ⅱa」の担当教員として、兼任のABE DAVID講師を追加。共通教育科目「英語Ⅱa」の兼任・兼任教員の配置を「4」から「5」に変更。
- ・兼任教員のVANCE Timothy John教授の退職に伴い、共通教育科目「英語Ⅱb」の兼任・兼任教員の配置を「5」から「4」に変更。
- ・専任教員の李 鍾昊教授の昇任に伴い、専門科目「応用数学」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」「教授0」から「教授1」に変更。
- ・専任教員の李 鍾昊教授の昇任に伴い、専門科目「プログラミング演習」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」「教授0」から「教授1」に変更。
- ・専任教員の李 鍾昊教授の昇任に伴い、専門科目「医用工学」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」「教授0」から「教授1」に変更。
- ・専任教員の李 鍾昊教授の昇任に伴い、専門科目「医用システム工学実習」の専任教員等の配置を「准教授2」から「准教授1」「教授2」から「教授3」に変更。
- ・専任教員の李 鍾昊教授の昇任に伴い、専門科目「臨床実習」の専任教員等の配置を「准教授4」から「准教授3」「教授2」から「教授3」に変更。
- ・専任教員の李 鍾昊教授の昇任に伴い、専門科目「卒業研究Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授4」から「准教授3」「教授7」から「教授8」に変更。
- ・専任教員の李 鍾昊教授の昇任に伴い、専門科目「卒業研究Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授4」から「准教授3」「教授7」から「教授8」に変更。

- (注) ・ 2(1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度（平成30年度開設であれば平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
56 科目	56 科目	4 科目	116 科目	56 科目 [0]	56 科目 []	4 科目 []	116 科目 []	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{116} = \boxed{}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考						
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	末広キャンパス 借用面積：3,676 m ² 借用期間：25年						
	校舎敷地	18,962.05 m ²	m ²	m ²	18,962.05 m ²							
	運動場用地	14,271.00 m ²	m ²	m ²	14,271.00 m ²							
	小 計	33,233.05 m ²	m ²	m ²	33,233.05 m ²							
	そ の 他	8,251.28 m ²	m ²	m ²	8,251.28 m ²							
	合 計	41,484.33 m ²	m ²	m ²	41,484.33 m ²							
(2) 校 舎	専 用	16,305.47	16,395.39m ²	0m ²	16,305.47	16,395.39m ²	中央キャンパス賞貸借部分増加(1階)に伴う校舎面積の増加(2) 末広キャンパス 借用面積：930m ² 借用期間：25年 中央キャンパス 借用面積：4,107m ² 借用期間：25年					
	(4,555.95 m ²)	(3,644.67 m ²)	(4,926.47 m ²)	(13,127.09m ²)								
(3) 教 室 等	講 義 室	23室	演 習 室	12室	実験実習室	18室	情報処理学習施設	室	語学学習施設	室	大学全体 (補助職員 人) (補助職員 人)	
	(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称		室 数		保健医療学部 臨床工学科		9 室			
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の名称	図 書	学術雑誌		視聴覚資料	機 械 ・ 器 具	標 本	冊	種	点	点	点
		[うち外国書]	[うち外国書]	電子ジャーナル								
	保健医療学部 臨床工学科	6,182 [102] (7,124 [121])	9 [0] (7 [0])	0 [0] (0 [0])	130 136	138 122	18 18					
	計	6,182 [102] (7,124 [121])	9 [0] (7 [0])	0 [0] (0 [0])	130 136	138 122	18 18					
(6) 図 書 館	面 積	909-83m ² 876.41m ²		閱 覧 座 席 数	118席		収 納 可 能 冊 数	80,000冊		大学全体 末広キャンパス建築に伴う図書館面積の減少(2)		
	(7) 体 育 館	面 積	960m ²		体育館以外のスポーツ施設の概要		—		大学全体			
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	設備の位置についてリースにて対応することとしたため(30) 設備購入費は大学全体			
		教員1人当り研究費等	400千円	400千円	図書購入費	1,286千円	1,286千円	722千円				
	共同研究費等	3,000千円	3,000千円	設備購入費	130,000千円 111,156千円	98,000千円	3,000千円					
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次					
	市内学生918千円 その他1,059千円	636千円	636千円	636千円	千円	千円						
学生納付金以外の維持方法の概要		大学運営費交付金、資産運用収入、雑収入 等										

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和3年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(2)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学 学 校 名 称	公立小松大学						学生募集停止学科数	0	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	0	備 考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和3年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
生産システム科学部	4	80	-	320	-	1.03	1.01	-	平成30	-	
生産システム科学科	4	80	-	320	学士(工学)	1.03	1.01	-	平成30	石川県小松市土居原町10-10 石川県小松市西丁町ヌ1番地3	
保健医療学部	4	80	-	320	-	1.04	1.06	-	平成30	-	
看護学科	4	50	-	200	学士(看護学)	1.01	1.03	-	平成30	石川県小松市土居原町10-10 石川県小松市向本折町へ14番地1	
臨床工学科	4	30	-	120	学士(臨床工学)	1.08	1.10	-	平成30	同上	
国際文化交流学部	4	80	-	320	-	1.01	1.00	-	平成30	-	
国際文化交流学科	4	80	-	320	学士(国際文化学)	1.01	1.00	-	平成30	石川県小松市土居原町10-10	
大学全体	4	240	-	960	-	1.02	1.03	-	平成30	-	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。
 (専攻科及び別科を除く)。なお、調査対象の学科等が設置されている大学から順に記載してください
 ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 ・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和3年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名																
専	准教授	野川 雅道 (46) <平成30年4月> 修士(工学)	テーマ別基礎ゼミ 臨床工学総論 ※ 電気工学演習Ⅰ 電気工学演習Ⅱ 電子工学演習Ⅰ 電子工学演習Ⅱ 電子工学実習 医用機械工学 医用システム工学実習 生体材料工学 生体計測装置学 生体計測装置学実習 臨床実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ	専	准教授	野川 雅道 (46) <平成30年4月> 修士(工学)	テーマ別基礎ゼミ 臨床工学総論 ※ 電気工学演習Ⅰ 電気工学演習Ⅱ 電子工学演習Ⅰ 電子工学演習Ⅱ 電子工学実習 医用機械工学 医用システム工学実習 生体材料工学 生体計測装置学 生体計測装置学実習 臨床実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ	専	准教授	野川 雅道 (47) <平成30年4月> 修士(工学)	テーマ別基礎ゼミ 臨床工学総論 ※ 電気工学演習Ⅰ 電気工学演習Ⅱ 電子工学演習Ⅰ 電子工学演習Ⅱ 電子工学実習 医用機械工学 医用システム工学実習 生体材料工学 生体計測装置学 生体計測装置学実習 臨床実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ	専	准教授	野川 雅道 (48) <平成30年4月> 修士(工学)	テーマ別基礎ゼミ 臨床工学総論 ※ 電気工学演習Ⅰ 電気工学演習Ⅱ 電子工学演習Ⅰ 電子工学演習Ⅱ 電子工学実習 医用機械工学 医用システム工学実習 生体材料工学 生体計測装置学 生体計測装置学実習 臨床実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ	専	准教授	野川 雅道 (49) <平成30年4月> 修士(工学)	テーマ別基礎ゼミ 臨床工学総論 ※ 電気工学演習Ⅰ 電気工学演習Ⅱ 電子工学演習Ⅰ 電子工学演習Ⅱ 電子工学実習 医用機械工学 医用システム工学実習 生体材料工学 生体計測装置学 生体計測装置学実習 臨床実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専	准教授	李 鍾吳 (44) <平成30年4月> 博士(学術)	テーマ別基礎ゼミ 教養としての物理 応用数学 プログラミング演習 医用工学 医用システム工学実習 臨床実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ	専	准教授	李 鍾吳 (44) <平成30年4月> 博士(学術)	テーマ別基礎ゼミ 教養としての物理 応用数学 プログラミング演習 医用工学 医用システム工学実習 臨床実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ	専	准教授	李 鍾吳 (45) <平成30年4月> 博士(学術)	テーマ別基礎ゼミ 教養としての物理 応用数学 プログラミング演習 医用工学 医用システム工学実習 臨床実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ	専	准教授	李 鍾吳 (46) <平成30年4月> 博士(学術)	テーマ別基礎ゼミ 教養としての物理 応用数学 プログラミング演習 医用工学 医用システム工学実習 臨床実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ	専	教授	李 鍾吳 (47) <平成30年4月> 博士(学術)	テーマ別基礎ゼミ 教養としての物理 応用数学 プログラミング演習 医用工学 医用システム工学実習 臨床実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
				専	准教授	藤田 一寿 (38) <平成30年7月> 博士(工学)	テーマ別基礎ゼミ 情報処理応用B 情報処理工学 プログラミング演習 臨床実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ	専	准教授	藤田 一寿 (40) <平成30年7月> 博士(工学)	テーマ別基礎ゼミ 情報処理応用B 情報処理工学 プログラミング演習 臨床実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ	専	准教授	藤田 一寿 (41) <平成30年7月> 博士(工学)	テーマ別基礎ゼミ 情報処理応用B 情報処理工学 プログラミング演習 臨床実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ	専	准教授	藤田 一寿 (42) <平成30年7月> 博士(工学)	テーマ別基礎ゼミ 情報処理応用B 情報処理工学 プログラミング演習 臨床実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専	准教授	辻村 真一 (39) <平成30年4月> 博士(工学)	テーマ別基礎ゼミ 情報処理応用B 情報処理工学 プログラミング演習 臨床実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ																
専	講師	坂元 英雄 (50) <平成30年4月> 修士(工学)	キャリアデザイン・チーム論Ⅱ 臨床工学総論 ※ 循環機能代行装置学 循環機能代行装置学実習 臨床医学Ⅰ(呼吸器、循環器) ※ 臨床医学Ⅱ(代謝、血液) ※ 医用機器安全管理学 医用機器安全管理学実習 臨床実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ	専	講師	坂元 英雄 (50) <平成30年4月> 修士(工学)	キャリアデザイン・チーム論Ⅱ 臨床工学総論 ※ 循環機能代行装置学 循環機能代行装置学実習 臨床医学Ⅰ(呼吸器、循環器) ※ 臨床医学Ⅱ(代謝、血液) ※ 医用機器安全管理学 医用機器安全管理学実習 臨床実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ	専	講師	坂元 英雄 (51) <平成30年4月> 修士(工学)	キャリアデザイン・チーム論Ⅱ 臨床工学総論 ※ 循環機能代行装置学 循環機能代行装置学実習 臨床医学Ⅰ(呼吸器、循環器) ※ 臨床医学Ⅱ(代謝、血液) ※ 医用機器安全管理学 医用機器安全管理学実習 臨床実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ	専	講師	坂元 英雄 (52) <平成30年4月> 修士(工学)	キャリアデザイン・チーム論Ⅱ 臨床工学総論 ※ 循環機能代行装置学 循環機能代行装置学実習 臨床医学Ⅰ(呼吸器、循環器) ※ 臨床医学Ⅱ(代謝、血液) ※ 医用機器安全管理学 医用機器安全管理学実習 臨床実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ	専	講師	坂元 英雄 (53) <平成30年4月> 修士(工学)	キャリアデザイン・チーム論Ⅱ 臨床工学総論 ※ 循環機能代行装置学 循環機能代行装置学実習 臨床医学Ⅰ(呼吸器、循環器) ※ 臨床医学Ⅱ(代謝、血液) ※ 医用機器安全管理学 医用機器安全管理学実習 臨床実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専	講師	井澤 純子 (48) <平成30年4月> 博士(情報科学)	テーマ別基礎ゼミ 情報処理基礎 教養としての数学 プログラミング演習 医用システム工学実習 臨床実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ	専	講師	井澤 純子 (48) <平成30年4月> 博士(情報科学)	テーマ別基礎ゼミ 情報処理基礎 教養としての数学 プログラミング演習 医用システム工学実習 臨床実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ	専	講師	井澤 純子 (49) <平成30年4月> 博士(情報科学)	テーマ別基礎ゼミ 情報処理基礎 教養としての数学 プログラミング演習 医用システム工学実習 臨床実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ	専	講師	井澤 純子 (50) <平成30年4月> 博士(情報科学)	テーマ別基礎ゼミ 情報処理基礎 教養としての数学 プログラミング演習 医用システム工学実習 臨床実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ	専	講師	井澤 純子 (51) <平成30年4月> 博士(情報科学)	テーマ別基礎ゼミ 情報処理基礎 教養としての数学 プログラミング演習 医用システム工学実習 臨床実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
								専	准教授	佐藤 宣伯 (56) <令和2年10月> 修士(保健科学)	代謝機能代行装置学 代謝機能代行装置学実習 臨床医学Ⅱ(代謝、血液) 看護技術の科学的検証 臨床実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ	専	准教授	佐藤 宣伯 (57) <令和2年10月> 修士(保健科学)	代謝機能代行装置学 代謝機能代行装置学実習 臨床医学Ⅱ(代謝、血液) 看護技術の科学的検証 臨床実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ				
								専	助教	鈴木 侑斗 (27) <令和2年4月> 博士(工学)	電子工学実習 医用システム工学実習 医用治療機器学実習 生体計測装置学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ	専	助教	鈴木 侑斗 (28) <令和2年4月> 博士(工学)	電子工学実習 医用システム工学実習 医用治療機器学実習 生体計測装置学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ				

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月> 保有学位等	<就任(予定)年月> 保有学位等		<就任(予定)年月> 保有学位等	<就任(予定)年月> 保有学位等		<就任(予定)年月> 保有学位等	<就任(予定)年月> 保有学位等		<就任(予定)年月> 保有学位等			
兼任	准教授	梶原 祐輔 (32) <平成30年4月> 博士(工学)	兼任	准教授	梶原 祐輔 (32) <平成30年4月> 博士(工学)	兼任	准教授	梶原 祐輔 (33) <平成30年4月> 博士(工学)	兼任	准教授	梶原 祐輔 (34) <平成30年4月> 博士(工学)	兼任	准教授	梶原 祐輔 (35) <平成30年4月> 博士(工学)
		情報処理基礎 情報処理応用A			情報処理基礎 情報処理応用A			情報処理基礎 情報処理応用A			情報処理基礎 情報処理応用A			
兼任	教授	森川 浩子 (64) <平成30年4月> 教育学修士	兼任	教授	森川 浩子 (64) <平成30年4月> 教育学修士	兼任	教授	森川 浩子 (65) <平成30年4月> 教育学修士	兼任	教授	森川 浩子 (66) <平成30年4月> 教育学修士	兼任	教授	森川 浩子 (67) <平成30年4月> 教育学修士
		テーマ別基礎ゼミ			テーマ別基礎ゼミ			テーマ別基礎ゼミ			テーマ別基礎ゼミ			
兼任	教授	中島 素子 (65) <平成30年4月> 博士(医学)	兼任	教授	中島 素子 (65) <平成30年4月> 博士(医学)	兼任	教授	中島 素子 (66) <平成30年4月> 博士(医学)	兼任	教授	中島 素子 (67) <平成30年4月> 博士(医学)	兼任	教授	中島 素子 (68) <平成30年4月> 博士(医学)
		健康と体の科学 ※			健康と体の科学 ※			健康と体の科学 ※			健康と体の科学 ※			
兼任	教授	内田 美保 (59) <平成30年4月> 修士(感染制御学)	兼任	教授	内田 美保 (59) <平成30年4月> 修士(感染制御学)	兼任	教授	内田 美保 (60) <平成30年4月> 博士(感染制御学)	兼任	教授	内田 美保 (61) <平成30年4月> 博士(感染制御学)	兼任	教授	内田 美保 (62) <平成30年4月> 博士(感染制御学)
		テーマ別基礎ゼミ 看護学概論 ※ グローバル感染対策			テーマ別基礎ゼミ 看護学概論 ※ グローバル感染対策			テーマ別基礎ゼミ 看護学概論 ※ グローバル感染対策			テーマ別基礎ゼミ 看護学概論 ※ グローバル感染対策			
兼任	教授	小泉 由美 (59) <平成30年4月> 博士(医学)	兼任	教授	小泉 由美 (59) <平成30年4月> 博士(医学)	兼任	教授	小泉 由美 (60) <平成30年4月> 博士(医学)	兼任	教授	小泉 由美 (61) <平成30年4月> 博士(医学)	兼任	教授	小泉 由美 (62) <平成30年4月> 博士(医学)
		テーマ別基礎ゼミ			テーマ別基礎ゼミ			テーマ別基礎ゼミ			テーマ別基礎ゼミ			
兼任	教授	松井 優子 (52) <平成30年4月> 博士(保健学)	兼任	教授	松井 優子 (52) <平成30年4月> 博士(保健学)	兼任	教授	松井 優子 (53) <平成30年4月> 博士(保健学)	兼任	教授	松井 優子 (54) <平成30年4月> 博士(保健学)	兼任	教授	松井 優子 (55) <平成30年4月> 博士(保健学)
		看護学概論 ※ 看護技術の科学的検証			看護学概論 ※ 看護技術の科学的検証			看護学概論 ※ 看護技術の科学的検証			看護学概論 ※ 看護技術の科学的検証			
兼任	教授	徳田 真由美 (52) <平成30年4月> 博士(看護学)	兼任	教授	徳田 真由美 (52) <平成30年4月> 博士(看護学)	兼任	教授	徳田 真由美 (53) <平成30年4月> 博士(看護学)	兼任	教授	徳田 真由美 (54) <平成30年4月> 博士(看護学)	兼任	教授	徳田 真由美 (55) <平成30年4月> 博士(看護学)
		地域包括ケア			地域包括ケア			地域包括ケア			地域包括ケア			
兼任	教授	坂本 めぐみ (53) <平成31年4月> 博士(保健学)	兼任	教授	坂本 めぐみ (53) <平成31年4月> 博士(保健学)	兼任	教授	坂本 めぐみ (54) <平成31年4月> 博士(保健学)	兼任	教授	坂本 めぐみ (55) <平成31年4月> 博士(保健学)	兼任	教授	坂本 めぐみ (56) <平成31年4月> 博士(保健学)
		地域の健康課題と多職種連携			地域の健康課題と多職種連携			地域の健康課題と多職種連携			地域の健康課題と多職種連携			
兼任	教授	山崎 松美 (42) <平成30年4月> 博士(保健学)	兼任	教授	山崎 松美 (42) <平成30年4月> 博士(保健学)	兼任	教授	山崎 松美 (43) <平成30年4月> 博士(保健学)	兼任	教授	山崎 松美 (44) <平成30年4月> 博士(保健学)	兼任	教授	山崎 松美 (45) <平成30年4月> 博士(保健学)
		キャリアデザイン・チーム論Ⅱ			キャリアデザイン・チーム論Ⅱ			キャリアデザイン・チーム論Ⅱ			キャリアデザイン・チーム論Ⅱ			
兼任	准教授	日下 純子 (64) <平成30年4月> 修士(社会福祉学) 修士(看護学)	兼任	准教授	日下 純子 (64) <平成30年4月> 修士(社会福祉学) 修士(看護学)	兼任	准教授	日下 純子 (65) <平成30年4月> 修士(社会福祉学) 修士(看護学)	兼任	准教授	日下 純子 (66) <平成30年4月> 修士(社会福祉学) 修士(看護学)	兼任	准教授	日下 純子 (67) <平成30年4月> 修士(社会福祉学) 修士(看護学)
		テーマ別基礎ゼミ			テーマ別基礎ゼミ			テーマ別基礎ゼミ			テーマ別基礎ゼミ			
兼任	准教授	松村 愛都 (60) <平成30年4月> 修士(看護学)	兼任	准教授	松村 愛都 (60) <平成30年4月> 修士(看護学)	兼任	准教授	松村 愛都 (61) <平成30年4月> 修士(看護学)	兼任	准教授	松村 愛都 (62) <平成30年4月> 修士(看護学)	兼任	准教授	松村 愛都 (63) <平成30年4月> 修士(看護学)
		テーマ別基礎ゼミ			テーマ別基礎ゼミ			テーマ別基礎ゼミ			テーマ別基礎ゼミ			
兼任	講師	清水 由加里 (50) <平成30年4月> 修士(看護学)	兼任	講師	清水 由加里 (50) <平成30年4月> 修士(看護学)	兼任	講師	清水 由加里 (51) <平成30年4月> 修士(看護学)	兼任	講師	清水 由加里 (52) <平成30年4月> 修士(看護学) 博士(医学)	兼任	講師	清水 由加里 (53) <平成30年4月> 修士(看護学) 博士(医学)
		キャリアデザイン・チーム論Ⅱ			キャリアデザイン・チーム論Ⅱ			キャリアデザイン・チーム論Ⅱ			キャリアデザイン・チーム論Ⅱ			
兼任	助教	藤田 結香里 (30) <平成30年4月> 修士(保健学)	兼任	助教	藤田 結香里 (30) <平成30年4月> 修士(保健学)	兼任	助教	藤田 結香里 (31) <平成30年4月> 博士(保健学)	兼任	助教	藤田 結香里 (32) <平成30年4月> 博士(保健学)	兼任	助教	藤田 結香里 (33) <平成30年4月> 博士(保健学)
		キャリアデザイン・チーム論Ⅱ			キャリアデザイン・チーム論Ⅱ			キャリアデザイン・チーム論Ⅱ			キャリアデザイン・チーム論Ⅱ			
兼任	教授	岩田 礼 (65) <平成30年4月> 文学修士	兼任	教授	岩田 礼 (65) <平成30年4月> 文学修士	兼任	教授	岩田 礼 (66) <平成30年4月> 文学修士	兼任	教授	岩田 礼 (67) <平成30年4月> 文学修士	兼任	教授	岩田 礼 (68) <平成30年4月> 文学修士
		アカデミック・スキルズ 言葉と文化 ※			アカデミック・スキルズ 言葉と文化 ※			アカデミック・スキルズ 言葉と文化 ※			アカデミック・スキルズ 言葉と文化 ※			

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	宮崎 猛 (67) <平成30年4月> 農学博士
		アカデミック・スキルズ 自然資源と環境問題
兼任	教授	VANCE, Timothy John (66) <平成30年4月> Ph. D., Linguistics (米国)
		言葉と文化 ※ 英語 I b 英語 II b
兼任	教授	盛田 清秀 (65) <平成30年4月> 博士(農学)
		経済学 ※
兼任	教授	西村 聡 (65) <令和2年4月> 博士(文学)
		南加賀の歴史と文化 日本の伝統芸能 文章表現法
兼任	教授	岡村 徹 (56) <平成30年4月> 博士(比較社会文化)
		アカデミック・スキルズ 英語 I a 英語 II a 英語 II b
兼任	教授	杓谷 茂樹 (55) <平成30年4月> 修士(文学)
		文化人類学 スペイン語 I スペイン語 II
兼任	教授	刘 迺华 (55) <平成30年4月> 文学博士 (中国)
		中国語 I 中国語 II
兼任	准教授	塩谷 サルフィ マクスーダ (63) <平成30年4月> Doctor of Philosophy (印国)
		英語 I a 英語 II a 英語 II b
兼任	准教授	中子(佐藤) 富貴子 (50) <平成30年4月> 博士(創造都市)
		アカデミック・スキルズ
兼任	准教授	小原 文衛 (49) <平成30年4月> 文学修士
		英語 I a 英語 II a
兼任	准教授	一ノ瀬 忠之 (43) <平成30年4月> 博士(商学)
		経済学 ※ ロシア語 I ロシア語 II
兼任	准教授	木村 誠 (38) <平成31年4月> 博士(学術)
		アカデミック・スキルズ 心理学 人間の発達と心

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	宮崎 猛 (67) <平成30年4月> 農学博士
		アカデミック・スキルズ 自然資源と環境問題
兼任	教授	VANCE, Timothy John (66) <平成30年4月> Ph. D., Linguistics (米国)
		言葉と文化 ※ 英語 I b 英語 II b
兼任	教授	盛田 清秀 (65) <平成30年4月> 博士(農学)
		経済学 ※
兼任	教授	西村 聡 (65) <令和2年4月> 博士(文学)
		南加賀の歴史と文化 日本の伝統芸能 文章表現法
兼任	教授	岡村 徹 (56) <平成30年4月> 博士(比較社会文化)
		アカデミック・スキルズ 英語 I a 英語 II a 英語 II b
兼任	教授	杓谷 茂樹 (55) <平成30年4月> 修士(文学)
		文化人類学 スペイン語 I スペイン語 II
兼任	教授	刘 迺华 (55) <平成30年4月> 文学博士 (中国)
		中国語 I 中国語 II
兼任	准教授	塩谷 サルフィ マクスーダ (63) <平成30年4月> Doctor of Philosophy (印国)
		英語 I a 英語 II a 英語 II b
兼任	准教授	中子(佐藤) 富貴子 (50) <平成30年4月> 博士(創造都市)
		アカデミック・スキルズ
兼任	准教授	小原 文衛 (49) <平成30年4月> 文学修士
		英語 I a 英語 II a
兼任	准教授	一ノ瀬 忠之 (43) <平成30年4月> 博士(商学)
		経済学 ※ ロシア語 I ロシア語 II
兼任	准教授	木村 誠 (38) <平成31年4月> 博士(学術)
		アカデミック・スキルズ 心理学 人間の発達と心

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	宮崎 猛 (68) <平成30年4月> 農学博士
		アカデミック・スキルズ 自然資源と環境問題
兼任	教授	VANCE, Timothy John (67) <平成30年4月> Ph. D., Linguistics (米国)
		言葉と文化 ※ 英語 I b 英語 II b
兼任	教授	盛田 清秀 (66) <平成30年4月> 博士(農学)
		経済学 ※
兼任	教授	西村 聡 (64) <令和2年4月> 博士(文学)
		南加賀の歴史と文化 日本の伝統芸能 文章表現法
兼任	教授	岡村 徹 (57) <平成30年4月> 博士(比較社会文化)
		アカデミック・スキルズ 英語 I a 英語 II a 英語 II b
兼任	教授	杓谷 茂樹 (56) <平成30年4月> 修士(文学)
		文化人類学 スペイン語 I スペイン語 II
兼任	教授	刘 迺华 (56) <平成30年4月> 文学博士 (中国)
		中国語 I 中国語 II
兼任	准教授	塩谷 サルフィ マクスーダ (64) <平成30年4月> Doctor of Philosophy (印国)
		英語 I a 英語 II a 英語 II b
兼任	准教授	中子(佐藤) 富貴子 (51) <平成30年4月> 博士(創造都市)
		アカデミック・スキルズ
兼任	准教授	小原 文衛 (50) <平成30年4月> 文学修士
		英語 I a 英語 II a
兼任	准教授	一ノ瀬 忠之 (44) <平成30年4月> 博士(商学)
		経済学 ※ ロシア語 I ロシア語 II
兼任	准教授	木村 誠 (39) <平成31年4月> 博士(学術)
		アカデミック・スキルズ 心理学 人間の発達と心

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	宮崎 猛 (69) <平成30年4月> 農学博士
		アカデミック・スキルズ 自然資源と環境問題
兼任	教授	VANCE, Timothy John (68) <平成30年4月> Ph. D., Linguistics (米国)
		言葉と文化 ※ 英語 I b 英語 II b
兼任	教授	盛田 清秀 (67) <平成30年4月> 博士(農学)
		経済学 ※
兼任	教授	西村 聡 (65) <令和2年4月> 博士(文学)
		南加賀の歴史と文化 日本の伝統芸能 文章表現法
兼任	教授	岡村 徹 (58) <平成30年4月> 博士(比較社会文化)
		アカデミック・スキルズ 英語 I a 英語 II a 英語 II b
兼任	教授	杓谷 茂樹 (57) <平成30年4月> 修士(文学)
		文化人類学 スペイン語 I スペイン語 II
兼任	教授	刘 迺华 (57) <平成30年4月> 文学博士 (中国)
		中国語 I 中国語 II
兼任	准教授	塩谷 サルフィ マクスーダ (65) <平成30年4月> Doctor of Philosophy (印国)
		英語 I a 英語 II a 英語 II b
兼任	准教授	中子(佐藤) 富貴子 (52) <平成30年4月> 博士(創造都市)
		アカデミック・スキルズ
兼任	准教授	小原 文衛 (51) <平成30年4月> 博士(文学)
		英語 I a 英語 II a
兼任	准教授	一ノ瀬 忠之 (45) <平成30年4月> 博士(商学)
		経済学 ※ ロシア語 I ロシア語 II
兼任	准教授	木村 誠 (40) <平成31年4月> 博士(学術)
		アカデミック・スキルズ 心理学 人間の発達と心

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	盛田 清秀 (68) <平成30年4月> 博士(農学)
		経済学 ※
兼任	教授	西村 聡 (65) <令和2年4月> 博士(文学)
		南加賀の歴史と文化 日本の伝統芸能 文章表現法
兼任	教授	岡村 徹 (59) <平成30年4月> 博士(比較社会文化)
		アカデミック・スキルズ 英語 I a 英語 II a 英語 II b
兼任	教授	杓谷 茂樹 (58) <平成30年4月> 修士(文学)
		文化人類学 スペイン語 I スペイン語 II
兼任	教授	刘 迺华 (58) <平成30年4月> 文学博士 (中国)
		中国語 I 中国語 II
兼任	准教授	塩谷 サルフィ マクスーダ (66) <平成30年4月> Doctor of Philosophy (印国)
		英語 I a 英語 II a 英語 II b
兼任	准教授	中子(佐藤) 富貴子 (53) <平成30年4月> 博士(創造都市)
		アカデミック・スキルズ
兼任	教授	小原 文衛 (52) <平成30年4月> 博士(文学)
		英語 I a 英語 II a
兼任	准教授	一ノ瀬 忠之 (46) <平成30年4月> 博士(商学)
		経済学 ※ ロシア語 I ロシア語 II
兼任	准教授	木村 誠 (41) <平成31年4月> 博士(学術)
		アカデミック・スキルズ 心理学 人間の発達と心

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月> 保有学位等	<就任(予定)年月> 保有学位等	<就任(予定)年月> 保有学位等	<就任(予定)年月> 保有学位等	<就任(予定)年月> 保有学位等	<就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名
兼任	講師	岩田 佳雄 (64) <平成30年4月> 工学博士	岩田 佳雄 (64) <平成30年4月> 工学博士				
		日本産業史 ※	日本産業史 ※				
兼任	講師	木村 誠 (38) <平成30年4月> 博士(学術)	木村 誠 (37) <平成30年4月> 博士(学術)				
		アカデミック・スキルズ 心理学 人間の発達と心	アカデミック・スキルズ 心理学 人間の発達と心				
兼任	講師	碓 陽子 (41) <平成30年4月> 博士(学術)					
		医療と文化					
兼任	講師	島内 俊彦 (48) <平成30年4月> 学士(外国研究)	島内 俊彦 (48) <平成30年4月> 学士(外国研究)				
		英語Ⅲ 英会話Ⅰ 英会話Ⅱ 実用英語Ⅰ 実用英語Ⅱ 実用英語Ⅲ 実用英語Ⅳ	英語Ⅲ 英会話Ⅰ 英会話Ⅱ 実用英語Ⅰ 実用英語Ⅱ 実用英語Ⅲ 実用英語Ⅳ				
兼任	講師	三浦 要 (59) <平成30年4月> 博士(文学)	三浦 要 (60) <平成30年4月> 博士(文学)				
		哲学 クリティカルシンキング	哲学 クリティカルシンキング				
兼任	講師	字根 義己 (38) <平成30年4月> 博士(文学)	字根 義己 (39) <平成30年4月> 博士(文学)				
		人文地理学	人文地理学				
兼任	講師	清部 明男 (68) <平成30年4月> 文学修士	清部 明男 (68) <平成30年4月> 文学修士				
		社会学	社会学				
兼任	講師	木村 高宏 (43) <平成30年4月> 博士(政策科学)	木村 高宏 (43) <平成30年4月> 博士(政策科学)				
		公共政策論	公共政策論				
兼任	講師	井上 英夫 (70) <平成30年4月> 法学修士	井上 英夫 (70) <平成30年4月> 法学修士				
		社会福祉論	社会福祉論				
兼任	講師	山崎 友也 (45) <平成30年4月> 修士(法学)	山崎 友也 (46) <平成30年4月> 修士(法学)				
		日本国憲法	日本国憲法				
兼任	講師	榊原 千秋 (56) <平成30年4月> 博士(保健学)	榊原 千秋 (57) <平成30年4月> 博士(保健学)				
		健康と体の科学 ※	健康と体の科学 ※				
兼任	講師	松下 裕子 (58) <平成30年4月> 体育学士	松下 裕子 (59) <平成30年4月> 体育学士				
		スポーツ演習(バレーボール) スポーツ演習(硬式テニス) スポーツ演習(フットサル) スポーツ演習(卓球) スポーツ演習(バドミントン)	スポーツ演習(バレーボール) スポーツ演習(硬式テニス) スポーツ演習(フットサル) スポーツ演習(卓球) スポーツ演習(バドミントン)				
兼任	講師	川島 嘉美 (49) <令和2年4月> 修士(文学)	川島 嘉美 (47) <令和2年4月> 修士(文学)				
		英語Ⅰa	英語Ⅰa				

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	ABE DAVID KIYOSHI (55) <令和2年4月> 博士(学術)	英語 I a
兼任	講師	Raker Vincent ERIC (49) <平成30年4月> B.A. (Psychology) (米国)	英語 I b 英語 II b
兼任	講師	ERTL JOHN JOSEF (43) <平成30年4月> PhD Cultural Anthropology (米国)	英語 I b
兼任	講師	FOX SENAN JAMES (41) <平成30年4月> PhD in International Relations (英国)	英語 II b
兼任	講師	岩津 航 (42) <平成30年4月> Doctorat (Littérature comparée) (仏国)	フランス語 I フランス語 II
兼任	講師	名執 純子 (49) <平成30年4月> 修士(文学)	ドイツ語 I ドイツ語 II
兼任	講師	南保 英孝 (46) <平成30年4月> 博士(工学)	情報処理基礎
兼任	講師	相内 信 (68) <平成30年4月> 法学修士	医療関係法規
兼任	講師	川井 恵一 (59) <平成30年4月> 薬学博士	薬理学
兼任	講師	櫻井 勝 (47) <平成31年4月> 博士(医学)	公衆衛生学
兼任	講師	岡本 成史 (52) <平成31年4月> 博士(歯学)	感染免疫学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	ABE DAVID KIYOSHI (53) <令和2年4月> 博士(学術)	英語 I a
兼任	講師	Raker Vincent ERIC (49) <平成30年4月> B.A. (Psychology) (米国)	英語 I b 英語 II b
兼任	講師	ERTL JOHN JOSEF (43) <平成30年4月> PhD Cultural Anthropology (米国)	英語 I b
兼任	講師	FOX SENAN JAMES (42) <平成30年4月> PhD in International Relations (英国)	英語 II b
兼任	講師	岩津 航 (42) <平成30年4月> Doctorat (Littérature comparée) (仏国)	フランス語 I フランス語 II
兼任	講師	名執 純子 (50) <平成30年4月> 修士(文学)	ドイツ語 I ドイツ語 II
兼任	講師	南保 英孝 (47) <平成30年4月> 博士(工学)	情報処理基礎
兼任	講師	相内 信 (68) <平成30年4月> 法学修士	医療関係法規
兼任	講師	川井 恵一 (59) <平成30年4月> 薬学博士	薬理学
兼任	講師	櫻井 勝 (46) <平成31年4月> 博士(医学)	公衆衛生学
兼任	講師	岡本 成史 (51) <平成31年4月> 博士(歯学)	感染免疫学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	ABE DAVID KIYOSHI (54) <令和2年4月> 博士(学術)	英語 I a
兼任	講師	Raker Vincent ERIC (50) <平成30年4月> B.A. (Psychology) (米国)	英語 I b 英語 II b
兼任	講師	FOX SENAN JAMES (43) <平成30年4月> PhD in International Relations (英国)	英語 I b 英語 II b
兼任	講師	大竹口 麻里 (56) <平成31年4月> 修士(フランス語 学)	フランス語 I フランス語 II
兼任	講師	名執 純子 (50) <平成30年4月> 修士(文学)	ドイツ語 I ドイツ語 II
兼任	講師	南保 英孝 (48) <平成30年4月> 博士(工学)	情報処理基礎
兼任	講師	相内 信 (69) <平成30年4月> 法学修士	医療関係法規
兼任	講師	川井 恵一 (60) <平成30年4月> 薬学博士	薬理学
兼任	講師	櫻井 勝 (47) <平成31年4月> 博士(医学)	公衆衛生学
兼任	講師	岡本 成史 (52) <平成31年4月> 博士(歯学)	感染免疫学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	ABE DAVID KIYOSHI (55) <令和2年4月> 博士(学術)	英語 I a
兼任	講師	Raker Vincent ERIC (51) <平成30年4月> B.A. (Psychology) (米国)	英語 I b 英語 II b
兼任	講師	FOX SENAN JAMES (44) <平成30年4月> PhD in International Relations (英国)	英語 I b 英語 II b
兼任	講師	岩津 航 (44) <平成30年4月> Doctorat (Littérature comparée) (仏国)	フランス語 I フランス語 II
兼任	講師	名執 純子 (51) <平成30年4月> 修士(文学)	ドイツ語 I ドイツ語 II
兼任	講師	南保 英孝 (48) <平成30年4月> 博士(工学)	情報処理基礎
兼任	講師	相内 信 (70) <平成30年4月> 法学修士	医療関係法規
兼任	講師	川井 恵一 (61) <平成30年4月> 薬学博士	薬理学
兼任	講師	櫻井 勝 (48) <平成31年4月> 博士(医学)	公衆衛生学
兼任	講師	岡本 成史 (53) <平成31年4月> 博士(歯学)	感染免疫学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	ABE DAVID KIYOSHI (56) <令和2年4月> 博士(学術)	英語 I a 英語 II a
兼任	講師	Raker Vincent ERIC (52) <平成30年4月> B.A. (Psychology) (米国)	英語 I b 英語 II b
兼任	講師	FOX SENAN JAMES (45) <平成30年4月> PhD in International Relations (英国)	英語 I b 英語 II b
兼任	講師	岩津 航 (45) <平成30年4月> Doctorat (Littérature comparée) (仏国)	フランス語 I フランス語 II
兼任	講師	名執 純子 (52) <平成30年4月> 修士(文学)	ドイツ語 I ドイツ語 II
兼任	講師	南保 英孝 (49) <平成30年4月> 博士(工学)	情報処理基礎
兼任	講師	相内 信 (71) <平成30年4月> 法学修士	医療関係法規
兼任	講師	川井 恵一 (62) <平成30年4月> 薬学博士	薬理学
兼任	講師	櫻井 勝 (49) <平成31年4月> 博士(医学)	公衆衛生学
兼任	講師	岡本 成史 (54) <平成31年4月> 博士(歯学)	感染免疫学

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【平成30年度】

- ・辻村真一准教授就任辞退。初年度前期に担当科目がないことから、藤田一寿を科目を担当しない准教授として4月1日より採用し、平成30年度第1回AC教員審査に提出（平成30年4月教員審査済）。
- ・共通教育科目「医療と文化」の担当教員を、兼任教員から兼担教員である横川善正教授に変更。国際文化交流学部専任教員として平成30年度第1回AC教員審査に提出（平成30年4月教員審査済）。

【令和元年度】

- ・共通教育科目「情報処理基礎」の担当教員として、兼担教員の史 金星助教を追加。
- ・共通教育科目「情報処理基礎」の担当教員として、兼担教員の朴 亨原助教を追加。
- ・共通教育科目「英語1a」の担当教員として、兼担教員の横川善正教授を追加（平成31年1月教員審査済）。
- ・共通教育科目「英語1b」の担当教員を、兼任教員のERTL JOHN JOSEF講師から兼任教員のFOX SENAN JAMES講師に変更。
- ・共通教育科目「フランス語Ⅰ」「フランス語Ⅱ」の担当教員を、兼任教員の岩津 航講師から兼任教員の大竹口 麻里講師に変更。

【令和2年度】

- ・共通教育科目「フランス語Ⅰ」「フランス語Ⅱ」の担当教員を、兼任教員の岩津 航講師から兼任教員の大竹口 麻里講師に変更。
- ・兼任教員の川島 嘉美講師の本務先の事情により共通教育科目「英語Ⅰa」の担当が困難になったため担当教員表から削除。
- ・兼任教員の島内 俊彦准教授の新規採用にともない、兼任教員から兼担教員に変更。保有学位を学士（外国研究）から博士（学術）に変更。
- ・兼任教員の日下 純子准教授の退職にともない、担当教員表から削除。
- ・兼担教員の小原 文衛准教授の保有学位を文学修士から博士（文学）に変更。
- ・佐藤 宜伯准教授を臨床工学科の専任教員として新規採用し、専門科目「代謝機能代行装置学」「代謝機能代行装置学実習」「臨床医学Ⅱ（代謝、血液）」「看護技術の科学的検証」「臨床実習」「卒業研究Ⅰ」「卒業研究Ⅱ」の担当教員に追加。令和2年度第1回AC教員審査に提出（5月1日時点で審査中）。
- ・鈴木 侑斗助教を臨床工学科の専任教員として新規採用し、専門科目「電子工学実習」「医用システム工学実習」「医用治療機器学実習」「生体計測装置実習」「卒業研究Ⅰ」「卒業研究Ⅱ」の担当教員に追加。令和2年度第1回AC教員審査に提出（5月1日時点で審査中）。

【令和3年度】

- ・専任教員の李 鍾昊准教授の職位を教授に変更。（令和3年1月教員審査済）
- ・兼担教員の石若 裕子准教授就任辞退
- ・兼担教員の史金星助教の職位を准教授に変更。
- ・兼担教員の朴亨原助教の職位を准教授に変更。
- ・兼担教員の新田 雅道教授退任。代わりに兼担教員として上野 祐亮助教を採用し、共通教育科目「情報処理基礎」の担当教員として追加。令和2年度第4回AC教員審査に提出）。
- ・兼担教員のVANCE, Timothy John教授退任。
- ・兼担教員の小原 文衛准教授の職位を教授に変更。
- ・兼担教員の長辻 幸助教の職位を准教授に変更。
- ・宮崎 猛教授退任にともない、共通教育科目「自然資源と環境問題」の担当教員として兼任教員の朝倉 由希講師を追加。
- ・共通教育科目「英語Ⅱa」の担当教員として、兼任教員のABE DAVID KIYOSHI講師を追加。
- ・共通教育科目「言葉と文化」の担当教員として、兼任教員の加藤 和夫講師を追加。

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（令和元年度開設であれば平成30年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
12	6
名	名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一により算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (A)	助手 (A')	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (B)	助手 (B')
7	3	2	0	12	0	8	3	2	1	14	0
4	3	2	0	9	0						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (C)	助手 (C')	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (D)	助手 (D')
7	3	2	0	12	0	7	3	2	0	12	0
[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「**現在（報告時）の完成年度時の状況**」には、「**現在（報告時）の状況**」に記入した数字に、**教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入**するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65	6	6
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{12}{12} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{6}{14} = \boxed{42.85} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由						
1	准教授	辻村 真一	R29.12	必修	テーマ別基礎ゼミ	①	H30.1健康上の理由のため就任辞退（30）						
				選択	情報処理応用B	①							
				必修	情報処理工学	①							
				必修	プログラミング演習	①							
				必修	臨床実習	①							
				必修	卒業研究Ⅰ	①							
				必修	卒業研究Ⅱ	①							
合計（D）					後任補充状況の集計（E）								
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）				
1	人	必修	6	科目	必修	6	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	1	科目	選択	1	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	7	科目	計	7	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由						
		該当なし											
合計（F）					後任補充状況の集計（G）								
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）				
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -③ 上記(3) -① ・ (3) -② の合計

合計 (D) + (F)			後任補充状況の集計 (E) + (G)					
辞任等した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
1 人	必修	6 科目	必修	6 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
	選択	1 科目	選択	1 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	7 科目	計	7 科目	計	0 科目	計	0 科目

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計(D)+(F)}}{(2) - ② \text{設置時の計画(A)}} = \frac{1}{12} = \boxed{8.33} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) -⑤ 令和2年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

人

(注) ・ (3) -①、(3) -②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。

(3) -⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由		
		該当なし						
合計			後任補充状況の集計					
辞任した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0 人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び () 書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する (している) 場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する (している) 場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
<p>認 可 時 (平成29年 8月)</p>	<p>・設置の趣旨・目的等が生かされるよう、設置計画を確実に履行すること。また、開設時から4年制大学にふさわしい教育研究活動を行うことはもとより、その水準を一層向上させるよう努めること。</p> <p style="text-align: center;">留意事項</p>	<p>・理事長・学長のトップマネジメントのもとに、設置計画を確実に履行し、的確な大学運営を行っている。</p> <p>・教育研究活動水準の向上に向け、全学委員会及び学部教授会の両体制から取り組みを行うことを予定している。(平成30年度)</p> <p>・設置計画の的確な履行に向け、各種審議会や全学委員会を組織し、理事長・学長のトップマネジメントのもとに大学を組織的に運営するための体制を構築した。</p> <p>・授業評価アンケートに基づく授業改善活動や学部内でのプロジェクト型研究の始動など、教育研究活動の水準向上のための活動を実施している。</p> <p>・中期計画及び年度計画に基づき、一つひとつの事項を計画的に推進するとともに、定期的な進捗管理を行う体制を構築した。(令和元年度)</p> <p>・引き続き中期計画及び年度計画に基づき、一つひとつの事項を計画的に推進するとともに、各種委員会において定期的な進捗管理を行った。(令和2年度)</p> <p>・設置計画を的確に履行するとともに、教育研究活動のさらなる向上のため、授業評価アンケートや学部内でのプロジェクト型研究を実施した。</p> <p>・中期計画および年度計画の進捗状況確認のため、年2回自己点検・評価委員会を実施した。(令和3年度)</p> <p style="text-align: center;">履行中</p>	<p>・5月に6年間の計画である中期計画(6年間の計画)を策定し、その後、年度計画を策定する。</p> <p>・年度計画を踏まえ、全学委員会である「教育企画委員会」、「研究・地域連携委員会」が具体的な活動計画を策定し、個々の活動は学部教授会のもとに行っていく。(平成30年度)</p> <p>・大学の各組織が行う活動が設置の趣旨・目的を踏まえた取組となっているのかを、理事長・学長のトップマネジメントもとに行う進捗管理の中で確認し、計画が適切に履行されているのかを検証していく。(令和元年度)</p> <p>・理事長・学長のトップマネジメントのもと、各種審議会や全学委員会において、計画が適切に履行されているのか引き続き検証していく。</p> <p>・自己点検・評価委員会を定期的に開催し、各組織の課題と進捗状況について情報共有するとともに、組織間の連携を図る。(令和2年度)</p> <p>・引き続き、自己点検・評価委員会を定期的に開催し、各組織の課題と進捗状況について情報共有するとともに、組織間の連携を図る。(令和3年度)</p>

<p>認可時 (平成29年8月)</p>	<p>・運動場及び体育館が別地にあることから、教育に支障のないようにすることはもとより、学生の課外活動等に配慮すること。</p>	<p>留意事項</p>	<p>・スポーツ演習科目においては、中央キャンパス近くの体育施設を利用するとともに、シャトルバスの運行により支障が生じないように対応している。 ・小松市により、中央キャンパスの近傍に課外活動の拠点として利用できる建物が設置され、学生の活動を支える環境が高まっている。(平成30年度) ・シャトルバスの追加導入を行い、スポーツ演習だけではなく、課外活動においても利用できるよう運行表を組んでいる。(令和元年度) ・引き続き、シャトルバスの追加導入を行い、スポーツ演習だけではなく、課外活動においても利用できるよう運行表を組んでいる。(令和2年度) ・引き続きシャトルバスを定期的に運行し、授業および課外活動での利用が可能な運行表を組んでいる。(令和3年度)</p>	<p>履行済</p>	<p>・今後も、アンケート等により学生のニーズの把握に努め、地域社会との協力のもとに、教育環境の向上を図っていく。(平成30年度) ・学生の動きを把握するとともにそのニーズを捉え、教育活動や課外活動等を行いやすくなるよう環境の改善に引き続き取り組んでいく。(令和元年度) ・アンケートを定期的に実施し、課題の共有や授業改善、課外活動に関するニーズを捉えることで、学生の学習意欲を高めるとともに、キャンパスライフを支える環境の向上を図る。(令和2年度) ・引き続きアンケートを定期的に実施し、課題の共有や授業改善、課外活動に関するニーズを捉えることで、学生の学習意欲を高めるとともに、キャンパスライフを支える環境の向上を図る。(令和3年度)</p>
<p>認可時 (平成29年8月)</p>	<p>・完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編製の将来構想について着実に実施すること。</p>	<p>留意事項</p>	<p>・中長期的な観点から、教員採用・育成のための計画を策定し、それに沿って教員人事の適正な運用を行う予定である。(平成30年度) ・教員組織の在り方について検討を行っている。また、今後の教員採用にあたっての全学的な基準づくりを行っている。(令和元年度)</p>	<p>履行中</p>	<p>・今年度中に、完成年度までの教員採用・育成計画を策定に着手する。策定後は、計画のもとに、教員の公募・育成等を行うとともに、適宜AC教員審査に諮っていく。(平成30年度) ・教員採用・育成のための計画づくりを推進するとともに、学部学科間のバランスや経営状況を踏まえた全学的な視点での検討も行う。(令和元年度)</p>
<p>設置計画履行状況調査時 (令和元年)</p>	<p>・定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編製の将来構想を策定し、着実に実行すること。</p>	<p>指摘事項 (改善)</p>	<p>・引き続き教員組織の在り方について検討を行っている。 ・教員採用計画に基づき、教員の公募を開始している。(令和2年度)</p>	<p>履行中</p>	<p>・今年度中に、教員採用・育成計画のもとに、教員の公募・育成を行い、適宜AC教員審査に諮っていく。(令和2年度)</p>

設置計画履行状況 調査時 (令和2年)	・定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想を策定し、着実に実行すること。	指摘事項 (改善)	・引き続き教員組織の在り方について検討を行っている。 ・引き続き、教員採用計画に基づき、教員の公募を行っている。(令和3年度)	履行中	・昨年度に引き続き、教員採用・育成計画のもとに、教員の公募・育成を行い、適宜AC教員審査に諮っていく。(令和3年度)
---------------------------	---	--------------	--	-----	--

- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
- ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<保健医療学部 臨床工学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 公立小松大学FD・SD推進委員会規則を制定（30年4月）</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） 平成31年3月 開催</p> <p>c 委員会の審議事項等 FD・SDの推進計画の策定、実施に関すること</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 財務システム研修会 ・ 公立大学の役割を学ぶ研修会 ・ 入試の全国的な動向や高校生の傾向を学ぶ研修会 ・ 労働安全衛生に係る研修会 ・ 競争的研究資金獲得に向けた研修会 ・ 研究倫理研修会（e-ラーニング） ・ 新任事務職員のための研修会 ・ 授業方法に係る研修会 ・ 研究計画調書の作成に係る研修会 ・ 救命講習会

- ・ 大学コンソーシアム主催 オンライン研修会
- ・ 公立大学協会配信オンライン研修
- ・ 公立大学職員セミナー
- ・ 公立大学法人会計セミナー

b 実施方法

- ・ 開学後早急にFD・SD活動を開始するため、理事長・学長の指導のもと、各委員会等が研修会を企画した。全学における実施結果は、公立小松大学FD・SD推進委員会がとりまとめ総括した。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・ 財務システム研修会（30年4月、31年4月） 教員・事務職員対象 全員受講
- ・ 公立大学の役割を学ぶ研修会（30年7月、元年7月） 教員・事務職員対象 88人参加
- ・ 入試の全国的な動向や高校生の傾向を学ぶ研修会（30年8月、元年8月）
教員・入試関連事務職員対象 62人参加
- ・ 労働安全衛生に係る研修会（31年2月） 教員・事務職員対象 66人参加
- ・ 競争的研究資金獲得に向けた研修会（31年3月） 教員・研究関連事務職員対象 32人参加
- ・ 研究倫理研修会（e-ラーニング） 教員対象 3月までに全教員の受講完了を確認
- ・ 新任事務職員のための研修会（30年4月～10月、31年4月～10月） 新任事務職員対象 11人参加
- ・ 授業評価アンケートの結果を受け、学長から学部長・学科長に対し指導を指示
学科ごとに対応を実施（30年12月）
- ・ 授業方法に係る研修会（元年7月） 教員対象 74人参加
- ・ 研究計画調書の作成に係る研修会（元年9月） 教員対象 60人参加
- ・ 救命講習会（元年9月） 教員・事務職員対象 全員受講
- ・ 大学コンソーシアム主催 オンライン研修会（令和2年9月） 教員・事務職員対象 62人参加
- ・ 公立大学協会配信オンライン研修 事務・医療職員 5人参加
- ・ 公立大学職員セミナー 事務職員 11人参加
- ・ 公立大学法人会計セミナー 事務職員 5人参加

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・ 授業評価アンケートに基づき、学部学科単位で改善を実施
- ・ プレゼンテーション能力やアクティブラーニング等の研修実施に向けた準備を実施中

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

前期・後期のそれぞれの終了時に授業科目ごとに実施

b 教員や学生への公開状況、方法等

- ・ 授業評価アンケートの結果を受け、学長から学部長・学科長に対し指導を指示
学科ごとに対応を実施（30年12月、元年12月、令和2年7～8月、1～2月）
- ・ アンケート結果を受けての大学としての対応について、学長メッセージとして掲示板に掲示し周知している
（前期・後期終了後）

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

地方独立行政法人法の規定も踏まえ、自己点検・評価委員会を設置し、理事長・学長のトップマネジメントによる法人・大学の運営が行われる仕組みを構築した。大学の各組織は、年に2度理事長・学長によるヒアリングを受けることとなっており、目標や方針の確認及び進捗状況の点検確認を行っている。

職員の資質や意識の更なる向上を図りつつ、設置の趣旨・目的に達成に向け組織全体が一丸となって取り組んでいく環境を引き続き整えていきたい。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・令和3年6月 公表予定

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開予定（令和3年6月末を予定）

③ 認証評価を受ける計画

・学内で検討を行っている。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和3年度）

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

《 a で「有」の場合》

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ()]

《 a で公表「無」の場合》

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

大学番号 公立10

注3

設置年度 平成 30年度

計画の区分： 大学の設置

注1

認可

公立小松大学 国際文化交流学部 国際文化交流学科

注2

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

公立大学法人公立小松大学
令和3年5月1日現在

作成担当者	
担当部局（課）名	総務課
職名・氏名	カカリインカミハヤシ 係員・上林 あい
電話番号	0761-23-6600
（夜間）	0761-23-6600
e-mail	soumu@komatsu-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に

() 書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、調査対象大学等に対して別途発出する、事務連絡「令和3年度の履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

国際文化交流学部

<国際文化交流学科>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	22
4. 既設大学等の状況	23
5. 教員組織の状況	24
6. 附帯事項等に対する履行状況等	38
7. その他全般的事項	41

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

公立大学法人公立小松大学

(2) 大学名 公立小松大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒923-0921
石川県小松市土居原町10-10

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(イシダ ヒロト) 石田 寛人 (現職就任30年4月)		
学長	(ヤマモト ヒロシ) 山本 博 (現職就任30年4月)		
学部長	(イワタ レイ) 岩田 礼 (現職就任30年4月)		
学科長等	(イワタ レイ) 岩田 礼 (現職就任30年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 令和2年度に報告済の内容 → (2)
令和3年度に報告する内容 → (3)
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載してください。その場合別ファイルを作成し提出してください。
 ・ 様式は、平成29年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合(令和2年度までの5年間)ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)
 ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
国際文化交流学部 国際文化交流学科 学士(国際文化学)	文学関係	4年	80人	年次 —	320人		

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	— (—) [—]	— (—) [—]	80人 (—) [—]	— (—) [—]	1.01倍	—									
志願者数	— (—) [—]	— (—) [—]	427 (—) [—]	— (—) [—]	674 (—) [—]	— (—) [—]	426 (—) [—]	— (—) [—]	554 (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]			
受験者数	— (—) [—]	— (—) [—]	330 (—) [—]	— (—) [—]	436 (—) [—]	— (—) [—]	238 (—) [—]	— (—) [—]	302 (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]			
合格者数	— (—) [—]	— (—) [—]	145 (—) [—]	— (—) [—]	114 (—) [—]	— (—) [—]	104 (—) [—]	— (—) [—]	126 (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]			
B 入学者数	— (—) [—]	— (—) [—]	83 (—) [—]	— (—) [—]	83 (—) [—]	— (—) [—]	80 (—) [—]	— (—) [—]	80 (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]			
入学定員超過率 B/A	—		1.03		1.03		1.00		1.00		1.00				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください)。
 ・ ()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 ・ 転入学生は記入しないでください。
 ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度(令和3年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「—」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	— [—] (—)	— [—] (—)	82 [—] (—)	— [—] (—)	82 [—] (—)	— [—] (—)	80 [—] (—)	— [—] (—)	80 [—] (—)	— [—] (—)	
2年次	/		— [—] (—)	— [—] (—)	82 [—] (—)	— [—] (—)	81 [—] (—)	— [—] (—)	80 [—] (—)	— [—] (—)	
3年次			/		— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	82 [—] (—)	— [—] (—)	81 [—] (—)
4年次	/				— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	82 [—] (—)
計			— [—] (—)	— [—] (—)	82 [—] (—)	— [—] (—)	164 [—] (—)	— [—] (—)	243 [—] (—)	— [—] (—)	323 [—] (—)

・令和3年5月1日 公表

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ [] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・ () 内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成29年度	— 人	— 人	平成29年度	— 人	— 人	
平成30年度	83 人	1 人	平成29年度	— 人	— 人	
			平成30年度	1 人	0 人	・その他(就職活動を行うため)(1人)
令和元年度	165 人	1 人	平成29年度	— 人	— 人	
			平成30年度	— 人	— 人	
			令和元年度	1 人	0 人	・その他(一身上の都合)(1人)
令和2年度	244 人	41 人	平成29年度	— 人	— 人	
			平成30年度	— 人	— 人	
			令和元年度	1 人	0 人	・他の教育機関への入学・転学(1人)
			令和2年度	— 人	— 人	
令和3年度	323 人	0 人	平成29年度	— 人	— 人	
			平成30年度	— 人	— 人	
			令和元年度	— 人	— 人	
			令和2年度	— 人	— 人	
			令和3年度	— 人	— 人	
合計		3 人		3 人	0 人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{—}{—} = \boxed{\#VALUE!} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{1}{83} = \boxed{1.2} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{1}{165} = \boxed{0.6} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{41}{244} = \boxed{16.8} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{323} = \boxed{0} \%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<国際文化交流学部 国際文化交流学科>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

【令和3年度】

科目区分	授業科目の名称	配年 当次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担			
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手				
共通教育科目	導入科目	キャリアデザイン・チーム論Ⅲ	1前	1			2	1						
		アカデミック・スキルズ	1前	1										
		テーマ別基礎ゼミ	1後	2			8	8		1			11	
		情報処理基礎	1前	2										
		南加賀の歴史と文化	1後	2			1						6	
	小計(5科目)	—	8	0	0	8	8	0	1	0	0	16		
	一般科目(人間力)	哲学	1前		2									1
		心理学	1前		2			1						
		人間の発達と心	1前		2			1						
		日本の伝統芸能	1前		2		1							
		人文地理学	1後		2								1	
		文化人類学	1後		2		1							
		医療と文化	1後		2								1	
		文章表現法	1後		2		1							
		言葉と文化	1後		2		2							
	小計(9科目)	—	0	18	0	4	1	0	0	0	0	3		
	一般科目(社会力)	日本産業史	1前		2									4
		自然資源と環境問題	1前		2		1							
		経済学	1前		2		1	1						
		政治学	1後		2			2						
社会学		1後		2								1		
公共政策論		1後		2								1		
社会福祉論		1後		2								1		
日本国憲法		1前		2								1		
小計(8科目)	—	0	16	0	2	3	0	0	0	0	8			
一般科目(科学力)	データ科学と社会	1前		2									3	
	情報処理応用A	1後		2									2	
	情報処理応用B	1後		2									1	
	クリティカルシンキング	1後		2									1	
	統計学	1前		2									2	
	教養としての物理	1前		2									2	
	教養としての数学	1後		2									2	
	現代科学技術論	1前		2									5	
小計(8科目)	—	0	16	0	0	0	0	0	0	0	14			
一般科目(健康と体力)	健康と体の科学	1前		2									2	
	スポーツ演習(ハレーボール)	1前・後		1									1	
	スポーツ演習(硬式テニス)	1前		1									1	
	スポーツ演習(フットサル)	1前・後		1									1	
	スポーツ演習(卓球)	1後		1									1	
	スポーツ演習(バドミントン)	1前・後		1									1	
	小計(6科目)	—	0	7	0	0	0	0	0	0	0	3		

科目区分	授業科目の名称	配年 当次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担			
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手				
共通教育科目	導入科目	キャリアデザイン・チーム論Ⅲ	1前	1			2							
		アカデミック・スキルズ	1前	1										10
		テーマ別基礎ゼミ	1後	2			8	8		1				1
		情報処理基礎	1前	2							7	7		8
		南加賀の歴史と文化	1後	2			1							
	小計(5科目)	—	8	0	0	8	8	0	1	0	0	19		
	一般科目(人間力)	哲学	1前		2									1
		心理学	1前		2			1						
		人間の発達と心	1前		2			1						
		日本の伝統芸能	1前		2		1							
		人文地理学	1後		2								1	
		文化人類学	1後		2		1							
		医療と文化	1後		2						1			
		文章表現法	1後		2		1							
		言葉と文化	1後		2		2				1			1
	小計(9科目)	—	0	18	0	4	1	0	0	0	0	3		
	一般科目(社会力)	日本産業史	1前		2									4
		自然資源と環境問題	1前		2		1							1
		経済学	1前		2		1	1						
		政治学	1後		2			2						
社会学		1後		2								1		
公共政策論		1後		2								1		
社会福祉論		1後		2								1		
日本国憲法		1後		2								1		
小計(8科目)	—	0	16	0	1	3	0	0	0	0	9			
一般科目(科学力)	データ科学と社会	1後		2									2	
	情報処理応用A	1後		2									1	
	情報処理応用B	1後		2									1	
	クリティカルシンキング	1後		2									1	
	統計学	1後		2									2	
	教養としての物理	1前		2									2	
	教養としての数学	1前		2									2	
	現代科学技術論	1前		2									5	
小計(8科目)	—	0	16	0	0	0	0	0	0	0	12			
一般科目(健康と体力)	健康と体の科学	1前		2									2	
	スポーツ演習(ハレーボール)	1前・後		1									1	
	スポーツ演習(硬式テニス)	1前		1									1	
	スポーツ演習(フットサル)	1前・後		1									1	
	スポーツ演習(卓球)	1後		1									1	
	スポーツ演習(バドミントン)	1前・後		1									1	
	小計(6科目)	—	0	7	0	0	0	0	0	0	0	3		

科目区分	授業科目の名称	配年 当次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
共通教育科目	英語 I a	1前	2			2		1		2	
	英語 I b	1前	2			1				2	
	英語 II a	1後	2			1	1		1		
	英語 II b	1後	2			1	1			2	
	英語 III	1後	2							1	
	実用英語 I	1前・ 1後		2						1	
	実用英語 II	1前・ 1後		2						1	
	実用英語 III	1前・ 1後		2						1	
	実用英語 IV	1前・ 1後		2						1	
	小計(9科目)	—	10	0	8	2	2	0	1	0	6
その他外国語科目	中国語 I	1前	2			1					
	中国語 II	1後	2			1					1
	フランス語 I	1前	2								1
	フランス語 II	1後	2								1
	ドイツ語 I	1前	2								1
	ドイツ語 II	1後	2								1
	ロシア語 I	1前	2				1				
	ロシア語 II	1後	2				1				
	スペイン語 I	1前	2			1					
	スペイン語 II	1後	2			1					
小計(10科目)	—	0	20	0	2	1	0	0	0	2	
専門基礎科目	国際交流論	1前	2			1	3				
	観光学概論	2前	2			1	1				
	地域政策概論	2前	2			2					
	グローバルヒストリー	2前	2				1			1	
	アジア社会論	2前	2				3				
	日本文化論	2前	2			1					
	言語学概論	2前	2			3					
	異文化コミュニケーション論	2前	2				2				
小計(8科目)	—	4	12	0	7	8	0	0	0	1	
外国語科目	English comprehension I	2前	2			1					1
	English expression I	2前	2						1		1
	Tourism English I	2後	2			1					
	English comprehension II a	2前	2				1				
	English comprehension II b	2後	2				1				
	English expression II a	2後	2								1
	English expression II b	2後	2								1
	中国語 I a	1前	2			1					
	中国語 I b	1前	2			1					
	中国語 II a	1後	2			1					
	中国語 II b	1後	2			1					
	中国語 III a	2前	2			1					
	中国語 III b	2前	2			1					
	中国語 IV a	2後	2			1					
	中国語 IV b	2後	2			1					
小計(15科目)	—	12	18	0	4	3	0	1	0	2	
専門外国語科目	Tourism English II	3・4 前	2								1
	English comprehension III	3・4 前	2			1					
	English expression III	3・4 前	2						1		
	English presentation I	3・4 後	2								1
	English presentation II	3・4 後	2			1					
	中国語理解 I	3・4 前	2			1					
	中国語理解 II	3・4 後	2			1					
	中国語表現法	3・4 前	2			1					
	中国語会話	3・4 前	2			1					
	ビジネス中国語	3・4 後	2			1					
小計(10科目)	—	0	20	0	3	0	0	1	0	2	

科目区分	授業科目の名称	配年 当次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
共通教育科目	英語 I a	1前	2			2	3				1
	英語 I b	1前	2							2	
	英語 II a	1後	2			2	1			1	
	英語 II b	1後	2			1	1			2	
	英語 III	1後	2							1	
	実用英語 I	1前・ 1後		2						1	
	実用英語 II	1前・ 1後		2						1	
	実用英語 III	1前・ 1後		2						1	
	実用英語 IV	1前・ 1後		2						1	
	小計(9科目)	—	10	0	8	3	4	0	0	0	3
その他外国語科目	中国語 I	1前	2			1					
	中国語 II	1後	2			1					1
	フランス語 I	1前	2								1
	フランス語 II	1後	2								1
	ドイツ語 I	1前	2								1
	ドイツ語 II	1後	2								1
	ロシア語 I	1前	2					1			
	ロシア語 II	1後	2					1			
	スペイン語 I	1前	2			1					
	スペイン語 II	1後	2			1					
小計(10科目)	—	0	20	0	2	1	0	0	0	2	
専門基礎科目	国際交流論	1前	2			2	2				
	観光学概論	2前	2			1	1				
	地域政策概論	2前	2			1					1
	グローバルヒストリー	2前	2						1		1
	アジア社会論	2前	2						2		
	日本文化論	2前	2			1					
	言語学概論	2前	2			2					
	異文化コミュニケーション論	2前	2			1	1				
小計(8科目)	—	4	12	0	6	5	0	0	0	2	
外国語科目	English comprehension I	2前	2			2					0
	English expression I	2前	2				1				0
	Tourism English I	2後	2			1					
	English comprehension II a	2前	2			1					
	English comprehension II b	2後	2				1				
	English expression II a	2後	2								1
	English expression II b	2後	2								1
	中国語 I a	1前	2			1					
	中国語 I b	1前	2			1					
	中国語 II a	1後	2			1					
	中国語 II b	1後	2			1					
	中国語 III a	2前	2			1					
	中国語 III b	2前	2			1					
	中国語 IV a	2後	2			1					
	中国語 IV b	2後	2			1					
小計(15科目)	—	12	18	0	6	2	0	0	0	1	
専門外国語科目	Tourism English II	3・4 前	2						1		
	English comprehension III	3・4 前	2			1					
	English expression III	3・4 前	2						1		
	English presentation I	3・4 後	2								1
	English presentation II	3・4 後	2			1					
	中国語理解 I	3・4 前	2			1					
	中国語理解 II	3・4 後	2			1					
	中国語表現法	3・4 前	2			1					
	中国語会話	3・4 前	2			1					
	ビジネス中国語	3・4 後	2			1					
小計(10科目)	—	0	20	0	3	2	0	0	0	1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	英語圏言語文化論	2後	2	1							
	中国言語文化論	2後	2	1							
	英語圏文芸論	2後	2			1					
	英語研究A	3・4前	2	1							
	英語研究B	3・4後	2	1							
	中国語研究A	3・4後	2	1							
	中国語研究B	3・4前	2	1							
	社会言語学	3・4前	2	1							
	日本語の歴史	3・4前	2	1							
	語用論	3・4前	2					1			
	日英対照言語表現論	3・4後	2					1			
	比較文学論	3・4後	2	1							3
	日本古典読解	3・4前	2	1							
	相互理解の心理学	3・4後	2			1					
	言語学演習	3後	2	1							
	社会言語学演習	3前	2	1							
	日本語学演習	3前	2	1							
	英語学演習	3前	2					1			
	中国語学演習	3後	2	1							
	日本文化論演習	3後	2	1							
小計(20科目)	—	0	40	0	5	2	0	1	0	3	
学部共通科目	卒業論文	4通	8			8	7		1		
	インターンシップ I	3前		2		3	2				
	インターンシップ II	3前・後		2		3	2				
	異文化体験実習	2・3前		4		3	2		1		
	海外語学研修	2・3前		4		4	1		1		
	地域実習	3・4通		2		5	2				
小計(6科目)	—	8	14	0	9	8	0	1	0	0	
合計(162科目)	—	42	277	8	9	8	0	1	0	52	

卒業要件及び履修方法

- 共通教育科目(計37単位以上)
 - 導入科目 必修8単位
 - 一般科目
 - 人間力6単位以上、社会力6単位以上、科学力4単位以上、健康と体力1単位以上
 - 英語科目 必修10単位
 - (1)～(3)で履修した科目以外から2単位以上
- 専門基礎科目(計12単位以上)
 - 専門基礎科目 必修4単位 選択8単位以上
- 外国語科目(計24単位又は28単位以上)
 - 基礎外国語科目 必修12単位 選択8単位以上
 - 専門外国語科目
 - 【国際観光・地域創生コース】 選択必修4単位以上
 - 【グローバルスタディーズコース】 選択必修8単位以上
- 専門科目(計54単位又は50単位以上)
 - 【国際観光・地域創生コース】54単位以上
 - 観光・地域創生系科目群、政治経済系科目群、言語文化系科目群

区分	必修科目	選択科目
観光・地域創生系科目群	—	30単位以上 コース必修 12単位 ^{※1} 選択 18単位 ^{※2}
政治経済系科目群	—	4単位以上
言語文化系科目群	—	4単位以上

- ※1 「観光社会学」、「サステイナブルツーリズム論」、「観光産業概論」、「世界遺産を学ぶ」、「地域再生マネジメント論」、「課題研究A」
 ※2 下記演習科目のうち2科目4単位選択必修を含む
 「観光学演習A」、「観光学演習B」、「観光学演習C」、「地域再生演習」、「多文化共生社会演習」
 (2) 学部共通科目
 必修8単位 選択必修4単位以上
 (3) 専門科目のうち(1)(2)で履修した科目を除いた科目
 選択8単位以上

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	英語圏言語文化論	2後	2	1							
	中国言語文化論	2後	2	1							
	英語圏文芸論	2後	2			1					
	英語研究A	3・4前	2	1							
	英語研究B	3・4後	2	1							
	中国語研究A	3・4後	2	1							
	中国語研究B	3・4前	2	1							
	社会言語学	3・4前	2	1							
	日本語の歴史	3・4前	2	1							1
	語用論	3・4前	2					1			1
	日英対照言語表現論	3・4後	2					1			
	比較文学論	3・4後	2	1							3
	日本古典読解	3・4前	2	1							
	相互理解の心理学	3・4後	2			1					
	言語学演習	3後	2	1							
	社会言語学演習	3前	2	1							
	日本語学演習	3前	2	1							
	英語学演習	3前	2					1			1
	中国語学演習	3後	2	1							
	日本文化論演習	3後	2	1							
小計(20科目)	—	0	40	0	5	2	0	0	0	6	
学部共通科目	卒業論文	4通	8			7	6				1
	インターンシップ I	3前		2		3	2				
	インターンシップ II	3前・後		2		3	2				
	異文化体験実習	2・3前		4		3	2				
	海外語学研修	2・3前		4		4	1				
	地域実習	3・4通		2		4	2				1
小計(6科目)	—	8	14	0	8	8	0	0	0	1	
合計(162科目)	—	42	277	8	9	9	0	0	0	58	

卒業要件及び履修方法

- 共通教育科目(計37単位以上)
 - 導入科目 必修8単位
 - 一般科目
 - 人間力6単位以上、社会力6単位以上、科学力4単位以上、健康と体力1単位以上
 - 英語科目 必修10単位
 - (1)～(3)で履修した科目以外から2単位以上
- 専門基礎科目(計12単位以上)
 - 専門基礎科目 必修4単位 選択8単位以上
- 外国語科目(計24単位又は28単位以上)
 - 基礎外国語科目 必修12単位 選択8単位以上
 - 専門外国語科目
 - 【国際観光・地域創生コース】 選択必修4単位以上
 - 【グローバルスタディーズコース】 選択必修8単位以上
- 専門科目(計54単位又は50単位以上)
 - 【国際観光・地域創生コース】54単位以上
 - 観光・地域創生系科目群、政治経済系科目群、言語文化系科目群

区分	必修科目	選択科目
観光・地域創生系科目群	—	30単位以上 コース必修 12単位 ^{※1} 選択 18単位 ^{※2}
政治経済系科目群	—	4単位以上
言語文化系科目群	—	4単位以上

- ※1 「観光社会学」、「サステイナブルツーリズム論」、「観光産業概論」、「世界遺産を学ぶ」、「地域再生マネジメント論」、「課題研究A」
 ※2 下記演習科目のうち2科目4単位選択必修を含む
 「観光学演習A」、「観光学演習B」、「観光学演習C」、「地域再生演習」、「多文化共生社会演習」
 (2) 学部共通科目
 必修8単位 選択必修4単位以上
 (3) 専門科目のうち(1)(2)で履修した科目を除いた科目
 選択8単位以上

卒業要件及び履修方法

【グローバルスタディーズコース】50単位以上

(1) 観光・地域創生系科目群、政治経済系科目群、言語文化系科目群

区分	必修科目	選択科目
観光・地域創生系科目群	—	4単位以上
政治経済系科目群	—	30単位以上
言語文化系科目群		コース必修 8単位 ^{※1} 選択 22単位 ^{※2}

※1 「国際政治論」、「国際貿易論」、「英語圏言語文化論」、「中国言語文化論」

※2 下記演習科目のうち3科目6単位選択必修を含む

「国際政治論演習A」、「国際政治論演習B」、「国際経済論演習C」、
「国際社会論演習」、「課題研究B」、「異文化コミュニケーション演習」、
「言語学演習」、「社会言語学演習」、「日本語学演習」、「英語学演習」、
「中国語学演習」、「日本文化論演習」

(2) 学部共通科目

必修8単位 選択必修4単位以上

(3) 専門科目のうち(1)(2)で履修した科目を除いた科目

選択4単位以上

以上、各コースにおける卒業要件単位数は、以下のとおり

【国際観光・地域創生コース】

共通教育科目 37単位以上、専門基礎科目 12単位以上

外国語科目 24単位以上、専門科目 54単位以上、合計127単位以上

【グローバルスタディーズコース】

共通教育科目 37単位以上、専門基礎科目 12単位以上

外国語科目 28単位以上、専門科目 50単位以上、合計127単位以上

5 履修科目の登録の上限

46単位(年間)

卒業要件及び履修方法

【グローバルスタディーズコース】50単位以上

(1) 観光・地域創生系科目群、政治経済系科目群、言語文化系科目群

区分	必修科目	選択科目
観光・地域創生系科目群	—	4単位以上
政治経済系科目群	—	30単位以上
言語文化系科目群		コース必修 8単位 ^{※1} 選択 22単位 ^{※2}

※1 「国際政治論」、「国際貿易論」、「英語圏言語文化論」、「中国言語文化論」

※2 下記演習科目のうち3科目6単位選択必修を含む

「国際政治論演習A」、「国際政治論演習B」、「国際経済論演習C」、
「国際社会論演習」、「課題研究B」、「異文化コミュニケーション演習」、
「言語学演習」、「社会言語学演習」、「日本語学演習」、「英語学演習」、
「中国語学演習」、「日本文化論演習」

(2) 学部共通科目

必修8単位 選択必修4単位以上

(3) 専門科目のうち(1)(2)で履修した科目を除いた科目

選択4単位以上

以上、各コースにおける卒業要件単位数は、以下のとおり

【国際観光・地域創生コース】

共通教育科目 37単位以上、専門基礎科目 12単位以上

外国語科目 24単位以上、専門科目 54単位以上、合計127単位以上

【グローバルスタディーズコース】

共通教育科目 37単位以上、専門基礎科目 12単位以上

外国語科目 28単位以上、専門科目 50単位以上、合計127単位以上

5 履修科目の登録の上限

46単位(年間)

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
導入科目	キャリアデザイン・チーム論Ⅲ	1前	1			2	1					
	アカデミック・スキルズ	1前	1									
	テーマ別基礎ゼミ	1後	2			8	8		1		11	
	情報処理基礎	1前	2									
	南加賀の歴史と文化	1後	2			1					6	
小計(5科目)	—	—	8	0	0	8	8	0	1	0	16	
一般科目(人間力)	哲学	1前		2							1	
	心理学	1前		2			1		1			
	人間の発達と心	1前		2			1					
	日本の伝統芸能	1前		2		1						
	人文地理学	1後		2							1	
	文化人類学	1後		2		1						
	医療と文化	1後		2		1						
	文章表現法	1後		2		1						
	言葉と文化	1後		2		2						
小計(9科目)	—	—	0	18	0	5	1	0	0	0	2	
一般科目(社会力)	日本産業史	1前		2							4	
	自然資源と環境問題	1前		2		1						
	経済学	1前		2		1	1					
	政治学	1後		2			2					
	社会学	1後		2							1	
	公共政策論	1後		2							1	
	社会福祉論	1後		2							1	
	日本国憲法	1後		2							1	
	小計(8科目)	—	—	0	16	0	2	3	0	0	0	8
一般科目(科学力)	データ科学と社会	1後		2							3	
	情報処理応用A	1後		2							2	
	情報処理応用B	1後		2							1	
	クリティカルシンキング	1後		2							1	
	統計学	1後		2							2	
	教養としての物理	1前		2							2	
	教養としての数学	1前		2							2	
	現代科学技術論	1前		2							5	
小計(8科目)	—	—	0	16	0	0	0	0	0	0	14	
一般科目(健康と体力)	健康と体の科学	1前		2							2	
	スポーツ演習(ハレーボール)	1前・後		1							1	
	スポーツ演習(硬式テニス)	1前		1							1	
	スポーツ演習(フットサル)	1前・後		1							1	
	スポーツ演習(卓球)	1後		1							1	
	スポーツ演習(バドミントン)	1前・後		1							1	
	小計(6科目)	—	—	0	7	0	0	0	0	0	0	3
英語科目	英語Ⅰa	1前	2			1	2		1		2	
	英語Ⅰb	1前	2			1	1				2	
	英語Ⅱa	1後	2			1	1		1			
	英語Ⅱb	1後	2			1	1				2	
	英語Ⅲ	1後	2								1	
	実用英語Ⅰ	1前・後			2						1	
	実用英語Ⅱ	1前・後			2						1	
	実用英語Ⅲ	1前・後			2						1	
	実用英語Ⅳ	1前・後			2						1	
小計(9科目)	—	—	10	0	8	2	2	0	1	0	6	

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
導入科目	キャリアデザイン・チーム論Ⅲ	1前	1			2	1				
	アカデミック・スキルズ	1前	1								
	テーマ別基礎ゼミ	1後	2			8	8		1		11
	情報処理基礎	1前	2								8
	南加賀の歴史と文化	1後	2			1					6
小計(5科目)	—	—	8	0	0	8	8	0	1	0	24
一般科目(人間力)	哲学	1前		2							1
	心理学	1前		2			1				
	人間の発達と心	1前		2			1				
	日本の伝統芸能	1前		2		1					
	人文地理学	1後		2							1
	文化人類学	1後		2		1					
	医療と文化	1後		2		1					
	文章表現法	1後		2		1					
	言葉と文化	1後		2		2					
小計(9科目)	—	—	0	18	0	5	1	0	0	0	2
一般科目(社会力)	日本産業史	1前		2							4
	自然資源と環境問題	1前		2		1					
	経済学	1前		2		1	1				
	政治学	1後		2			2				
	社会学	1後		2							1
	公共政策論	1後		2							1
	社会福祉論	1後		2							1
	日本国憲法	1後		2							1
	小計(8科目)	—	—	0	16	0	2	3	0	0	0
一般科目(科学力)	データ科学と社会	1後		2							3
	情報処理応用A	1後		2							2
	情報処理応用B	1後		2							1
	クリティカルシンキング	1後		2							1
	統計学	1後		2							2
	教養としての物理	1前		2							2
	教養としての数学	1前		2							2
	現代科学技術論	1前		2							5
小計(8科目)	—	—	0	16	0	0	0	0	0	0	14
一般科目(健康と体力)	健康と体の科学	1前		2							2
	スポーツ演習(ハレーボール)	1前・後		1							1
	スポーツ演習(硬式テニス)	1前		1							1
	スポーツ演習(フットサル)	1前・後		1							1
	スポーツ演習(卓球)	1後		1							1
	スポーツ演習(バドミントン)	1前・後		1							1
	小計(6科目)	—	—	0	7	0	0	0	0	0	0
英語科目	英語Ⅰa	1前	2			1	2		1		2
	英語Ⅰb	1前	2			1	1				2
	英語Ⅱa	1後	2			1	1		1		
	英語Ⅱb	1後	2			1	1				2
	英語Ⅲ	1後	2								1
	実用英語Ⅰ	1前・後			2						1
	実用英語Ⅱ	1前・後			2						1
	実用英語Ⅲ	1前・後			2						1
	実用英語Ⅳ	1前・後			2						1
小計(9科目)	—	—	10	0	8	3	2	0	1	0	6

科目区分	授業科目の名称	配年 当次	単位数			専任教員等の配置				兼任・ 兼担		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手	
共通教育科目	その他外国語科目	中国語Ⅰ	1前	2		1						
		中国語Ⅱ	1後	2		1						
		フランス語Ⅰ	1前	2							1	
		フランス語Ⅱ	1後	2							1	
		ドイツ語Ⅰ	1前	2							1	
		ドイツ語Ⅱ	1後	2							1	
		ロシア語Ⅰ	1前	2				1				
		ロシア語Ⅱ	1後	2				1				
		スペイン語Ⅰ	1前	2					1			
		スペイン語Ⅱ	1後	2					1			
小計(10科目)	—	0	20	0	2	1	0	0	0	2		
専門基礎科目		国際交流論	1前	2		1	3					
		観光学概論	2前	2		1	1					
		地域政策概論	2前	2		2						
		グローバルヒストリー	2前	2			1				1	
		アジア社会論	2前	2			3					
		日本文化論	2前	2		1						
		言語学概論	2前	2		3						
		異文化	2前	2			2					
		小計(8科目)	—	4	12	0	7	8	0	0	0	1
		外国語科目	基礎外国語科目	English	2前	2		1				
English expression I	2前			2					1		1	
Tourism English I	2後			2			1					
English	2前			2			1					
English	2後			2			1				1	
English	2後			2							1	
中国語Ⅰa	1前			2		1						
中国語Ⅰb	1前			2		1						
中国語Ⅱa	1後			2		1						
中国語Ⅱb	1後			2		1						
中国語Ⅲa	2前		2		1							
中国語Ⅲb	2前		2		1							
中国語Ⅳa	2後		2		1							
中国語Ⅳb	2後		2		1							
小計(15科目)	—		12	18	0	4	3	0	1	0	2	
専門外国語科目			Tourism English II	3・4前	2							1
			English comprehension III	3・4前	2		1					
			English expression III	3・4前	2					1		
			English presentation I	3・4後	2							1
			English presentation II	3・4後	2		1					
		中国語理解Ⅰ	3・4前	2		1						
		中国語理解Ⅱ	3・4後	2		1						
		中国語表現法	3・4前	2		1						
		中国語会話	3・4前	2		1						
		ビジネス中国語	3・4後	2		1						
小計(10科目)	—	0	20	0	3	0	0	1	0	2		
専門科目	観光・地域創生系科目群	サステイナブルツーリズム論	2後	2		2	1					
		観光産業概論	2後	2		1						
		世界遺産を学ぶ	2後	2		1						
		地域再生マネジメント論	2後	2		1						
		観光社会学	2後	2							1	
		観光資源論	3・4前	2		1						
		マーケティング調査論	3・4前	2							1	
		インバウンド観光論	3・4前	2							1	
ホスピタリティマネジメント	3・4前	2			1				1			

科目区分	授業科目の名称	配年 当次	単位数			専任教員等の配置				兼任・ 兼担		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手	
共通教育科目	その他外国語科目	中国語Ⅰ	1前	2		1						
		中国語Ⅱ	1後	2		1						
		フランス語Ⅰ	1前	2							1	
		フランス語Ⅱ	1後	2							1	
		ドイツ語Ⅰ	1前	2							1	
		ドイツ語Ⅱ	1後	2							1	
		ロシア語Ⅰ	1前	2				1				
		ロシア語Ⅱ	1後	2				1				
		スペイン語Ⅰ	1前	2					1			
		スペイン語Ⅱ	1後	2					1			
小計(10科目)	—	0	20	0	2	1	0	0	0	2		
専門基礎科目		国際交流論	1前	2		1	3					
		観光学概論	2前	2		1	1					
		地域政策概論	2前	2		2						
		グローバルヒストリー	2前	2			1				1	
		アジア社会論	2前	2			3					
		日本文化論	2前	2		1						
		言語学概論	2前	2		3						
		異文化	2前	2			2					
		小計(8科目)	—	4	12	0	7	8	0	0	0	1
		外国語科目	基礎外国語科目	English	2前	2						
English expression I	2前			2							0	
Tourism English I	2後			2			1			1		
English	2前			2			1					
English	2後			2			1				1	
English	2後			2							1	
中国語Ⅰa	1前			2		1						
中国語Ⅰb	1前			2		1						
中国語Ⅱa	1後			2		1						
中国語Ⅱb	1後			2		1						
中国語Ⅲa	2前		2		1							
中国語Ⅲb	2前		2		1							
中国語Ⅳa	2後		2		1							
中国語Ⅳb	2後		2		1							
小計(15科目)	—		12	18	0	5	3	0	1	0	1	
専門外国語科目			Tourism English II	3・4前	2					1		
			English comprehension III	3・4前	2		1					
			English expression III	3・4前	2						1	
			English presentation I	3・4後	2							1
			English presentation II	3・4後	2		1					
		中国語理解Ⅰ	3・4前	2		1						
		中国語理解Ⅱ	3・4後	2		1						
		中国語表現法	3・4前	2		1						
		中国語会話	3・4前	2		1						
		ビジネス中国語	3・4後	2		1						
小計(10科目)	—	0	20	0	3	1	0	1	0	1		
専門科目	観光・地域創生系科目群	サステイナブルツーリズム論	2後	2		2	1					
		観光産業概論	2後	2		1						
		世界遺産を学ぶ	2後	2		1						
		地域再生マネジメント論	2後	2		1						
		観光社会学	2後	2							1	
		観光資源論	3・4前	2		1						
		マーケティング調査論	3・4前	2							1	
		インバウンド観光論	3・4前	2							1	
ホスピタリティマネジメント	3・4前	2			1				1			

科目区分	授業科目の名称	配年 当次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
観光・ 地域 創生 系科目群	観光人材育成論	3・4 後		2		1						
	ハリアフリーリズム論	3・4 後		2		1						
	グリーンリズム論	3・4 後		2		1						
	観光人類学	3・4 後		2		1						
	観光地理学	3・4 後		2		1						
	多文化共生 社会論	3・4 後		2		1	1					
	地域ブランディング論	3・4 前		2		1						
	地域産業論	3・4 後		2		1						
	フードシステム論	3・4 前		2		1						
	農村地域振興論	3・4 後		2		1						
	財政学	3・4 前		2		1						
	社会調査法	3・4 後		2			1					
	地理情報学概説	3・4 前		2							1	
	観光学演習A	3前		2		1						
	観光学演習B	3前		2		1	1					
観光学演習C	3前		2		1							
地域創生演習	3前		2		1							
多文化共生社会 課題研究A	3前 3後		2 2			1 3						
小計(28科目)	—	0	56	0	4	2	0	0	0	0	5	
専門科目 政治 経済 系科目群	国際政治論	2後		2		2						
	国際貿易論	2後		2		1						
	中国語圏社会	2後		2		1						
	アジア現代史概論	2後		2								
	東南アジア地域 社会論	3・4 前		2								
	NGO論	3・4 後		2		1						
	国際協力論	3・4 前		2		1						
	イスラーム社会論	3・4 前		2		1						
	中東政治論	3・4 後		2		1						
	資源エネルギー・ 環境論	3・4 前		2		1						
	新興国経済論	3・4 後		2		1						
	グローカル論	3・4 前		2		1						
	サブカルチャー論	3・4 後		2		1						
	メディア情報論	3・4 前		2		1						
	現代メディア史	3・4 後		2		1						
国際政治論演習A	3前		2		1							
国際政治論演習B	3前		2		1							
国際経済論演習	3前		2		1							
国際社会論演習	3前		2		1							
課題研究B	3後		2		4							
小計(20科目)	—	0	40	0	0	4	0	0	0	0	1	
言語 文科 系科目群	英語圏言語文化論	2後		2		1						
	中国言語文化論	2後		2		1						
	英語圏文芸論	2後		2		1						
	英語研究A	3・4 前		2		1						
	英語研究B	3・4 後		2		1						
	中国語研究A	3・4 後		2		1						
	中国語研究B	3・4 前		2		1						
	社会言語学	3・4 前		2		1						
	日本語の歴史	3・4 前		2		1						
	語用論	3・4 前		2					1			
日英対照言語 表現論	3・4 後		2						1			
比較文学論	3・4 後		2		1						3	

科目区分	授業科目の名称	配年 当次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
観光・ 地域 創生 系科目群	観光人材育成論	3・4 後		2		1						
	ハリアフリーリズム論	3・4 後		2		1						
	グリーンリズム論	3・4 後		2		1						
	観光人類学	3・4 後		2		1						
	観光地理学	3・4 後		2		1						
	多文化共生 社会論	3・4 後		2		1	1					
	地域ブランディング論	3・4 前		2		1						
	地域産業論	3・4 後		2		1						
	フードシステム論	3・4 前		2		1						
	農村地域振興論	3・4 後		2		1						
	財政学	3・4 前		2		1						
	社会調査法	3・4 後		2			1					
	地理情報学概説	3・4 前		2							1	
	観光学演習A	3前		2		1						
	観光学演習B	3前		2		1	1					
観光学演習C	3前		2		1							
地域創生演習	3前		2		1							
多文化共生社会 課題研究A	3前 3後		2 2			3 2						
小計(28科目)	—	0	56	0	4	2	0	0	0	0	5	
専門科目 政治 経済 系科目群	国際政治論	2後		2		2						
	国際貿易論	2後		2		1						
	中国語圏社会	2後		2		1						
	アジア現代史概論	2後		2								
	東南アジア地域 社会論	3・4 前		2								
	NGO論	3・4 後		2		1						
	国際協力論	3・4 前		2		1						
	イスラーム社会論	3・4 前		2		1						
	中東政治論	3・4 後		2		1						
	資源エネルギー・ 環境論	3・4 前		2		1						
	新興国経済論	3・4 後		2		1						
	グローカル論	3・4 前		2		1						
	サブカルチャー論	3・4 後		2		1						
	メディア情報論	3・4 前		2		1						
	現代メディア史	3・4 後		2		1						
国際政治論演習A	3前		2		1							
国際政治論演習B	3前		2		1							
国際経済論演習	3前		2		1							
国際社会論演習	3前		2		1							
課題研究B	3後		2		4							
小計(20科目)	—	0	40	0	0	4	0	0	0	0	1	
言語 文科 系科目群	英語圏言語文化論	2後		2		1						
	中国言語文化論	2後		2		1						
	英語圏文芸論	2後		2		1						
	英語研究A	3・4 前		2		1						
	英語研究B	3・4 後		2		1						
	中国語研究A	3・4 後		2		1						
	中国語研究B	3・4 前		2		1						
	社会言語学	3・4 前		2		1						
	日本語の歴史	3・4 前		2		1						
	語用論	3・4 前		2						1		
日英対照言語 表現論	3・4 後		2							1		
比較文学論	3・4 後		2		1						3	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	言語文化系科目群	日本古典読解	3・4前	2		1						
		相互理解の心理学	3・4後	2		1						
		言語学演習	3後	2		1						
		社会言語学演習	3前	2		1				1		
		日本語学演習	3前	2		1						
		英語学演習	3前	2		1						
		中国語学演習	3後	2		1						
	日本文化論演習	3後	2		1							
	小計(20科目)	—	0	40	0	5	2	0	1	0	3	
	学部共通科目	卒業論文	4通	8		8	7		1			
インターンシップ I		3前	2		3	2						
インターンシップ II		3前・後	2		3	2						
異文化体験実習		2・3前・後	4		3	2		1				
海外語学研修		2・3前・後	4		4	1		1				
地域実習		2・3前・後	2		5	2						
小計(6科目)	—	8	14	0	9	8	0	1	0	0		
合計(162科目)	—	42	277	8	9	8	0	1	0	51		

卒業要件及び履修方法

- 共通教育科目(計37単位以上)
 - 導入科目 必修8単位
 - 一般科目
人間力6単位以上、社会力6単位以上、科学力4単位以上、健康と体力1単位以上
 - 英語科目 必修10単位
 - (1)～(3)で履修した科目以外から2単位以上
- 専門基礎科目(計12単位以上)
 - 専門基礎科目 必修4単位 選択8単位以上
- 外国語科目(計24単位又は28単位以上)
 - 基礎外国語科目 必修12単位 選択8単位以上
 - 専門外国語科目
【国際観光・地域創生コース】 選択必修4単位以上
【グローバルスタディーズコース】 選択必修8単位以上
- 専門科目(計54単位又は50単位以上)
 - 【国際観光・地域創生コース】54単位以上
(1)観光・地域創生系科目群、政治経済系科目群、言語文化系科目群

区分	必修科目	選択科目
観光・地域創生系科目群	—	30単位以上 コース必修 12単位 ^{※1} 選択 18単位 ^{※2}
政治経済系科目群	—	4単位以上
言語文化系科目群	—	—

- ※1 「観光社会学」、「サステナブルツーリズム論」、「観光産業概論」、「世界遺産を学ぶ」、「地域再生マネジメント論」、「課題研究A」
 ※2 下記演習科目のうち2科目4単位選択必修を含む
 「観光学演習A」、「観光学演習B」、「観光学演習C」、「地域再生演習」、「多文化共生社会演習」
 (2) 学部共通科目
 必修8単位 選択必修4単位以上
 (3) 専門科目のうち(1)(2)で履修した科目を除いた科目
 選択8単位以上

卒業要件及び履修方法

- 【グローバルスタディーズコース】50単位以上
 (1) 観光・地域創生系科目群、政治経済系科目群、言語文化系科目群

区分	必修科目	選択科目
観光・地域創生系科目群	—	4単位以上
政治経済系科目群	—	30単位以上 コース必修 8単位 ^{※1} 選択 22単位 ^{※2}
言語文化系科目群	—	—

- ※1 「国際政治論」、「国際貿易論」、「英語圏言語文化論」、「中国言語文化論」
 ※2 下記演習科目のうち3科目6単位選択必修を含む
 「国際政治論演習A」、「国際政治論演習B」、「国際経済論演習C」、「国際社会論演習」、「課題研究B」、「異文化コミュニケーション演習」、「言語学演習」、「社会言語学演習」、「日本語学演習」、「英語学演習」、「中国語学演習」、「日本文化論演習」
 (2) 学部共通科目
 必修8単位 選択必修4単位以上
 (3) 専門科目のうち(1)(2)で履修した科目を除いた科目
 選択4単位以上

以上、各コースにおける卒業要件単位数は、以下のとおり
 【国際観光・地域創生コース】
 共通教育科目 37単位以上、専門基礎科目 12単位以上
 外国語科目 24単位以上、専門科目 54単位以上、合計127単位以上

【グローバルスタディーズコース】
 共通教育科目 37単位以上、専門基礎科目 12単位以上
 外国語科目 28単位以上、専門科目 50単位以上、合計127単位以上

5 履修科目の登録の上限
 46単位(年間)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	言語文化系科目群	日本古典読解	3・4前	2		1					
		相互理解の心理学	3・4後	2		1					
		言語学演習	3後	2		1					
		社会言語学演習	3前	2		1					
		日本語学演習	3前	2		1					
		英語学演習	3前	2		1					
		中国語学演習	3後	2		1					
	日本文化論演習	3後	2		1						
	小計(20科目)	—	0	40	0	5	2	0	1	0	3
	学部共通科目	卒業論文	4通	8		8	7		1		
インターンシップ I		3前	2		3	2					
インターンシップ II		3前・後	2		3	2					
異文化体験実習		2・3前・後	4		3	2		1			
海外語学研修		2・3前・後	4		4	1		1			
地域実習		2・3前・後	2		5	2					
小計(6科目)	—	8	14	0	9	8	0	1	0	0	
合計(162科目)	—	42	277	8	10	8	0	1	0	57	

卒業要件及び履修方法

- 共通教育科目(計37単位以上)
 - 導入科目 必修8単位
 - 一般科目
人間力6単位以上、社会力6単位以上、科学力4単位以上、健康と体力1単位以上
 - 英語科目 必修10単位
 - (1)～(3)で履修した科目以外から2単位以上
- 専門基礎科目(計12単位以上)
 - 専門基礎科目 必修4単位 選択8単位以上
- 外国語科目(計24単位又は28単位以上)
 - 基礎外国語科目 必修12単位 選択8単位以上
 - 専門外国語科目
【国際観光・地域創生コース】 選択必修4単位以上
【グローバルスタディーズコース】 選択必修8単位以上
- 専門科目(計54単位又は50単位以上)
 - 【国際観光・地域創生コース】54単位以上
(1)観光・地域創生系科目群、政治経済系科目群、言語文化系科目群

区分	必修科目	選択科目
観光・地域創生系科目群	—	30単位以上 コース必修 12単位 ^{※1} 選択 18単位 ^{※2}
政治経済系科目群	—	4単位以上
言語文化系科目群	—	—

- ※1 「観光社会学」、「サステナブルツーリズム論」、「観光産業概論」、「世界遺産を学ぶ」、「地域再生マネジメント論」、「課題研究A」
 ※2 下記演習科目のうち2科目4単位選択必修を含む
 「観光学演習A」、「観光学演習B」、「観光学演習C」、「地域再生演習」、「多文化共生社会演習」
 (2) 学部共通科目
 必修8単位 選択必修4単位以上
 (3) 専門科目のうち(1)(2)で履修した科目を除いた科目
 選択8単位以上

卒業要件及び履修方法

- 【グローバルスタディーズコース】50単位以上
 (1) 観光・地域創生系科目群、政治経済系科目群、言語文化系科目群

区分	必修科目	選択科目
観光・地域創生系科目群	—	4単位以上
政治経済系科目群	—	30単位以上 コース必修 8単位 ^{※1} 選択 22単位 ^{※2}
言語文化系科目群	—	—

- ※1 「国際政治論」、「国際貿易論」、「英語圏言語文化論」、「中国言語文化論」
 ※2 下記演習科目のうち3科目6単位選択必修を含む
 「国際政治論演習A」、「国際政治論演習B」、「国際経済論演習C」、「国際社会論演習」、「課題研究B」、「異文化コミュニケーション演習」、「言語学演習」、「社会言語学演習」、「日本語学演習」、「英語学演習」、「中国語学演習」、「日本文化論演習」
 (2) 学部共通科目
 必修8単位 選択必修4単位以上
 (3) 専門科目のうち(1)(2)で履修した科目を除いた科目
 選択4単位以上

以上、各コースにおける卒業要件単位数は、以下のとおり
 【国際観光・地域創生コース】
 共通教育科目 37単位以上、専門基礎科目 12単位以上
 外国語科目 24単位以上、専門科目 54単位以上、合計127単位以上

【グローバルスタディーズコース】
 共通教育科目 37単位以上、専門基礎科目 12単位以上
 外国語科目 28単位以上、専門科目 50単位以上、合計127単位以上

5 履修科目の登録の上限
 46単位(年間)

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通教育科目	キャリアデザイン・チーム論Ⅲ	1前	1			2	1					
	アカデミック・スキルズ	1前	1									
	テーマ別基礎ゼミ	1後	2			8	8		1		11	
	情報処理基礎	1前	2								8	
	南加賀の歴史と文化	1後	2			1						
	小計(5科目)	—	8	0	0	8	8	0	1	0	19	
	哲学	1前		2							1	
	心理学	1前		2			1					
	人間の発達と心	1前		2			1					
	日本の伝統芸能	1前		2		1						
	人文地理学	1後		2							1	
	文化人類学	1後		2		1						
	医療と文化	1後		2		1						
	文章表現法	1後		2		1						
	言葉と文化	1後		2		2						
	小計(9科目)	—	0	18	0	5	1	0	0	0	2	
	日本産業史	1前		2							4	
	自然資源と環境問題	1前		2		1						
	経済学	1前		2		1	1					
	政治学	1後		2			2					
	社会学	1後		2							1	
	公共政策論	1後		2							1	
	社会福祉論	1後		2							1	
	日本国憲法	1後		2							1	
小計(8科目)	—	0	16	0	2	3	0	0	0	8		
データ化学と社会	1後		2							3		
情報処理応用A	1後		2							2		
情報処理応用B	1後		2							1		
クリティカルシンキング	1後		2							1		
統計学	1後		2							2		
教養としての物理	1前		2							2		
教養としての数学	1前		2							2		
現代科学技術論	1前		2							5		
小計(8科目)	—	0	16	0	0	0	0	0	0	14		
健康と体の科学	1前		2							2		
スポーツ演習(ハレーボール)	1前・後		1							1		
スポーツ演習(硬式テニス)	1前		1							1		
スポーツ演習(フットサル)	1前・後		1							1		
スポーツ演習(卓球)	1後		1							1		
スポーツ演習(ハドミントン)	1前・後		1							1		
小計(6科目)	—	0	7	0	0	0	0	0	0	3		

科目区分	授業科目の名称	配年 当次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通教育科目	英語科目	英語 I a	1前	2			2	2		1		1
		英語 I b	1前	2			1					2
		英語 II a	1後	2			1	2		1		
		英語 II b	1後	2			2	1				2
		英語 III	1後	2				1				
		実用英語 I	1前・後		2			1				
		実用英語 II	1前・後			2		1				
		実用英語 III	1前・後			2		1				
		実用英語 IV	1前・後			2		1				
	小計(9科目)	—	10	0	8	3	3	0	1	0	4	
	その他外国語科目	中国語 I	1前		2		1					
		中国語 II	1後		2		1					
		フランス語 I	1前		2							1
		フランス語 II	1後		2							1
		ドイツ語 I	1前		2							1
		ドイツ語 II	1後		2							1
		ロシア語 I	1前		2			1				
		ロシア語 II	1後		2			1				
		スペイン語 I	1前		2		1					
スペイン語 II		1後		2		1						
小計(10科目)	—	0	20	0	2	1	0	0	0	2		
専門基礎科目	国際交流論	1前	2			1	3					
	観光学概論	2前		2		1	1					
	地域政策概論	2前		2		2						
	グローバルヒストリー	2前		2			1				1	
	アジア社会論	2前		2			3					
	日本文化論	2前		2		1						
	言語学概論	2前		2		3						
	異文化コミュニケーション論	2前	2				2					
小計(8科目)	—	4	12	0	7	8	0	0	0	1		
外国語科目	基礎外国語科目	English comprehension I	2前	2			2					0
		English expression I	2前	2					1			0
		Tourism English I	2後		2			1				
		English comprehension II a	2前		2			1				
		English comprehension II b	2後		2			1				
		English expression II a	2後		2							1
		English expression II b	2後		2							1
		中国語 I a	1前	2			1					
		中国語 I b	1前	2			1					
		中国語 II a	1後	2			1					
		中国語 II b	1後	2			1					
		中国語 III a	2前		2		1					
		中国語 III b	2前		2		1					
		中国語 IV a	2後		2		1					
		中国語 IV b	2後		2		1					
	小計(15科目)	—	12	18	0	5	3	0	1	0	1	
	専門外国語科目	Tourism English II	3・4前		2			1				
		English comprehension III	3・4前		2		1					
		English expression III	3・4前		2				1			
		English presentation I	3・4後		2							1
English presentation II		3・4後		2		1						
中国語理解 I	3・4前		2		1							
中国語理解 II	3・4後		2		1							
中国語表現法	3・4前		2		1							
中国語会話	3・4前		2		1							
ビジネス中国語	3・4後		2		1							
小計(10科目)	—	0	20	0	3	1	0	1	0	1		

科目 区分	授業科目の名称	配 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
専 門 科 目	サステイナブルツーリズム論	2後	2		2	1						
	観光産業概論	2後	2		1							
	世界遺産を学ぶ	2後	2		1							
	地域再生マネジメント論	2後	2		1							
	観光社会学	2後	2								1	
	観光資源論	3・4 前	2		1							
	マーケティング調査論	3・4 前	2								1	
	インバウンド観光論	3・4 前	2								1	
	ホスピタリティマネジメント	3・4 前	2			1					1	
	観光人材育成論	3・4 後	2			1						
	ハリアフリーツーリズム論	3・4 後	2			1						
	グリーンツーリズム論	3・4 後	2		1							
	観光人類学	3・4 後	2		1							
	観光地理学	3・4 後	2		1							
	多文化共生社会論	3・4 後	2		1	1						
	地域ブランディング論	3・4 前	2		1							
	地域産業論	3・4 後	2		1							
	フードシステム論	3・4 前	2		1							
	農村地域振興論	3・4 後	2		1							
	財政学	3・4 前	2		1							
	社会調査法	3・4 後	2			1						
	地理情報学概説	3・4 前	2								1	
	観光学演習A	3前	2		1							
	観光学演習B	3前	2			1						
	観光学演習C	3前	2		1							
	地域創生演習	3前	2		1							
	多文化共生社会 演習	3前	2			1						
	課題研究A	3後	2		3	2						
小計(28科目)	—	0	56	0	4	2	0	0	0	0	5	
政 治 経 済 計 科 目 群	国際政治論	2後	2			2						
	国際貿易論	2後	2			1						
	中国語圏社会 文化論	2後	2			1						
	アジア現代史概論	2後	2								1	
	東南アジア地域 社会論	3・4 前	2									
	NGO論	3・4 後	2			1						
	国際協力論	3・4 前	2			1						
	イスラーム社会論	3・4 前	2			1						
	中東政治論	3・4 後	2			1						
	資源エネルギー・ 環境論	3・4 前	2			1						
	新興国経済論	3・4 後	2			1						
	グローカル論	3・4 前	2			1						
	サブカルチャー論	3・4 後	2			1						
	メディア情報論	3・4 前	2			1						
	現代メディア史	3・4 後	2			1						
	国際政治論演習A	3前	2			1						
	国際政治論演習B	3前	2			1						
	国際経済論演習	3前	2			1						
	国際社会論演習	3前	2			1						
	課題研究B	3後	2			4						
小計(20科目)	—	0	40	0	0	4	0	0	0	0	1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
専門科目	英語圏言語文化論	2後		2		1					
	中国言語文化論	2後		2		1					
	英語圏文芸論	2後		2			1				
	英語研究A	3・4前		2		1					
	英語研究B	3・4後		2		1					
	中国語研究A	3・4後		2		1					
	中国語研究B	3・4前		2		1					
	社会言語学	3・4前		2		1					
	日本語の歴史	3・4前		2		1					
	語用論	3・4前		2					1		
	日英対照言語表現論	3・4後		2					1		
	比較文学論	3・4後		2		1					3
	日本古典読解	3・4前		2		1					
	相互理解の心理学	3・4後		2			1				
	言語学演習	3後		2		1					
	社会言語学演習	3前		2		1					
	日本語学演習	3前		2		1					
	英語学演習	3前		2					1		
	中国語学演習	3後		2		1					
	日本文化論演習	3後		2		1					
小計(20科目)	—	0	40	0	5	2	0	1	0	3	
学部共通科目	卒業論文	4通	8			8	7		1		
	インターンシップ I	3前		2		3	2				
	インターンシップ II	3前・後		2		3	2				
	異文化体験実習	2・3前・後		4		3	2		1		
	海外語学研修	2・3前・後		4		4	1		1		
	地域実習	3・4通		2		5	2				
小計(6科目)	—	8	14	0	9	8	0	1	0	0	
合計(162科目)	—	42	277	8	9	8	0	1	0	52	

卒業要件及び履修方法

- 共通教育科目 (計37単位以上)
 - 導入科目 必修8単位
 - 一般科目
 - 人間力6単位以上、社会力6単位以上、科学力4単位以上、健康と体力1単位以上
 - 英語科目 必修10単位
 - (1)～(3)で履修した科目以外から2単位以上
- 専門基礎科目 (計12単位以上)
 - 専門基礎科目 必修4単位 選択8単位以上
- 外国語科目 (計24単位又は28単位以上)
 - 基礎外国語科目 必修12単位 選択8単位以上
 - 専門外国語科目
 - 【国際観光・地域創生コース】 選択必修4単位以上
 - 【グローバルスタディーズコース】 選択必修8単位以上
- 専門科目 (計54単位又は50単位以上)
 - 【国際観光・地域創生コース】 54単位以上
 - (1) 観光・地域創生系科目群、政治経済系科目群、言語文化系科目群

区分	必修科目	選択科目
観光・地域創生系科目群	—	30単位以上 コース必修 12単位 ^{※1} 選択 18単位 ^{※2}
政治経済系科目群	—	4単位以上
言語文化系科目群	—	

- ※1 「観光社会学」、「サステイナブルツーリズム論」、「観光産業概論」、「世界遺産を学ぶ」、「地域再生マネジメント論」、「課題研究A」
- ※2 下記演習科目のうち2科目4単位選択必修を含む
「観光学演習A」、「観光学演習B」、「観光学演習C」、
「地域再生演習」、「多文化共生社会演習」
- (2) 学部共通科目
必修8単位 選択必修4単位以上
- (3) 専門科目のうち (1) (2) で履修した科目を除いた科目
選択8単位以上

卒業要件及び履修方法

【グローバルスタディーズコース】50単位以上

(1) 観光・地域創生系科目群、政治経済系科目群、言語文化系科目群

区分	必修科目	選択科目
観光・地域創生系科目群	—	4単位以上
政治経済系科目群	—	30単位以上
言語文化系科目群		コース必修 8単位 ^{※1} 選択 22単位 ^{※2}

※1 「国際政治論」、「国際貿易論」、「英語圏言語文化論」、「中国言語文化論」

※2 下記演習科目のうち3科目6単位選択必修を含む

「国際政治論演習A」、「国際政治論演習B」、「国際経済論演習C」、
「国際社会論演習」、「課題研究B」、「異文化コミュニケーション演習」、
「言語学演習」、「社会言語学演習」、「日本語学演習」、「英語学演習」、
「中国語学演習」、「日本文化論演習」

(2) 学部共通科目

必修8単位 選択必修4単位以上

(3) 専門科目のうち(1)(2)で履修した科目を除いた科目

選択4単位以上

以上、各コースにおける卒業要件単位数は、以下のとおり

【国際観光・地域創生コース】

共通教育科目 37単位以上、専門基礎科目 12単位以上

外国語科目 24単位以上、専門科目 54単位以上、合計127単位以上

【グローバルスタディーズコース】

共通教育科目 37単位以上、専門基礎科目 12単位以上

外国語科目 28単位以上、専門科目 50単位以上、合計127単位以上

5 履修科目の登録の上限

46単位(年間)

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために**未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入**してください。
 - ・ **1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入**してください。
 - ・ 不要な年度(令和元年度開設であれば平成30年度)の表は適宜削除してください。
- (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
- ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) 一②授業科目表に関する変更内容

【平成30年度】

- ・教育内容の向上を図るため、「医療と文化」の担当教員を「兼任教員」から「専任教員」に変更（AC教員審査に提出し審査中。審査により認められれば、授業科目表記載のとおり実施する）。
- ・兼任教員の本業の予定と合わない理由により、「日本国憲法」の開講時期を「1前」から「1後」に変更。
- ・兼任教員の本業の予定と合わない理由により、「データ科学と社会」の開講時期を「1前」から「1後」に変更。
（30年度において、翌年度より専任教員となる新田雅道教授が兼任教員として授業を担当）
- ・兼任教員の本業の予定と合わない理由により、「統計学」の開講時期を「1前」から「1後」に変更。
- ・兼任教員に係る時間割調整に伴う共通教育科目（一般科目（科学力））における学生の授業履修の調整を行うため、「教養としての数学」の開講時期を「1後」から「1前」に変更。

【令和元年度】

- ・共通教育科目「情報処理基礎」の担当教員として、兼任教員の史 金星助教を追加。
- ・共通教育科目「情報処理基礎」の担当教員として、兼任教員の朴 亨原助教を追加。
- ・共通教育科目「英語1a」の担当教員として、専任教員の横川善正教授を追加。
- ・専門科目「English comprehension I」の担当教員として、専任教員の横川善正教授を追加。
- ・専門科目「Tourism English II」の担当教員を、兼任教員のERTL JOHN JOSEF講師から専任教員の塩谷 サルフィ マクスダ准教授に変更。

【令和2年度】

- ・兼任教員の島内 俊彦准教授の新規採用にともない、兼任教員から専任教員に変更。
- ・専門科目「課題研究A」の担当教員として、専任教員の塩谷 サルフィ マクスダ准教授を追加。

【令和3年度】

- ・専任教員の酒井 亨准教授の退任に伴い、共通教育科目「キャリアデザインチーム論Ⅲ」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授1」に変更。
- ・誤植を訂正するとともに、兼任教員の新田 雅道教授の退任に伴い共通教育科目「アカデミックスキルズ」の兼任・兼任教員の配置を「0」から「10」に変更。
- ・専任教員の酒井 亨准教授、宮崎 猛教授、VANCE, Timothy John教授の退任および小原 文衛准教授と長辻 幸助教の昇任、さらに兼任教員の朝倉 由希准講師の就任に伴い共通教育科目「テーマ別基礎ゼミ」の専任教員等の配置を「教授8」から「教授7」に、「准教授8」から「准教授7」に、「助教1」から「助教0」に、兼任・兼任教員の配置を「0」から「1」に変更。
- ・専任教員のVANCE, Timothy John教授の退任に伴い共通教育科目「言葉と文化」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」に変更。担当教員として、加藤和夫講師を追加兼任・兼任教員の配置を「0」から「1」に変更。
- ・専任教員の宮崎 猛教授退任と、兼任教員の朝倉 由希准講師の就任に伴い共通教育科目「自然資源と環境問題」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に、兼任・兼任教員の配置を「0」から「1」に変更。
- ・専任教員の宮崎 猛教授退任と、兼任教員の朝倉 由希准講師の就任に伴い専門科目「サスティナブルツーリズム論」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」に、兼任・兼任教員の配置を「0」から「1」に変更。
- ・専任教員の宮崎 猛教授退任と、兼任教員の朝倉 由希准講師の就任に伴い専門科目「観光産業概論」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に、兼任・兼任教員の配置を「0」から「1」に変更。
- ・専任教員の宮崎 猛教授退任と、兼任教員の朝倉 由希准講師の就任に伴い専門科目「グリーンツーリズム論」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に、兼任・兼任教員の配置を「0」から「1」に変更。
- ・専任教員の宮崎 猛教授退任と、兼任教員の朝倉 由希准講師の就任に伴い専門科目「地域ブランディング論」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に、兼任・兼任教員の配置を「0」から「1」に変更。
- ・専任教員の宮崎 猛教授退任と、兼任教員の朝倉 由希准講師の就任に伴い専門科目「地域産業論」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に、兼任・兼任教員の配置を「0」から「1」に変更。
- ・専任教員の宮崎 猛教授退任と、兼任教員の朝倉 由希准講師の就任に伴い専門科目「観光学演習C」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に、兼任・兼任教員の配置を「0」から「1」に変更。
- ・専任教員の宮崎 猛教授退任と、兼任教員の朝倉 由希准講師の就任に伴い専門科目「課題研究A」の専任教員等の配置を「教授3」から「教授2」に、兼任・兼任教員の配置を「0」から「1」に変更。
- ・専任教員の宮崎 猛教授退任と、兼任教員の朝倉 由希准講師の就任に伴い専門科目「地域実習」の専任教員等の配置を「教授5」から「教授4」に、兼任・兼任教員の配置を「0」から「1」に変更。
- ・専任教員の酒井 亨准教授、宮崎 猛教授、VANCE, Timothy John教授の退任および小原 文衛准教授と長辻 幸助教の昇任、さらに兼任教員の朝倉 由希准講師の就任に伴い専門科目「卒業論文」の専任教員等の配置を「教授8」から「教授6」に、「准教授7」から「准教授6」に「助手1」から「助手0」に、兼任・兼任教員の配置を「0」から「1」に変更。
- ・兼任教員の酒井 亨准教授の退任に伴い、共通教育科目「データ科学と社会」の兼任・兼任教員の配置を「3」から「2」に変更。
- ・兼任教員の石若 裕子准教授の就任辞退に伴い、共通教育科目「情報処理応用A」の兼任・兼任教員の配置を「2」から「1」に変更。
- ・専任教員の長辻 幸助教の昇任に伴い共通教育科目「英語1a」の専任教員等の配置を「助教1」から「助教0」に、「准教授2」から「准教授3」に変更。
- ・VANCE, Timothy John教授の退任に伴い共通教育科目「英語1b」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に変更。
- ・専任教員の小原 文衛准教授の昇任と、長辻 幸助教の昇任に伴い共通教育科目「英語2a」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」に、「助教1」から「助教0」に変更。兼任教員のABE DAVID KIYOSHI講師を担当教員に加え兼任・兼任教員の配置を「0」から「1」に変更。
- ・専任教員の小原 文衛准教授の昇任に伴い専門科目「国際交流論」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」に、「准教授3」から「准教授2」に変更。
- ・専任教員の酒井 亨准教授の退任に伴い専門科目「アジア社会論」の専任教員等の配置を「教授3」から「教授2」に変更。
- ・専任教員の小原 文衛准教授の昇任に伴い専門科目「異文化コミュニケーション論」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に、「准教授2」から「准教授1」に変更。
- ・専任教員の長辻 幸助教の昇任に伴い共通教育科目「English expression I」の専任教員等の配置を「助教1」から「助教0」に、「准教授0」から「准教授1」に変更。

- ・専任教員の小原 文衛准教授の昇任に伴い専門科目「English comprehensionⅡa」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に、「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・専任教員の長辻 幸助教の昇任に伴い共通教専門科目「English expressionⅡ」の専任教員等の配置を「助教1」から「助教0」に、
- ・専任教員の酒井 亨准教授の退任に伴い専門科目「中国語圏社会文化論」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」に変更。担当教員として、樋泉 克夫講師を追加兼任・兼任教員の配置を「0」から「1」に変更。
- ・専任教員の酒井 亨准教授の退任に伴い専門科目「グローバル論」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」に変更。担当教員として、二ツ山 達朗講師を追加兼任・兼任教員の配置を「0」から「1」に変更。
- ・専任教員の酒井 亨准教授の退任に伴い専門科目「サブカルチャー論」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」に変更。担当教員として、新井 浩講師を追加兼任・兼任教員の配置を「0」から「1」に変更。
- ・専任教員の酒井 亨准教授の退任に伴い専門科目「メディア情報論」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」に変更。担当教員として、樋泉 克夫講師を追加兼任・兼任教員の配置を「0」から「1」に変更。
- ・専任教員の酒井 亨准教授の退任に伴い専門科目「国際社会論演習」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」に変更。担当教員として、古泉 達矢講師を追加兼任・兼任教員の配置を「0」から「1」に変更。
- ・専任教員の小原 文衛准教授の昇任に伴い専門科目「英語圏文芸論」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に、「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・専任教員のVANCE, Timothy John教授の退任に伴い共通教育科目「日本語の歴史」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に変更。担当教員として、高山 知明講師を追加兼任・兼任教員の配置を「0」から「1」に変更。
- ・専任教員の長辻 幸助教の昇任に伴い共通教専門科目「語用論」の専任教員等の配置を「助教1」から「助教0」に、「准教授0」から「准教授1」に変更。担当教員として、岡本 芳和講師を追加兼任・兼任教員の配置を「0」から「1」に変更。
- ・専任教員の長辻 幸助教の昇任に伴い共通教専門科目「日英対照言語表現論」の専任教員等の配置を「助教1」から「助教0」に、「准教授0」から「准教授1」に変更。
- ・専任教員の長辻 幸助教の昇任に伴い共通教専門科目「英語学演習」の専任教員等の配置を「助教1」から「助教0」に、「准教授0」から「准教授1」に変更。担当教員として、堀田 優子講師を追加兼任・兼任教員の配置を「0」から「1」に変更。

- (注) ・ 2(1)一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
19 科目	139 科目	4 科目	162 科目	19 科目 []	139 科目 []	4 科目 []	162 科目 []	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: Δ1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{162} = \boxed{}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	未広キャンパス 借用面積：3,676 m ² 借用期間：25年		
	校舎敷地	18,962.05 m ²	m ²	m ²	18,962.05 m ²			
	運動場用地	14,271.00 m ²	m ²	m ²	14,271.00 m ²			
	小 計	33,233.05 m ²	m ²	m ²	33,233.05 m ²			
	そ の 他	8,251.28 m ²	m ²	m ²	8,251.28 m ²			
	合 計	41,484.33 m ²	m ²	m ²	41,484.33 m ²			
(2) 校 舎	専 用	16,305.47 16,395.39m ²	0m ²	0m ²	16,305.47 16,395.39m ²	中央キャンパス賃貸借部分増加（1階）に伴う校舎面積の増加(2) 未広キャンパス 借用面積：930m ² 借用期間：25年 中央キャンパス 借用面積：4,107m ² 借用期間：25年		
		(4,555.95 m ²)	(3,644.67 m ²)	(4,926.47 m ²)	(13,127.09m ²)			
(3) 教 室 等	講 義 室	23室	演 習 室	12室	実験実習室	18室	情報処理学習施設 語学学習施設 室 室 (補助職員 人) (補助職員 人) 大学全体	
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数					
	国際文化交流学部 国際文化交流学科		17		室			
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書	学術雑誌	電子ジャーナル	視聴覚資料	機械・器具	標 本	
		[うち外国書]	[うち外国書]					[うち外国書]
	国際文化交流学部	12,000 [513]	54 [20]	20 [20]	345	0	0	
	国際文化交流学科	(20,273 [1,793])	(937 [912])	(903 [903])	434	0	0	
計	12,000 [513]	54 [20]	20 [20]	345	0	0		
	(20,273 [1,793])	(937 [912])	(903 [903])	434	0	0		
(6) 図 書 館	面 積	909.83m ²	876.41m ²	閱 覧 座 席 数	118席	収 納 可 能 冊 数	80,000冊	
	大学全体 未広キャンパス建築に伴う図書館面積の減少(2)							
(7) 体 育 館	面 積	960m ²					体育館以外のスポーツ施設の概要	
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	
		教員1人当り研究費等	300千円	300千円	図書購入費	6,668千円 15,955千円	6,668千円	3,753千円
		共同研究費等	2,000千円	2,000千円	設備購入費	130,000千円 111,156千円	98,000千円	3,000千円
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		市内学生918千円	636千円	636千円	636千円	— 千円	— 千円	
	学生納付金以外の維持方法の概要		大学運営費交付金、資産運用収入、雑収入 等					

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号（その1の1）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和3年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(2)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	公立小松大学						学生募集停止学科数	0	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	0	備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和3年度入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
生産システム科学部	4	80	-	320	-	1.03	1.01	-	平成30	-	
生産システム科学科	4	80	-	320	学士 (工学)	1.03	1.01	-	平成30	石川県小松市土居原町10-10 石川県小松市四丁町ス1番地3	
保健医療学部	4	80	-	320	-	1.04	1.06	-	平成30	-	
看護学科	4	50	-	200	学士 (看護学)	1.01	1.03	-	平成30	石川県小松市土居原町10-10 石川県小松市向本折町へ14番地1	
臨床工学科	4	30	-	120	学士 (臨床工学)	1.08	1.10	-	平成30	同上	
国際文化交流学部	4	80	-	320	-	1.01	1.00	-	平成30	-	
国際文化交流学科	4	80	-	320	学士 (国際文化学)	1.01	1.00	-	平成30	石川県小松市土居原町10-10	
大学全体	4	240	-	960	-	1.02	1.03	-	平成30	-	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。
(専攻科及び別科を除く)。なお、調査対象の学科等が設置されている大学から順に記載してください
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めず。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和3年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

専任・兼任・兼任の別	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名
専任	SANDERS, Robert Martin (62) <平成30年4月> Doctor of Philosophy in Linguistics(米國)	教授	SANDERS, Robert Martin (62) <平成30年4月> Doctor of Philosophy in Linguistics(米國)	教授	SANDERS, Robert Martin (63) <平成30年4月> Doctor of Philosophy in Linguistics(米國)	教授	SANDERS, Robert Martin (64) <平成30年4月> Doctor of Philosophy in Linguistics(米國)	教授
	担当授業科目名		担当授業科目名		担当授業科目名		担当授業科目名	
専任	岡村 徹 (56) <平成30年4月> 博士(比較社会文化)	教授	岡村 徹 (56) <平成30年4月> 博士(比較社会文化)	教授	岡村 徹 (57) <平成30年4月> 博士(比較社会文化)	教授	岡村 徹 (58) <平成30年4月> 博士(比較社会文化)	教授
専任	約谷 茂樹 (55) <平成30年4月> 修士(文学)	教授	約谷 茂樹 (55) <平成30年4月> 修士(文学)	教授	約谷 茂樹 (56) <平成30年4月> 修士(文学)	教授	約谷 茂樹 (57) <平成30年4月> 修士(文学)	教授
専任	刘 遵华 (55) <平成30年4月> 文学碩士 (中国)	教授	刘 遵华 (55) <平成30年4月> 文学碩士 (中国)	教授	刘 遵华 (56) <平成30年4月> 文学碩士 (中国)	教授	刘 遵华 (57) <平成30年4月> 文学碩士 (中国)	教授
専任	塩谷 サルフィ マクスダ (63) <平成30年4月> Doctor of Philosophy (印國)	准教授	塩谷 サルフィ マクスダ (63) <平成30年4月> Doctor of Philosophy (印國)	准教授	塩谷 サルフィ マクスダ (64) <平成30年4月> Doctor of Philosophy (印國)	准教授	塩谷 サルフィ マクスダ (65) <平成30年4月> Doctor of Philosophy (印國)	准教授
専任	酒井 亨 (52) <平成30年4月> 法學碩士 (台湾)	准教授	酒井 亨 (52) <平成30年4月> 法學碩士 (台湾)	准教授	酒井 亨 (53) <平成30年4月> 法學碩士 (台湾)	准教授	酒井 亨 (54) <平成30年4月> 法學碩士 (台湾)	准教授

専任・兼任・兼任の別	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名								
専任	中子(佐藤) 富貴子 (50) <平成30年4月> 博士(創造都市)	准教授	中子(佐藤) 富貴子 (51) <平成30年4月> 博士(創造都市)	准教授	中子(佐藤) 富貴子 (52) <平成30年4月> 博士(創造都市)	准教授	中子(佐藤) 富貴子 (53) <平成30年4月> 博士(創造都市)	准教授	中子(佐藤) 富貴子 (54) <平成30年4月> 博士(創造都市)	准教授
	担当授業科目名		担当授業科目名		担当授業科目名		担当授業科目名		担当授業科目名	
	テーマ別基礎ゼミ 観光学概論 ※ サステイナブルツーリズム 論 ※ ホスピタリティマネジメント ※ 観光人材育成論 【隔年】 パリアフリーツーリズム論 【隔年】 社会調査法 観光学演習B 課題研究A インターンシップI インターンシップII 地域実習 卒業論文		テーマ別基礎ゼミ 観光学概論 ※ サステイナブルツーリズム 論 ※ ホスピタリティマネジメント ※ 観光人材育成論 【隔年】 パリアフリーツーリズム論 【隔年】 社会調査法 観光学演習B 課題研究A インターンシップI インターンシップII 地域実習 卒業論文		テーマ別基礎ゼミ 観光学概論 ※ サステイナブルツーリズム 論 ※ ホスピタリティマネジメント ※ 観光人材育成論 【隔年】 パリアフリーツーリズム論 【隔年】 社会調査法 観光学演習B 課題研究A インターンシップI インターンシップII 地域実習 卒業論文		テーマ別基礎ゼミ 観光学概論 ※ サステイナブルツーリズム 論 ※ ホスピタリティマネジメント ※ 観光人材育成論 【隔年】 パリアフリーツーリズム論 【隔年】 社会調査法 観光学演習B 課題研究A インターンシップI インターンシップII 地域実習 卒業論文		テーマ別基礎ゼミ 観光学概論 ※ サステイナブルツーリズム 論 ※ ホスピタリティマネジメント ※ 観光人材育成論 【隔年】 パリアフリーツーリズム論 【隔年】 社会調査法 観光学演習B 課題研究A インターンシップI インターンシップII 地域実習 卒業論文	
専任	小原 文衛 (49) <平成30年4月> 文学修士	准教授	小原 文衛 (49) <平成30年4月> 文学修士	准教授	小原 文衛 (50) <平成30年4月> 文学修士	准教授	小原 文衛 (51) <平成30年4月> 博士(文学)	准教授	小原 文衛 (52) <平成30年4月> 博士(文学)	准教授
	担当授業科目名		担当授業科目名		担当授業科目名		担当授業科目名		担当授業科目名	
	テーマ別基礎ゼミ 英語Ia 英語IIa 国際交流論 ※ 異文化コミュニケーション論 ※ English comprehension II a 英語圏文芸論 卒業論文		テーマ別基礎ゼミ 英語Ia 英語IIa 国際交流論 ※ 異文化コミュニケーション論 ※ English comprehension II a 英語圏文芸論 卒業論文		テーマ別基礎ゼミ 英語Ia 英語IIa 国際交流論 ※ 異文化コミュニケーション論 ※ English comprehension II a 英語圏文芸論 卒業論文		テーマ別基礎ゼミ 英語Ia 英語IIa 国際交流論 ※ 異文化コミュニケーション論 ※ English comprehension II a 英語圏文芸論 卒業論文		テーマ別基礎ゼミ 英語Ia 英語IIa 国際交流論 ※ 異文化コミュニケーション論 ※ English comprehension II a 英語圏文芸論 卒業論文	
専任	一ノ瀬 忠之 (43) <平成30年4月> 博士(商学)	准教授	一ノ瀬 忠之 (44) <平成30年4月> 博士(商学)	准教授	一ノ瀬 忠之 (45) <平成30年4月> 博士(商学)	准教授	一ノ瀬 忠之 (46) <平成30年4月> 博士(商学)	准教授	一ノ瀬 忠之 (47) <平成30年4月> 博士(商学)	准教授
	担当授業科目名		担当授業科目名		担当授業科目名		担当授業科目名		担当授業科目名	
	テーマ別基礎ゼミ 経済学 ※ ロシア語I ロシア語II グローバルヒストリー ※ 国際貿易論 資源エネルギー・環境論 新興国経済論 国際経済論演習 課題研究B English comprehension II b 卒業論文		テーマ別基礎ゼミ 経済学 ※ ロシア語I ロシア語II グローバルヒストリー ※ 国際貿易論 資源エネルギー・環境論 新興国経済論 国際経済論演習 課題研究B English comprehension II b 卒業論文		テーマ別基礎ゼミ 経済学 ※ ロシア語I ロシア語II グローバルヒストリー ※ 国際貿易論 資源エネルギー・環境論 新興国経済論 国際経済論演習 課題研究B English comprehension II b 卒業論文		テーマ別基礎ゼミ 経済学 ※ ロシア語I ロシア語II グローバルヒストリー ※ 国際貿易論 資源エネルギー・環境論 新興国経済論 国際経済論演習 課題研究B English comprehension II b 卒業論文		テーマ別基礎ゼミ 経済学 ※ ロシア語I ロシア語II グローバルヒストリー ※ 国際貿易論 資源エネルギー・環境論 新興国経済論 国際経済論演習 課題研究B English comprehension II b 卒業論文	
専任	木村 誠 (38) <平成31年4月> 博士(学術)	准教授	木村 誠 (38) <平成31年4月> 博士(学術)	准教授	木村 誠 (39) <平成31年4月> 博士(学術)	准教授	木村 誠 (40) <平成31年4月> 博士(学術)	准教授	木村 誠 (41) <平成31年4月> 博士(学術)	准教授
	担当授業科目名		担当授業科目名		担当授業科目名		担当授業科目名		担当授業科目名	
	テーマ別基礎ゼミ 心理学 人間の発達と心 国際交流論 ※ 相互理解の心理学 異文化体験実習		テーマ別基礎ゼミ 心理学 人間の発達と心 国際交流論 ※ 相互理解の心理学 異文化体験実習		テーマ別基礎ゼミ 心理学 人間の発達と心 国際交流論 ※ 相互理解の心理学 異文化体験実習		テーマ別基礎ゼミ 心理学 人間の発達と心 国際交流論 ※ 相互理解の心理学 異文化体験実習		テーマ別基礎ゼミ 心理学 人間の発達と心 国際交流論 ※ 相互理解の心理学 異文化体験実習	
専任	木場 紗綾 (37) <平成30年4月> 博士(政治学)	准教授	木場 紗綾 (37) <平成30年4月> 博士(政治学)	准教授	木場 紗綾 (38) <平成30年4月> 博士(政治学)	准教授	木場 紗綾 (39) <平成30年4月> 博士(政治学)	准教授	木場 紗綾 (40) <平成30年4月> 博士(政治学)	准教授
	担当授業科目名		担当授業科目名		担当授業科目名		担当授業科目名		担当授業科目名	
	テーマ別基礎ゼミ 政治学 ※ アジア社会論 ※ 国際政治論 ※ 東南アジア地域社会論 NGO論 国際協力論 国際政治論演習A 課題研究B 卒業論文		テーマ別基礎ゼミ 政治学 ※ アジア社会論 ※ 国際政治論 ※ 東南アジア地域社会論 NGO論 国際協力論 国際政治論演習A 課題研究B 卒業論文		テーマ別基礎ゼミ 政治学 ※ アジア社会論 ※ 国際政治論 ※ 東南アジア地域社会論 NGO論 国際協力論 国際政治論演習A 課題研究B 卒業論文		テーマ別基礎ゼミ 政治学 ※ アジア社会論 ※ 国際政治論 ※ 東南アジア地域社会論 NGO論 国際協力論 国際政治論演習A 課題研究B 卒業論文		テーマ別基礎ゼミ 政治学 ※ アジア社会論 ※ 国際政治論 ※ 東南アジア地域社会論 NGO論 国際協力論 国際政治論演習A 課題研究B 卒業論文	
専任	千葉 悠志 (32) <平成30年4月> 博士(地域研究)	准教授	千葉 悠志 (32) <平成30年4月> 博士(地域研究)	准教授	千葉 悠志 (33) <平成30年4月> 博士(地域研究)	准教授	千葉 悠志 (34) <平成30年4月> 博士(地域研究)	准教授	千葉 悠志 (35) <平成30年4月> 博士(地域研究)	准教授
	担当授業科目名		担当授業科目名		担当授業科目名		担当授業科目名		担当授業科目名	
	テーマ別基礎ゼミ 政治学 ※ アジア社会論 ※ 国際政治論 ※ イスラム社会論 中東政治論 現代メディア史 国際政治論演習B 課題研究B 卒業論文		テーマ別基礎ゼミ 政治学 ※ アジア社会論 ※ 国際政治論 ※ イスラム社会論 中東政治論 現代メディア史 国際政治論演習B 課題研究B 卒業論文		テーマ別基礎ゼミ 政治学 ※ アジア社会論 ※ 国際政治論 ※ イスラム社会論 中東政治論 現代メディア史 国際政治論演習B 課題研究B 卒業論文		テーマ別基礎ゼミ 政治学 ※ アジア社会論 ※ 国際政治論 ※ イスラム社会論 中東政治論 現代メディア史 国際政治論演習B 課題研究B 卒業論文		テーマ別基礎ゼミ 政治学 ※ アジア社会論 ※ 国際政治論 ※ イスラム社会論 中東政治論 現代メディア史 国際政治論演習B 課題研究B 卒業論文	
専任	長辻 幸 (35) <平成30年4月> 修士(文学)	助教	長辻 幸 (35) <平成30年4月> 修士(文学)	助教	長辻 幸 (36) <平成30年4月> 修士(文学)	助教	長辻 幸 (37) <平成30年4月> 修士(文学)	助教	長辻 幸 (38) <平成30年4月> 修士(文学)	助教
	担当授業科目名		担当授業科目名		担当授業科目名		担当授業科目名		担当授業科目名	
	テーマ別基礎ゼミ 英語Ia 英語IIa 語用論 日英対照言語表現論 英語学演習 English expression I English expression III 異文化体験実習 海外語学研修 卒業論文		テーマ別基礎ゼミ 英語Ia 英語IIa 語用論 日英対照言語表現論 英語学演習 English expression I English expression III 異文化体験実習 海外語学研修 卒業論文		テーマ別基礎ゼミ 英語Ia 英語IIa 語用論 日英対照言語表現論 英語学演習 English expression I English expression III 異文化体験実習 海外語学研修 卒業論文		テーマ別基礎ゼミ 英語Ia 英語IIa 語用論 日英対照言語表現論 英語学演習 English expression I English expression III 異文化体験実習 海外語学研修 卒業論文		テーマ別基礎ゼミ 英語Ia 英語IIa 語用論 日英対照言語表現論 英語学演習 English expression I English expression III 異文化体験実習 海外語学研修 卒業論文	
							専任 准教授 英語Ⅲ 実用英語Ⅰ 実用英語Ⅱ 実用英語Ⅲ 実用英語Ⅳ		専任 准教授 高内 俊彦 (50) <令和2年4月> 博士(学術)	
									高内 俊彦 (51) <令和2年4月> 博士(学術)	

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名												
兼任	教授	木村 繁男 (67) <平成30年4月> Doctor of Philosophy, Mechanical Engineering (米国)	現代科学技術論 ※	兼任	教授	木村 繁男 (67) <平成30年4月> Doctor of Philosophy, Mechanical Engineering (米国)	現代科学技術論 ※	兼任	教授	木村 繁男 (69) <平成30年4月> Doctor of Philosophy, Mechanical Engineering (米国)	現代科学技術論 ※	兼任	教授	木村 繁男 (70) <平成30年4月> Doctor of Philosophy, Mechanical Engineering (米国)	現代科学技術論 ※
兼任	教授	山田 外史 (68) <平成30年4月> 工学博士	日本産業史 ※	兼任	教授	山田 外史 (68) <平成30年4月> 工学博士	日本産業史 ※	兼任	教授	山田 外史 (70) <平成30年4月> 工学博士	日本産業史 ※	兼任	教授	山田 外史 (71) <平成30年4月> 工学博士	日本産業史 ※
兼任	教授	山田 良穂 (67) <平成30年4月> 工学博士	アカデミック・スキルズ 日本産業史 ※	兼任	教授	山田 良穂 (67) <平成30年4月> 工学博士	アカデミック・スキルズ 日本産業史 ※	兼任	教授	山田 良穂 (69) <平成30年4月> 工学博士	アカデミック・スキルズ 日本産業史 ※	兼任	教授	山田 良穂 (70) <平成30年4月> 工学博士	アカデミック・スキルズ 日本産業史 ※
兼任	教授	安達 正明 (66) <平成30年4月> 工学博士	アカデミック・スキルズ 教養としての物理 現代科学技術論 ※	兼任	教授	安達 正明 (66) <平成30年4月> 工学博士	アカデミック・スキルズ 教養としての物理 現代科学技術論 ※	兼任	教授	安達 正明 (67) <平成30年4月> 工学博士	アカデミック・スキルズ 教養としての物理 現代科学技術論 ※	兼任	教授	安達 正明 (69) <平成30年4月> 工学博士	アカデミック・スキルズ 教養としての物理 現代科学技術論 ※
兼任	教授	木村 春彦 (66) <平成30年4月> 工学博士	データ科学と社会 ※ 現代科学技術論 ※	兼任	教授	木村 春彦 (66) <平成30年4月> 工学博士	データ科学と社会 ※ 現代科学技術論 ※	兼任	教授	木村 春彦 (68) <平成30年4月> 工学博士	データ科学と社会 ※ 現代科学技術論 ※	兼任	教授	木村 春彦 (69) <平成30年4月> 工学博士	データ科学と社会 ※ 現代科学技術論 ※
兼任	教授	川端 信義 (65) <平成30年4月> 工学博士	現代科学技術論 ※	兼任	教授	川端 信義 (65) <平成30年4月> 工学博士	現代科学技術論 ※	兼任	教授	川端 信義 (67) <平成30年4月> 工学博士	現代科学技術論 ※	兼任	教授	川端 信義 (68) <平成30年4月> 工学博士	現代科学技術論 ※
兼任	教授	田村 博志 (65) <平成31年4月> 理学博士	教養としての数学 統計学 現代科学技術論 ※	兼任	教授	田村 博志 (65) <平成31年4月> 理学博士	教養としての数学 統計学 現代科学技術論 ※	兼任	教授	田村 博志 (66) <平成31年4月> 理学博士	教養としての数学 統計学 現代科学技術論 ※	兼任	教授	田村 博志 (67) <平成31年4月> 理学博士	教養としての数学 統計学 現代科学技術論 ※
兼任	教授	岩田 佳雄 (65) <平成31年4月> 工学博士	アカデミック・スキルズ 日本産業史 ※	兼任	教授	岩田 佳雄 (65) <平成31年4月> 工学博士	アカデミック・スキルズ 日本産業史 ※	兼任	教授	岩田 佳雄 (66) <平成31年4月> 工学博士	アカデミック・スキルズ 日本産業史 ※	兼任	教授	岩田 佳雄 (67) <平成31年4月> 工学博士	アカデミック・スキルズ 日本産業史 ※
兼任	教授	新田 雅道 (60) <平成31年4月> 博士(工学)	アカデミック・スキルズ 情報処理基礎 データ科学と社会 ※	兼任	教授	新田 雅道 (59) <平成31年4月> 博士(工学)	アカデミック・スキルズ 情報処理基礎 データ科学と社会 ※	兼任	教授	新田 雅道 (60) <平成31年4月> 博士(工学)	アカデミック・スキルズ 情報処理基礎 データ科学と社会 ※	兼任	教授	新田 雅道 (61) <平成31年4月> 博士(工学)	アカデミック・スキルズ 情報処理基礎 データ科学と社会 ※
兼任	教授	新田 雅道 (59) <平成30年4月> 博士(工学)	アカデミック・スキルズ 情報処理基礎 データ科学と社会 ※	兼任	教授	新田 雅道 (59) <平成30年4月> 博士(工学)	アカデミック・スキルズ 情報処理基礎 データ科学と社会 ※								
兼任	教授	富澤 淳 (59) <平成30年4月> 博士(工学)	日本産業史 ※	兼任	教授	富澤 淳 (59) <平成30年4月> 博士(工学)	日本産業史 ※	兼任	教授	富澤 淳 (60) <平成30年4月> 博士(工学)	日本産業史 ※	兼任	教授	富澤 淳 (61) <平成30年4月> 博士(工学)	日本産業史 ※
兼任	教授	上田 秀弘 (60) <令和3年4月> 博士(工学)	情報処理基礎 データ科学と社会 ※ 現代科学技術論 ※	兼任	教授	上田 秀弘 (58) <令和3年4月> 博士(工学)	情報処理基礎 データ科学と社会 ※ 現代科学技術論 ※	兼任	教授	上田 秀弘 (59) <令和3年4月> 博士(工学)	情報処理基礎 データ科学と社会 ※ 現代科学技術論 ※	兼任	教授	上田 秀弘 (60) <令和3年4月> 博士(工学)	情報処理基礎 データ科学と社会 ※ 現代科学技術論 ※
兼任	准教授	石若 裕子 (51) <令和3年4月> 博士(工学)	情報処理基礎 情報処理応用A	兼任	准教授	石若 裕子 (48) <令和3年4月> 博士(工学)	情報処理基礎 情報処理応用A	兼任	准教授	石若 裕子 (49) <令和3年4月> 博士(工学)	情報処理基礎 情報処理応用A	兼任	准教授	石若 裕子 (50) <令和3年4月> 博士(工学)	情報処理基礎 情報処理応用A
兼任	准教授	定津 正利 (47) <平成30年4月> 博士(工学)	情報処理基礎	兼任	准教授	定津 正利 (47) <平成30年4月> 博士(工学)	情報処理基礎	兼任	准教授	定津 正利 (48) <平成30年4月> 博士(工学)	情報処理基礎	兼任	准教授	定津 正利 (49) <平成30年4月> 博士(工学)	情報処理基礎

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	木村 高宏 (43) <平成30年4月> 博士(政策科学)	公共政策論
兼任	講師	井上 英夫 (70) <平成30年4月> 法学修士	社会福祉論
兼任	講師	山崎 友也 (45) <平成30年4月> 修士(法学)	日本国憲法
兼任	講師	榊原 千秋 (56) <平成30年4月> 博士(保健学)	健康と体の科学 ※
兼任	講師	松下 裕子 (58) <平成30年4月> 体育学士	スポーツ演習(バレーボール) スポーツ演習(硬式テニス) スポーツ演習(フットサル) スポーツ演習(卓球) スポーツ演習(バドミントン)
兼任	講師	川島 嘉美 (49) <令和2年4月> 修士(文学)	英語 I a
兼任	講師	ABE DAVID KIYOSHI (55) <令和2年4月> 博士(学術)	英語 I a
兼任	講師	Raker Vincent ERIC (49) <平成30年4月> B. A. (Psychology) (米國)	英語 I b 英語 II b English presentation I
兼任	講師	ERTL JOHN JOSEF (43) <平成30年4月> PhD Cultural Anthropology (米國)	英語 I b Tourism English II
兼任	講師	FOX SENAN JAMES (42) <平成30年4月> PhD in International Relations (英國)	英語 II b
兼任	講師	島内 俊彦 (48) <平成30年4月> 学士(外国研究)	英語 III 実用英語 I 実用英語 II 実用英語 III 実用英語 IV
兼任	講師	岩津 航 (42) <平成30年4月> Doctorat (Littérature comparée) (仏國)	フランス語 I フランス語 II 比較文学論 ※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	木村 高宏 (44) <平成30年4月> 博士(政策科学)	公共政策論
兼任	講師	井上 英夫 (70) <平成30年4月> 法学修士	社会福祉論
兼任	講師	山崎 友也 (45) <平成30年4月> 修士(法学)	日本国憲法
兼任	講師	榊原 千秋 (56) <平成30年4月> 博士(保健学)	健康と体の科学 ※
兼任	講師	松下 裕子 (58) <平成30年4月> 体育学士	スポーツ演習(バレーボール) スポーツ演習(硬式テニス) スポーツ演習(フットサル) スポーツ演習(卓球) スポーツ演習(バドミントン)
兼任	講師	川島 嘉美 (47) <令和2年4月> 修士(文学)	英語 I a
兼任	講師	ABE DAVID KIYOSHI (53) <令和2年4月> 博士(学術)	英語 I a
兼任	講師	Raker Vincent ERIC (49) <平成30年4月> B. A. (Psychology) (米國)	英語 I b 英語 II b English presentation I
兼任	講師	ERTL JOHN JOSEF (43) <平成30年4月> PhD Cultural Anthropology (米國)	英語 I b Tourism English II
兼任	講師	FOX SENAN JAMES (42) <平成30年4月> PhD in International Relations (英國)	英語 II b
兼任	講師	島内 俊彦 (48) <平成30年4月> 学士(外国研究)	英語 III 実用英語 I 実用英語 II 実用英語 III 実用英語 IV
兼任	講師	岩津 航 (42) <平成30年4月> Doctorat (Littérature comparée) (仏國)	フランス語 I フランス語 II 比較文学論 ※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	木村 高宏 (44) <平成30年4月> 博士(政策科学)	公共政策論
兼任	講師	井上 英夫 (71) <平成30年4月> 法学修士	社会福祉論
兼任	講師	山崎 友也 (46) <平成30年4月> 修士(法学)	日本国憲法
兼任	講師	榊原 千秋 (57) <平成30年4月> 博士(保健学)	健康と体の科学 ※
兼任	講師	松下 裕子 (59) <平成30年4月> 体育学士	スポーツ演習(バレーボール) スポーツ演習(硬式テニス) スポーツ演習(フットサル) スポーツ演習(卓球) スポーツ演習(バドミントン)
兼任	講師	川島 嘉美 (48) <令和2年4月> 修士(文学)	英語 I a
兼任	講師	ABE DAVID KIYOSHI (54) <令和2年4月> 博士(学術)	英語 I a
兼任	講師	Raker Vincent ERIC (50) <平成30年4月> B. A. (Psychology) (米國)	英語 I b 英語 II b English presentation I
兼任	講師	ERTL JOHN JOSEF (43) <平成30年4月> PhD Cultural Anthropology (米國)	
兼任	講師	FOX SENAN JAMES (43) <平成30年4月> PhD in International Relations (英國)	英語 I b 英語 II b English expression II a English expression II b
兼任	講師	島内 俊彦 (49) <平成30年4月> 学士(外国研究)	英語 III 実用英語 I 実用英語 II 実用英語 III 実用英語 IV
兼任	講師	岩津 航 (44) <平成30年4月> Doctorat (Littérature comparée) (仏國)	フランス語 I フランス語 II 比較文学論 ※
兼任	講師	大竹口 麻里 (55) <平成31年4月> 修士(フランス語教授 法)	フランス語 I フランス語 II

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	木村 高宏 (45) <平成30年4月> 博士(政策科学)	公共政策論
兼任	講師	井上 英夫 (72) <平成30年4月> 法学修士	社会福祉論
兼任	講師	山崎 友也 (47) <平成30年4月> 修士(法学)	日本国憲法
兼任	講師	榊原 千秋 (58) <平成30年4月> 博士(保健学)	健康と体の科学 ※
兼任	講師	松下 裕子 (60) <平成30年4月> 体育学士	スポーツ演習(バレーボール) スポーツ演習(硬式テニス) スポーツ演習(フットサル) スポーツ演習(卓球) スポーツ演習(バドミントン)
兼任	講師	川島 嘉美 (49) <令和2年4月> 修士(文学)	英語 I a
兼任	講師	ABE DAVID KIYOSHI (55) <令和2年4月> 博士(学術)	英語 I a
兼任	講師	Raker Vincent ERIC (51) <平成30年4月> B. A. (Psychology) (米國)	英語 I b 英語 II b English presentation I
兼任	講師	ERTL JOHN JOSEF (43) <平成30年4月> PhD Cultural Anthropology (米國)	
兼任	講師	FOX SENAN JAMES (44) <平成30年4月> PhD in International Relations (英國)	英語 I b 英語 II b English expression II a English expression II b
兼任	講師	島内 俊彦 (49) <平成30年4月> 学士(外国研究)	英語 III 実用英語 I 実用英語 II 実用英語 III 実用英語 IV
兼任	講師	岩津 航 (44) <平成30年4月> Doctorat (Littérature comparée) (仏國)	フランス語 I フランス語 II 比較文学論 ※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	木村 高宏 (46) <平成30年4月> 博士(政策科学)	公共政策論
兼任	講師	井上 英夫 (73) <平成30年4月> 法学修士	社会福祉論
兼任	講師	山崎 友也 (48) <平成30年4月> 修士(法学)	日本国憲法
兼任	講師	榊原 千秋 (59) <平成30年4月> 博士(保健学)	健康と体の科学 ※
兼任	講師	松下 裕子 (61) <平成30年4月> 体育学士	スポーツ演習(バレーボール) スポーツ演習(硬式テニス) スポーツ演習(フットサル) スポーツ演習(卓球) スポーツ演習(バドミントン)
兼任	講師	川島 嘉美 (49) <令和2年4月> 修士(文学)	英語 I a 英語 II a
兼任	講師	ABE DAVID KIYOSHI (56) <令和2年4月> 博士(学術)	英語 I a 英語 II a
兼任	講師	Raker Vincent ERIC (52) <平成30年4月> B. A. (Psychology) (米國)	英語 I b 英語 II b English presentation I English expression III
兼任	講師	ERTL JOHN JOSEF (43) <平成30年4月> PhD Cultural Anthropology (米國)	
兼任	講師	FOX SENAN JAMES (45) <平成30年4月> PhD in International Relations (英國)	英語 I b 英語 II b English expression II a English expression II b
兼任	講師	島内 俊彦 (49) <平成30年4月> 学士(外国研究)	英語 III 実用英語 I 実用英語 II 実用英語 III 実用英語 IV
兼任	講師	岩津 航 (45) <平成30年4月> Doctorat (Littérature comparée) (仏國)	フランス語 I フランス語 II 比較文学論 ※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	名執 純子 (49) <平成30年4月> 修士(文学)
		ドイツ語 I ドイツ語 II
兼任	講師	田邊 文彦 (64) <令和2年4月> 修士(経済学)
		マーケティング調査論
兼任	講師	小野田 金司 (60) <平成30年4月> 経済学修士
		インバウンド観光論
兼任	講師	Pornpisanu Promsivapallop (44) <令和2年4月> Ph. D. in Hospitality Management (英国)
		ホスピタリティマネジメント ※
兼任	講師	古泉 達矢 (39) <平成31年4月> 博士(学術)
		グローバルヒストリー ※ アジア現代史概論
兼任	講師	上田 望 (54) <令和2年4月> 博士(文学)
		比較文学論 ※
兼任	講師	鈴木 暁世 (42) <令和2年4月> 博士(文学)
		比較文学論 ※
兼任	講師	結城 正美 (50) <平成31年4月> Ph. D. in English (米国)
		English comprehension I English expression I
兼任	講師	LYNCH Gavin Leigh (42) <平成31年4月> Master of Education (英国)
		English expression II a English expression II b
兼任	講師	遠藤 英樹 (57) <平成31年4月> 社会学修士
		観光社会学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	名執 純子 (49) <平成30年4月> 修士(文学)
		ドイツ語 I ドイツ語 II
兼任	講師	田邊 文彦 (62) <令和2年4月> 修士(経済学)
		マーケティング調査論
兼任	講師	小野田 金司 (60) <平成30年4月> 経済学修士
		インバウンド観光論
兼任	講師	Pornpisanu Promsivapallop (42) <令和2年4月> Ph. D. in Hospitality Management (英国)
		ホスピタリティマネジメント ※
兼任	講師	古泉 達矢 (38) <平成31年4月> 博士(学術)
		グローバルヒストリー ※ アジア現代史概論
兼任	講師	上田 望 (52) <令和2年4月> 博士(文学)
		比較文学論 ※
兼任	講師	鈴木 暁世 (40) <令和2年4月> 博士(文学)
		比較文学論 ※
兼任	講師	結城 正美 (49) <平成31年4月> Ph. D. in English (米国)
		English comprehension I English expression I
兼任	講師	LYNCH Gavin Leigh (41) <平成31年4月> Master of Education (英国)
		English expression II a English expression II b
兼任	講師	遠藤 英樹 (56) <平成31年4月> 社会学修士
		観光社会学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	名執 純子 (50) <平成30年4月> 修士(文学)
		ドイツ語 I ドイツ語 II
兼任	講師	田邊 文彦 (63) <令和2年4月> 修士(経済学)
		マーケティング調査論
兼任	講師	小野田 金司 (61) <平成30年4月> 経済学修士
		インバウンド観光論
兼任	講師	Pornpisanu Promsivapallop (43) <令和2年4月> Ph. D. in Hospitality Management (英国)
		ホスピタリティマネジメント ※
兼任	講師	古泉 達矢 (39) <平成31年4月> 博士(学術)
		グローバルヒストリー ※ アジア現代史概論
兼任	講師	上田 望 (53) <令和2年4月> 博士(文学)
		比較文学論 ※
兼任	講師	鈴木 暁世 (41) <令和2年4月> 博士(文学)
		比較文学論 ※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	名執 純子 (51) <平成30年4月> 修士(文学)
		ドイツ語 I ドイツ語 II
兼任	講師	田邊 文彦 (64) <令和2年4月> 修士(経済学)
		マーケティング調査論
兼任	講師	小野田 金司 (62) <平成30年4月> 経済学修士
		インバウンド観光論
兼任	講師	Pornpisanu Promsivapallop (44) <令和2年4月> Ph. D. in Hospitality Management (英国)
		ホスピタリティマネジメント ※
兼任	講師	古泉 達矢 (40) <平成31年4月> 博士(学術)
		グローバルヒストリー ※ アジア現代史概論
兼任	講師	上田 望 (54) <令和2年4月> 博士(文学)
		比較文学論 ※
兼任	講師	杉山 欣也 (51) <令和2年4月> 博士(文学)
		比較文学論 ※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	名執 純子 (52) <平成30年4月> 修士(文学)
		ドイツ語 I ドイツ語 II
兼任	講師	田邊 文彦 (65) <令和2年4月> 修士(経済学)
		マーケティング調査論
兼任	講師	小野田 金司 (63) <平成30年4月> 経済学修士
		インバウンド観光論
兼任	講師	Pornpisanu Promsivapallop (45) <令和2年4月> Ph. D. in Hospitality Management (英国)
		ホスピタリティマネジメント ※
兼任	講師	古泉 達矢 (41) <平成31年4月> 博士(学術)
		グローバルヒストリー ※ アジア現代史概論 国際社会演習
兼任	講師	上田 望 (55) <令和2年4月> 博士(文学)
		比較文学論 ※
兼任	講師	杉山 欣也 (52) <令和2年4月> 博士(文学)
		比較文学論 ※
兼任	講師	福泉 克夫 (74) <令和2年10月> 文学修士
		中国語圏社会文化論
兼任	講師	新井 浩 (46) <令和2年10月> 修士(観劇美術)
		サブカルチャー論
兼任	講師	堀田 優子 (51) <令和2年10月> 博士(文学)
		英語学演習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等									
	担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名	
									兼任	講師	加藤 和夫 (66) <令和3年4月> 文学修士 書業と文化 日本語学演習
									兼任	講師	岡本 芳和 (47) <令和3年4月> 博士(英語学) 語用論
									兼任	講師	山口 善成 (48) <令和3年4月> 博士(文学) English expression I
									兼任	講師	松永 智子 (35) <令和3年4月> 博士(教育学) メディア情報論
									兼任	講師	歌口 義智子 (62) <令和3年4月> 博士(文学) 英語学演習
									兼任	講師	ニツ山 達朗 (40) <令和3年4月> 博士(地域研究) グローバル論
									兼任	講師	高山 知明 (57) <令和3年4月> 博士(言語学) 日本語の歴史
									兼任	講師	朝倉 由希 (44) <令和3年4月> 博士(学術) テーマ別基礎ゼミ 自然資源と環境問題 地域政策概論 サステイナブルツーリズム論 観光産業概論 グリーンツーリズム論 地域ブランディング論 地域産業論 観光学演習① 課題研究A 地域実習 卒業論文

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
- その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。**
- ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る届出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
 - ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
 - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実(実)、兼任、兼任の順に記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【平成30年度】

- ・辻村真一准教授就任辞退。初年度前期に担当科目がないことから、藤田一寿を科目を担当しない准教授として4月1日より採用し、平成30年度第1回AC教員審査に提出（平成30年4月教員審査済）。
- ・共通教育科目「医療と文化」の担当教員を、兼任教員から兼任教員である横川善正教授に変更。国際文化交流学部専任教員として平成30年度第1回AC教員審査に提出（平成30年4月教員審査済）。

【令和元年度】

- ・共通教育科目「情報処理基礎」の担当教員として、兼任教員の史 金星助教を追加。
- ・共通教育科目「情報処理基礎」の担当教員として、兼任教員の朴 亨原助教を追加。
- ・共通教育科目「英語1a」の担当教員として、兼任教員の横川善正教授を追加（平成31年1月教員審査済）。
- ・共通教育科目「英語1b」の担当教員を、兼任教員のERTL JOHN JOSEF講師から兼任教員のFOX SENAN JAMES講師に変更。
- ・共通教育科目「フランス語Ⅰ」「フランス語Ⅱ」の担当教員を、兼任教員の岩津 航講師から兼任教員の太竹口 麻里講師に変更。

【令和2年度】

- ・共通教育科目「フランス語Ⅰ」「フランス語Ⅱ」の担当教員を、兼任教員の太竹口 麻里講師から兼任教員の岩津 航講師に変更。
- ・兼任教員の川島 嘉美講師の本務先の事情により共通教育科目「英語Ⅰa」の担当が困難になったため担当教員表から削除。
- ・兼任教員の島内 俊彦准教授の新規採用にともない、兼任教員から専任教員に変更。保有学位を学士（外国研究）から博士（学術）に変更。
- ・兼任教員の山下 純子准教授の退職にともない、担当教員表から削除。
- ・兼任教員の小原 文衛准教授の保有学位を文学修士から博士（文学）に変更。
- ・佐藤 宜伯准教授を臨床工学科の専任教員として新規採用し、専門科目「代謝機能代行装置学実習」「臨床医学Ⅱ（代謝、血液）」「看護技術の科学的検証」「臨床実習」「卒業研究Ⅰ」「卒業研究Ⅱ」の担当教員に追加。令和2年度第1回AC教員審査に提出（5月1日時点で審査中）。
- ・鈴木 侑斗助教を臨床工学科の専任教員として新規採用し、専門科目「電子工学実習」「医用システム工学実習」「医用治療機器学実習」「生体計測装置実習」「卒業研究Ⅰ」「卒業研究Ⅱ」の担当教員に追加。令和2年度第1回AC教員審査に提出（5月1日時点で審査中）。

【令和3年度】

- ・専任教員の宮崎 猛教授退任。
- ・専任教員のVANCE, Timothy John教授退任。
- ・専任教員の酒井 亨准教授退任。
- ・専任教員の小原 文衛准教授の職位を教授に変更。令和2年度第4回AC教員審査に提出（令和3年1月教員審査済）
- ・専任教員の長辻 幸助の職位を准教授に変更。令和2年度第4回AC教員審査に提出（令和3年1月教員審査済）
- ・兼任教員の石若 裕子准教授就任辞退。
- ・兼任教員の史金星助教の職位を准教授に変更。
- ・兼任教員の朴亨原助教の職位を准教授に変更。
- ・兼任教員として朝倉 由希准講師を追加し、担当科目として共通教育科目「テーマ別基礎ゼミ」「自然資源と環境問題」、専門科目「サステナブルツーリズム論」「観光産業概論」「グリーンツーリズム論」「地域ブランディング論」「地域産業論」「観光学演習C」「課題研究A」「地域実習」「卒業論文」を追加。
- ・兼任教員のABE DAVID KIYOSHI講師の担当科目として共通教育科目「英語Ⅱa」を追加。
- ・兼任教員のRaker Vincent ERIC講師の担当科目として専門科目「英語English expression Ⅲ」を追加。
- ・兼任教員の古泉 達矢講師の担当科目として専門科目「国際社会演習」を追加。
- ・兼任教員の加藤 和夫講師の担当科目として専門科目「言葉と文化」「日本語学演習」を追加。
- ・兼任教員の岡本 芳和講師の担当科目として専門科目「語用論」を追加。
- ・兼任教員の山口 善成講師の担当科目として専門科目「English expression Ⅰ」を追加。
- ・兼任教員の松永 智子講師の担当科目として専門科目「メディア情報論」を追加。
- ・兼任教員の冢口 美智子講師の担当科目として専門科目「英語学演習」を追加。
- ・兼任教員の二ツ山 達朗講師の担当科目として専門科目「グローバル論」を追加。

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（令和元年度開設であれば平成30年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
10 名	5 名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')
9	8	0	1	18	0	8	9	0	0	17	0
8	7	0	1	16	0						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')
10	8	0	1	19	0	10	8	0	1	19	0
[1]	[0]	[0]	[0]	[1]	[0]	[1]	[0]	[0]	[0]	[1]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「**現在（報告時）の完成年度時の状況**」には、「**現在（報告時）の状況**」に記入した数字に、**教員審査を要済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入**するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員 うち、定年を延長 して採用する教員数
65 歳	5 名	8 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{19}{18} = \boxed{105.55} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{5}{17} = \boxed{29.41} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
		該当なし								
合計 (D)					後任補充状況の集計 (E)					
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)			
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼任教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
1	准教授	酒井 亨	R2.9	必修	キャリアデザイン・チーム論Ⅲ	①	R2.9.30付懲戒解雇（3）
				必修	テーマ別基礎ゼミ	①	
				選択	アジア社会論	①	
				選択	中国語圏社会文化論	②	
				選択	グローバル論	②	
				選択	サブカルチャー論	②	
				選択	メディア情報論	②	
				選択	国際社会論演習	②	
				選択	課題研究B	①	
				選択	インターンシップⅠ	①	
				選択	インターンシップⅡ	①	
				選択	地域実習	①	
				必修	卒業論文	①	
2	教授	宮崎 猛	R3.3	必修	テーマ別基礎ゼミ	①	R3.3.31付自己都合のため辞任（3）
				選択	自然資源と環境問題	①	
				選択	地域政策概論	①	
				選択	サステイナブルツーリズム論	①	
				選択	観光産業概論	①	
				選択	グリーンツーリズム論	①	
				選択	地域ブランディング論	①	
				選択	地域産業論	①	
				選択	観光学演習C	①	
				選択	課題研究A	①	
				選択	地域実習	①	
				選択	卒業論文	①	

3	教授	パンスティモシージョン	R3.3	必修	テーマ別基礎ゼミ	①	R3.3.31付自己都合のため辞任(3)
				選択	言葉と文化	①	
				必修	英語 I b	②	
				必修	英語 II b	①	
				選択	言語学概論	①	
				選択	日本語の歴史	②	
				選択	日本語学演習	②	
				必修	卒業論文	①	

合計 (F)		後任補充状況の集計 (G)											
辞任した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)	①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)							
3	人	必修	8	科目	必修	7	科目	必修	1	科目	必修	0	科目
		選択	25	科目	選択	18	科目	選択	7	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	33	科目	計	25	科目	計	8	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(3) - ③ 上記(3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)		後任補充状況の集計 (E) + (G)											
辞任等した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)	①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)							
3	人	必修	8	科目	必修	7	科目	必修	1	科目	必修	0	科目
		選択	25	科目	選択	18	科目	選択	7	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	33	科目	計	25	科目	計	8	科目	計	0	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{3}{18} = \boxed{16.66} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) -⑤ 令和2年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

3 人

(注) ・ (3) -①、(3) -②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。

(3) -⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
		該当なし					
合計				後任補充状況の集計			
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び () 書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する (している) 場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する (している) 場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

専任教員辞任による科目担当者変更については、授業担当能力を満たしている専任・兼任・兼担教員で対応出来ており、学生の履修等への影響は無いものとする。学生への周知については時間割および学科オリエンテーションによって行った。今後専任教員の交代があった場合についても、授業担当能力のある教員を配置して学生の履修への影響の無いように徹底したい。

- (注) ・ 上記 (3) の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
<p>認 可 時 (29年8月)</p>	<p>・設置の趣旨・目的等が活かされるよう、設置計画を確実に履行すること。また、開設時から4年制大学にふさわしい教育研究活動を行うことはもとより、その水準を一層向上させるよう努めること。</p>	<p>・理事長・学長のトップマネジメントのもとに、設置計画を確実に履行し、的確な大学運営を行っている。 ・教育研究活動水準の向上に向け、全学委員会及び学部教授会の両体制から取り組みを行うことを予定している。 (平成30年度)</p> <p>・設置計画の的確な履行に向け、各種審議会や全学委員会を組織し、理事長・学長のトップマネジメントのもとに大学を組織的に運営するための体制を構築した。 ・授業評価アンケートに基づく授業改善活動や学部内でのプロジェクト型研究の始動など、教育研究活動の水準向上のための活動を実施している。 ・中期計画及び年度計画に基づき、一つひとつの事項を計画的に推進するとともに、定期的な進捗管理を行う体制を構築した。 (令和元年度)</p> <p>・引き続き中期計画及び年度計画に基づき、一つひとつの事項を計画的に推進するとともに、各種委員会において定期的な進捗管理を行った。 (令和2年度)</p> <p>・設置計画を的確に履行するとともに、教育研究活動のさらなる向上のため、授業評価アンケートや学部内でのプロジェクト型研究を実施した。 ・中期計画および年度計画の進捗状況確認のため、年2回自己点検・評価委員会を実施した。 (令和3年度)</p>	<p>・5月に6年間の計画である中期計画(6年間の計画)を策定し、その後、年度計画を策定する。 ・年度計画を踏まえ、全学委員会である「教育企画委員会」、「研究・地域連携委員会」が具体的な活動計画を策定し、個々の活動は学部教授会のもとに行っていく。(平成30年度)</p> <p>・大学の各組織が行う活動が設置の趣旨・目的を踏まえた取組となっているのかを、理事長・学長のトップマネジメントもとに行う進捗管理の中で確認し、計画が適切に履行されているのかを検証していく。 (令和元年度)</p> <p>・理事長・学長のトップマネジメントのもと、各種審議会や全学委員会において、計画が適切に履行されているのか引き続き検証していく。 ・自己点検・評価委員会を定期的に開催し、各組織の課題と進捗状況について情報共有するとともに、組織間の連携を図る。 (令和2年度)</p> <p>・引き続き、自己点検・評価委員会を定期的に開催し、各組織の課題と進捗状況について情報共有するとともに、組織間の連携を図る。(令和3年度)</p>

留意事項

履行中

<p>認可時 (29年8月)</p>	<p>・「観光社会学」については、観光学の基幹科目となることから、専門的知識のある教員を専任として確保できるよう努めること。</p>	<p>留意事項</p>	<p>・本学部の基幹科目である「観光社会学」については、当該分野で著名な教授を非常勤講師として招くこととなっている。(30年度)</p> <p>・「観光社会学」の担当となる非常勤講師と連絡をとり、適切に授業を開講する準備を行っている。(令和元年度)</p> <p>・引き続き「観光社会学」の担当となる非常勤講師と連絡をとり、適切に授業を開講する準備を行っている。(令和2年度)</p> <p>・「観光社会学」の担当となった専門的知識が豊富な非常勤講師により、適切な授業が行われている。(令和3年度)</p>	<p>履行中</p>	<p>・ディプロマポリシーに照らし、観光学に係る学修の到達度を把握・認識するとともに、より高い教育効果を得られるよう、できるだけ早い時期に専任教員を確保できるよう努める。(30年度)</p> <p>・引き続き、より高い教育効果を得られるよう、できるだけ早い時期に専任教員を確保するよう取組を進める。(令和元年度)</p> <p>・引き続き、より高い教育効果を得られるよう、専任教員の募集を行う。(令和2年度)</p> <p>・引き続き、より高い教育効果を得られるよう、専任教員の募集を行う。(令和3年度)</p>
<p>認可時 (29年8月)</p>	<p>・運動場及び体育館が別地にあることから、教育に支障のないようにすることはもとより、学生の課外活動等に配慮すること。</p>	<p>留意事項</p>	<p>・スポーツ演習科目においては、中央キャンパス近くの体育施設を利用するとともに、シャトルバスの運行により支障が生じないよう対応している。</p> <p>・小松市により、中央キャンパスの近傍に課外活動の拠点として利用できる建物が設置され、学生の活動を支える環境が高まっている。(平成30年度)</p> <p>・シャトルバスの追加導入を行い、スポーツ演習だけではなく、課外活動においても利用できるよう運行表を組んでいる。(令和元年度)</p> <p>・引き続き、シャトルバスの追加導入を行い、スポーツ演習だけではなく、課外活動においても利用できるよう運行表を組んでいる。(令和2年度)</p> <p>・引き続きシャトルバスを定期的に運行し、授業および課外活動での利用が可能な運行表を組んでいる。(令和3年度)</p>	<p>履行済</p>	<p>・今後も、アンケート等により学生のニーズの把握に努め、地域社会との協力のもとに、教育環境の向上を図っていく。(平成30年度)</p> <p>・学生の動きを把握するとともにそのニーズを捉え、教育活動や課外活動等を行いやすくなるよう環境の改善に引き続き取り組んでいく。(令和元年度)</p> <p>・アンケートを定期的に実施し、課題の共有や授業改善、課外活動に関するニーズを捉えることで、学生の学修意欲を高めるとともに、キャンパスライフを支える環境の向上を図る。(令和2年度)</p> <p>・引き続きアンケートを定期的に実施し、課題の共有や授業改善、課外活動に関するニーズを捉えることで、学生の学修意欲を高めるとともに、キャンパスライフを支える環境の向上を図る。(令和3年度)</p>

<p>認可時 (29年8月)</p>	<p>・完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について着実に実施すること。</p>	<p>留意事項</p>	<p>・中長期的な観点から、教員採用・育成のための計画を策定し、それに沿って教員人事の適正な運用を行う予定である。 (平成30年度)</p> <p>・教員組織の在り方について検討を行っている。また、今後の教員採用にあたっての全学的な基準づくりを行っている。 (令和元年度)</p> <p>・引き続き教員組織の在り方について検討を行っている。 ・教員採用計画に基づき、教員の公募を開始している。 (令和2年度)</p> <p>・引き続き教員採用計画に基づき、教員の公募・採用を行っている。(令和3年度)</p>	<p>履行中</p>	<p>・今年度中に、完成年度までの教員採用・育成計画を策定に着手する。策定後は、計画のもとに、教員の公募・育成等を行うとともに、適宜AC教員審査に諮っていく。 (平成30年度)</p> <p>・教員採用・育成のための計画づくりを推進するとともに、学部学科間のバランスや経営状況を踏まえた全学的な視点での検討も行う。 (令和元年度)</p> <p>・今年度中に、教員採用・育成計画のもとに、教員の公募・育成を行い、適宜AC教員審査に諮っていく。 (令和2年度)</p> <p>・引き続き教員採用・育成計画のもと、教員の公募・育成を行い、適宜AC教員審査に諮る。 (令和3年度)</p>
------------------------	---	-------------	--	------------	---

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<国際文化交流学部 国際文化交流学科>

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 公立小松大学FD・SD推進委員会規則を制定（30年4月）</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） 平成31年3月 開催</p> <p>c 委員会の審議事項等 FD・SDの推進計画の策定、実施に関すること</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 財務システム研修会 ・ 公立大学の役割を学ぶ研修会 ・ 入試の全国的な動向や高校生の傾向を学ぶ研修会 ・ 労働安全衛生に係る研修会 ・ 競争的研究資金獲得に向けた研修会 ・ 研究倫理研修会（e-ラーニング） ・ 新任事務職員のための研修会 ・ 授業方法に係る研修会 ・ 研究計画調書の作成に係る研修会 ・ 救命講習会 ・ 大学コンソーシアム主催 オンライン研修会 ・ 公立大学協会配信オンライン研修 ・ 公立大学職員セミナー ・ 公立大学法人会計セミナー <p>b 実施方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 開学後早急にFD・SD活動を開始するため、理事長・学長の指導のもと、各委員会等が研修会を企画した。全学における実施結果は、公立小松大学FD・SD推進委員会がとりまとめ総括した。
--

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・ 財務システム研修会（30年4月、31年4月） 教員・事務職員対象 全員受講
- ・ 公立大学の役割を学ぶ研修会（30年7月、元年7月） 教員・事務職員対象 89人参加
- ・ 入試の全国的な動向や高校生の傾向を学ぶ研修会（30年8月、元年8月）
教員・入試関連事務職員対象 62人参加
- ・ 労働安全衛生に係る研修会（31年2月） 教員・事務職員対象 66人参加
- ・ 競争的研究資金獲得に向けた研修会（31年3月） 教員・研究関連事務職員対象 32人参加
- ・ 研究倫理研修会（e-ラーニング） 教員対象 3月までに全教員の受講完了を確認
- ・ 新任事務職員のための研修会（30年4月～10月、31年4月～10月） 新任事務職員対象 11人参加
- ・ 授業評価アンケートの結果を受け、学長から学部長・学科長に対し指導を指示
学科ごとに対応を実施（30年12月）
- ・ 授業方法に係る研修会（元年7月） 教員対象 74人参加
- ・ 研究計画調書の作成に係る研修会（元年9月） 教員対象 60人参加
- ・ 救命講習会（元年9月） 教員・事務職員対象 全員受講
- ・ 大学コンソーシアム主催 オンライン研修会（令和2年9月） 教員・事務職員対象 62人参加
- ・ 公立大学協会配信オンライン研修 事務・医療職員 5人参加
- ・ 公立大学職員セミナー 事務職員 11人参加
- ・ 公立大学法人会計セミナー 事務職員 5人参加

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・ 授業評価アンケートに基づき、学部学科単位で改善を実施
- ・ プレゼンテーション能力やアクティブラーニング等の研修実施に向けた準備を実施中

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

前期・後期のそれぞれの終了時に授業科目ごとに実施

b 教員や学生への公開状況、方法等

- ・ 授業評価アンケートの結果を受け、学長から学部長・学科長に対し指導を指示
学科ごとに対応を実施（30年12月、元年12月、令和2年7～8月、1～2月）
- ・ アンケート結果を受けての大学としての対応について、学長メッセージとして掲示板に掲示し周知している
（前期・後期終了後）

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

地方独立行政法人法の規定も踏まえ、自己点検・評価委員会を設置し、理事長・学長のトップマネジメントによる法人・大学の運営が行われる仕組みを構築した。大学の各組織は、年に2度理事長・学長によるヒアリングを受けることとなっており、目標や方針の確認及び進捗状況の点検確認を行っている。

職員の資質や意識の更なる向上を図りつつ、設置の趣旨・目的に達成に向け組織全体が一丸となって取り組んでい環境を引き続き整えていきたい。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・令和3年6月 公表予定

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開予定（令和3年6月末を予定）

③ 認証評価を受ける計画

・学内で検討を行っている。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和3年度）

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

≪ aで「有」の場合 ≫

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他（ ）]

≪ aで公表「無」の場合 ≫

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、
設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイトに公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。